臺灣時報

九月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO. LIMITED.
SEP 20 1926
内容目録記入済

龜山發電所

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂荘作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　大賀基作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　妻木栗造　永田隼之輔

宇賀四郎　醫學博士 草鹿砥祐吉　倉岡彥助　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　荒巻鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　柵瀨軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許廷光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彥

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彥　大澤清高

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　橫光吉規　田端幸三郎　中瀨拙夫　中田榮次郎　中田秀造　內田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　城間垣人

常務員

編輯係　秦滿　鷹取田一郎　泉芳德　葉山石雲　栗山新造

眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

大正十五年九月十三日印刷（毎月一回）
大正十五年九月十五日發行（十五日發行）

（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料　一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内
臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府内第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町一五八番地
伊藤憐之助

印刷者　臺北市本町一丁目十九番地
中村誠道

印刷所　臺北市榮町一丁目二十七 二十八番地
松浦屋印刷部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社 三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店
東京、京橋(東京)、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、
廣島、德島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、
(大阪市內)南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色
銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目
(電話三四、五六、二一九五)

臺灣時報大正十五年九月號 目次

口絵 ▽臺灣神社參拜の上山總督 ▽田中軍司令官著任

口時言口

上山臺灣總督訓示……一

歡迎辭……高木友枝……四

歡迎の辭 米國領事……チャールス・エル、デ・ヴォールト……六

上山總督の謝辭……八

鑛業上より見たる東部臺灣……高橋春吉……一〇

時報……一七

臺灣軍司令官更迭　菅野前司令官東上　改正臺灣食鹽專賣規則發布　後藤總務長官歸任　上山總督著任　官民合同新總督歡迎會　總督の初登廳　總督官邸の晩餐會と茶話會　上山總督臺北巡視　田中軍司令官著任　ロータリー倶樂部員來臺　臺南高商官制公布　上山總督の地方巡視　郵便年金本島施行準備調査　貿易會議と總督府　農業電化の魁

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□寄　書□

臺灣森林感……青木繁……二

州令と廳令を讀みて……田中賢三……四二

□講　演□

產業組合に就て……志村源太郎……四五

□說　苑□

登山に關する話……生駒高常……六三

山の體驗……田中七三郎……七一

□調查研究□

臺灣の養豚……高澤壽……七七

佛領印度支那法制調查(五)……板倉貞男……九三

熱帶性有用樹種の造林に就て臺灣の使命を論ず……矢田貝寛……一一〇

島　情……臺灣貿易統計……臺灣總督府稅關……一三一

文苑　詩壇、俳壇……一三八

臺灣日誌　人事消息　任命……一四一

□□□□□□□□□□□□□□□□

支那及南洋情報……總督官房調查課……一—六四

支那及南洋其他海外重要記事索引……同上……一—八

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社 臺灣銀行

（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

内地

神戸　大阪　横濱　東京

外國

上海　漢口　福州　厦門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカッタ　倫敦　紐育

臺灣神社に參拜せる上山總督

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

田中臺灣軍司令官著任

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十五年
九月號

上山臺灣總督訓示

――大正十五年八月九日臺灣總督府ニ於テ府內高等官、各地方長官竝在臺北各官衙長ニ對スル訓示――

訓示

今回大命ヲ奉シテ任ニ此ノ地ニ莅ム余不敏ト雖至誠ヲ盡シ全力ヲ擧ケテ聖恩ノ萬一ニ酬イ奉ランコトヲ誓フ

凡ソ世ニ處シ事ニ當ルニ德操才能ノ兼備ヲ貴フハ言ヲ俟タス惟フニ才能ハ天分ナリ人力ノ損益スヘカラサル所唯夫ノ德操ニ至リテハ然ラス之ヲ陶冶

シ之ヲ砥礪シテ已マサルニ於テハ其ノ圓熟亦タ期スヘシ今官吏ノ德操ヲ稽フルニ清廉誠實勤勉ノ三者其ノ一ヲ缺クヘカラス余ハ諸君ト共ニ之カ完成ヲ庶幾スルモノナリ

臺灣統治ノ要訣ハ民人ノ融合渾和ヲ經トシ文運ノ伸暢產業ノ興隆ヲ緯トス是レ卽チ歷代總督ノ方針ニシテ更ニ之ニ一段ノ光彩ヲ添フルノ責ハ繫リテ余ノ双肩ニ在リ

國民ノ融和ハ國家隆昌ノ基礎タリ我帝國カ光輝アル三千年ノ歷史ヲ有シ國運伸張毫モ已ムナキ所以ノモノ上ニ覆幬原仁ノ皇家ヲ戴キ下ニ億兆渾然トシテ融合シ以テ君民協和ノ美風ヲ發揮セルニ在リ抑モ我國民ハ其ノ源流必スシモ純一ニアラス上古皇別神別蕃別ノ差ヲ擧ケタルハ文獻ニ徵シテ昭々タリ然ルニ歷朝ノ聖主常ニ一視同仁ノ恩寵ヲ垂レ給ヒ又我等ノ祖先カ大ニ融合性ニ富ミタリシヲ以テ終ニ現今ノ如キ國民ヲ渾成スルニ至レリ余ハ臺灣ト內地トノ關係ニ於テモ亦敍上ノ美風年ト供ニ暢茂シ其ノ渾然タル融和ヲ見ルノ日蓋シ遠カラサルヲ信シ之カ促進ノ爲ニ盡瘁セント欲ス

臺灣ハ氣候風土ノ天惠頗フル渥ク富源ノ未タ開發セラレサルモノ尠カラス

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

隨テ產業ノ前途ハ自カラ洋々タリ須ラク官民協力シテ之カ發達ニ努力スヘシ殊ニ意ヲ用フヘキハ內地ト臺灣トノ經濟的聯絡ナリ余曾テ兩地ノ產業施設ヲ觀察シ往々特立獨行他ヲ顧ミサルノ弊ニ陷ルヲ見深ク憂トシタルコトアリ元來內地ト臺灣ハ共ニ等シク帝國ノ一地方ニシテ有無之ヲ補ヒ過不足之ヲ給シ相倚リ相扶ケ以テ全帝國ノ隆運ニ資セサルヘカラス是レ亦一視同仁ノ聖旨ニ奉答スル所以ナルヘシ

更ニ對外的關係ヲ視ルニ臺灣ハ帝國ノ南端ニ位シ南亞細亞及ヒ南洋トノ經濟的聯鎖タルヘキ任務ヲ負フ此ノ任務ヲ全ウスルハ固ヨリ一朝一夕ノ能クスヘキニアラスト雖事ニ臺灣ノ政ニ從フ者常ニ意ヲ茲ニ注カサルヘカラス若シ夫レ文教化育ノコトニ至テハ國民道德ノ基本ヲ明ニシ時勢ノ進步ニ件フ民智ノ啓發ヲ圖リ之カ施設ハ時ト處ニ應シテ常ニ其ノ宜ヲ制シ以テ奎運ノ隆昌ヲ稗補センコトヲ庶幾フ

以上ノ信念ト方針トヲ以テ余ハ今後諸君ト共ニ銳意庶政ノ發展ニ努メント欲ス彼ノ一身ノ利害得失ノ如キハ素ヨリ余ノ問フトコロニアラス望ムラクハ諸君余カ爲メニ輔佐ノ勞ヲ吝ムナカレ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

歡迎の辭

發起人總代　高木友枝

上山總督閣下は愈々昨日を以て本島に在任せられ本日茲に全島官民相集りて歡迎會を催ふすに當り閣下の來臨を辱ふし、親しく謦咳に接するを得たるは吾人の最も光榮とする所なり、顧れば本島は改隸既に三十一年、其の間歷代總督が鋭意統治に努力せられたる結果、秩序は維持せられ產業は發展し交通は整備し教育は普及し、所謂文物燦然として光りを放ち今日の盛を致せり、我が皇室におかせられても曩に攝政宮殿下の行啓あり、親しく本島の風物民情を御視察遊ばされ、畏くも御沙汰書の御下賜あり、本島民をして轉皇恩のいや深きに感泣せしめたり、其の後秩父宮殿下竝に高松宮殿下の御來臺あり、君民の間の情誼益々深きを加へ、本島民は斯の皇室を戴き、斯の總督政治の效果に潤ひて正に太平を謳歌しつゝあり、此の幸福は殊に隣邦の狀態を見るに及んで實に天地霄壤の差あるを思はずんばあらず、然れども時勢の進轉は徒らに現狀に甘んずるを容さず、就中本島產業の振興竝に思想の變化に對する方策に就ては、新なる施設を要するもの尙ほ極めて多々あり、是等は擧げて總督閣下の明識と同情とに訴へて其の解決を見ざるべからず、總督閣下は曩に農商務次官として二代の大臣を補佐し其の間產業政策に就き研鑽を遂げて多大の功績を擧げられ、次で貴族院議員として常に產業の爲めに貢獻せられたるところ極めて大なるは既に周知の事實なり、而て今日世界各國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は孰れも大戰後の經濟復興に熱中し、我が國の如きも大震災後の國力恢復に甚大の努力を拂ひつゝあり、此の間に處し我が臺灣の產業上の使命は頗る重且つ大にして、若し其の施設宜しきを得るに於ては、多々益々之を興隆して此の重責を果し得べし、此の際特に產業に造詣深き總督閣下を迎へたるは恰も大旱に慈雨を得たるが如き感なきを得ず、吾人の欣び何物か之に過ぎん、時恰も炎暑熾くが如きの交希くば自重自愛親しく全島を視察せられ、具さに統治の現勢を見、島民の聲にも聽きて徐ろに百年の大計を樹てられんこと切望の至りに堪えず、こゝに本島在住民を代表して蕪辭を述べ謹んで歡迎の意を表す。

(大正十五年八月八日、鐵道ホテルに開かれたる上山總督歡迎會に於いて)

歡迎の辭

米國領事　チャールス・エル・デ・ヴォールト

有力なる主催者の懇篤なる御薦め、及び同僚英國、和蘭兩領事の依頼によりまして、茲に、閣下に臺灣外國領事團の親善最大の敬意及信任を表明し、謹んで祝辭を述べることは私の最も光榮とする所であります、而て此の誇るべき特典を與へられたることを深く感謝する次第であります。私は此の機會に於て、閣下が陛下の臣として日本帝國の爲に盡されたる名聲嘖々たる偉業に對し、私の感情を充分に表し得ざることを遺憾とし、代表の任にあらざるものと思ふのであります。

閣下は法律・文藝・經濟・產業等に關する造詣深く、又地方長官として、國務次官として將又貴族院議員としての聲望は、世界周知の事實でありまして、特に臺灣の誇とする所であります。閣下の此の如き偉大なる人格・識見及閲歷を敬慕し、本日は凡ゆる方面より歡迎の雨が閣下の頭上に濺がれて居るのであります。本島官民の幾多の期待は閣下の重大なる任務を輕減するよりも、寧ろ增大するのでありますが、閣下に對する尊敬の齎す和衷協同は、閣下の爲に大なる援助となることゝ思ひます。此の如き瑞祥の下に創められたる閣下の施政は、希世の知識及經驗を以て、現代の大業に依り世界を驚異せしめたる日本帝國の皇威竝に國威に不朽の光彩を加へらるゝことを信じて疑はざるものであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣は日本の領有に歸してより僅々三十一箇年の短日月に於て、賢明なる統治と指導の下に、世界に於て堂々として誇るべき位置に達せしめられてあります。臺灣は現今、日本の美しき天惠豊なる植民地なるのみならず、熱帶海洋中の一大寶庫でありまして、其の驚異に値する治績は、赫々たる歷代總督に對する生ける記念碑であります。此の記念碑は常に人々の向上を促しつゝあるのであります。此の如き臺灣の成功進步發達の必然の結果として、產業・工業・商業等卽ち四百萬島民の有ゆる活動は倍加しつゝあるのであります。複雜なる現代生活に伴ふ各種の問題は、統治の負擔を一層重からしむるのであります。大命を以て閣下に委任せられたる事業は重大であります。

此の大事業遂行に當らせらるゝ閣下の精神及心情は偉大であります、併乍、大事業完成の曉に於ては、閣下御自身の御滿足及同僚の賞讃は申すに及ばず、本島並に帝國臣民の享くる幸福に於て、絕大の報酬が見出されるであらうと信ずるのであります。

臺灣の氣候は熱情的で發作的でありますが、私は臺灣を愛します。私は臺灣に參りましてから各方面より示されたる親善・好意・禮遇を深く感謝して居ります。政治家として聲望隆々たる閣下を、最高統治者として迎へたるは、誠に臺灣の爲に慶賀に堪へざる次第であります。

——本稿は大正十五年八月八日、鐵道ホテルに於ける官民合同の新總督歡迎會にて本島在住外人を代表して同氏の述べられたる歡迎の辭を譯したものである（文責在記者）——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上山總督の謝辭

──大正十五年八月八日、臺北鐵道ホテルに於ける官民合同の新總督歡迎會にて──

此度私がこちらへ赴任したに就きまして、本日は臺灣全島の有力者竝に領事團等かく多數の方々に御目に懸りますことは、私の深く光榮且つ欣快とする所であります。臺灣の行政は歷代總督の拮据經營に依り僅々三十餘年の間に驚くべき進步を遂げたことは世界周知の事實であります。私ごとき不敏の者がその後を享け、私かにその責任の重きことを考へ、私かに自ら足らざることを憂へてゐる次第であります。

從來私は臺灣に就て豫備知識なく從つて偏見もなく、所謂純然たる白紙であります。今後管內各地を實地に觀察し、何事に就ても充分なる攻究をなし、漸次仕事を進め希はくば歷代總督の見事なる成績を、苟も傷けまいと考へてゐる次第であります。一々の仕事に就ては只今の所では何等の考案もありませんが、大體に於て統治の方針は民心の融和と、產業振興の二つの外はないので、歷代總督の方針も蓋しこの外に出でなかつたと思ひます。

この二つの目的に向つて勇往邁進の覺悟は既に定まつて居りますが、唯だこの目的を達成するため、種々の改善改良竝に新なる施設に對しては、お集りの有力なる諸氏の後援を必要とするもので、如何に私獨り又は官吏だけが努力しても何事も爲し得るものでなく、必ずや官民一致してこの方針に向つて進まねばならぬ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と考へて居ります。

就きましてはどうか今後御意見ある事は腹藏なく怨へて頂いて、虚心坦懷に御相談致し、全體の意見を合はせて此事に當らうと存じます。重ねて今晩御招きに預つたことを御禮申上げると共に、尚將來の御援助を深く御願ひ致す次第であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

鑛業上より見たる東部臺灣

臺灣總督府技師　高橋春吉

大正三年太魯閣蕃討伐の結果東部臺灣蕃地の出入稍自由を得ることになりましたが、偶々歐洲大戰の影響を受け一般國產獎勵の叫と共に鑛業熱勃興し其結果大正五年鹽水港製糖會社、藤田、三井及久原等の大鑛業家に區域を定めて探檢を許すことになり其後又田中、三菱の兩鑛業會社も之に加はり太魯閣南澳の兩蕃地に各競爭的に鑛物の探險を行はれたる事がありましたが、其結果は遺憾ながら今日まで稼行を繼續して居るものがないのであります。其故或一部の人々の間には東部臺灣は鑛物の必要に應ずべき地方に非ず換言すれば經濟的に稼行し得べき程度の鑛物の存在は誠にあやしいものであると言ふ樣な嘆聲を間々聞かされるのであります、之が爲め東部臺灣に關し何等智識の無い人々よりは非常な誤解を招き延いては鑛業の開發をも阻害する事になりはしないかと吾々としては誠に遺憾に思ふて居る次第であります。然し東部臺灣は御承知の通りの狀態で其大部分と言ふものは今尙蕃界に屬し出入さへ自由でないのである、況んや其當時鑛物探險などの十分に行はれた筈は無かつたのでありませう。其上東部臺灣は山野の跋涉殊に險難の場所であり且つ瘴癘の氣に襲はるゝ等中々困難の所であるから、其當時の探鑛の調査區域と言ふものは比較的容易にして且つ蕃害等の虞なき至極安全なる小區域に限られ隨つて徹底的に探鑛を行はれたものではなかつたであろうと想像

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するのである。何せなれば地質の上から之れを考察しましても當時の探鑛の結果を以て直に全然經濟的鑛物の有無を云々するは事ろ早計ではあるまいかと思ふのである。私共は此上徹底的に調査研究の歩を進めて行くならば良好なる鑛物の發見可能に就きまして悲觀するに及ばざる處の幾多の形跡を見出すことが出來るのである、即三井・三菱・久原・藤田等の四大鑛業會社が花蓮港廳下太魯閣蕃地其他に於て探鑛の結果幾多の露頭を發見せられたのである。其主なるものを上ぐれば花蓮港廳下では三棧溪上流に於ける藤田組・海鼠山・壽村・池南及木瓜山南腹には久原、コーラン社には三井、チキカン溪の上流には三菱、大濁水溪の上流には田中組、蘇澳郡富太社には鹽水港製糖會社(後には藤田組之を繼承す)臺東廳下利基利基には藤田組等が銅鑛其他の露頭を發見したのである、其銅鑛露頭の如きは三十餘箇所もあつて此内十箇所計りは試掘が盛んに行はれたのであつたが、其結果品位の中々良好なものもあつたのでありますが何分交通不便のため一寸手が付かない計りでなく時恰も銅價次第に暴落の悲運に際會したので忽然悉く事業を中止しその後全く寂寞を極むることになつたのは誠に遺憾に堪へない次第である。併し之は鑛物其もの丶價値が見込がないと言ふ筋合のものではなかつたのである。

玆に東部臺灣と謂ひますのは地形地質學上から見て臺灣の中軸を構成する臺北州蘇澳郡「ドーム」角(烏石鼻)より起り蘭崁大元の諸山を迂回して高雄州恒春郡鵞鑾鼻に達する所の中央山脈の背梁以東の地を指すのであるが、臺東廳下にありては海岸山脈を除けば蕃情の關係上今尚ほ全くの處女地域に屬して居るのである。而して此等區域に於て發見せられたる主なる鑛床所在地を擧げますれば、

一、臺北州蘇澳郡蕃地大南澳溪上流ブメ社　(銅　鑛)
二、同　大南澳海濱　(砂　金)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

而して臺北州には以上外七、八箇所に銅鑛の露頭が發見されて居る。

三、花蓮港廳研海支廳「タッキリ」原野及海濱　（砂　金）
四、同　三棧溪原野及海濱　（同　）
五、同　北埔原野及海濱　（同　）
六、花蓮港支廳娑婆溪　（銅　鑛）
七、同　本瓜溪左岸第一溪　（同　）
八、同　同左岸銅文蘭銅山　（同　）
九、同　同溪及初音原野　（砂　金）
十、同　チアカン溪上流　（銅　鑛）

以上の外花蓮港下には砂金又は銅鑛の露頭の發見せられたる箇所は二十以上を擧ぐることが出來ますが、玆には之を省略する。

以下海岸山脈

一一、花蓮港支廳下猫公溪　（石油瓦斯）
一二、同　玉里支廳葵々埔溪　（砂　金）
一三、臺東廳新港支廳下「キナブカ」溪　（硫黃及硫化鑛）
一四、同　臺東支廳都蠻山　（銅　鑛）
一五、同利基利基社北端　（同　）

臺東廳下にも以上の外數箇所に銅鑛其他の鑛物露頭を發見されて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右の外臺灣鑛業規則の取扱に屬せざる鑛物では大南澳方面に雲母があり、花蓮港廳下荖溪の上流には石綿があり、又石材としては至る所に大理石を露出し居り荖溪、馬太鞍溪、雷公火、其他所々に蛇紋岩があり又蘇澳郡及臺東廳下の粘板岩は無盡藏であり或は內太魯閣「ソワサル」社に出る水晶も中々立派なもので現に市中で販賣されて居ります。斯んな具合に東部臺灣には幾多の鑛物存在の形跡を見出すことが出來るのであります。

此等の中でも藤田組が蘇澳郡富太社で發見したる銅鑛は可なり立派な鑛床で品位も中々に良いものでありまして、旣に坑口に大量の鑛石を貯藏し架空鐵索製煉設備等の設計成り將に其實行に移らんとして東部臺灣の鑛業も漸く勃興の曙光を認めらるゝことゝなり斯業者の刮目せし處でありましたが、偶々銅價の暴落に遭遇し經濟的稼行が困難となり今は全く採掘を中止して居る。其他チアカン溪及萬里橋溪の上流に於ける銅鑛露頭の如きも夫々有望な樣に言はれて居りますが、大底同樣の理由で稼行をして居るものはありません。此等は何れも財界好轉し交通開發せられたる曉には立派に物になるだろうとの考からして今尚其鑛區を存置し居るの有樣であります。

元來東部臺灣に鑛物の存在するだろうと言ふ事は、當課發行の鑛產地質圖を見ましても埋藏せらるゝ鑛物の推定富源との間に尙密接な關係のあることを考察出來るのである、言ひ換へて見ますれば地質上より見て相當の鑛物鑛床があり得ると想像出來るのであります。前記の諸會社が種々四圍の事情に支配せられて徹底的ならざりし調査の結果を以て、直に地下に埋藏して居る鑛物の種類と數量とに關し最後の斷案を下したものであると言ふ事は信ずる事が出來ないのである。右は多分現在の經濟狀態と交通上の現狀から考察しまして稼行の時期でないと否定したものではなかろうかと思料するのであります。思ふに鑛山地質的智識が進む

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に連れ同地の交通が開發されましたならば、同地方の鑛山業が有利に經營せられ鑛業の勃興する時機が到來すべきものであると信ずるのであります。唯だ誠に遺憾なことには東部臺灣は今でも蕃情穩でない計りでなく交通も極めて不便の地方でありますから、山野の跋渉を業とする處の吾々鑛業の調査事業は如何に全力を傾注しましても人事の能く盡すことが頗る困難な事情にあるのであります。加之折角發見するも其鑛床は交通機關の不備や交通の不便乃至都市への距離遠大の今日では其搬出に多額の費用が掛るのであるから、其製品の販路を得ることは甚だ困難な事情にあり又東部臺灣には石炭の如き燃料物が無いので金屬鑛物の稼行には附きものである處の冶金製煉事業其他に必要なる「エネルギー」を容易に得る事が出來ない狀態にありますから、之れが交通上の不便と相俟つて該地方に於ける鑛業開發を阻害して居る一つの原因となつて居るのである。

由來鑛業發展の順序としましては申すまでもなく先づ普通一般工業の發達の便がなければ望むも得べからざる次第でありますから、都會地を離れました處の交通不便な邊陬僻遠の地方に賦有する鑛物は其品質佳良であらぬ鑛床も相當大きいものと雖一顧の値だもなく遺棄し顧みられざる實例は決して尠くないのであります。其著しき實例を支那に求めますれば自ら其邊の消息は明かであらうと思ひますが、彼の支那雲南省に於ける鑛物の豐富なることは夙に佛國人が唱導した處でありまして、爾來英佛兩國が同省に垂涎すること多年而も鑛山に向つては未だ何等の施設する處あるを聞かないのである。之は如何なる譯かと申しますれば同省には鑛物が存在しないからではなく、御承知の通り同省は山岳重疊し他省との交通極めて不便なるため自ら一般產業の發達を阻害され商工業は微々として振はず、故に工業的方面の天然資料たる鑛物を必要とすることの少きこと丶交通の不便なることが、折角の鑛物も實の持腐れと言つた工合で經濟的價値を損傷すること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が甚だしきが故で今に稼行するに至らないものと思ふ。更らに此種の實例を吾臺灣に求めますれば、今は昔東部臺灣の玉里(璞石閣)から白米を無代價で求めて當時三四日行程の花蓮港に運び來たりて賣らんには其運賃さへ償ふことが出來なかつたと言ふことであります。玉里花蓮港間にして斯くの如くであるから況んや爾餘僻遠の東部臺灣殊に蕃界の地方は推して知るべきであらうと思ふ。東部臺灣に於ける鑛物の豐富なることは既述した通り想像するに難くないのであります。由來事業の施設とか計畫とか言ふものは簡單な豫想や想像或は推測によりて將來を律し百年の計を建てると言ふことは事業の經營上に於ては危險の最も甚だしきものであらうと思ふ、此れと同樣に善く調査研究もしない內に全然見込があるとか或はないとか輕々に斷ずるが如きことは、眞面目な事業家をして誤らしむるに非らずんば怯に陷らしめ、有望なる地方をして顧みざるに至らしめ徒らに億兆の寶物を地下に遺棄しせらるゝことなしとせず、之れ吾人の最も心すべき事ではないかと思ふ。此意味から私共は東部臺灣の鑛業に關しては從來の調査研究丈を以てしては何んとも言へない立場にありますが、只此までの調査研究の結果から推了しても或は地質的方面から考察しても、經濟的價値を有する鑛床が賦有し得ると推定出來るのでありますから、今後一段の調査研究を要すべき處女區域のあることを高唱して止まないのである。

茲に豫め御諒解を願つて置きたいことは東部臺灣は今尙交通不便なることは吾人の熟知する通りであるが其上鑛物探險上の踏査は吾人の想察を超越したる處の困難があるのであります。而も鑛物は國家の至寶であるから極力開發に力む可きであります。同じ山の仕事ではありますが彼の山林關係の藏林量の調査は吾人鑛物鑛床の調査に比較するならば、其勞力の點に於て將た事業の點に於て易々たること同日の談でなからうと思ふのであります。之れ森林は地表に現出して居りますから一高所より單に見渡した計りでも或程度までは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其蓄積の大要を知る事は大した難事ではないのであります、之に反して鑛物は概ね地殼内に潜在して居りますから必ず一地方より他地方へと殆んど空隙を餘さゞる程度に所謂地押的に調査しなければ見逃すのである、其上踏査地は皆が皆まで事業の性質上山間溪谷を探るの必要がありますから山野の跋渉も並大低ではないのであります。地表に露出して居る所謂露頭其物より鑛床の大小品位の善惡等は大體に於て之を考察することが出來るのでありますが、中には露頭から直に地下の鑛床狀態や品位の如何を全く推測し得ない場合も決して少くない、換言すれば所謂試掘を必要とする場合が可なりに多いのであります。之れ鑛業開發の他の產業に比して困難なる所以でありまして同時に開發を緩ならしむるの一因となつて居るのである。東部臺灣の鑛業開發が遲れ氣味になつて居るのは之が爲めであります。要は鑛山の開發には色々困難が伴ふことを御諒解下されまして、吾人の有力なる後援と十分なる諒解のもとに、一日も早く同地方天與の富源を開發することに致したいと思ふのであります。

時報

臺灣軍司令官更迭

今回の陸軍大異動により臺灣軍司令官菅野尚一大將は軍事參議官に榮轉され、近衛師團長田中國重中將新に臺灣軍司令官に親補され、七月二十八日その親補式が行はれた。

菅野前司令官東上

軍事參議官に榮轉された前臺灣軍司令官菅野大將は、在任滿二年、精勵な軍司令官、熱情ある上官として管下將卒の敬慕するところであつたが、八月一日基隆發の蓬萊丸で東上赴任された。

改正臺灣食鹽專賣規則發布

改正臺灣食鹽專賣規則は七月三十日律令第五號を以て公布、同施行規則(府令)と共に、八月一日から實施された。この改正專賣規則は舊規則が明治三十二年制定以來今日まで何等の改正なく、時勢の進運に伴はず各方面に種々の不便があつたので、今回その大改正を見た次第で、改正の主なる點は、食鹽製造を許可制度に改め、販賣を二級制とし、食鹽運送人は政府これを指定すべく、小賣人の指定を各地專賣官署に移し、食卓鹽燒鹽等の所謂精製鹽も專賣の支配を受けしめ、罰則に於て從來の千圓以下を五百圓以下に改めたこと等であると。

後藤總務長官歸任

伊澤前總督の東京市長問題突發以來、約一箇月間滯京、諸般の用務を帶びて各方面の折衝に奔走された後藤總務長官は、八月一日基隆著の吉野丸で無事歸任された。

上山總督著任

今回大命を奉じて臺灣總督の重任に就かれた上山滿之進閣下は、竹屋一戸兩秘書官を隨へ、七月三十一日東京發赴任の途に就かれ、途中・伊勢大廟・桃山御陵に參拜され、八月五日正午門司發の扶桑丸に乘船して七日午後二時基隆安著、多數の官民に迎へられて、臨時列車にて同四時三十分臺北驛著、總督府各部局長・州知事廳長・渡邊參謀長・其の他文武官民・學校生徒・各種團體の堵列歡迎を受け、四時四十分東門の總

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

督官邸に著かれた。こゝにて官民有志三百餘名の挨拶を受け、總督は之等官民代表者に一々丁寧に答禮して著任第一日の行事を終へられた。越へて翌八日午前九時、總督は後藤長官・竹屋秘書官を隨へ、吉岡州知事の案内にて、臺灣神社に參拜し新任の報告をされた。

官民合同新總督歡迎會

全島官民合同の新總督歡迎會は八月八日午後五時三十分から臺北の鐵道ホテルに於て催され、來會者約八百名非常な盛會であつた。上山總督は後藤長官・竹屋・一戸兩秘書官を隨へ吉岡州知事の案内にて臨場、全島の官民を代表して高木友枝氏の歡迎辭朗讀あり、本島在住外人代表米國領事チャールス・エムデ・ヴォールト氏は歡迎の辭を總督に呈し、總督は之に對して別項所載の如き一場の謝辭を述べ拍手裡に式は閉ぢられて直ちに歡迎宴に入つた。會場は歡喜に満ち總督著任の祝盃は擧げられ主客權然、盛會裡に同七時散會した。

總督の初登廳

上山總督は九日午前十時竹屋秘書官を隨へて總督府に初登廳・後藤長官以下府内外各部局長の出迎を受け總督公室に入り、同十時二十分府内外官衙高等官並に各地方高等官を會議室に招集して、卷頭所載の訓示を與へられ、後藤總務長官は一同に代つて答辭を述べ式は閉ぢられた。かくて總督は軍司令部を訪問し新任の挨拶を述べて再び歸廳し、管下の事務報告を聽取された。

總督官邸の晩餐會と茶話會

總督官邸に於ける新任披勞晩餐會は九日午後六時半から開かれた。後藤總務長官・相原高等法院長・渡邊參謀長・總督府各部局長・州知事廳長・各國領事其他官民有力者約七十名招待、上山總督の挨拶、後藤長官の謝辭があつた歡談裡に八時過散會した。

尙ほ翌十日午後三時から全島の官民六百餘名を總督官邸に招待して一大茶話會が催された。上山總督の挨拶、渡邊參謀長の謝辭があつて相互に乾盃し、主客打寛いで談笑の間種々の饗應あり同四時過盛會裡に散會した。

上山總督臺北巡視

著任後管下事務の報告を聽取された上山總督は八月十一・十二日の兩日に亙つて、高等地方兩法院・商品陳列館・專賣局・高等學校・高等農林學校・刑務所・師範

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學校・臺北醫院・中央研究所・高等商業學校・臺北州廳・同市役所・鐵道部・稅關・憲兵隊・遞信部等在臺北の官衙學校其他を巡視された。

田中軍司令官著任

新任臺灣軍司令官田中國重中將は、十二日午後四時基隆入港の蓬萊丸にて著任、同五時十分臺北驛著、上山總督始め官民多數の出迎に答禮して、軍隊・學校生徒・在鄉軍人團其他一般の堵列歡迎裡を五時四十分階行社著・幕僚竝に臺北部隊上長官以上の伺候及び官民の挨拶を受け、翌十三日は臺灣神社を始め陸軍墓地・故明石總督の墓に參拜し、總督府に上山總督を訪問して著任の挨拶を爲して後、軍司令部に登廳。軍司令部高等官の伺候を受け、次で參謀長以下各部長より現況報告を聽取し、更に會議室に於て軍司令部職員に一場の訓示を爲し、午後五時鐵道ホテルに於ける官民合同の歡迎會に臨まれた。

ロータリー俱樂部員來臺

大阪實業視察團ロータリー俱樂部員平生釟三郎氏外四名の一行は七日午後扶桑丸にて基隆著、直に臺北に向ひ、翌八日から十三日までに高雄・屛東・臺南・烏山頭・嘉義・日月潭・臺中の各地を視察して、三日間臺北滯在、總督の歡迎午餐會・講演會等に臨み十六日基隆發歸阪した。

臺南高商官制公布

臺南高等商業學校官制は十六日勅令を以て公布された。本官制案は豫てから政府部內に於て審議中であつたが、その間幾多の曲折を經て一時その運命さへ危ぶまれたけれども、總督府原案に極めて些小の修正を加へられたゞけで可決公布されたので、關係者一同愁眉を開き愈々九月から開校の運びに至り、十六日附を以て加藤校長以下各職員の任命があつた。

上山總督地方巡視

上山總督は著任以來、事務報告の聽取、在臺北各官衙學校其他の視察に多忙を極められたが、更に十九日から地方巡視の途に就かれた。隨行者は生野交通局總長・坂本警務局長・竹屋・一戶兩秘書官・今川農務課長・若槻視學・梅村技師其他で、十九日臺北驛發、左記日程により各地を視察し二十六日無事歸臺された。

▲八月十九日、臺北發、新竹視察、臺中泊、▲二十日、臺中視察、滯在、▲二十一日、臺中發、日月潭・化蕃視察、司馬鞍泊、▲二十二日、司馬鞍

發、臺南泊、▲二十三日、臺南視察、高雄泊、▲二十四日、高雄・屏東視察、高雄泊、▲二十五日高雄發、嘉南大圳視察、嘉義視察、同所泊、▲二十六日、林業試驗所・農事試驗所支所視察、嘉義發、臺北著。

郵便年金本島施行準備調査

第五十一議會を通過した郵便年金法は、愈々來る十月一日から實施さるゝことゝなつた。しかし臺灣に於ては簡易保險と共に未だ實施の運に至らないので、遞信當局は兩者共一日も早く本島に實施せしめたく從來これに關する下調査を行つて來たが、明年度豫算には更に其の調査費を要求して大々的調査を爲しその實施方を申請すべく目下調査方法につき準備中であると。

貿易會議と總督府

外務大臣主催の貿易會議は既報の如く九月十一日から十日間東京に於て開催され、總督府も該會議に參加することゝなつた。依つて總督府では印度及び南洋に於ける企業、投資、貿易の方針に就き各關係官の下打合を爲し、總督府として之に對する意見を纏め會議に臨むことゝなつた。

因に總督府は從來小規模ながら南洋開發に就て調査をして居つたから今回の貿易會議には適切なる意見を開陳すべく、愈々之が實行期に入れば臺灣は最も有利なる地位にあり、今日までの南洋調査は茲にその效果を充分に發揮することが出來るであらうと。

本島農業電化の魁

農業電化の聲漸く識者の間に高まりつゝある折柄、臺北州七星郡士林庄社子に於ては、今回電力揚水灌漑工事を竣成して、本島に於ける農業電化の魁をなした。

同地は新店溪と基隆溪との合流地點に當り、近く豐富なる水流あるに拘らず、土地高き爲め田圃の灌漑に苦しみ、僅に滿潮時に龍骨車によつて揚水して居つたのであるが、今回電動機附喞筒を設置し第二期作から揚水灌漑することゝなつた。

（以上八月二十六日記）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣森林感

臺灣總督府高等農林學校助教授　青木繁

一、森林政策の位置

統計によれば臺灣の林野面積は二百六十萬町歩餘にして全地積の七割に當る。之を日本全領土の各地方別に見るに樺太の九割二分、朝鮮の七割一分强、臺灣は七割一分弱にして第三位である、北海道は五割八分、內地府縣は五割七分である。之を世界に見るに此の比率の最大なるも三乃至四割に過ぎず、されば臺灣を世界第一の森林國也とするのは毫も誇張の言辭ではない。從て國土の七割と云ふ擴大な林野を合理的に利用するとせざるとは日本の產業經濟其他萬般の上に至大の關係がある。而も林野は其天然要素と經濟事情とによりて林業の經營に俟つの外はない。而も日本特に臺灣は其地形と雨との關係上從來洪水と旱魃との災害に見舞れ續けてゐる。尙將來水力發電の基礎發達は臺灣工業立國の第一條件である。之が爲め植林をなし水を理

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し所謂常水を涵養して水力の利用を增進安固ならしむるを要する。尙又現在臺灣に於ては數百萬人の林業勞働者を年々消化してゐる、況や林業を收約にし擴張すれば年々千萬、千數百萬の勞働者を必要とする。從て過剩勞働者を消化するには林業を振興するのも一策であり、やがて勞働問題の對策である。內地の公有林官行造林は林業本來の目的の外此の意味をも含んでゐるのは勿論である。若しそれ臺灣全土が綠化されたる時の臺灣の風物の美化、其保健上の效用は云ふまでもない。更に之によつて木材を得、收益を得、又水を治めしむべし。卽ち臺灣の產業政策は森林政策を中心とせなければならぬ。從て又統治の根本策の一つである。之を輕視する時臺灣の凡ては永續的でない、勿論產業は合理的に進步發展せず。實に森林政策は臺灣の重大なる政策の一つである。

二、林相と生番

林相別林野面積に就て見るに立木地は樺太の八割七分を最大とし、北海道八割七分弱、內地八割四分弱、朝鮮八割强の順序にして、臺灣は五割九分弱で最小である。從つて未立木地は臺灣の四割一分を最大とし、朝鮮二割弱、內地一割六分强、北海道一割三分弱、樺太の一割三分弱を以て最小とする。從つて今後日本は其未利用林野の利用開發上、特に臺灣は最も重大、急速に考へねばならない。而て臺灣の林野をしかく荒廢せしめたるは本島人にして、生番は亂伐燒棄なすも造林をなし又其狩獵の保護の爲め彼等は本能的に森林を愛惜する。是れ番人占據の附近必ず鬱蒼たる原生林を殘存せる所以である。生番は臺灣森林の恩人なりとの側面觀は全然外れては居ない。

三、臺灣森林の名と實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣には阿里山、太平山、八仙山其他各地に針葉樹や濶葉樹の原生林があつて殊に阿里山の名は內外に高い。從つて臺灣は恰も木材の生產無盡藏の如く考ふる人士もある。又樟腦は專賣收入年額千二百萬圓、臺灣歲入中優なるものであつて、樟腦と云へば臺灣を想ひ、臺灣と云へば樟を直ちに聯想すると云ふ風に著名である。而も臺灣木材の生產は需要を充すに足らず、樟腦の原料今盡きんとして徒らに人造樟腦の跳梁を見つゝあり。而も統計に見るに臺灣は大正元年以來木材は輸移入超過の一方で例せば大正十三年の如く輸移入超過合計八百六十三萬圓で、內地よりの入超高七十萬圓、支那より五百七十八萬圓餘、其他の國より二百十五萬圓卽ち外國よりの輸入超過高七百九十三萬圓餘である。實に臺灣は森林國でありながらかくも多額の木材を島外よりの輸移入、殊に外國より購入してゐるのである、而も現況を以てせば將來も依然かゝる多量の木材が入超さるゝであらうことは推察するに難くはない。面積に於て樹種の數の多き點に於て、林木生長の迅速なる點に於て、勞銀の低廉に於て、山地免稅の點に於て、一般物價より材價特に騰貴の傾向ある點に於て・等々・何れも臺灣が林業の經營につき天惠的なるにも拘らず、又經濟上有利なるに拘らず林業振はざるは遺憾千萬である。又樟腦の如きも最近人造樟腦の擡頭によりて市場を攪亂されんとしつゝあり。蓋し伐採製腦のみに專らにして後繼林の造成之に伴はざりしが爲め、原料蓄積の缺乏により製腦經濟を不利ならしめてゐることも亦我れに不利なる一素因である。之を要するに臺灣は森林國たる實を全然擧げて居ない、徒に林野のみ廣く立木の伐採のみを以て林業の全部なりと考ふるものゝ所業に等しい。是れ國家百年の將來を考慮せざるの甚しきものと云はねばならぬ。先づ臺灣は阿里山森林を誇る前に、擴大なる未利用林野の利用と現在無價値の林相の改善とに努めねばならぬ。要するに森林國たる內容を充實するのが急務、內容充實すれば宣傳は不要、桃李もの云はざるも下自ら徑を成すのである。

四、伐採と造林

臺灣は其國有林野は勿論民林に於て尙ほ擴大の未利用面積がある。之が造林の急務は其木材需給上、土地利用上、其他有形無形の效果を收むる爲め當然の施設である。今其造林と伐採との關係を見るに、假に大正十三年度に就て見るに伐採面積官民を通じて一萬四千七百甲餘、材積二百九十五萬六千石餘である。故に一甲約二百十石である、今立木利用率を七割と見る時は此の立木材積は一甲三百石となる。然らば同年度造林面積如何と見るに、官營民營を通じ九千甲餘である、今本島に於ける過去及現代に於ける造林成績より打算して經濟的伐期に於ける一甲當材積を推定するに、勿論一甲一千石を豫定するの過大に失するを知るも、今假に多く見積りて一千石とし利用率を七割とする時は、此九千甲の伐期立木材積一甲七百石、計六百三十萬石となる。然るに事實此造林面積中には保安林造林三百二十甲あり、又成績不良の箇所其他伐採制限の箇所もあるべく、更に火災の被害も見積らねばならぬ之を要するに過去及現在の造林技術成績より、九千甲中利用し得る面積は結局半減すべし。從つて事實利用し得る材積は三百十五萬石となり同年度の伐採を償ふに足る。然も此九千甲は今後數十年後に利用せらるゝのであつて、其頃には年々の木材の需要增加の爲め三百十五萬石にては不足なること明である。且これは一甲一千石と云ふ樣な立派な森林が造成さるゝものとしての計算である。故に造林面積は其年度の伐採面積(勿論材積に就ても同じ)に比して數倍以上でなければ木材の年々の需要激增による需要を安心して充分に供給し能はぬ。卽ち本年一本伐採したから一本植えて置けばよいとの考へは木材の需要の增加と云ふことを顧慮せぬ淺見に基くものである。此誤りたる考へは內地、臺灣は勿論世界に於て之を見るところにして、現今「木材饑饉來る」などと八ケ間敷なつた一要因である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、國有林と民林

所有別林野面積に就て見るに内地府縣林野全面積千六百八十五萬町歩中國有四百萬町餘私有は實に八百萬町歩である。故に内地の林政は民林に特に重きを置かねばならぬ。民林の經營の適否は日本内地の產業經濟に直接至大の影響を及ぼすからである、而も民林の特性として、伐るに專らにして植ふるを怠り勝ちである。從つて林業資金融通問題や、民林造林國庫補助問題、森林火災保險の問題や立木法の改正問題等が議會の一般社會經濟上の大問題となりつゝある所以である。臺灣は之に反して全林野面積二百六十餘萬町歩中民林は僅に十八萬餘町歩にして、他は殆ど全部國有である。是れ一見臺灣の民林對策は重要なる林政問題ならずとするも、彼等は森林の伐採殊に專らにして、開墾すべからざる箇所を開墾し、國有林まで無斷開墾して彼の山地急傾斜地に於ける農作園藝を現出してゐる。之が爲め彼等の此の業も亦永續的に生產し能はぬ、從つて開墾すれば他に轉じ林野を荒廢せしめることと現狀のよく證するところである。而も山火の名物なるに至つては慨嘆禁ずる能はざる所で、山火の原因たる乾燥期をもつ臺灣の氣候上の然しむるところ多しとするも、彼等島民の無自覺に因る開墾火入の跡始末や日中山野に於ける炊事跡の火の放置によること亦極めて多く、即ち乾燥なる天與に配するに島民の山火に對する無自覺を以てすれば山火起らざらんとするも得べからずである。民林の火災はよし彼等の損失にして而も小面積なりとするも、惹ては之に近接の國有林をも燒失せしめる。年々の造林樟林の燒失極めて大なるは其一例である。故に臺灣林政中重大なるものゝ一は山火防止の對策である。若しそれ民林に對しては或は伐採を制限し、開墾を制限し、或は造林を命じ、施業方法を命ずる等法の力をかりて以て刑罰を嚴にせざれば效果少い。尙竹林林面積全島三萬九千六百町歩中民林九千五百町歩あり、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

林業の性質と私經濟企業として有利なる點とに於て、竹林業の發達改良を奬勵助成するは民林對策中重なるものである。而も臺灣竹林施業法さへ研究され居らず、今後大に研究調査を要する。而も民林十八萬町は主として想思樹林業である、故に木炭製造法の改良及其普及をはかり、內地へ輸送する途を講ずれば是亦民林對策としての重要なるもの丶一である。又傾斜地に於ける農作園藝は表土の流失により經濟的ならず、其重なる茶に至りては臺灣貿易品中重なるものなるも、土地關係を不良にし而も奢侈品である、之に代へて相思樹を植へ、十數年宛茶と相思樹とを交互栽培して收利の大を永續せしむるを要する。若しそれ擴大なる國有林に至りては大に財政上の目的を達する如く收益林業を經營し、此の利益によりて財政を安固たらしむるを要する。尙國民經濟上の要求に應じての林業をも經營し地方的、國家的木材生產をはかり、更に又公益林業を經營して森林の美的、慰安的、享樂的效果を收めしめ、所謂保安林の效能を發揮せしめて其有形無形の效果により國民及地方民の物的心的慾望を滿足せしむる方策を取らねばならぬ。之を要するに臺灣の林業は今後一層の進步改良擴張の必要にせまられてゐる。尙林業の本質上より、又企業としてより、更に又社會政策的方面より考察して、林業は官營を理想とする、是れ林政學者、財政學者の指摘するところで臺灣に於て民林の面積小なるは此意味に於て極めて理想である。要は國有林の充實をはかるに在る。山火の防止を徹底的にはかる手段を硏究せねばならない、之が爲め乾燥期に於ける山火防止警察官の臨時增設も有效なる一法であらう。

六、日本と森林敎育

日本は從來農を以て國本とする。將來も商工と對立して國本の重鎭である。從て農林業の合理化は農林敎

育の普及振興に俟つところ極めて多い、卽農林人凡てが農林技術者であり、智識者であり、經濟人であり、自治人であり、善良の公民であらねばならぬ。農林人にあらざるものも農林に對する趣味理解あるは日本人として必要と信ずる、卽ち工人も官吏も、男も女も若きも老人も、貴族と云ふものも政治家も敎育家も企業家も凡て之を必要とする。何となれば日本は到る處これ田園と山野であるからである。そして日本人は米を食ひ木材の家屋に住んで居るからである。農林產物は實に生活の必需品にして之が供給少く從て價高ければ人は爲めに生活に苦しまざるを得ない。又都市人士は其一步を市外に出でんか田園山野の美的衞生的享樂的恩惠に浴すること極めて大である、田園山林人も亦不智不識の間に之を享樂にしつゝある。農林大學敎育專門敎育の二者は專ら林學、林業の硏究者を養成し、高等技能家を輩出せしめて下級技術者を指導せしむるを以て使命とする。故に多く存するを要せず。現在東京・北海道・九州・京都大學に林學科あり。專門學校として東京・札幌各大學に林學實科あり、盛岡・鹿兒島・三重・宇都宮・宮崎・岐阜 鳥取・水源・臺北に高等農林學校あり、今や日本としては却て卒業生は需要以上にあり、就職難の爲、他の智識階級と共に大なる現象を呈してゐる。是れ學校の設立過多、學生の養成多きに過ぎつゝある所以、日本の經濟社會が學校の增加に比して之を要求せざるが爲めである、當然の歸結である。

然るに中等敎育以下に在りては卽ち其目的を異にし、實際の農林人を養成するに在る。自分田園山野に働き日本の農林業の合理化に精進せしむるを目的とする、而も是等卒業生も今や都市生活を憧れ、官吏を欲し會社員とならんとし自分農村に止まるもの年々減少しつゝあり、憂ふべき事に屬する。

然らば、現今日本の此種學校がどの位分布して居るかを見るに、所謂甲種（高等小學卒業程度を入學資格とするもの）全領土（樺太になし）を通じ最近の統計に就て見るに林科の設けあるもの二十六校（內吉野・木曾・

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日田等は山林學校である)、農林科混合せるもの十五校卽ち林學科を獨立的に設けて敎育しつゝあるもの四十一校とす。此内朝鮮一、北海道二、沖繩一にして內地三十七校である。尙農科其他にて林學大意を敎ゆる學校百十六校あり、內北海道一、朝鮮三にして內地百十二校となる。尙乙種(小學卒業程度を入學資格とするもの)百八十七校であるが是等は最下級の農林智識技能の敎育を目的とする。內朝鮮十八校、臺灣嘉義一校、沖繩になし、故に內地百六十八校分布す。臺灣には大正十五年度宜蘭に甲種一校開設し、嘉義も亦甲種に昇格せるを以て二校ある譯である。乙種なし。されば山林國臺灣、農業國臺灣の此種敎育が內地に比し特に臺灣たる事情を顧慮して居らぬやうに感じられる。尙は商・工・水產等皆然り。而も大正十七年度より大學の開設は既定の計畫にして大正十五年度發表の大學創設準備費二十四萬九千八百六十八圓を臨時部に計上し尙十五年度乃至二十年度に至る六年間に計二百九十萬圓餘を大學新營費とされてゐる。大學の使命に就ては勿論文政の作興上、彼是れ議する餘地もないが、緊要なる農林中等敎育等の產業敎育にも更に、其の充實を希望する。

以上は學校敎育を專らとしたが、更に日本の品性上公民敎育上農林思想の涵養普及を急務とする。殊に森林思想の涵養普及には一段の努力を要する、蓋し國土の七割は林野にして世界中如何なる國もかくの如き國土に對する森林面積の大を示してゐないからである。併も現に一億圓に近き木材の輸入超過を示してゐる日本は山林國たる名に恥ぢねばならぬ。森林問題は國民全體に係はる問題であるから國民的自覺に俟ちてやるの外はない。臺所の薪炭の消費節約も主婦の森林思想に對する徹底によりて始めねばならぬ。近來山火の瀕々として起るのは憂ふべき問題であるが、これ亦國民的自覺に俟ちて、卽森林思想の涵養によりて登山者・旅行者・其他一般國民の山野に於ける煙草の吸殼、焚火に注意を要する所以を感得徹底せしむるを要する。一度

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山火發すれば數萬、數百萬圓の富を烏有に歸する、而も一旦發すれば防火は困難である、故に森林思想の普及涵養によりて未然に之を豫防するは森林警防の要訣の一で山火防止の秘訣である。

吾人は學校教育は其上下、種類を問はず森林思想、智識の普及涵養の必要を認める。一般國民に對しては國に於て、地方廳に於て、町村に於て、都市に於て、農村に於て、森林に關する講演を屢々行ひ、又林業技術の講習會も地方の情況により今後一層屢々之を行ふて林業技術の進步改良をはからねばならぬ。臺灣に於ては製炭法改良・竹林施業改良・竹細工・其他なすべき事は多い。

要するに森林國たる國狀に合致する如く、其學校教育特に中等以下に於て又公民教育として森林思想、智識技能の涵養普及を努むるを要する。蓋し日本の國情により教育問題中重要の一に屬するものと信ぜられる。

七、林政機關

內地の森林行政は農林省山林局之を統制して居る、而て現今國有林は青森・秋田・東京・大阪・熊本・高知の六營林局に分轄し其下に百九十二の營林署を置きて之が管理及營林を實行し、所謂林區制度を施行し諸他の行政より獨立してゐる。又御料林は帝室林野局之を主管し、而て地方廳は內務行政の系統に於て國有林及御料林以外の一般林政をやつてゐる。而て以上の各機關に於ける專問技術官の配置は植民地その他の各地方よりも一段と數に於て質に於て行き亘つてゐる。故に內地の林政林業は其所有の何れを問はず他地方よりも進步的であり合理的である。例せば官制上森林主事現在の定員につき比較するに內地は千二百八十九人にして擔任面積一人三千百町步、北海道は二百三十四人の一人當一萬〇五十二町步、臺灣は百三人の一人當二萬三千

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

町步、朝鮮は百八十八(營林廠は別)の一人當五萬二千七百町步、樺太は四十九人(臨時)の一人當五萬三千町步餘となつてゐる。卽ち森林主事一人當り國有林野面積は右の通り著しき差がある。以て森林保護取締の粗密を知るに足る。

今私は臺灣の森林行政に就て見る。

臺灣は完全林區制度を施行せず、未だ全く統一されず、且各機關の活動に緊要なる技術官の配置が數に於て質に於て著しく行屆いて居らぬ。而も大正八年臺灣森林令の發布以前に比する時は其改良進步の見るべきものは極めて多い。卽ち臺灣の林政・林業は森林令の發布を一轉期として其理想へ一步一步と近づきつゝあり、合理的の度を高めつゝある。吾人は此れに關しては特に注意し、時に上司に意見を述べ又大正十三年二月以來臺灣時報の紙面を借りて以て前後三回之を論じた。而も今大正十五年五月鯉幟空中に跳るの時に於て臺灣の林政統一問題が第二段の解決を見たのを臺灣のため日本の爲め欣ばざるを得ぬ。

之を法規上より見るに、大正八年以降發布に屬するもの極めて多く而もこれみな臺灣林政林業の合理化の爲めに發せられたるは勿論である。例せば「臺灣森林令」(大正八、二、四、律令第十號)を初めとして、其林政的法規として「無斷開墾及山火事取締ノ件」「樟樹取締ニ關スル件」を發し、又產物處分に關しては「林產物賣渡價格查定書資材價格算出ノ方式……件」を定め森林收入を策り、又樟樹保留に注意し、又造林に關しては「臺灣總督府造林事業規程」を訓令し、「海岸砂防造林事業費補助規則」其他之に關聯するものを府令し、近くは「民林獎勵監督事業費補助規則」を發し、又機關も相當變遷した。卽ち大正九年總督府官制の改正に伴ひ營林局廢止され代りに殖產局附屬營林所現はれ今日に及んで居る、尙大正十三年末は例の行政整理に伴ひ又々官制改正された。日本の官廳の新設・廢止・合離は世界的に有名なものであると聞く。殊に臺灣は然りである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品物でもあちこちやる間には破損もする、たまには紛失もする。大に考ふべきことである。今大正十二年末の改正以前の臺灣林務機關の系統を圖示すると次の通りである。

中央官廳 ／ **實行機關**

- 總督府
  - 殖產局
    - 林務課(1)（外六課）
      - 林政係
      - 林業係
      - ……
        - 樹苗養成所（嘉義）(イ)
        - 殖林所（旗山）(ロ)
        - 苗圃（嘉義・鳳林・玉井）(ハ)
        - 地方廳委托(ニ)
    - 營林所(2)
      - 營業課
      - 作業課
      - ……出張所（阿里山・八仙山・太平山）(ホ)
  - 專賣局(3)
    - 腦務課(4)
    - 造林課(5)
      - 地方廳委托
    - ……支局出張所（九箇所）(ヘ)
  - 內務局(6)
    - 地方課……地方廳
  - 中央研究所(7)
    - 林業部……支所（二）
  - 地方廳
    - 州(8)
      - 勸業課……林務係(1)及(5)の事務委托

- 郡(9)
  - 地方課……地理係(6)の事務系統
  - 理蕃課……(4)の事務系統
  - 庶務課……林務係(8)の系統
  - 森林主事
- 廳(10)
  - 庶務課……勸業係(1)及(5)(6)の事務委托
  - 警務課……警察官吏(4)の系統

(1) 大正九年六月訓令第百號事務分掌規程參照
一般國有林野の保護取締造林產物賣下、民林監督

(2) 總督府官制第十七條に依る指定林野に屬する斫伐造林
大正九年九月訓令第百五十七號事務分掌規程參照

(3) 臺灣總督府專賣局官制明治四十四年五月勅令第百十六號參照樟腦專賣事務及造林事務並樟樹及附帶材處分

(6) (1)に同じ、官有林野及開墾地の調查實測處分事務

(7) 中央研究所官制大正十年八月勅令第三百六十二號參照林業試驗事務

(8) 臺灣總督府地方官々制大正九年七月勅令第二百十八號參照

(9) 郡事務分掌規程大正九年八月訓令第百四十五號

(10) 廳分課規程明治四十二年一月訓令第百五十九號

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を要するに隨分雜然たるものであつた。

然らば大正十三年十二月行政整理の結果如何と云ふに次の如し

中央官廳　　實行機關

- 總督府
  - 殖産局
    - 山林課
      - 林政係 (1)の(イ)(ロ)(ハ)(ニ)
      - 森林計畫係 (3)の(5)へを合併す、
      - 一般造林係
      - 樟樹造林係
      - （大正十四年五月制定）
    - 營林所 (2)——從來と變りなし
  - 專賣局(3)——樟腦課となり造林課(5)は山林課へ合併す。
  - (6)(7)(8)——從來と變りなし、樟腦造林の系統が山林課に屬することゝなる。

大正元年度殖産局より專賣局主管となりし樟樹造林事務は再び殖産局山林課に復歸したのであるが林政上これの方が合理的である樣だ。即ち林政統一への道程として然るべきものである。因て吾人は臺灣時報八月號に少し書いたところであるが即ち「林業的施設の爲めに國土の大部分を提供せねばならぬ臺灣國有林野の處分事務を其專門家たる山林課に移管するの妥當なるを信ずるのである。」故に土地事務も亦山林課に移管統一するの必要ありとした。而も此希待は若干實現された、即ち大正十五年一月十六日訓令第五號を以て「營林ノ用ニ供スル國有林野ノ調査、計畫、實測、管理及經營ニ關スル事項」が山林課の事務とされたことであ

る。卽ち處分に關する權限は依然內務局の主管であるけれ共右の權限が山林課に移つたのであるから實質上は殆んど吾等の主張通りとなつた次第である。

而も本年五月二日訓令第三十六號及三十七號を以て更に事務分掌規程が改正され山林課主管の造林事務は悉く營林所の事務となつたのである、而て營林所に新に造林課生れたから結局山林課は一般國有林野の產物處分の外は殆んど所謂林政的業務を主管し營林所は指定林野の斫伐、造林を經營する形となつたのである。前者に主として一般林野の行政を司り、後者は國有林野中指定の林野の林業經營にして恰も國有指定林野に對して林區制度を施行せる形であつて卽ち其實行機關は新に告示五十八號を以て發表されたる八出張所である。今現在に於ける臺灣林務機關を表示すること次の如し。

中央官廳　　　　實行機關

- 總督府
  - 殖產局
    - 山林課(1)
      - 林政係
      - 森林計畫係
      - ……地方廳（五州、二廳）
    - 營林所(2)
      - 庶務課
      - 作業課
      - 造林課
        - （庶務課・作業課）—出張所（羅東、臺北、新竹、臺中、嘉義、旗山、恒春、東部）
        - （造林課）—派出所（九箇所）
  - 內務局—地方課(3)
  - 專賣局—鹽腦課（前と變りなし）
  - 中央研究所—林業部（前と變りなし）
  - 地方廳(4)—州及廳……林務係（國有地の委托造林無くなる）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以下少しく之等につきて記述する。

(1) 山林課の事務は次の通りとなる、

一、林野ノ取締保護及其ノ監督ニ關スル事項

二、民林ノ奬勵及其監督ニ關スル事項

三、保安林、部分林ニ關スル事項

四、林產物處分ニ關スル事項

五、森林調査及造林ノ監督ニ關スル事項

六、營林ノ用ニ供スル國有林野ノ調査、計畫、實測、管理及經營ニ關スル事項

(2) 大正十五年五月二日訓令第三十七號參照、

營林所長は殖產局長を以て之に充つること丶なる。

指定林野の造林、斫伐、產物販賣其他附帶業務を司る。

(3) 內務局地方課、大正十三年十二月訓令第百二號、大正十五年一月訓令第五號參照、

十、官有林野及開墾地ノ調査、實測、管理及處分ニ關スル事項但シ第二十三條第八號（山林課事務中「六」）ヲ除ク。

(4) 地方廳は今度の改正により著しき變化を來した、即ち從來委託實行しつゝありし造林事業が全部引き上げられたのである。而も從來林務關係總經費の大部分は官行造林費であるから地方廳の林務經費は著しく縮少せり。從て人員も減少する筈也。例せば地方廳に於て國庫林務費の最大なる臺中州に於ては合計經費（大正十三年度）十二萬七千九百圓餘の內樟林作業費（樟樹委托造林の分）五萬三千圓餘、特

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

別經營造林費（此内に產物處分費を含む）二萬三千圓弱、保安林費（此内調查及標柱費を含む筈）五千二百圓餘合計八萬一千二百圓即ち從來の經費の半額以上が今後減ずる次第である。故に國庫の配賦によりて活動する國有林產物の處分事務、森林取締事務民林監督奬勵事務に伴ふ經費と地方廳が自治體として活動する砂防造林事業經費其他基本財產造林費、製炭改良費、記念造林費等があるが例せば大正十四年度州費計十七萬七千圓弱であつて各州平均四萬圓に充たず。

之を要するに今後の地方廳は一般林野の保護取締と一般國有林產物處分とが委託されるのみであるから經費も僅かで僅々三四萬圓である。されば地方廳としてはむしろ國庫の委託事業よりも自治體としての活動が主たるものである、其他一般林野行政事務としては從前通りなりとする。從來の地方廳はどちらかと云へば仕事の割合に職員が充實しなかつた故重荷を負ふて坂をのぼるの感があつたが、今回の改正により其重荷がとれてむしろ仕合せである。今後は其基本財產造成、民林奬勵、就中竹林の改良や製炭法の改善等に力を致せばよい。森林主事に至りては從前と異るなく其任務を果すべきであるが、別にも述べた通り今後特に火災防止取締の目的を以て、其定員の增置を要する。

尙今回の改正の趣旨は要するに臺灣國有林野を分ちて一般林野と指定林野となし、前者に於ける政策的の任務は山林課之に當り、後者に於ける斫伐、造林、販賣即ち主として官企業により木材の生產をなし財政上、國民經濟上の目的を達せんとし、尙跡地の造林及指定林野中の要急造林地の造林をなし木材生產の保續を企圖する上に遺憾なからしめんとするに在る。之が爲め從來地方廳に委託せし樟樹造林、特別經營造林、保安林造林の業務を、委託を打切り直接となしたるは極めて適切の措置である。之の直接の效果としては從來利用せられざりし豫定地内立木がよく利用さるゝに至るべく、又專ら適地適木の主義によりて造林を合理的な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らしむべく、凡て利用造林の計畫が一定方針の下に樹立せられ實施し得らるゝことである。吾人は營林所が所謂獨立官衙たる所以を發揮されんことを希望する。

尙出張所八箇所の位置も適當にして吾人の期待する處と略ば一致した。

尙指定地として嘉義、臺中、羅東各出張所の夫の外は從來の山林課苗圃、殖林所の事業區域及樟樹造林地並豫定地を包含せしむべきは明である。玆に於て吾人は從來の造林成績に鑑み急速に此等造林地及豫定地に對する利用、造林の計畫を樹立せんことを希望する。而も常に適地適木主義を實行し經濟を顧慮し事業の堅實を期し豫算不足勝なる如き施業をなさゞらんことを希ふものである。

若しそれ全島國有要存置林野に對する施業計畫調査事業に關しては、高所より之を達觀し、其收益林業に就てはよく木材の需給關係、將來輸出材種の關係と自然要素とを基礎としてよく財政上の目的を達する如く努むるを要し、其他公益林業に就ては或は治水、或は國民の保健、享樂或は國土保安の關係等をよく考慮して遺憾なきを期せねばならぬ。吾人は、本年度より開始の臺灣治水森林調査、施業案の編成事業の所期の目的を達する如く邁進し、之を完成して臺灣林政林業の基礎を確實にし、特に臺灣の林業政策が臺灣產業政策を調和し、臺灣の財政經濟を良好にし又公益政策の本領をも完成せしめんことを期したい。

之が爲め百尺竿頭に一歩を進めて山林課營林所を打ちて一丸とし之を統一するを要する。從て完全林區制度の施行の要あるは勿論で、是れ早晩實現せざる可からざる問題がある。而も實現せしむるも今日の林務經費四—五百萬圓にて事足るであらう。よりよき制度は一日も早く實現改正するを利とする。

中央研究所に至つては規模內容極めて貧弱にして、林業試驗らしきもの一つも發表されざるは遺憾である。

吾人は最近年々僅かに五萬圓に達せざる「林業部費」の貧弱さに呆然たらざるを得ず、林業部全體は農業部の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一科にも及ばないのである。其外觀、内容に於て「吾人は之改革の要あるを特に高稱したり。若し林業部費が現今よりも倍加され、職員も增加されたる場合、之を殖産局附屬に復歸するも現在のまゝとするも問題でない。要は林業試驗場らしくするにあり、かくて初めて林業部の使命を果し得るであらう。

尙機關は人を主とする。されば其人を得ると得ざるとは其機關の活動に直接關係する。法學萬能は日本の通弊である。餅屋は餅屋ならざる可からず、船頭は船を繰ること自在なるも自働車の運轉手は出來ず。凡そ農林業、交通、土木の如く技術を本體とする行政機關の人は技術家であらねばならぬ。既往は追はず、吾人は船頭をして自働車の運轉手たらざらしめざらんことを事業の進步改善の爲めに希望せざるを得ず。

八、民林對策の一つ

内地に於ては部落の附近の林野は概ねよく造林せられてゐるが。臺灣のそれは到る處、凡そ汽車の沿道、トロの沿線の見渡す限りの林野は立木を缺ぎ開墾され綠林を見ることを得ず、只人屋の周圍に刺竹の防風林あり、場所によりて想思樹の造林の成功せるを見るのみ。

内地に於ての薪炭の價格の高騰は注意すべき點なるも、臺灣のそれも同樣である。薪炭價格の高騰は國民生活の一脅威であり之を燃材とする產業發展上の障碍である。

臺灣に於ける民林は十八萬町にして、此内未立木地は其四割に過ぎ、而も私企業の目的として竹林業は臺灣に天惠なるものである、故に燃材生產の目的を以て、或は竹林業の經營によりて此の未立木地を利用せねばならぬ。利用するとせざるとは私人及地方經濟に至大の關係がある。而も私人は資本に乏しい、尙山火の危險もある、故に政府は宜敷く造林費國庫補助を爲し、又資金を出して森林火災保險事業の發達を促進する

を要する。植林すべしと云ふのみではいけない、安心して植林し得る如くせねばならぬ。是れ對民林政策の重なる一つである。

九、森林收入

林業綜覽によりて各地方別國有林收支比較表を見るに大正九、十、十一の三箇年度平均內地は收入三千二百三十五萬圓餘にして支出は千五百四十二萬六千圓弱差引收入高千六百九十二萬五千圓、北海道は收入四百六十六萬九千圓餘、支出二百六十五萬二千圓餘差引收入高二百〇一萬七千圓、樺太は收入二百七十八萬四千圓餘、支出百五十萬五千圓餘、差引收入高百二十七萬九千圓弱にして何れも支出よりも收入大也。然るに朝鮮は收入三百六十七萬圓支出四百五萬三千圓差引支出高三十七萬三千圓、臺灣は收入高三百四十二萬八千圓、支出四百十六萬一千圓餘差引七十三萬三千圓餘が支出超過となつてゐる。各地方共所謂森林國でありながら內地、北海道、樺太は共に收支相償ひ尙餘りあるに拘らず朝鮮及臺灣は共に支出超過である。これによりても前三者は後者よりも林力に富み後者は之に反するを知る、然も通じて見る時は日本の國有林は收入四千六百九十萬圓餘、支出二千七百七十九萬圓差引收入超過高一千九百十一萬四千圓餘也、卽ち全國有林面積二千三百九十六萬九千町步なるが故に一町步僅に八十錢に過ぎず、之を戰前に於ける獨逸の官林收入の二十圓乃至三十四圓(小川郷太郎氏による)に比する時は著しき差である。今後日本の林業の進步改良を必要とする所以である。

若しそれ朝鮮、臺灣の支出超過は合併又は領有前に於ける林野濫伐を意味するものにして、現代に於ける支出の超過は從來その復舊工事費と見るべく、而も將來に於て禿山變じて鬱蒼たる綠林と化すれば、朝鮮及

臺灣も亦木材の需要圓滑となるべく而も之が其有形無形の森林效能を發揮して、一面國家財政を安固にし國土の保安、並びに其美的・衞生的、享樂的效果を與ふべく、況や治水事業の完成後に於ける水が發電用常水の涵養さるゝに於て其工業立國主義を實行せしめ得べく、其他洪水による年々の被害も除去される。吾人は敢えて朝鮮及臺灣が支出超過の現狀に在るを嘆ずるよりもむしろ此以上に多くの支出超過あるを欲する。就中造林費と林野取締費と林業試驗費の增額をはかる必要ありと信ずる。

十、專賣樟腦問題と對策

專賣樟腦收入は最近年額千萬圓餘にして吾臺灣財政の有力なる財源である。然も之が原料樟木の蓄積豐富ならず、且步留惡しき原料は蕃山深く點在し、而も製腦法幼稚にして領臺前後と大差なく、又會社組織は人件費徒らに多い是れ樟腦生產費の遞增する所以である。尙之が造林事業は其成績豫期の如くならず、是れ近來人造樟腦の擡頭に依りて俄に專賣局の頭痛の種を增したる所以である。吾人は科學の偉大なる力を信ずる、而も之が爲め專賣樟腦が人造樟腦の爲め全然驅逐されようとは思はぬ。況や樟腦造林が將來萬々一製腦用として全然必要なきの時代來るとするも、用途廣大にして利用されざる事は無いと思ふ。而して森林帶の概念として、樟の臺灣暖帶林に於ける主要なる位置は昔も今後も異なる所はない、即ち天然要素と土地利用經濟との關係に於て、國家事業としての樟樹造林は臺灣としては當然行はねばならぬ事情に在る。

吾人は天然樟腦が彼の天然藍の如き悲境に陷ることなきを信ずる、其原料に於て天然藍は大量ならざるも、合成藍の夫はユール・タールで殆ど廢物の如きものである。人造樟腦の原料は松類の樹脂で、天然樟腦も亦同樣である。故に將來天然樟腦が其優良なる品種の備蓄豐富となり製腦方法改善され、結局低廉なる生產費

を以て生産さるゝに至らば其世界市場を支配すべきは昔と異らざる可し。現時に於ける人造樟腦の擡頭は勿論一時的現象に過ないであらう。蓋し時々割安に濫賣するのは日本樟腦に對する政策に外ならざるべく、又米國が現時獨逸より人造樟腦を購入し專賣樟腦の注文を手控へんとするはつまるところ所謂商取引上の掛引なるべく從つて吾人は當局者に於て此一時的政策に乘せられて樟樹造林事業を縮少せられ、之に熱心を缺ぐが如きことなかるべきを信ずる。

之を要するに臺灣としては從來の經驗を基礎とし造林の充實を策るべく、林業技術の合理化を實行し其他適切なる施設を完備して專賣樟腦の既往に於ける財政上の效果及世界的揭步の地歩を保持增進せしむるを要す。之が爲め樟樹造林問題は臺灣今後に於ける林政問題中重要なるものゝ一に屬する。

（一五、五、二—一五、五、七）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

州令と廳令を讀みて

高雄　田中賢三

本誌の前號で和田氏の「州令と廳令」を拜見したが、私は最近此の問題を實際に取扱つたので、氏の所感に興味を感ずる一人である。去る七月一日から、從來高雄州の一郡であつた澎湖郡が、澎湖廳として獨立することゝなり、色々な準備事務の中に、右の廳令に關する事項もあつたが、從來州知事の發した州令は地域的に澎湖郡にも及んで居る關係上、新設廳設置後と雖も、其の州令は當然生きて居ることは明らかである。只地方官々制上知事と廳長の間に其の發する命令に附する罰則の程度に扞格があり、法理上からは別段の差支は無ひやうであるが、實際問題としては聊か變なものである。其所で廳長は七月一日附左の如き廳令を發して居る。

別ニ定ムルモノヲ除クノ外從來高雄州知事ノ發シタル州令及告示中州又ハ郡ニ關スル規定ハ廳ニ關スル規定トシ知事又ハ郡守ニ關スル規定ハ廳長ニ關スル規定トス但シ州令中ニ規定セル拘留又ハ科料以外ノ罰ハ之ヲ拘留又ハ科料トス。

故に廳長は新たに廳令を發し從前高雄州知事の發したる州令第何號は當廳管内に其の效力を失ふと謂ふやふな意思を表示せざる限り州令は依然生きて居る。而して其の州令を執行するに當り州令中に規定せる罰則をそのまゝ適用することは理論上何等不都合なしと信ずるが、少なくも實際問題として考ふるときは、廳長

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の職權と相伴はざる嫌はある、前掲の廳令は此の點を考慮して廳長が特に意を用ひられたものと信ずる。そこで殘る問題は從來州知事の命令で均しく同一の取扱を受けて居た住民が、急に差別的に取扱はれる結果となつた點にある。高雄で處罰を受ける場合は罰金で七十圓やられる所を、澎湖ならば科料で濟むと言ふ不合理な結果になり、之が東部臺灣とはちがひ、全廳下に街庄制を布ひた澎湖の地域だから一層奇異な感がする。

命令を發する方、即ち官廳の側から見れば、一は知事、一は廳長で均しく地方長官ではあるが、其の地位、職制、職權の上にいくらかの相違がある、其の發する州令又は廳令の效力そのものに付ては變りはないが、只刑の量に於て差がある、而して命令に依つて拘束を受くる人民の方は、均しく臺灣總督の治下に在りて、一は州令の支配を受け、一は廳令の適用を受くるが爲に、甲乙同一の事犯に付て必ずしも同一の制裁を受けない、斯の如きは刑事政策上一考を要することであるまいか。

地方官々制第六條に「知事又は廳長は部內の行政事務に付其の職權又は特別の委任に依り管內一般又は其の一部に州令又は廳令を發することを得」とある、特別の委任とは所謂委任命令の意味と思はれるが、委任命令なりとすれば行政の監督系統から來たものでなければならぬ、さすれば廳長の監督を爲す者は臺灣總督であるから、臺灣總督が其の職權（總督府官制に規定せる一年以下の懲役、禁錮若は拘留又は二百圓以下の罰金若は科料）の範圍內で適當の罰則を附することを廳長に委任するならば廳長は知事と同一の權衡のとれる罰則を廳令に規定することが出來得るではないかと謂ふ說もあるが、併し地方官々制には知事は其の職權に屬する事務の一部を郡守、市尹又は警察署長に委任することを得る規定あるも、總督府官制には總督は知事又は廳長に其の職權を委任し得る明文がないから前記の如き委任命令を發し得るや否やは疑がある、（大正

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二年府令第三十二號官有森林原野產物公賣委任の件及明治三十七年府令第十五號同特別處分令に依る知事又は廳長取扱事項の如き其の根據は官制に基くものにあらざるが如く、疑がある）假りに官制中に其の明文があつても、廳長は其の委任に依つて其の事務を自己の事務として行ふものであるから從て其の罰則も地方官々制に規定せる範圍を出づることは出來ないと見るのが至當である。

之を要するに均しく總督管下の行政地域內に於て、地域的に刑罰に輕重あることは、單なる一地方の一小問題として見逃すことは不可然のことだと思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業組合に就て

産業組合中央會々頭　志村源太郎

世界大戰の結果世界全體の氣風と云ふものは殆んど一變した樣に存ずるのであります、或人は思想の變化と斯う申して居りますが、思想の變化と申して宜からうか、組織の變化と申して宜いか、種々の變化が大戰の結果起りました樣に思ひます。就中最も著しいものは何と申しますか、多數國民の利益を圖る「デモクラシー」の思想と、傾向と、組織との普及であります、最大多數の最大幸福と申します趣意を以て、總べての經濟上又は社會上の組織を改革したら宜からう云ふ氣風が非常に盛んになつて來たのであります。從來とても政治の目的は最大多數の最大幸福であつた事は勿論である、然し此の目的に到達する手段は寧ろ間接である事は申すまでもない。

今日の經濟組織と云ふものは自由制度であつて而も分業制度である、夫れでありますから銘々個人々々が自分の仕事を自由に營んで行き、其結果究極する處が全體の利益に到達すると云ふ制度である。百姓は米を作り砂糖屋は砂糖を作り、出來るだけ夫れを餘計に作つて行けば自然一般民衆の幸福を圖る事になる、自然に夫れに貢獻する、と斯う云ふ仕組であるのであります。然し近來は夫れが餘り間接過ぎる、寧ろ直接に始めから多數の幸福になる樣な組織にした方が宜しい、少くとも其立脚地を以て社會經濟の仕組を改善した方が宜しいと云ふ思想が瀰漫したと云ふ事は諸君も御感じになると思ふ。

產業組合は其立脚地に依り又其實行に望みを有つて居るものであります。直接多數の民衆を協同せしめて相互組織に依つて各人の利益を計ると共に全體の利益を圖る、間接でなく端的に、全體の利益を圖る、其利益を組合員全體に歸屬せしめ他に洩さないと云ふのが產業組合の組織であります。或は之を一村一部落に施して農村的產業組合を實現し、或は勞働者階級又は中產階級の利益を圖らうと思へば日用品の購買組合、卽ち所謂消費組合の組織を實現するのであります。多數者の利益を直接に圖つて其利益を其多數の人に潤わしめると云ふ仕組が產業組合の根據である。之れは申すまでもなく世界大戰以前今より或は凡そ八十年前に同じ組織は起つたのでありますが、然し最も著しく此組織の必要を感じ一般の注意を惹きましたのは大戰以後各國社會の大變動以後が特に著しいのであります。我國に於きましても先覺者が豫て我邦の社會の組織が小さい產業者、農業でも主なるものは小農・家族的農業・工業も主なるものは小工で家內工業者で此家族的農工業者の立場を維持して、而して近代の經濟社會の變遷に適合して如何に時代が變化してもそれに釣合つて進んで行くやうにするには產業組合の組織が必要である。共同團結に依つて各々の利益と立場とを保護し文明の機能を充分に活用する機體を備へると云ふ事は產業組合を一番有利とする。斯樣な觀察から今より凡そ三十

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

年前に日本に於ける先覺者が唱へましたのであります。

產業組合は今日に於ては內地に於て其數が一萬四千五百と申して居ります、卽ち一つの府縣に平均三百の組合が存在して居るのであります。

伺ひますれば本島は全島を通じて三百有餘の組合が存在して居るさうであります。本島の此數字は比較的少ない年數の發達としては著しい數字に及んだと私は感ずるのであります。然し今後時代の進運に伴つて此數字は增加するものと存じます、其確證は內地に於て一府縣に三百以上あるのであります、內容も段々充實して行く狀態に居ります。一昨年も昨年も產業組合の貯金は一箇年に一億圓位づゝ增加する勢であります。本島に於ても大分貯金が殖える樣であります、組合員が段々組合の效用を自覺する樣になり、夫れに從つて、譬へば貯金の如きは其一例でありますが段々殖えやうと思ひます。

又組合の精神も段々內地に於ては普及する傾になつて居るのでありますが、蓋し產業組合の尊んで居ります所は組合精神であります。內地に於きましても從來は組合の效能、働きと云ふ方面ばかりに重きを措きまして精神と云ふものには未だ充分に注意されて居りません、と申しますのは先刻申上げました通り內地でも矢張り農業で言へば小農が大部分であります。工業も從來小さい工業者が多く比較的小產業者が多いのであります。是等の小產業者の立場を考へて見ますと、此產業組合の如きが一番有利であるのであります。

最も著しいのは農業者の村落に於ける立場でありまして尤も適切でありますから、假りに農業者の立場を取つて分析して見ますと、假りに肥料を買入れると致しましても個人々々銘々に肥料商と交涉致しまして買入れる事になると、第一に物質が如何なるものか單純に肥料商の言ふ處に信頼する他はない。第二は價格は如何なるものであるか、一般市場でどの位の値段であるか、之れも肥料商の言ふ處に從はなければならぬの

であります。所で肥料商必ずしも忠實でないのであります、所謂商買の上から申しまして、今日の自由競爭の制度の上から止むを得ない事と思ふ、敢て肥料商と云ふもの丶人格が下劣である爲めではない、今日の自由競爭の制度の然らしむる處で止むを得ない、賣手としては場合に依ては忠實ならざる所のものを提供するのであります。

此場合に於て農業者は自分の立場を維持して本當の良い肥料を適當の價格で買ふとすれば、どうしても團結を作つて共同して品質に於ても價格に於ても相當調査して相當交渉して買入れ、之れを銘々が分配する事に致さなければならぬ。左もなければ、一方に大なる大農者があつて此人は非常なる有利な立場に立つて肥料の買入れする事が出來る、又資金も比較的低利なる資金を特別に銀行と話合つて借入れる事が出來る、從つて小農者は其大農者と競爭上不利益又は劣敗の地位に立たざるを得ぬのである。本島內に左樣な事實はないとしても、本島內と內地との比較對抗上本島の小農者は劣者の地位に立つと云ふ事は何時か本島の農業に影響を及ぼすのであります。

資金の供給の點も同樣であります。小農は共同して連帶の信用を以て大農と對等の條件を以て資金を借り得る事が出來れば機會は均等である。均等の機會に立脚して働く事が出來れば、夫れ以上は銘々の働きである。少なくも機會は均等でなければならぬ、小であるが爲めに劣者の地位に立つ事は國家としては忍ぶ事が出來ない。小農をして大農と同じやうな立場に立たしめ、資金供給の點に於て肥料、原料の選定、又生產物販賣の點に於て對等の立場に立たしめて夫れから先きは銘々の働きで各自の向上發展を計らしむ、機會を均等に與へずして國民の大多數に働かすことは宜しくない。共同の信用、團結を以て致しますれば同じ機會がどの點に於ても得られるのであります。さう云ふ樣な事に自から努めずしてどうも吾々は甚だ不幸の地位であ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つてけしからんものであると嘆じても道を作らないのでありますから歩ける道理がありません。

故に早速に産業組合を作つて資金の供給なり機械の利用なり相當の途を圖るべきであると思ふ。内地に於ては其點に於て翕然として産業組合に向つたのであります、産業組合を作つたのであります。産業組合の精神が如何なるものであるか知らんが、兎に角一所になつて肥料にしても充分の條件を主張して買入ることが出來る、銀行にしても勸業銀行なり農工銀行なり其他の銀行に適當の條件を以て資金を借入れる事が出來る、又生産品を販賣するに就ても運賃の割引、市場の選擇、價格の協定其他に於て適當の條件を得る事が出來るのでありますから、産業組合は利益を增進するの手段として内地に急速に進歩を致したのであります。

又生産者でなくして消費者即ち俸給生活者、中産階級と云ふ樣な人達も、世界大戰後我國の物價が非常に騰貴致します場合に於て急に所謂消費組合、購買組合と云ふ日常生活品を共同に買ひ、夫れを銘々に分配する所謂小賣商中間商人の費用を省いて、殆ど生産者から直接に買ふ事が出來る。中間の利益を省いてさうして銘々消費する所の品物を安く買ふ事が出來る樣な譯で、購買組合は戰後に頗る發達したのであります。而し之れも亦銘々の利益を圖る爲めの一方で實は出來たのであります。

然るに段々考へて見ますと産業組合は夫ればかりのものではない、其通り利益はあります、ありますが、其以上の團結の精神、産業組合の精神と云ふものは實に味ふべきものがあるのであります。所謂世界大戰後の最近の風潮なり、最近の思想と、全く合體して居るのであります。夫れは何かと申ますと、互に共同生活を致し相寄り相援けて、人類互に相爭はずして經濟生活を營み共に倶に向上進歩を圖る、所謂共存共榮、「オール　フォア　イーチ、イーチ　フオア　オール」の心意氣を以て社會の各階級の人が一所に歩を揃へて進歩發達をなし、共に生活の安定を圖ると云ふ共同團結の精神が産業組合には含まれて居る。之れは何故かと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふと、產業組合は相互組織である。

茲に於て少しく產業組合の精神と株式會社卽ち普通に所謂資本主義の精神と違ふ所を申上げて見たいと思ひます。敢えて私は株式會社が惡いと云ふのではありません、株式會社の方法が今日までに於て小資本を集め大なる威力ある所のものとなし、大なる工場を作り大いなる資金と成して生產的に國を富まし民衆の生活の資料を豐富に供給したと云ふ事に就ては尤も功蹟があります。然し考へて見ますと株主と云ふものと夫れから消費者、生產品を消費するものとの利益は如何かと申せば、場合に依りますと反對して居るのであります。株主は會社の配當が餘計に欲しい、一割よりは二割の配當を貰ひたい、どうしたら宜いか生產品を高く賣るより仕方がない。所が此生產品を買ふものはどうかと云ふと十錢よりは五錢に買ひたい、五錢よりは三錢に買ひたい、出來るだけ安く買ひたい、一般消費者は安く買ひたい、元を握つて居る所の株主は配當を餘計に貰ひたい。勿論株式會社の組織は大量生產して出來るだけ多く作つて大々的物價を安くする事を目的として居る事は勿論であります。

然るに事實に現はるゝ所は今日の現狀はさうではない、動もすると生產制限をして、會社と會社が申合せをしてどうも、吾々の生產品が高くて困るから、十作るのを八つにしやう、五つにしやう、之れは宜しいと云ふので生產を制限して價額を維持して行く、今日の事情、株主に對する事情は止むを得ないのであります、資本擁護上どうしてもさうしなければならぬ。消費者卽ち一般民衆が不便をしても株主は自分等の利益を保護する爲め止むを得ない立場に立つのである。之は決して日本の株主が惡いとか誰れが惡いとか何んとか言ふのではない、世界中がさうである。亞米利加に於きまして「トラスト」が出來たり、獨逸に於ても「カルテル」とか種々の聯合が出來て生產者、資本家の利益を擁護する、本來は大資本を以て大量生產を圖つて、成

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るべく生産を多くして、大いなる工場を作つて、非常に機械を運轉して、職工を澤山に使つて生産費を全體に安くする目的を有つて居るが、即ち永久には廣大なる目的を持て居りますが、目前にはどうも其目的を到達するに充分なる働きをしない。即ち先刻申ました所の間接の方法を以て最大多數の幸福を圖ると云ふ目的ではあるが實際に於てはさうは行かない、組織に責めがある、組織に止むを得ない所がある。

所が産業組合であるなら組合員が生産的であると同時に消費者である、借手があると同時に貸手があるお互組織である。購買組合の場合を假りに取つて見ますると、共同して物を買入れまして原料を仕入れまして夫れを分けて、買ふものは誰であるか組合員自身である。産業組合が組合員に高く賣りつけても其利益はどうなる、矢張り組合員に分配する外はない、もうけて賣つても二重の手間である、安く賣つた方が宜い、又高く賣れば其買手に特別配當をする外ない。信用組合でも左樣である、組合員に高く貸せば利益があるが其利益は誰れに行くか矢張り組合員に行くのである。組合員の利益は組合員の利益と一致して居ります。株式會社の利益は株主の利益で、使用者消費者一般の利益と一致して居るのではありません。此組織の違ひが人心に、經濟生活に、社會構成に大いなる違ひを起す。

株式會社は今日の經濟社會に於て極めて必要であります、明治以來今日まで我國の足らざる資本が威力ある働きを致しました事は株式會社の力である。今日に於きましても少しも變りはありません、今後に於て必要であります事は少しも變りありませんが、假りに農村と云ふ如き小さい區域に於て株式會社が出來るか、夫れは出來ない。農村の如きに於てはどうしても産業組合の組織で行くより仕方がない、農村に於て五萬か十萬の株式會社を作つた所が仕方がない、他の何千萬圓何百萬圓と云ふ所の株式會社の働きに壓倒される。農村としての小區域に於て其地方及地方人の利益を圖ると云ふには、どうしても共同相互的の仕組である

所の産業組合でなければならぬ。物は適當の場所に依つて榮へる、斯やうに私は考へます。而して産業組合の働きは單に小さい株式會社の如き、物を生産して賣るとか買ふとか云ふ樣なことばかりでなく、日用生活に關係して居る日用品の購買も、生産に必要なる資本も其産業組合に依つて賄ふ事が出來る。又自分の作つた品物を共同販賣して利益を容易に擧げる事が出來る、又高價なる機械も共同使用する事が出來る。斯やうに生産の事から日々の經濟生活上の事まで産業組合で賄ふことが出來ます。卽ち完全なる共同生活が出來るのであります。其間決して賣手と買手と利害が背反して居りません、一致して居るのであります、今日の仕組では物を買ふ人と、物を賣る人とは相互の利害が反對して居ります。買手は賣手の店に行つて出來るだけ安く買ふとする、賣手は出來るだけ高く賣り付けやうとする事が今日の心理狀態であります、道德と經濟は果して一致して居りませうか。

産業組合に於てはさうではない、組織上融和的である、互に安心して、自分の産業を圖る、充分に自分日常の經濟を圖り得る。産業組合の組織と云ふものは、小農を保護し地方の自治を發揮して行く上に於て尤も效果があるのであります。

又國民が共同生活を營む上に其精神を擴めて考へて見ますと、更らに人間の性質を優美に致しまして國民の經濟の安定の上に稗益あると考へるのであります。斯樣に國民の間に互に信賴して行く、人類が互に相爭はず相提携し合ふと云ふ樣な精神を以て行くことは産業組合の精神である。之れは共存共榮の精神と申しますか、或は相互扶助の精神と申しますか、種々な言葉で言はれますが、此精神に依つて日常の仕事を致すと云ふ事は之れは吾人の發達の上に非常に利益の事と思ふのであります。

此意味が段々近來內地の産業組合に判つて參るに從つて大いに盛んになつて來たのであります。初めは産

業組合の當事者は株式會社の經營の積りで、組合の資産を殖すに努めて居た。剩餘金が多くなつた、積立金が多くなつた、配當金が多くなつたと云ふて誇つて居つた。然し株式會社は夫れでなければならぬが産業組合では無用の事である、無用は少し極端だが産業組合の結合は人的の結合で、人を基とし組合員たる人の幸福を增進したかしないかゞ組合成績の標準である。組合の資金が殖えるとか配當高が殖えるとか云ふ事は目的ではないのであります。左樣な資本擁護を目的としたる、財的の結合でないと申して宜いかと思ふのであります。人を目的とする、人の發達を目的として富の發達を目的として居らぬのであります。勿論富の發達を目的として居らぬからとて、幾ら損をしても構はないと云ふ樣な極端に解釋しては困りますが、組合員の富は手段であつて本當の目的は組合員をして幸福ならしむると云ふのが目的であります。組合員に自己生存の活力を增し向上發展の便宜を供する機關であります。

斯樣に段々と産業組合を理解することになるに從つて産業組合共鳴者が段々殖えて參るのであります。然るに一方には産業組合に對して、種々の批評が出來て來た。今日は切れ〳〵の事を申上げて相濟みませんが、充分に聯絡する準備がないのであります。譬へば信用組合の場合でも普通銀行側から、産業組合は高い金利で預かつて困る、銀行の預金の協定を破るものは産業組合である、と云ふ苦情を私共の所に申込んで來る。是に於て私は産業組合の人に言ふのであります。私も銀行に居つた者でありますが、預金協定と云ふものはどの位のものであると云ふことを知つて居ります。

併ながら抑々金利は出來るだけ安くするのが宜しい、さうなければ我國の産業は起らない、盛んにならない、こんなに金利の高い所は世界中に珍らしい、臺灣は如何であるか知らぬが内地の如き世界中の三等國、四等國の金利である。吾々は之に滿足する事は出來ない、銀行業者の言はれる理由は兎も角、産業組合は世の

中の金利を安くする魁をせようではないか先鞭を付けやうではないか、組合員は互に相信頼して相援け合ひ共存共榮の精神、相互扶助の精神を能く諒得し從つて組合に貯金する貯金利子は郵便貯金竝にして貰ひたい。

郵便貯金は四分八厘であります、之れを切り上げて五分とし産業組合の貯金利子は一般に五分にしやうではないか、そして組合が之れを運用して利益を擧げ出資金に對して法律の命ずる六分以内の配當を致して其後の剩餘金は之れを預金者に分配する、即ち預金高に應じて特別配當をやる、或は夫れが一分となるか二分となるか三分になるか知らんが、組合がちやんと經費を差引いて相當の配當をした殘りの金額を特別配當すると云ふなら、預金の利子は始め五分でも後の計算で六分になるか七歩になるか八歩になるか、其組合の狀態に應じて實際の金利は高まるのである。夫れは理由のある事である、即ち其組合を充實し組合を信頼して餘計に貯金した者に餘計の貯金高を按分し配當をすることは當然である。組合は自分のものである、充分に利用すべきものである、餘計に利用したものは餘計の利益を組合より受けると云ふのが組合の精神である。

此精神を活用して特別配當する、初めの預金率は五分にした。第一、銀行業者は苦情を言はれない、第二、組合當事者は非常に仕事がやり宜い。今日七分とか、八分とか云ふ高い金利を以て貯金する、信用組合の當事者は此の高い元金を運用するに非常に苦辛する。其苦辛の結果頗る怪し氣な株劵を買ふとか、怪し氣な銀行に預けて玉なしにする、又は怪し氣な危險な者に貸付けて損をするとか、苦辛の餘り惡い結果を來たすと云ふ。基く所は何んであるかと云ふと、高い所の金利を無暗に廻さうとするからである。低い五分の金利で預けたならば、其開きの二分なり三分の、假りに三分として五分の元利に加へて八分に貸付けたならば、組合員の信用あるものを撰んで貸すことが出來る、無理をせずして當り前に貸付が出來る、八分の金は大變安い、借りるものは組合員である、組合員全體が大變安い金を使ふ事が出來る、當事者も運轉が出來、さうして三分

の開らきを取つて年末になつて計算して出資に對して配當して剩餘金を預金者に割戾すと致したなら預金者は初め五分で預金しても後で二分か三分の配當があると七分なり八分の預金した事になり、詰り初めに七分取るか終りに七分取るかである。自分の屬して居る組合員全體が低利なる金を使ふことになる。

此事を產業組合で初めやうではないかと、內地の產業組合に向つて申して居るのであります、未だ急には行はれません、今は之れは理想であるがどうしても斯う行かなければならぬ。銀行と產業組合とが馳ごつこをして預金利息を高くして居ては全體の金利は、何時までも高くなつて居る事になつて、總べての產業が苦しむ事になる。此點は餘程內地產組合に向つて注意を促して居る點であります。

勿論此組合の利用高に應じて、貯金高に應じて特別配當をする樣な事、又は購買組合の場合にも品物を買つた其購買高に按分して特別配當をする事は今迄の產業組合法では不便の廉もあつたが、本年帝國議會を通過して決まりました改正案で容易に出來る事になつたのであります。故に之れ等は必ず其趣意が段々と行はれる樣になると思ひます。臺灣に於きましても組合當事者又は組合を指導する方々は右の樣な趣意を斟酌されて、時に應じ折に觸れて組合員が諒解する樣に御願ひする次第であります。

夫れから私は南方に參りまして農業倉庫を二箇所ばかり見ました、所謂脫穀を致して之れを販賣する機關と云ふ事を諒解致しました。同時に之れに對して何だか多少不滿があると聞きました、夫れはどうも困つたことゝ思ふ、どうか此農業倉庫はもつと能く利用せしめ且其數を殖して、さうして希くば、之れが現今農會の管理に屬する樣でありますが、段々之れを機を見て、產業組合の經營にする樣になさつては如何かと云ふ感を有つて居るのであります。と申しますのは唯今申上げました所の共同販賣機關として農業倉庫は實に有力なるものである。此倉庫が十一や十二で足りるものではないと私は思ふ。況んや今日問題となつた、私も

頻りに臺灣に參つて以來高く叫んで居る所の萊蓬米、此蓬萊米と云ふものは實に之れは內地に於て極めて有意義なものであると感じまして、米穀大會を此臺北に開いて戴いたのであります。

此方に參つて見まして此蓬萊米に對する島民の勢ひの偉いのに少々自分は驚いたのであります、斯く迄に島民が蓬萊米の意義を悟つて此耕作に努めて居らるゝ事は意想外である。意想外であると同時に此蓬萊米の將來に於て私自身責任を感じて居ります上から、寧ろ創業の今日に於て早計の譏りありとも諸君の御注意を願ふ爲め一言したい時あつて內地の市場が此蓬萊米を例年通りに好遇せぬ事があるかも分からぬと云ふ事である。之れは私の想像でありますから御參考として御聞きを願ひます。

私の見ます所では、內地の米の市場と云ふものは、三四百萬石の足りるとか足らないとか云ふ爲に、價格の暴騰暴落を來たす事があるのであります。內地が連年豐作である、若くは朝鮮內地も豐作と云ふ樣な場合に於きまして、蓬萊米が今日の勢を以つて澤山作り端境の時期であるから例年通りに買へと申しました所で、內地が滿腹して居る時ではどうも買へないと云ふ事が或は起りはしないかと思ふ、卽ち價格は安くて賣り切れないと云ふ時もあるかと思ふ。私はどうも今日の島內の意氣込が誠に强いので少しく有識者諸君に向つて御參考までに自分の腹の底にある所の事を有りの儘申上げて見たいと思ひます。少しばかりの餘るとか或は足りないとか云ふと米の市場は動くのであります。或る經濟學者が米と云ふ樣な糧食品必需品は少し足らないと非常に暴騰する、餘るとしても餘計に食ふのでないから暴落するものである。日用品と云ふものは僅かの供給の多少に依りまして價格の暴落を來たすのであると言つた記憶を喚起して私は今更さう云ふ感がする。

今日の樣に蓬萊米がどし／＼出來て、何時でも昨年の樣に買つて貰へると豫期して居ると云ふ事は問題で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あります。然し之は勿論一時の場合で、夫れが爲めに蓬萊米の前途を彼是申す意味では毛頭ない、只一時行閊へる事もあると云ふ事を覺悟して貰はなければならぬと思ふ。其場合に於て私は端境期に於て、賣る積りで作つたと云つた所で、買はないから仕方がないので、投げ賣りをすると云ふのは、臺灣としては不利益である。

然らば之れを何處で保管するかと云ふと農業倉庫に於て之を持つ外ないかと思ひます。商賣人が持つて居る事を期待する事は出來ない、商人は投げ賣りをするかも知れない、今年は損をして來年儲けると決心するかも知れぬ。兎に角農業者には非常に影響を來たすのであります。斯う云ふ樣な場合に農業倉庫に保管する。そして倉庫は金融の便を圖かり米を貯へて生產者が賣らないで居て八掛けなり九掛けなりの適當の金額を農業倉庫から農家に貸してやる必要がある。產業組合は所謂相互機關であつて此の如き場合に能く其職責を盡する事が出來る、之を普通銀行にやらすと云ふ事は無理である。賣買したり貸付けする所の產業組合にやらせた方がさう云ふ樣な場合に便利である。

內地に於ては御承知の通り農業倉庫の十分の九は產業組合がやつて居る。農會と市町村がやつて居る場合もある、併ながら十分の九以上は產業組合の經營で、夫れは這入つて來る米に對して貸付けをする。普通銀行は之れに七掛けとか多くて八掛けしか貸さない、產業組合は其生產者の對人信用で貸す組合で、確實なる組合員であるなら無擔保でも貸すのであります。其人が信賴する人であるなら、米穀の擔保を取つた以上は九掛け十掛けも貸すのであります。斯やうに屈伸力がある、さう云ふ樣な經濟界の機關を完備して行くと云ふ事が順當なる途ではないかと思ふ。此點は一つ諸君の御攻究を煩はしたいと思ふのであります。

夫れでありますから農業倉庫はもつと澤山作るが宜い、而して之を連絡統一して一大販賣機關を造り其管理經營者に就ては、私は島內の事情は能く存じませんが總督府は充分の決心を以て指導監督せられて然るべ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しと思ひます。之は或は空想に屬すると言はれるか知れませんが、私は左樣な感を有つて居るのであります。詳細は他日發表する機會を待ちます。重ねて申しますが蓬萊米の前途に對しては前途洋々たるものありと思ふ。唯今内地の人口は年々七十萬づゝ增加して行くのであります。從つて食糧は段々多くを要するのでありますから、蓬萊米の栽培と云ふ事は極めて必要であつて、大いなる前途に望があると同時に、時には波瀾もあると云ふ事を覺悟して其波瀾に對應する策を今から考へて置く必要があると感ずるのであります。自分は蓬萊米に重きを措いて大に高潮した責任として、食糧問題に關する内地臺灣の關係を考慮し、將來の爲めに申上げて置きたいに思ひます。敢て杞憂する譯ではありませんから御承知を願ひます。

夫れから餘り切れ〱の事を申上げまして相濟みませんが、最後に一つ申上げて見たいと思ひます事は、產業組合檢査の事であります。獨逸が何年でございましたか法律を出しまして、產業組合は一年置きに裁判所の檢査を受けなければならぬ、會計の檢査を受けなければならぬ、但し產業組合が寄つて檢査聯合會を作る場合には、其檢査聯合會の檢査を受けて之れに代へる事が出來る、即ち隔年に裁判所か若くは檢査組合の會計上の檢査を受ける義務ありと云ふ法律を出したのであります。

獨逸の產業組合は御承知の通り極めて高尙なる人類愛に滿ち〱たる人が唱導致して地方有力者に說いて其有力者は此の精神を體して組合を經營したのであります。而し段々やつて行きますと、今の普通商買人と競爭して相互組織の共存共榮主義で順々と步を進めて行くと云ふ事は中々困難であります。或は功を急ぎ組合員の意を迎へる爲めに、當事者が見込で品物を仕入れる、又場合に依ては貸付高を殖す爲めに特別の貸付をする、又は自分の親類知人に餘計に貸出す等の事をする、然るに組合員が安心して組合に貯金し又組合から物を買ふ、組合員が自分の作つたものを依託すると云ふには是非共組合の內情、就中其會計狀態を安心させ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なければならぬ、公平なる第三者に之れを檢査させて全く確實であると保證する形でなければならぬ。獨逸が此の法律を作つて以來産業組合が非常に發達致しました、始めは面倒であつたものだが法律の結果非常に産業組合と云ふものは發達致したのであります。

我邦に於ても此三、四年來内地には既に産業組合中央金庫も出來、全國購買組合聯合會が出來、全國的の各種の連絡機關が出來たのであります。翻つて内々産業組合を見ますと、未だ〳〵其組織に於て最も必要とする會計狀態に於て改良すべき點があります。何故ならば産業組合は多く地方の有志家がやるものでありまして、其地方で推されて居る有德の君子が産業組合の理事となりますので、算盤や帳簿に記けたりするのではありません。事務は書記に任せて居ります。其任せます結果以外なる事を惹起する事がありますから誠に當事者にはお氣の毒である。

此會計狀態をはつきりしなければならぬと云ふ事を豫而考へて居りまして、第一に産業組合中央會に於て出來るだけの經費の融通を致して監査機關を備へ、組合員の希望に應じて監査をする事に致しました。何と申しますか鹿爪らしく會計檢査をするのでなく、最も懇談的に指導的と申しますか、最も膝詰談判的に會計の狀態を監査して惡い所は此點は斯うしたら宜からう、あの點は斯うしたらどうか、他の良い所の組合は斯う云ふ樣にして居ると云ふ樣に指導し初めたのであります、其結果非常に宜しいのであります、産業組合中央會に向つて感謝致したのであります。他の例を聞いて大いに改良する處を悟り、組合員が安心して呉れたと云ふ樣な事を頻々として申して參ります。

之と同時に政府に於ても從來會計の檢査を致して居りましたが、何しても一萬四千の組合を之れを小人數の人で檢査をするのはいかない。此人數は先頃も農村振興費に依つて殖やす事になつて居りますからして、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

前よりは行き屆く事になつて居ります。幸ひ本島は三百有餘の產業組合で、今日の狀態に於て基を作つて、組合員の檢査を總督府か、州か、或は產業組合協會か、何か知りませんが適當の機關に於て檢査して、經營上尤も主たる所の會計狀態を檢査する事をなさしめたならば、產業組合は餘程確實に發達する事が出來ると思ふ、世間の信賴も殖えるだらうと思ふ。從つて組合を信賴して餘計に貯金する事になり、餘計に購買する事になり、餘計に組合を利用する事になると思ふのであります。詰り三百有餘の組合ならば假りに二人一組で檢査するとすれば一年三百六十五日の中で六十五日を假りに引いて三百日働らくとして一日に一組合づゝぐる〳〵廻はつて行ける割合ですがさう云ふ忙がしく檢査をしても何んにもならんから三組あれば三日に一組合づゝ檢査する事が出來ると思ひます。一度基礎が出來ると此所に臺灣の產業組合は本當に確實なる基礎の下に健實なる發達をする事に相成ると思ふのでありますが故に、檢査の事は私は一つ產業組合關係の方々の御熱心なる御攻究を願ひたいと存ずるのであります。

其他產業組合に就ては種々申上げて見たい點は片々ながら御座いますが、併し何れも斷片的でありまして果して臺灣の事情に適するかどうか憂ひますから、今日の話は此邊で止めたいと存じます。

之れを要するに產業組合の精神と云ふものは、現代の然も世界大戰後の世界の精神に將さに合致するものであります。英國の如き立憲君主の國に於きましても、尙ほ獨逸の如き先頃まで君主政體、今日の共和制度の何れの場合に於きましても、露西亞の如き共產制度の國に於ても、何所の國に於ても著しい發達を致して居るのであります。勿論其國の國柄に依つて、各々產業組合の發達の形式は違ひます。

譬へば英國に於ては購買組合卽ち消費組合が非常に發達して居る。日用品を共同購買して組合員に分配する、俸給生活者、勞働者等は消費組合に於て生活すると云ふ事が非常に發達して居ります。其發達の結果は著

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しいものでありまして、一つの消費組合聯合會の如きは世界各所に於て工場を有ち、農場を有ち、さうして自分の船を何十隻と有つて居て、之れで運搬して組合員に分配する、自分で製造もして居る、印度に茶園を有つて居る、加奈陀に大なる小麥農場を經營して居る、亞弗利加に植林して居る、世界中に最も宜い條件に於て工場なり農場なりを有つて其生產品を自分の船で運搬して居る、英國はさう云ふ樣な狀態に發達して居ります。

獨逸は又丁度本島若くは日本と同じ樣な信用組合が盛んであります。之れは獨逸の產業組合は數が五萬何千と思ひます、日本と大體違ひない面積の國で、其數五萬二千の產業組合が出來て居る、獨逸人の大半は產業組合員であります。

露西亞に於ても、彼の共產國に於ても政府が自分で生產したり自分で外國貿易をやつて居る。其生產物を國民に分配するのは何であるかと云ふと產業組合である。御承知の通り「レニン」と云ふ人は始めに產業組合に反對であつた、彼れは產業組合と云ふものは小「ブルジョアー」を作るものである、實際資產家を保護するものである、甚だいかぬと云ふ心を以て之れを潰さうとしたが、どうしても潰れない。故に翻つて之れを使ふ事にして實際產業組合を分配機關として使つて居る。

故に產業組合と云ふものは、どう云ふ國柄に於ても、如何なる制度に於ても其立場を維持して其隆盛に行くのであります。之れは產業組合の精神の固い所の、產業組合の確實なる所の根據を有つて居る所の證據であると思ふ。本島の產業組合は、此次の施政六十年には、此組合の數は或は十倍、二十倍になるやうと思ひます、產業組合關係の方々も將來相變らず御奮勵下さつて之を發達せられる事を願ひたいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

持地氏の「日本植民地經濟論」

近來、漸く明かに示現された我國特殊の情勢に對する覺醒は、社會科學研究に於て、就中經濟問題を中心として、自己省察の傾向を著しく生ぜしめた。而て此と關聯して、最近、我が植民地に關する新な注意が識者の間に喚起されて居る。

今度、持地六三郎氏の遺稿「日本植民地經濟論」（改造社版）の出版されたのは眞に時宜を得たものである。持地氏は、嘗て臺灣・朝鮮の兩總督府にあり、更に其の間、廣く海外植民地を視察して、植民學の研究と植民事業の實際とに、その生涯を一貫した人である。「日本植民地經濟論」は、著者の表明する如く「日本の植民地若しくは新領土の經濟事情、更に詳しく云へば、本國と植民地との經濟關係を主眼とする」もので、著者の學識と、我が植民事業に對する深い理解とは、本書の中に充分に見る事ができる。

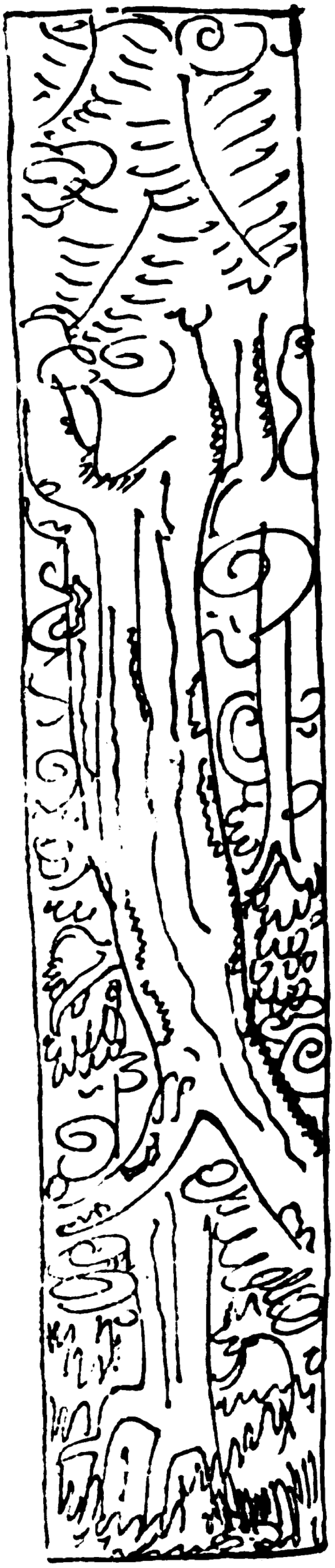
第一章總說は全編の序論として、現代國民經濟に於ける植民經濟の意義を示し、或は我が植民事業の由來、現在日本の立場等を說き、簡潔に要を盡してある。第二章以下に、臺灣・朝鮮・滿洲・樺太・南洋を各章に分ち、それ〲、地文・人文を概說して、眼目たる經濟事情を詳述し、更にその將來を論ずる。

此處に臺灣經濟に對する著者の見解を略說すれば。………臺灣の經濟は過去に於ては順調な進展を示し、主として自然的條件の利用により成功したと云ひ得るが、現在、臺灣經濟は、從來の方向に於ては其の發展の頂點に達し、既に行詰りの感がある、正しく今や、其の產業政策及財政方針の轉換を要する時期に逢着して居る。然して、將來に應ずる策として次の諸項を擧げる。一、產業に於ける學術の應用　二、農業の收約的進步及工業的生產の發達を期す　三、山林政策の實現　四、金融事業と拓殖を結び付くる有力なる會社の創設　五、敎育と產業の協調　六、廉價なる動力と勞働との供給　七、行政革新、行政費を節約して產業に活用す　八、經濟的に內臺人の親善を計る。………

第七章結論を以て、著者は亦、日本の植民政策に關して傾聽すべき其の抱負を披歷する。仍ち「日本の植民政策は、母國植民地との關係、事情竝に之に住する民族の狀態に應じ、適切にして且特色ある方策を要する」併も「一般に植民思想又は植民政策の觀念は甚だ稀少」で、其の政策も「概言すれば甚だ幼稚不振」であるその缺陷は卽ち、一、各植民地と我國との關係が互に理解を缺ぎ、二、各植民地間に充分なる連絡を缺ぐ、にあるとし、今後の問題を豫察しては、其の多難なるべきを見、植民地統治の問題に觸れて忌憚なき批評を下し、最後に、日本の植民政策振興の要綱として、興味ある七項目を揭げて居る。

以上「日本植民地經濟論」の一部に就き概觀したに止り、其の內容乃至は著者の態度に對する批評は之を他の機會に讓る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



登山に關する話

內務局文教課長　生駒高常

人間の歴史は食物を求める飢えた動物の記錄である、と歴史家は云ふがこれ一面の眞理である、從つて食物が饒かな河谷に最初の人間の歴史は開展した。即ナイル河の流域にエジプトの文明が生れ、チグリスユーフラテスの河畔にはメソポタミアの文明が榮えた。古代の交通上から見ると氷はそれ程交通の障害とはならなかつたが、險阻な山は著しく之を阻害した。從て山と人生との交渉は、概して云へば、比較的薄かつたと云ふ事が出來る。眞に山があらゆる方面から研究せられ、之に登躋することが盛んになつて來たのは、矢張り十九世紀に入つて、學術産業交通の發達が顯著になつて來てからの事である。即或は地質、動物、植物、氣象等の學問研究の爲め、或は山林、鑛山、水力電氣等の探險經營の爲め、其他各種の目的の爲めに山が人

生と密接なる關係を持つ様になつて來た。現今、例へば歐洲のアルプス等に於いては登山クラブは多々あり登山圖も正確詳密なものが出來、動植物も大抵は研究し盡され、山小舍やホテルの設備も備はり、又登山路の開拓、案内者の養成等も立派に行はれ、老若男女競ふて之に登るの狀況である。

日本に於ても、ずつと上代の歴史には却て山と相當交渉がある、或は狩獵の爲め、或は時に遊樂の爲めに登高した事があらわれてゐる。然るに中世平安朝時代以降に至つては、剛健な登山趣味が乏しくなつて、只僅かに修驗者等が宗教上の關係から山に入る位の事である。只、鎌倉、源平、戰國時代には戰爭に關連して自然に開かれた山が尠なくない。かくの如くにして舊幕時代に至る迄、山と云へば大體に於て山伏又は矢張り宗教的色彩ある何々講と云つた樣な連中のものとせられて、種々奇怪な傳説や因緣を附け、徒らに神秘的な色彩をつけて、恐るべく容易に近づくべからざるものとの觀念を抱かしめて居た。殊に婦人に關しては、多くの山を女人禁制の迷信を以て眞向にかざして居た。

明治になつて漸く西南戰爭以後からぼつ〳〵日本人中でも趣味の爲めに山に登る人が出來、次でウォルターウエストンと云ふ有名な英人の牧師が飛彈山脈を跋渉して大いに之を世に紹介し、日本アルプスの名を世界に迄もひろめた。かくして二十七八年戰爭の後頃から大分登山趣味が勃興して來て、明治三十八年に始めて山岳會が組織せられた。これは英國に於てスポートとしての登山が大に社會の趣味をそゝつて、始めて英國の山岳會が組織せられてから約五十年後の事である。然して特にこの數年來は登山は殆んど一の流行とも見らるゝ位で勃興して參り、最近には槇有恒氏のカナヂアンロッキーの探險とか、又秩父宮殿下のスキスアルプスの御登攀とか云ふ様に、日本人の登山も漸次世界的となりつゝあることは大いに意を强ふする所である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我が臺灣を見れば陸地測量、生蕃討伐又は森林經營等の爲めに苦心探險せられて居るが、然し尙それ等の目的と直接密接なる關係なき山、又はその部分は充分に調査が行屆いては居ない樣である。殊に所謂蕃地は從來特別の行政上の目的を有する者以外にはあまり開放せられなかつた關係上、登山趣味の普及と云ふが如き事も、內地より遲れたのは、止むを得ざる所であつた。

然し乍ら一面に於ては無暗に開放せられなかつた爲め、所謂有象無象が山に入り込んで山を荒らし山を俗化するが如き事からは免れて居るので、この點は內地のそれに比し臺灣の登山家の幸福と云ふべしである。況んや山に蕃人あり、自然の莊嚴雄大なるに加へて質朴勇敢なる蕃人を配し、現代人たる吾人の眼前に原始的生活の繪卷物を展開してゐる。尙又臺灣が熱帶又は亞熱帶に在る爲め、熱帶から寒帶に至る迄の植物帶の變化を見得ることも亦大いに惠まれたる點であると思ふ。平地から登つて行つて針葉樹林に入ると、これが同じ臺灣かと思ふのは經驗ある人の感を同じふする所であらふ。臺灣の平地に住む人にとつて、この變化を味ひ山岳の淸新なる靈氣に觸るゝ事は精神と身體の大なる轉換法であつて、內地に於けるよりも一層其の必要が高いと思ふ。

そこで私は近頃臺灣に於て大に盛んになりつゝあり、又大に盛んにすべきである所の登山に付て其の效果を一層大にし、又今迄は犧牲者を出さないが、盛んになるに伴つて生ずる危險をも防止するが爲めには、第一に山に關する智識、卽地理、地形、地質、動植物、鑛物、氣象等を充分前以て研究して置く事、第二には登山に關する準備を充分に爲すこと、卽物品用具等の研究は勿論、關係方面とよく打合せて少しでも餘計な迷惑をかけぬ樣に注意すること、第三には臺灣の山の特質を調査して登山法等に付てもよく研究し置く事が大切であると思ふが、時間が短いからそれ等に付ては述べない、又今の所充分なる自信ある調査研究も出

ては居ない、これから臺灣に山岳會でも出來たら大いに研究すべき事項である。只然し、これから登山者が漸次多くなるに從つて、豫め充分に所謂登山道德を鼓吹することの重要を提唱したい。

山は比較的人間と交渉が薄かつた爲め、天然が其儘に現はれてゐて自然の大博物館である。よく引かれる言葉であるが、ラスキンは山は人類の爲めに作られたる學堂にして又寺院である、學者の爲めには萬卷の智識的秘藏庫となり、思想家の爲めには靜かなる栖家となる、云々と云つてゐるが、兎に角山を出來る丈自然の儘に保ちたいと云ふのが登山家の心すべき點である。勿論、山は單に登山家の爲めに存在するものではない、人類の經濟又は其他種々の目的の爲めにも利用せらるべきものである、故に之を登山家の爲めにのみ離隔して置きたいといふが如きは大いに僭越且利己的の考であらふ、然し如何なる目的に利用せらるゝにせよ、之を可成自然の儘に存在せしめる事に調和が出來る丈は調和して行く事は考え得らるし、況んや特に他の目的に利用せられない場所に在つては、出來得る限り自然の儘に保護すべきである。登山道德も山に對するこの見方から登山者としてお互に守つて行くべき事柄であつて、例へば森林火災に對する注意、不必要なる動植物の濫獲を爲し又損傷を與へざる事、又登山の設備其他の利用に當つて、後から登る者の爲めを思つて充分注意する事とか、又は更に積極的に云へば山に關する調査研究を公表し、其他各種の施設を爲して登山者の便宜を計ること等も數ふべきであつて、一々擧ぐれば雜多であるが、要するに保護の確立と利用の增進の二點であると思ふ。そこでこの機會に米國の國立公園の事に付て極めて大あらましを述べて、國民の運動場であり又教場である大自然を如何なる考へ、如何なる方法で保護利用してゐるかを見る事は、この樣な制度が設けられてゐない所に於ても、一般登山者又は關係者が山に對する心得に付て種々なる教訓を得ることゝ考へる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國で國立公園なるものが出來たのは一八七二年、卽今から凡て五十年前に、エローストーン國立公園が設置せられたのが始めである。國立公園も始めは單に將來の爲めを慮つて、自然を濫用せぬと云ふ考へから出來たが、後には漸次公衆の休暇を健全に過す中心地となすの考が重きを爲して來た。それで一九一五年迄は陸軍省の援助によつて行政を行ひ來つたが、一九一六年以來は內務省に國立公園局が置かれて、こゝで專ら其の衝に當ること丶なつた。其の行政方針と云ふのは、第一には國立公園は絕對的に之を損傷せずして、現代及子孫後世の使用の爲めに保有すべき事、第二には國立公園は一般民衆の使用觀察、健康及快樂の爲めにするものなる事、第三には以上の見地より公園內に於ける公私の企業施設に關することは凡て國民の利害如何を標準にして決定すべき事の三であると云はれてゐる。

これが爲めに行ふべき事業としては、第一に公園指定地域內の風景、自然的驚異、歷史的遺蹟、森林、溪流、湖沼其他を原狀の儘に保護する事、第二にはかくして保護せられたるものを其儘出來得る限り一般民衆が利用易き樣に便宜を計る事の二つであつて、先づ保護的の事業に付て見れば、一つには土地、森林、水等を自然の狀態に保存する事と、二つにはその中に於て營まる丶動植物の自然的生活を保護して之が絕滅を防ぎ、或は更に進んで自然の環境に於て一層繁殖を計ることである。

例へば山で珍らしい花が咲いて居れば紀念の爲めに或は又商賣の爲めに見境なく採集するとか、又は自分の名前を遠慮會釋もなく立派な立木の皮をはいで彫りつける樣な事は勿論愼しむべきであつて之を嚴に警戒する。又歷史的に價値ある古代の遺蹟其他のものが發見せられた時には素人が勝手に掘り返するを禁じて、特に許可を得た學者又は硏究家に非ざれば之に手をふる丶事を許さない。又森林火災に對しては非常に恐れて警戒を嚴重にしてゐる、露營者に對して周到なる注意を與ふるは勿論、之が爲めに方々の峯に見張所を設

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

けて特設の電話を引き、又常に監視人が巡邏して看視してゐる。又露營地區域の指定などもその邊を大いに考慮してある。又森林の樹木が害蟲に襲はれた時には、之が發見に努めて直ちに防止策を講じ、而もこれが枯れてしまつても、風景係と相談した上でなければ、濫りに伐採する事を許さない。其他種々細かな規定を設けて保護に努めてゐる。

次に野生生活の保護に關しては、凡て區域内に於ける狩獵を禁じてゐる、但し害獸、例へば狼、山犬、の類は監視人が之を狩つて絶滅の方法を講じ、又は生捕つて動物園に送る。熊の如きは害獸と見ず悠々として人を恐れず其生を樂しんでゐる。さうして野生の鹿、羚羊等の如きはその繁殖の爲めに冬季は餌をやつたり、又特別の牧草地を作つてやつてゐる。野生の動物に病氣が出來れば注意して防止の方法を講ずる、又常にそれ等の頭數を概略調査して置いて、もしこれ等の動物があまり繁殖し過ぎときは捕えて他の國立公園に分配する。又鳥類も狩獵禁止區域であるから、渡り鳥などは大抵國立公園を仲繼場として往來してゐる。釣魚は全く禁止せられてゐる所もあるが、多くは魚の大さ、量等で制限して許可せられてゐるが、場所によつては孵卵場を設け魚苗を作つて放流してゐる。

次に公園利用者の爲めの施設として、先づ大小の道路を作つて、幹線は自働車を通ずる事が出來る。又橋梁の架設、露營地の設備、自働車駐車場等をも設けてある。又電力を起して電燈電話の設備を爲し、水道を作つて水に乏しい所でも風景其他の要件の備はつてゐる所に、自由にホテルやキャムプ、グラウンドを設ける。これ等の設備を爲し又建築物を設ける時には、たとへ小さなものでも又枯損木の取拂ひにすら、一々風景係と協議上で行つて、出來る丈風景を害せぬ様にして便利の增進を計る、場所によつては下水工事も施される、そしてホテルのシステムを作つてあるが、これは從來の經驗上競爭の弊害を認めて、多くは信用ある者に獨

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

占的に經營せしめて、設備經費等は常に監督を怠らぬ。其他公園内に於て販賣する物品の價格に付ても、監督して暴利を貪らぬ樣にする。又山中にも特に小包や郵便の便宜を計つてゐる、これ等の設備の爲め並に其の修理保存に要する費用は莫大であつて、國立公園行政豫算中の主要部分を占めてゐる。

次に公園内の保安に關しては、一般的に秩序を維持する爲め、公園利用者が規則を無視して有害なる行爲を爲した場合には、或は之を區域外に退去せしめ、場合によつては其の自由を拘束する事が出來る。これには色々な規則があつて、例へば露營者が焚火を完全に消さずに立去つたり、又は汚物を其儘にして立去つたりした場合には、何里先きに行つてゐても之を現場に連れ歸つて完全に處置せしめた後でなくては出立する事を許さない。其他交通の安全、醫療衞生等の方面も夫れ〲施設を整へてゐる。尙又更に國立公園局の仕事の一としては、國立公園に關する參考資料を廣く世に紹介する事である。例へば、歷史的、地理的、博物的其他各種のパンフレットを出版し、規則類は云ふに及ばず地圖及案內書、風景寫眞、活動寫眞のフキルム、幻燈映畫の作成等、公園に關する凡ての事項を公刊して利用者の智識と興趣とを增進する事に力めてゐる。

大ざつぱに云へば大體以上の樣な仕事をしてゐるのであるが、これ等は凡そ森林、衞生、地理、警察、敎育、等の諸官廳のみならず博物學會其他民間の各種の機關ともよく連絡を保つて、所謂國立公園思想の養成に努め、圓滿に行政の效果の擧がる樣に盡力してゐる。國立公園局は各課に分れて整然たる組織を爲してゐるが、この樣な特別の機關がない所でも、卽吾が臺灣に於ても積極的の方面はそれ〲關係ある所で出來得る範圍內で力を盡し、殊に消極的の方面に付ては各人の自制心に訴へて出來る事であるから、まだこれ程迄に痛切にその必要が感ぜられて居らぬ今日に於て、大いに豫め注意を喚起し、苟くも山を愛するの人々はお互に氣を付ける樣に致したいものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

古い古い時代の事である、人類が地球上に現はれる以前に、短刀の樣な牙を持つた虎や角の廣さ二間にもあまる樣な鹿が居た。これ等の動物は當時無敵の動物であつたがそれが何故に亡びたか、凡そ動物の亡ぶるのは外的原因と內的原因とあつて、これ等の動物の牙や角は初めは他の動物に打勝つた所以のものであるが、これが漸次あまりに發達し過ぎて却て他の部分との均衡を失し、全體的に見れば非常に弱點を生じ、その弱點によつて滅亡に歸したものであらうと學者は云つてゐる。今や人は最强の動物である、腦と手との働きで凡ての他の動物を壓迫した。腦はだん／＼發達するが、皮膚、齒、消化器等はむしろ弱くなり、又精神的方面にも種々なる缺陷を生じ來つた。それ等の點で特に著しいものを稱して文明病とでも云ひ得るであらふ。人類と他の動物との競爭は一寸考へにくいが、然し人類間の競爭は眼前に激しく行はれてゐる。結局文明病にかゝつた程度の强い國民は、存立上大なる脅威を感ぜずには居られない。文明病の救治も亦自ら方法多岐に亙るであらふ、然し自然との接觸は確か有效なる救治法である、殊に天然その儘の狀態の保たれた山嶽に登臨するが如きは大いに奬勵すべきであると思ふ。この見地からすれば山は確かに臺灣の天惠の一である、而してこの臺灣の山をして、老若男女を問はず、臺灣の凡ての人々の山たらしめ得る時期の來らむことを希望して止まぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山の體驗

臺北州視學　田中七三郎

私は子供の時から山に登ることが好きで、學生時代には夏季休暇を利用して五つ六つ位は山に登り、山寺に出かけて行つた、さうして之が私の消夏法でもあつた。世には口八町手八町倘ほ附加へて足八町と云ふ様な人もあるが、私は口は至つて不調法で手も徒らをすることや海を游ぐ位であるが、足の方だけは發達して居つて少々急な山や遠路は歩き得る自信を持つて居る。

斯様な次第で富士山には二回登り、日本アルプスは前任地の關係上又職務上三回に亘つて少しづゝ踏破した。當地に來た時から、臺灣には一萬尺以上の山が澤山あるから、どれか一つ登つて見ようとの期待を持つて、出來るならばこの夏に折もあればと思つて居る時に、高女生三十餘名が最高峰に登山すると聞いたので一寸仕事が手に着かない、許可を得て一行に加つた。それでこゝに富士山と日本アルプス、それに今回登つた新高山、即ち三高山に就て體驗したことを極めてあつさりと書いて見よう。

先づ第一に登山路についていふと、最も登り易いよい道路は新高である。汽車から降りて水裡坑から頂上迄二十餘里あるが、路面はよく道幅は三尺餘あり勾配も急でなくシト〳〵と登るならば幾等でも續けて歩むことが出來る。只東埔から樂々對關觀高八通關へとの間は、一方左は高い險な山で、右の方は數百尺の斷崖で細く長く、陳有蘭溪がセッ〳〵と流れて居る。この間が馴れない者には一寸恐ろしい感じがする。人間と

云ふ者は妙なもので平地であれば五寸幅位の地面あれば何とも思はず樂に歩行出來るが、前の様に一方百尺の谷、一歩誤れば生命なしと云ふ處では、三尺餘の道でも何等が落ちはせまいかと云ふ氣がして、身體が山手の方に寄せかける様になる、しかし心配する道ではない。八通關から主山嶺まではやはり良い道で、最後の一里半が石磧の間を百四十三曲折を作つて勾配を緩くして登り易くなつて居る。數年前はこんな良い道がなかつたので、此の間は溪谷を傳つて登つたのである。私も新道はあまりに平凡すぎるので半里程溪谷を昇つたが、双六谷等とは比較にならない、富士山はよく御存知であらうが、私は大宮から登つた、六合目迄は左程でもないが、八合目から頂上は割合急勾配になつて九合目が目前に横はつて居つても何回も休憩せねば著かない。この點よりすれば富士は多少困難な點はあるが、しかし歸路須走を下つて御殿場に出る道は又話にならぬ程樂で文字の如く辷つて走り下りるので、登りの時間に比し短かくて下山することが出來る。

アルプスになると新高や富士の比ではない、溪谷を傳つて私は蒲田から槍へ參つたが、大きな石がある、飛び渡ると急な流れがある、石と水との間を越して中腹に行く、それからは石磧の中をガラ〳〵と云はせ乍ら手をつけて探り乍ら登る。道とてはなし足を拾ふのに都合の良い處を探しては一足〳〵と登る、愈々槍ケ岳に登らうとすると、石に手を掛け針金を頼みに片手を岩に懸けては一足拾ひ、一足蹈みつけては次の手を伸ばして岩に懸ける、命カラガラの處が少しある。この危険な場所を過ぐると頂上である。頂上は餘り廣くないから多人數登つた時はすぐに降りねばならぬ、しかし之れとても十餘町の間である、穂高の尾根を傳ふ事は全部此の様であるから中々骨が折れる、一日に二里位の割合しか行けない。新高は八通關で宿泊して主山に登り觀高迄下るが普通で、丁度七里位歩むことが出來る。富士は七八合目で宿泊して朝早く頂上に登り御來光を拜して午後三時頃御殿場へ降る事が出來るからこれで三高山への道路の難易が知る事が出來る。

次には宿舍である新高山も富士山も寢具の用意は不用である。幸ひ新高山は警察官吏駐在所が二里位の巨離に在り、そして七八月分が集合してあるから登山時期は好意的に開放して貰ふので、一團三十人位であるならば樂に休み得るし、食事も不都合の無い樣此地の人達が炊事をしてくれる。登山者は勞せずして自己の身仕度さへ片附ければ休憩が出來る。富士山は室が各所に在つて、平地の丁度宿屋に相當するもので、寢具から食事其他何一つ心配することはない。アルプスになると槍ヶ岳へ登るには、一夜は天幕生活か、石室で寢なければならぬ。天幕生活は家も建て食事も自分で焚かねばならぬ、石室で寢ると只家だけがあつて、薪を附近から刈り集める、食事は自分で焚かねばならぬ、天氣續きで水量の少ない時になると面洗する水も少しくか使へない場合もある。アルプスの双六の池と云ふと如何にも大きな池の樣に思はれるが、決してそんなものではない、小さい二十間四角位の面積で一尺足らずの深さである。水を少し強く動搖させるとすぐに濁つてしまふので、水使ひに相當注意を要する。南アルプスを縱走する山岳家にはこの池は重寶がられて居る。

私は丁度三高山とも登山の時期は同じ樣で七月中旬で、そして皆良い日本晴の時ばかりに登つたが、九千三百尺の八通關では毛布一枚であまり寒さを覺えなかつた、勿論肌には毛絲のシャツ・ズボン下を附著して居る。富士では八合目、之れも丁度九千餘尺で蒲團二枚著て寢た、新高よりは多少寒かつた。アルプスの時は槍小室で丁度八千尺近くであるが、相當防寒の準備をなし太い丸木を焚きながら寢に著いたが、夜中頃あまりの寒さの爲め皆が眼を醒し、兎ても眠れないから小屋の中で雜談に花をさかせて明した。それも其の筈、新高山や富士山では其の邊りには雪溪はないが、アルプスにはすぐ前の谷間に雪溪がある。これによつても氣候に差のある事、從つて寒さが嚴しい上に前二者の如く宿舍が完全して居らない、斯樣な差違があることがわかる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平地では皆が暑い〳〵と、氷や冷し麥酒やヤレ旋風機等と云つて、何とかして冷氣を得よう、と金の力で涼しさを感じようとするのに反し、登る時は隨分苦勞もするが、高い山に遊んだ時は冷氣自ら到り、登山は自然の銷夏法である。

山の地質……之れは地質學上のことで專門的には私共の力では觀察は出來ない、ほんの素人的の考へであるが、新高は現在一萬三千七十五尺あるが、今女生徒達の話の中にもあつた樣に、全山水成岩中粘盤岩であるから、風雨の侵害に對しては必ず現在より日一日と低くなる、且つ地質が軟い關係上何か多少の變動が起れば、乾度其の形を失ひ破壞されるであらふ、又崩れ易い性質のものと思はれる。富士山や槍ヶ岳は火山岩で築き上げられ、岩石が堅く強く出來上つて居るらしいから前者の樣な恐れはない。同行者の話によると、數年前とは新高山は多少頂上や其の附近の樣子が變つた樣に見えるとのことであつた、ヤッパリ富士は日本一の山であらふ。

次はお花畑である。新高はお花畑と云ふ樣な部面は少ない。樂々邊から森林帶の大木の下、權木帶の所々に高山植物らしいものが眼につくが、お花畑と云ふ程ではない。何分私は臺灣の高山植物は充分は知らない、何れ第二高女の博物の先生が頻りに採集されて居つたから、後で比較して見たいと思つて居る。富士山も同樣で、私の登つた方面は少ない。

しかしアルプスになると八九千尺の處は一面お花畑で、見渡す限り各種高山植物が今を盛りと咲き亂れて居つた。其の間にユリ・ダイコンサウ・ハクサンフウロ・リンダウ花・チングルマ等が群をなして居る、實に見事なもので天女の花園かと思はれる位である。殊に石楠は新高とアルプスとは趣きを異にして居る。新高の石楠は延柏槇があつて、其の間に五六寸も高く尖き出て、香のよいらしい白色の花が所々に殘つて居つたが、

アルプスでは延松の間に底く良い香を放散して登山者の鼻を刺して居る、花も木も少さいが香は借によい。それから頂上と眺望だが、富士山の頂上は一つの城廓をなして相當面積はある。新高も頂上を多少切り開いたらしいので、數十人は憩ふ事が出來る。アルプス槍ヶ岳は數人しか居れない、從つて祀つてある山の神様の祠も小さい。富士山は立派な神社がある。

此れ等の頂上から四方や直下を眺望した感じを比較するなれば、富士山と新高とは雲の無い時は同様の感がある、それは雲海のない見下である。富士の上から眺めると下の町が手に取る様に見え、伊豆半島もありありと、田畑の中を汽車が通つて居るのも見える。新高に私共の登つた時は實によい天氣で、西も東も浪打つ海際まで見えたと思ふ位で、隨つて臺中の平野ははつきり見えて、汽車の走るのさへ直下に見えた。かく晴れ渡つた日の嶺における眺めは兩山よく似寄つ居る。アルプスは附近一面連山横はり下界は見えない、一且雲が出て雲海を呈した時はアルプスと新高はよく似寄つて居る。新高では白い薄黒い雲海の上に北山・西山・南山・東山・南玉山・望高山・東埔山・鹿林山・阿里山等が屹立して居る。アルプスでも雲海を現出した時は槍ヶ岳山上から四方の高山、即ち笠岳・燒岳・穗高岳・常念岳・燕岳・藥師岳・黒部五郎から遠く立山、白馬、富士まで見える、即ち主峰を中心として附近の山々が頭を並べて居る様は似寄つて居る。

未だ〲比較することはあるがこれ位にして置いて、なぜ私共は好んで山に登るのかと云ふと、種々目的はあるが、山の自然其の儘の美しさは勿論、山と山との谷間を縫つて流るゝ溪谷、澄み切つた氷の様な冷こい水に添ひ順々と登り、青々として森林帶の中を通る時、太陽の光が如何に強く輝るとも直ちに頭に直射せない、幽林に冷えた空氣が顏を觸れ通る時の何とも云へない涼しみ感じ、下界では想像だに出來ない心持ちがする。尚ほ幽林の中で岩に腰を下し、前に清き溪流を眺め遙かに目的の山が前に重なり合ふて展開するを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

望み、あれが自分達の踏破せんとする山かと思ふては疲れた足を慰め、慰めつゝ溪谷より深林へ、そして頂上にと登ることに趣味を有するのと、俗界に於ける所の凡ての煩悶を打ち捨て、大自然の懐に抱かれると云ふのが又吾々の山に登りたいとの念である。複雜な俗界と暫くでも離れて自然に接觸した無我の念も養はれる、ニイチエぢやないが超人の感が得られる。これは筆や口では人に分つことが出來ない、どうしても體驗者でなければ味ひ得られぬものである。

しかし私共は山を好むが山自身は如何なる感を持つであらふ、私は常に可愛想な者だと山に登る毎に同情の念に打たれる、美しく飾られた裝飾は徒ら小僧にひしむかれ、不潔にも草履や紙屑、キヤラメルの紙、竹の皮を捨てられて穢されてしまふ、雲間に聳え自分が世界で一番高いと誇つて居る嶺は、登山者の休憩所にされてしまふ。傍に聞ゆるは樂の音に非ずして空しく吹き過ぐる風の響で、時には荒らされる。晝は遠く廣く友と相對し語り合ふも、夜は月を友として只獨り淋しく暮さねばならぬ。折にふれ純白な雪の衣を被ふ時も、アヲ善い雪が積もつたと其の名を雪に奪はれてしまふのであるが何と云つても山は男性的である。強く鋭く突き上げ〳〵た岳々、岩の衣は堅く武骨で男らしい。けれども優しい女の手に依つて刺繡された殘雪、高根の花は武骨に引き替へ優しい山の形と化するのである。吾々の心を奪ふものは山に河に海に花である、殊に夏季の山は一層人を集めるに都合がよい、それはよい銷夏であるからだ。

本島には一萬尺餘の山が幾つもある、又處女山も隨分ある、誰が第一に登るであらうか…………。

臺灣の養豚

高澤壽

一、總說　二、世界の養豚並本島養豚の地位　三、本島養豚の特質　(一)畜產思想の三要素から觀た本島の養豚　(二)本島養豚の强味　(三)本島養豚の欠陷　四、將來施設改善を要すべき事項　(一)品種の改良　(二)傳染病の豫防制遏　(三)豚肉加工業の獎勵

一、總說

畜產物は食料品としての乳肉、被服調度としての羊毛、皮革其他各般の日常生活資料として今や吾人々類の生活と離すべからざる關係に在るは勿論、人文が進めば進む程、人口が增殖すればする程畜產物の需要は多々益々增大する趨勢にあり、殊に最近ヴイタミン問題、蛋白營養學の進步したる結果食料品としての乳肉の地位は愈重きを爲して來たのである。

帝國は從來歷史的關係から、一般國民の生活資料として畜產物の需用大ならざりしも、維新後國民の日常

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生活が國際的渦中に投じてから畜產物の消費は日に月に躍進的增加を示し最近の統計に徵すれば、年額二億萬圓內外の畜產物を輸入しつゝある現況にあるのである。然るに近時科學工業の進步發達につれ從來主として畜產物に依りつゝありしものが他の代用品を以て置換せられつゝある事も看過すべからざる事實である、例へば自働車、トラクター其他の器械の發明により役用家畜の用途は狹められ、リノリウム、ゴム工業、セルロイド工業により皮革、角、骨の用途が蠶食せられ、脂肪の化學的合成により動物脂肪の需用も侵蝕せられ、特に興味あるは從來家畜の副腎を原料として生產せられつゝありし醫藥アドレナリンは今や化學的合成法發見せられて以來副腎の市價を無からしめつゝあるが如き擧げ來れば其例に乏しく無いのである、玆に於てか畜產物の需用範圍が一方增大せられつゝあると同時に部分的には絕えず爾他產業の爲めに脅威を受けつゝあることも事實である、換言すれば畜產と爾他產業との間には將來共に產業的競爭を續け行くものと觀なければならぬ。

現代科學が將來如何なる程度迄進步發達するやは今劇かに豫側を許さゞるところなるも、現在に於ては吾人々類の食料品たる炭水化物や蛋白質の化學的合成而も經濟的方法は不可能と觀て差支へ無いのである、殊に最近營養學に一大革命を與へたる、ヴイタミンの如きは天然食料品以外より得ることが出來ない狀態にあるのである、此見地から大にしては一般農業、部分的には食料生產の肉用家畜、乳用家畜は將來爾他產業が如何に發達するも之を助長するとも、之に對し脅威を被むることが無いものと觀て可なるべきである、玆に於て我肉畜生產特に養豚事業は畜產界に於ける金城鐵壁と信ずるに足るのである。

二、世界の養豚竝本島養豚の地位

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豚は多產なること、早肥早熟性なること、飼料の利用性に富むこと、優良なる肥料を生產すること、優秀なる加工品の生產に適する點から將來世界食肉給源の鍵を握つて居るものである、此點に關し近時米國で「一產一噸」なる標語が出來て居る、即ち牝豚の一產から其仔豚は一箇年未滿に總計一噸の肉を生產する點を標はしたもので此點は世界廣しと雖も、家畜數ありと雖も豚を措て他に其比を見ることが出來ないのである。

今世界の養豚の趨勢を見るに、一九二四年北米合衆國農業年報に徵すれば歐洲戰爭前世界各國の豚の飼育數は統計の判明せる分が一億七千九百十一萬五千頭其他表示不可能の分を見積るときは二億六千八十萬頭で歐洲戰爭終局の年即ち一九二三年に於ては前者が一億七千九百二十三萬四千頭、後者は二億六千百四十萬頭と見積つて居る。

更に一九二五年萬國農事報に於ける最近五箇年に於ける世界家畜頭數增減趨勢表によるに、戰後歐洲諸國に於ける養豚數は最近異常の增加を示して居る、即ち獨逸の五百三十二萬頭、丁抹の二百二十三萬頭、佛蘭西の百一萬頭、英國の百五十一萬頭、露西亞の二百十三萬頭である、之に反して北米合衆國に於ては五百十一萬頭を減じ、加奈陀に於ては九十八萬頭の增加を示して居るのである。

今試に此等主要養豚國に於ける戰後常態に囘復した豚の飼育數を人口割、面積割に表示し併せて本島の養豚の地位を示せば左の如し。

國別	養豚數	人口千人に付	一平方哩に付	摘要
英國	三、五六六、九四四頭	八〇頭	三八頭	
獨逸	一六、八四三、五一二頭	二八二頭	九六頭	
佛蘭西	五、四〇五、八四〇頭	一三七頭	二五頭	
丁抹	二、八五四、八五四頭	八七六頭	一六六頭	

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北米合衆國	五四、二三四、〇〇〇頭	九、一三〇頭	一八頭	
加奈陀	五、〇二六、五〇九頭	五七二頭	一頭	大正十二年
內地	六六七、八二〇頭	一一頭	二七頭	
臺灣	一、三四一、四八六頭	三三七頭	一二二頭	大正十三年

以上の表に據れば我臺灣の養豚數は人口割に於ては第四位にして面積割からは主畜農業國たる丁抹の次位に在り、北米合衆國及加奈陀の國情は人口稀薄なる點から自から揭記諸國と事情を異にするを以て此の國を除外すれば人口割にも亦第二位にあると見て支障ないのである。

三、本島養豚の特質

(一) 畜產思想から觀た本島の養豚

本島の養豚は其生產價格米、甘蔗に次ぎ一箇年の屠殺數約九十萬頭價額三千萬圓に達し屠畜稅其他の公稅賦課金年額三百萬圓に達し重要なる地方稅源をなして居るのを觀ても養豚の產業的地位をうかゞう事が出來る、更に前記の如く本島の養豚の地位は人口割、面積割から觀て揭記歐米諸國の養豚國に比し敢て遜色を見ざるのみならず主畜農業國たる丁抹の壘を摩して居るのである、然し乍ら此は單に頭數割から見た觀察で養豚技術、品種の改良其他の組織から仔細に檢索するときは本島の養豚は未成品たるを失はず將來施設改善すべき點が多々あるのである。

此に關し論究する前に準備として畜產思想の三要素について簡單に說明して見たいと思ふ。之に就ては先年臺灣農事報に所見を披瀝したのであるが其概要は凡そ其國の畜產の發展すると否とは畜產思想の進步如何に密接の關係を有すると云ふのである更に此畜產思想なるものを

一、養畜思想
二、愛畜思想
三、科學思想

の三要素に分類して各國夫々の畜産の事情を觀察すると精細に匹嚀することが出來るのである。卽ち印度、支那の畜産の如きは養畜、愛畜の二思想が根蔕をなせる畜産にして飼育數は相當に多いけれども、品種や飼養法卽ち科學的基礎に關する方面は閑却せられ數千年來何等進步の跡を觀ないのである。

吾内地の畜産は民族發達の跡及歷史的關係から遺憾乍ら養畜、愛畜の二思想が發達して居なかつたのであるが維新後國民生活が國際的となり畜産物の消費が異常に增加し來つたので必要に迫り奬勵に着手した畜産である關係上歐米畜産の科學的研究に俟つものが多い、從つて部分的には歐米に劣らない畜産の經營をなすものあれ共其普及の程度に至つては蓋し遲々たるを免かれない。

翻て歐米の畜産を通觀するに前記三要素を兼備するが故に普及の狀況と云ひ經營の方法と云ひ吾々の模範とするに足るものが多いのである。

本島の畜産は支那畜産の延長である。支那畜産が數千年の永き歷史を有し此間固有民族宗教、生活樣式により養畜、愛畜の二要素が根強く培養せられて來た關係上、豚の養畜思想が徹底して居るのである、支那に於ては有史以前より固有宗教から出發したる天神地祇又は祖先の靈を祭るに三牲三犧を供ふる慣習あり此三牲三犧が卽ち牛、羊、豚である、此關係から現今本島に於ても冠婚葬祭に豚はなくてならぬ必要物で從て消費も莫大に上つて居る、蓋し一度支那料理を味へば其原料の大部分が豚肉より成立つて居ることを識り、如何に支那民族が豚肉を嗜好するやを窺知するに餘りありと思ふ故に本島に於ては豚の大なる市場が存在し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大なる市場のある處從つて大なる生産があることは自然の結果と見て可なりである。

(二) 本島養豚の强味

養豚の强味は爾他農業の範圍を犯すことが無いのである、即ち内地種米と甘蔗との關係、芭蕉と米との關係の樣に利害反することがないのみならず一般農業と共存共榮するのみならず積極的に之を助長し之により、肥料問題の解決其他農業經營を益々有利ならしむる特質を有して居る。更に部分的に本島特有の點について探究すれば左の通りである。

第一には養豚思想の普及徹底して居ることである故に本島の養豚は單に農家だけが飼養して居る養豚でなく農工商何れも因襲的に之を飼養して居るのである。

而して此飼育たるや經濟問題よりも因襲的色彩が濃厚の傾があるので此點は現代産業的見地から一つの强味であると同時に缺陷も亦其處に存在して居ると見るべきである、强味の點は一朝一夕に建設出來ざるも、缺陷の方は指導宜しきを得れば短日月間に矯正し得るのである、即ち領臺後科學的基礎に合理的指導を配し、不斷の努力は著々其效を奏しつゝある現況である、更に百尺竿頭一歩を進め此大なる養豚の地盤に必要なる各般の施説經營を拮据進むるに於ては我臺灣の養豚は其内容實質に於て東洋唯一の一大養豚地たらしめ得るは勿論、歐米に於ける養豚に比し寧ろ經濟的見地から一歩を先んじ得るものと信ずるものである。

第二には本島養豚が種付業者、蕃殖業者、肉豚飼育者として分業的に經營せられつゝあることである、此經營法は經濟上の見地から大に望ましき組織なるも、本島の如き殷盛なる養豚地に在らざる處では理論は別物として實際は成立困難なる事情である、本組織の源は勿論支那養豚の衣鉢を受けたるものであるが次第に

Digitized by Google	Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島の農業組織、土地の狀況、交通關係等の要素に順應し適切に馴致せられたものである、單に此等三種類に分化して居るのみならず、肉豚飼育者に在りても地方的農業組織に適應して數種に分れて居るのである、卽ち生後五六十斤迄飼育するもの、五六十斤より百斤內外に飼育するもの、百斤內外から最後の肥育を爲すもの等に分化して二段三段の楷梯を踏んで市場に出さるゝものもある、勿論此等組織も交通關係、農業組織等の變遷に伴ひ此組織も動きつゝあり且仔細に觀察すれば將來改善を要すべき點も少なからざるも分業的經營の點は本島養豚の强味の一である。

第三には本島の養豚は或る特殊のものは別物として、其大部分は婦女子が之を擔當して居ることである、男子は野外勞働に勵み婦女子は家に在りて豚の飼育にいそしんで居るのである、此點は農家經濟の見地から餘剩勞力を經濟化する點から有利なることは勿論一方養豚思想が民衆化せられ、普及徹底せる根底が此處に由來することゝ思ふ。

第四に本島には甘藷の栽培が盛にして、之が產額は米、甘蔗に次ぐ主要作物である、大正十三年の統計に徵するに甘藷の作付面積は一二四、八六六甲生產數量一、八六七、一六八、〇七四斤價額一八、五一五、七六四圓を算して居る、本島養豚の飼料の主なるものは庖廚の殘渣、豆粕、其他農產物の廢物を利用して居るが甘藷の蔓及甘藷が就中大なる要素をなして居る而も此甘藷たるや本島の氣候風土に適し四時栽培が出來ることは生產數量、生產時期の點から養豚界の一大强味であらねばならぬ。

(三) 本島養豚の缺陷

本島の養豚は以上の如く四大特色を有するも猶ほ未成品なるが故に幾多の缺陷をも有して居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一は科學思想が普及徹底して居ない關係上品種の選擇に無關心であつた、偶々地方的優良品種を選定し蕃殖に利用して居た地方もあるが、此等品種と世界的優良品種とを科學的に比較することを爲さず、又此の如き機會をも得なかつたのである、領臺後總督府が品種改良の目的を以てバークシャー種を入れて之が普及を奬勵したけれども、迷信其他の關係から其普及が遲々として振はなかつた、然るに近時一般農民が本品種の眞價を認め來り異常の勢を以て普及して來たので此點は從來は兎も角今や本島養豚界の缺陷に算ふることが出來なくならんとして居る。

第二は養豚經營法が消極經濟に立脚して居ることである、養豚に限らず支那民族の經濟は消極經濟が特色となつて居る、即ち養豚經營に於ても自家生産の飼料で飼育出來る程度に止め更に進んで購買飼料により收支が償ふ場合に在りても此に進むことを遲疑する傾向がある、抑も飼豚經濟の秘訣は實に採肥にあるのである、自家農場より生産する廢棄物又は庖厨の殘渣は勿論、更に進んで豆糟其他の飼料を購入して之より生産する肥料を耕地に還元して始めて集約的養豚が成立するのである、此見地から各州廳に於て改良豚舍の普及奬勵に力を傾注して居るも現在では漸く五六萬棟に達せしのみ、全島四十萬戸の農家に此改良豚舍が普及せらるゝ迄には前途猶相當の年月を要することゝ思ふ、而し進路は著々此方面を取つて居る點は意を强ふするに足るものがある、重ねて言ふ臺灣の養豚經營は現在消極經濟の養豚組織から更に一歩進んで事業養豚の經營法迄進めて行かなければならぬことゝ思ふのである。

第三は家畜衞生思想に乏しいことである、從つて豚の飼育法が衞生的飼育法に缺陷あると共に傳染病特に豚虎列剌に對し自衞自防の精神に乏しいことである、人文の進まない時代には何處も同じではあるが本島に於ては今猶傳染病を神の祟として傳染病流行に際し徒らに禁厭祈禱を營み現代科學に基礎を置いた傳染病豫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

防の施設を厭忌するものが到る處にある狀態である。

第四は自治的訓練が銑錬せられて居ないことである、詩聖タゴールが「西洋の文明は市街から東洋の文明は森から」と言た通り、民族發展の沿革上一般に東洋民族は社會的訓練、自治的訓練に缺けて居ることは一般通有の樣ではある、殊に本島現在文化の程度に於て甚しい樣に思はるゝのである、從つて將來組合組織の力を以て養豚界の健全なる進步發達を望む上に於て吾々が期待する程易々として運用さるゝことは少なからず困難を伴ふと思ふ。

以上本島の養豚は既記の如く強味もあれば缺陷をも持つて居るのである、此素質大なる而も未成品の養豚に對しては將來施設すべき事項指導すべき點、奬勵すべき事柄が數限りなく前途に横はつて居るのである、換言すれば本島產業中最も彈力性に富むものは我が養豚にして之に對し必要なる施設經營を加ふるは刻下の急務にして同時に其效果たるや偉大なるものがあること丶信ずるものである。

四、將來施設改善を要すべき事項

以上項を別ちて本島養豚の地位竝に特質につき其概要を述べ、將來此の彈力性あり而も一般農業と共存共榮し、此れが消長は一般農業の盛衰に重大關係ある養豚に對し如何なる施設改善を必要とするかを述べんとする準備としたのである。

本島の養豚上施設奬勵すべき事項は多種多樣に渉つて居るが就中最も必要なる骨子と認むべきものは

一、品種の改良

二、傳染病豫防制遏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、豚肉加工業の奬勵

である。此等は將來本島養豚界で施設すべき三大綱領にして此三者は所謂鼎の足の如く三者一にして此等の何れをも切り離すことが出來ない一身同體の施設である。

(一) 品種の改良

本島の養豚は領臺當時は供給需要に伴はず、每年對岸支那から年額數十萬圓（明治三十一年は最高レコードを示し百萬圓）の輸入を仰ぎつゝあつたのである、故に領臺當時の養豚奬勵の第一目標は島内需要の自給自足にあつたのである。

一方品種の改良に對してははは主力を改良の根幹たる在來種の改良を主とし、他方明治三十七年バークシャー種を入れて飼養技術の向上に伴ひ本品種の普及に力め來つたのである、當時本島農民は一種の迷信からバークシャー種の白斑を避忌し、豫定の成績が上らなかつたのである、然るに近時本品種の眞價を認め來りバークシャー種が恰も米に於ける内地種米普及に比する狀態に昂つて來たのである、大正元年以降本品種增加の傾向は頗る刮目に價する趨勢を示すに至つた。

年次	バークシャー種系頭數	指數
大正元年	一、四四七頭	一〇〇
二年	二、〇一五	一三九
三年	一、四七七	一〇二
四年	二、〇七二	一四五
五年	六、一六五	四二六
六年	七、七六〇	五三六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

七年	八、〇八二	五五九
八年	一四、九九九	一、〇三七
九年	二〇、一八三	一、三九七
十年	五〇、一九二	三、四六九
十一年	一四九、五〇三	一〇、三三二
十二年	一六三、九三九	一一、三三〇
十三年	一八五、六八〇	一二、八五二
十四年	二九三、二一四	二〇、二六四

即ち大正元年に於て本種系が僅々一、四四七頭に過なかつたものが十四年に於ては一躍二九三、二一四頭を算し之が指數は實に二〇、二六四と云ふ躍進的數字を示して居るのである。

従來農業部に於て種豚として毎年三百餘頭を拂下し來りしも最近のバークシャー熱に對し到底此少數にては要望を滿たす能はざるを以て總督府は大正十五年度に於て養豚改良奬勵費として種豚購入補助金を計上し一箇年四百頭のバークシャー種豚を島外より移入せしめ、五箇年繼續事業として品種の普及と同時に島内種豚の自給策を確立したのである。

前記三大綱領が併進して品種の改良が徹底せられた曉には、本島の養豚に如何なる變動を來すであらうか、養豚將來をトする上に於て品種の改良が如何に重要なる意味を有するかを説明することは當然爲さねばならぬ事と思ふ。

抑本島の養豚數は歳により消長あるも年末現在百三十萬頭を上下し、一箇年屠殺せらるゝ頭數八十五六萬頭にして其比率は六五%に相當する、然るに早肥早熟性に富めるバークシャー種の普及飼養技術の向上飼育期間の短縮等により一般の進歩向上を觀るに於ては、前記肉豚の生産率を一〇〇%に向上せしめ得るは勿

養豚國の實例に徵し左まで困難ならざることである、此曉には一箇年の肉豚生產數は百三十萬頭を算し一方加工事業發展により農家四十萬戶が更に一頭宛の飼育增を見越すときは左表の如く生產肉量は現在の約三倍に向上することが出來るのである。

養豚改良增殖による肉量生產增加豫想表

區分	年末現在頭數	一箇年肉豚生產數	同上生體總斤量	摘要
現在	一、三〇〇、〇〇〇頭	八五〇、〇〇〇頭	九三、五〇〇、〇〇〇斤	一頭體重百十斤
現在頭數を維持し品種改良徹底せられたる場合	一、三〇〇、〇〇〇頭	一、三〇〇、〇〇〇頭	一九五、〇〇〇、〇〇〇斤	一頭體重百五十斤
農家一戶當一頭宛飼育增せられたる場合	一、七〇〇、〇〇〇頭	一、七〇〇、〇〇〇頭	二五五、〇〇〇、〇〇〇斤	同

備考

一、現在の年末現在數に對する肉豚生產率は六五%とす。
二、品種改良による肉豚生產率は一〇〇%とす。
三、現在肉豚一頭平均は百十斤なり。
四、バークシヤー種平均肉豚體重を百五十斤と假定す。

以上の豫想は備考各項を原則と觀て決して無理のない數字である、此時期に於て前記三大綱領を以て進むとすれば生豚一頭を四十五圓と見積れば一箇年七千六百五十萬圓の生產價格となり、內百萬頭は之を生肉需要に向け一頭四十五圓とし、七十萬頭は加工し一頭當八十圓の生產品とすれば、計一億百萬圓の生產を上げることが出來るのである、養豚の彈力性あることは實に此點にあるのである。

(二) 家畜傳染病の豫防制遏

領臺以來本島產牛界將た一般產業界の一大脅威たりし牛疫は連年猖獗を極め改良の實蹟が擧がれば次から

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次と破壞せられ恰も砂上樓閣の觀があつたのである。

一般農耕が本疫による間接の被害は蓋し甚大なるものがあつた、當時畜産施設の第一目標は誠に此牛疫の撲滅にあつたのである、幸ひ大正九年豫防制遏其功を奏し、さしも慘害を逞ふした牛疫も完全に撲滅することが出來たのである、牛疫に次で損害著しきは養豚界の豚虎列剌である、牛疫流行當時はとても之に對し力を致す餘裕がなかつたのである、養豚が益々本島産業界に重きを爲すに及んで、豚虎列剌は寧ろ牛疫以上重要なる禍根と認めらるゝ樣になつたのである、從つて各州廳共之が豫防制遏に對しては眞劍味を加へる樣になつたのである。

獨り本島のみならず世界各國共に養豚經濟の根本を覆すものは品種の如何、飼育經濟、經營法の拙劣よりも寧ろ傳染病にあるとなし、之が豫防に腐心しつゝある狀態である、即ち養豚の積極的奬勵に對し此豫防施設の伴はないのは跛行奬勵である、此に就てはあく迄も連繫ある、對照のとれた施設を以て進まなければならないのである、特に優良品種が普及すれば益々傳染病豫防に關し細密な警戒を要するのは當然である。

之が中樞機關たる本島の獸疫血清製造所は吾畜産の有する一般産業上の地位に比し其設備及事業が餘りに貧弱である、內地・朝鮮・滿鐵の施設に比し遠く及ばざるのみならず僅々十餘萬頭の豚を有する沖繩縣立の施設にも及ばないのである、將來之に對し必要なる設備經營を完成し一般家畜傳染病は勿論特に豚虎列剌豫防機關として活動せしむるに非らざれば牛疫の轍を踏み折角の計畫を覆さるゝ日があることゝ思ふ。

(三) 豚肉加工業の奬勵

領臺當時本島の養豚數は僅々四五十萬頭に過ぎなかつた勿論之により島內消費を充足する能はず不足の分

は對岸支那から之を輸入して需要を滿して來た事實は前述の通りである、然るに其後養豚奬勵各般の施設宜しきを得て逐年飼育頭數の增加を來し、明治四十年に於て百十四萬頭に達し領臺當時の二倍以上に達したのである、爾後著々其步を進め來り飼育管理の改善、品種の改良、其他各般の指導奬勵が充實して來たけれども飼育頭數は今日に於ても大なる懸隔がないのである、卽ち質、內容は日進月步の狀態にあるも飼育頭數は依然として百三十萬頭內外に停頓し居るのである、此事實は何を物語つて居るのであらうか、既記の如く領臺當時の養豚奬勵の目標は島內消費の自給自足にあつたのであるが、今や此目標が既に目的を達せられたのである、從つて飼育頭數に大なる動きが來ないのである、吾々は將來依然此目標を踏襲して滿足すべきものであらうか、否本島の養豚は前記目標以外に大なる使命を持つて居る、卽ち養豚奬勵によりて進んで肥料問題を解決して行き詰らんとする農業をして立體的に發展せしめなければならない、更に肉豚の增產を圖つて豚肉加工業の基礎を建設し、產業的に活動しなければならないのである、玆に於て本島養豚界が始めて意義ある發展をなすと同時に、バークシャー種の品種改良の成果が見られるのである、卽ち本島養豚の目標は從來の看板を豚肉加工業奬勵と肥料問題の解決とに塗り代へなければならないのである。豚肉は最も加工に適し加工せられて始めて優越の食料品として眞價を發揮するのである、故に歐米諸國では國內生產の四分の三は加工せられ殘四分の一だけが生肉として消費せらるゝに過ぎないのである、此點から觀るも豚肉加工事業と養豚とは密接離すことが出來ぬ相關的聯係を持つて居るのである、丁抹の養豚は最も此事業を雄辨に物語つて居るのである。今日丁抹の豚肉加工品は一箇年二億圓に達し、乳製品と鷄卵とを併せ同國輸出品の大宗をなして居る盛況である、此豚肉加工事業の發展によりて國內養豚が活況を呈して居るのみならず、品種の改良・飼養經濟・取引狀況・組合の發達等世界養豚の模範となつて居る從つて豚肉加工業の消長は最も銳敏に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

養豚事業に響きを與へて居るのである。

更に豚肉加工品は世界各國民の嗜好に適し最近我國に於ける需要は歳と共に増加し來りつゝあると同時に本製品が國際的商品であると云ふ點に洋々たる前途を有して居るのである、即ち優秀なる製品なれば市場は世界的に廣いことである、帝國の產業是は國際的工業でなければならぬ此意味からしても豚肉加工業は一日も早く奬勵し將來の發展を期する必要があるのである。然らば本島に於て此の養豚と切り離すことの出來ない加工事業が何故に起らなかつたか、此原因を探究することは本事業の奬勵計畫を樹つる上に於て最も重要なる問題であると同時に將來養豚の盛衰に關係することが大なる問題である、此が原因は一にして足らずと雖ども主なるものとしては左の六項に歸すると思ふ。

一、在來品種は豚肉加工品として優秀なる製品を得る能はざりしこと

二、豚の生產と需要とが均衡狀態にありたること

三、本島の氣候は熱帶地なるが爲小規模組織に事業を著手する能はざりしこと

四、大規模經營には冷藏裝置を必要とし從つて大量の生產品の販路調査を必要とす

五、大規模工場は內地に模範とすべき工場なきこと

六、大規模經營には專用私設屠場を有利とす本島には未だ之を許可する途開かれ居らず

以上第一第二項はバークシャー種の奬勵によりて解決せらるゝのである、第三項の事業は本島に於ては何等意味をなさないのである從つて第四項の事業を奬勵せなければならないのである、國際的商品の生產には或る程度の規模を有するものでなければ優秀の生產品が出來ないのである冷藏裝置は本島に於ける豚肉加工業のハンヂキャップでは無いのである、歐米に於ける大規模の工場は何れも此裝置により終年整一の製品を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生産して聲價を保つて居るのである、然し乍ら本事業は本島に於て最も新しい試みである、前途大なる本工業を奬勵するには奬勵の第一著手が最も愼重を要するのである事業が順調に進むと否とは將來本事業の興敗に關するは勿論延いては養豚界に重大なる影響を與へるのである、此見地から本工業に對して相當助成金を交付し事業家の選擇を嚴にすると同時に指導監督を怠らず或る時期迄は官民協力によりて本事業の經營に當らなければならないこと丶思ふのである、此意味に於て第一回に企業せらるべき本事業は將來次から次と設立せらるべき模範工場であると同時に總督府の本工業の工場試驗である、此模範工場、工場試驗が成功することにより本島の養豚は前記一億萬圓の產業に膨脹することが出來るのである、最後に操りかへしたいのは本工業奬勵はあく迄も積極的たるを要すると同時に其經營たるやあらゆる方面に愼重の態度を持して進んで行かなければならないこと丶信ずるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那法制調査(五)

臺灣總督府囑託　板倉貞男

印度支那一般統治機關(續き)

(九)　印度支那海軍部

一、一般組織

印度支那海軍部は陸軍部と同様共和國政府の一機關、精確に言へば主權の一機關である。從つて海軍部の經費は當然本國の負擔であるべきだが、事實上は陸軍部と同じく印度支那はその經費の大部分を負擔することになつてゐる。

印度支那の海上防備及之れを確保する海軍力は、本國海軍の純然たる一部を形成するもので、この點に於て陸上防備の任務に服する特殊陸軍兵團たる植民地軍團とその系統を異にしてゐるのである。

印度支那の海上防備に任ずる海軍力は二つに岐れてゐる。一、極東分艦隊。二、印度支那海軍がそれである。極東分艦隊は司令官を少將とし現在に於ては巡洋戰艦一隻、スループ型砲艦二隻、砲艦六隻編成である。

而して極東分艦隊の任務は廣く極東に於ける佛國の利權擁護及屬領の防備を目的とするもので、印度支那にのみ專屬するものでない關係上、本分艦隊に對する調査は姑く之れを別とし、茲には主として印度支那專屬の海軍につき記述を進めることゝする。

二、印度支那海軍

印度支那海軍の代表機關として西貢海軍本部がある。海軍大佐を司令官とし西貢海軍工廠、海軍經理部、海軍醫務部、水路部の各部局を統轄せしむ。海軍司令官對總督の關係は一九〇五年十一月三日大統領令（一九一四年七月三十一日改正）に之れを規定し印度支那軍團司令官の場合と略同様である。即ち海軍司令官（西貢海軍工廠の處務に關する事項を保留す。その項參照）は植民地の防備又はその準備行爲に關しては總督に隷屬し（この場合海軍司令官より海軍大臣宛の公文書は總督及植民大臣を經由するを要す）その他の件に關しては海軍大臣に專屬す（この場合海軍司令官の公文書は海軍大臣に直送し、その内植民地關係の決定事項に就ては總督に報告する必要がある）司令官參謀として海軍大尉二名と特務士官一名とを置き司令官の任務を補佐せしむ。

A　西貢海軍本部

西貢海軍本部は軍港々務部、陸上海軍營舍及砲艦二隻（内一隻は東京沿岸警備、他の一隻は交趾支那海面の警備に當る）を以て編成す

軍港々務部は少佐又は大尉を部長とし、補佐官として機關將校及特務士官各一名を置く。陸上海軍營舍は海兵の宿舍及飲食を供給する以外土人海兵の教育を施す所とす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

B 海軍經理部

海軍經理部長は主計大佐(又は中佐)とし主計官二名を置く。經理部の主務は極東在留の軍艦に對する補給、陸上海軍所屬員の俸給、印度支那海軍各部局の經理事務總轄、海軍工廠附屬豫算の歳出決算等である。

C 海軍醫務部

海軍醫務部に軍醫官及藥劑官各一名を置きて部務を處理せしむ。

D 水路部

水路部の主務は印度支那沿岸地圖の作製とし測量船三隻を配屬す。

三、西貢海軍工廠

西貢海軍工廠は軍艦及船舶の修理及船底掃除を行ふ印度支那唯一の海軍造營物で、近年小型艦船の建造設備を有するに至つた。内部の組織は一八八八年十二月五日大統領令(一九〇三、六、一五。一九〇六、一、一三、改正)に依るもので、印度支那海軍司令官の監督の下に海軍工廠工作部長たる造船官(少佐相當)を置きて管理の任に當らしむ。

海軍工廠の主務は造船及各種水上作業、工廠造營物、埠頭、船渠、繋船池の建設及修理作業、工廠記錄類の保管等である。部長の下に造船官一名、經理官一名及若干の將校を配屬して任務を補佐せしむ。

海軍工廠は海軍に必要なる各種の作業を實施する以外植民地の官營作業及民間作業の受負を爲す。但し民間作業の受負を爲す場合は私立工場の設備を以てしては作業實施困難なる旨商業會議所の證明を必要とする。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

元來西貢海軍工廠は海軍省所管の一機關であつたが、一九二三年九月六日大統領令に依つて同日附海軍大臣と印度支那總督との協定契約を承認し、國家は西貢工廠を印度支那植民地に移管し海軍關係の作業に實施の優先權を與ふることを保留して全く工廠の獨立を認むるに至つた。即ちこの協定契約の結果爾今工廠の歳計は印度支那總督府の一般豫算に對する附屬豫算に繰入れらるゝことになつた。而して工廠に對する海軍司令官の權限は總督の管理下に於て協定契約以前に於ける海軍大臣の權限を引續いだものといふことが出來る。

四、印度支那海軍司法機關

印度支那海軍の司法機關は。A、海軍々法會議、同高等軍法會議。B、艦上軍法會議、艦上高等軍法會議に區別せられてゐる。

A、印度支那海軍軍法會議、同高等軍法會議

軍法會議は必要に應じて設置する規定で、判士長以下五名の判士を以て之れを編成す。高等軍法會議は判士長及判士三名を以て編成す。判士長及判士は總て海軍將校（但し軍法會議は下士を判士とすることを得）たるを必要とすれども、その地方に於て所要の海軍將校を得られざる場合は陸軍將校又は下士を補任す。判士長及判士の官階は被告人の官階に應じて差異あり。海軍少佐又はそれ以上の被告人に對しては軍法會議の權限外で、この場合は當該被告人を本國に送還して審判せしむる規定である。

海軍々法會議及同高等軍法會議には總督府檢察官一名、錄事一名の外被告人と同官階の將校又は相當官一名を參與せしむ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

海軍々法會議及同高等軍法會議は總督の命に依り各被告事件につきその都度同時に開設するを要し、海軍治罪法の定むる所に依つて審判を行ふものである。

B　艦上軍法會議及同高等軍法會議

艦上軍法會議及同高等軍法會議の編成は陸上の軍法會議と同一で、陸軍將校の參加を要する場合が多い。これは印度支那海軍所屬の軍艦は艦長が大尉で且つ將校の定員が僅少であるためである。

五、土人水兵團

印度支那土人水兵團は一九二四年五月三十一日大統領令（同年八月一日公布）に依り編成せられたもので舊制度に依る交趾支那土人水兵及安南東京水兵の區別を撤廢して統一した新編成である。

土人水兵の定員は海軍大臣の定むる所に依り原則として志願又は再役者より徴集する規定である。年齡十八歳乃至二十五歳の印度支那人にして所定の體格及品行條件を具備する者は四年、五年又は六年の期間（義務服役を强制せられざる者にありては三年又は二年）を以て水兵志願の契約を爲すことが出來る。再役志願者は三年（特別の場合として二年）を一期とし十五年（特別の場合として二十五年）に達するまで契約を更新することを得るも年齡五十一歳に至るときは除隊せらるゝ規定である。志願又は再役者の數が成規の定員數に充たざる場合は義務兵役法に依り四年の期間を以て一般壯丁より徴集す。

一〇　印度支那司法部

印度支那司法部には他の大部局と異なり廣く全般に亙つてその權能を及ばす單獨の長官なるものが無い。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那控訴院の二院制實施以前に於ては司法部長の權能は控訴院檢事長に歸屬したのであるが、一九一九年五月十九日大統領令に依り控訴院二院制實施せられ三名の檢事長を置くに至れる結果司法部長たる不可分の資格はその歸屬を明かにすることを得ざるに至つた。なほ前記大統領令の結果として本國に於て司法省に歸屬する權限は植民大臣及司法大臣の恒久委任に依つて總督に委附せらるゝに至つた。從つて現行法の解釋としては印度支那司法部の長官は總督であるとするを妥當とす。因に總督府中央監督機關の項に述べた司法管理局長は單なる總督の諮問機關であつて印度支那司法部とは無關係である。

印度支那司法部は以下述ぶる諸機關に區分せられる。

一、普通法裁判機關

普通法裁判の下級機關として治安裁判所がある。治安裁判所には治安區裁判所と治安地方裁判所との二階級がある。

A　治安區裁判所

治安區裁判所には甲種治安區裁判所(佛人裁判官を以て編成す)乙種治安區裁判所(土人裁判官を以て編成す)の二種がある、甲種治安區裁判所は西貢、河内及海防の三都市に設置し各その市を管轄區域とし、民事に就ては原則として評價三百法までの人事及動產關係事件の終審裁判權を有し、裁判所長又は裁判所次長公判に參與する場合は評價六百法まで(この場合の判決に對しては上級裁判所に控訴を認める)の人事及動產關係事件に對して裁判權を認められてゐる。

違警罪に關しては治安區裁判所は若干の例外を除き總ての事犯に關與するも罰金及民事賠償合計金額五法

以上の刑に對し終審の言渡を爲すことを得ざる規定である。

乙種治安區裁判所は交趾支那に設置し專ら土人の係爭事件を審理する機關で權限は甲種と略同一である。

B　治安地方裁判所

治安地方裁判所は西貢控訴院及河内控訴院管内の各地方に之れを設置す。民事に就ては初審千五百法又は五百ピアストル若くは籾千ギア迄、終審百法又は六十ピアストル若くは籾四十ギア迄の人事及動產訴訟事件及控訴を認むる其他の總ての事件を處理す。

刑事に對しては控訴を認むる總ての輕罪事件及違警罪に對する終審判決を爲す。

C　第一審裁判所

第一審裁判所は所在地の等級に應じて一級・二級・三級に區別す。三級第一審裁判所は裁判長判事一名、豫審判事一名、補助判事一名、書記若干名（地方により裁判長が豫審判事を兼職することあり）を以て編成す。二級第一審裁判所の編成は三級に同じ。一級第一審裁判所は西貢・河內・海防の重要都市に設置し、裁判長、副裁判長、豫審判事及判事各一名、外に補助判事四名、書記若干名を以て編成す。

第一審裁判所の權限は治安地方裁判所の權限と同一であつて、上級裁判所に控訴を認むる初審事件及下級裁判所の控訴事件に對して裁判を行ふ。違警罪の控訴事件に對する第一審裁判所の終審判決は控訴院に對し判決廢棄の訴を起すことが出來る。

D　商事裁判所

商事裁判所は西貢・河內・海防に設置す。編成は前項一級第一審裁判所職員の兼任とし外に商事裁判官として商人二名を裁判に關與せしむ。商事裁判官は二年の任期を以て當該都市の商業會議所佛人選擧人中より選

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

擧する規定である。

E 控訴院

印度支那控訴院は河内及西貢の二箇所に設置(一九一九年五月十九日大統領令)し一九二三年三月三日、同年七月十七日及八月二十一日改正大統領令に依つてその編成を控訴院長、同部長各一名、評定官十名(河内控訴院は九名)書記長一名、書記若干名に定めた。なほ控訴院に檢事局を置き檢事長一名、檢事三名、檢事補二名、屬三名を配屬せしむ。

西貢控訴院は交趾支那、柬埔寨その他安南人地方の佛蘭西裁判所の第一審判決竝に支那(雲南を除く)及暹羅に於ける領事裁判の判決に對する控訴事件の裁判を行ふ。西貢控訴院は之れを二部に區分し第二部は部長を裁判長とし評定官二名を以て編成し主として土人民事々件及安南人又は之れに準ずべき者の輕罪被告事件を擔當する佛蘭西裁判所の判決に對する控訴事件を裁判す。第一部は控訴院長を裁判長とし評定官二名を以て編成し主として第二部所管以外の事件を管掌す。以上第一第二部を通じ必要に應じ臨時分科を設置することが出來る。

河内控訴院は東京・廣州灣・安南地方及西貢控訴院管轄以外の老撾に於ける佛蘭西裁判所の初審判決及雲南領事裁判の判決に對する控訴事件の裁判を行ふ。第一第二部に區分して事件を分擔すること西貢控訴院に同じ。

印度支那控訴院(西貢・河内控訴院共通)は一八六九年四月二十八日及一九一〇年七月十五日法律に依り佛國民及保護國民の重罪犯に對し始審判決及終審判決を行ふ權限を有す。この場合裁判の編成は裁判長以下評定官四名とす。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

控訴院は又逐放者、懲役四、責付放免者の犯罪に對する起訴事件の審理を行ふ。この場合控訴院は主として證據書類に基いて裁判す。(死刑に該當する犯罪に對してはこの限りにあらず)

以上の外印度支那重罪裁判所の權限に屬する豫審、特に控訴院の審理に附すべき犯罪事件の豫審、豫審判事の命令に對する抗告、復權請求及證據調に關する場合は控訴院內に設置する移審部(控訴院司法官三名を以て編成す)をして處理せしむ。

F　重罪裁判所

控訴院の管轄地域內に行はれたる佛人及之れに準ずべき者の重罪犯に對する裁判は重罪裁判所(西貢及河內に設置す)に於て之れを行ふ。重罪裁判所は裁判長(控訴院長又は部長)以下評定官二名佛人陪審員四名を以て編成す。

安南人及之れに準ずべき者の重罪犯に對しては西貢控訴院管轄地域內に於ては西貢以外四箇所に設置する重罪裁判所に於て、河內控訴院管轄地域內に於ては河內重罪裁判所に於て之れを裁判す。この場合裁判の構成は安南人(又は柬埔寨人)陪審員二名を以て佛人陪審員に代らしむ。

二、行政裁判機關

行政裁判機關は印度支那司法部に間接に所屬する機關であつて行政裁判所に依つて代表せられてゐる。行政裁判所は個人と行政官廳との係訴事件に對する初審判決を爲すを主たる任務とし、西貢及河內に設置す。裁判長(控訴院判事を補任す)及行政官二名(勤務十年以上の法學士)を以て編成し、別に總督府監理官一名を審理に關與せしむ。行政裁判所の決定に對しては三箇月以內に本國參議院に控訴を爲すことを得。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(二) 印度支那出納部

從來印度支那に於ける國庫出納事務は各州の自治に委任せられたが、一九〇四年七月十四日大統領令を以て印度支那會計總監（國庫出納部長）の命令下に統一せらるゝに至つた。而して出納部の權限は植民地に實施すべき國家豫算の一部たる歳出入竝に地方及都市豫算の歳計を確保するにあり。出納部の職員は左記の如くである。

會計總監（河内駐在）、會計官一名（交趾支那駐在）特別會計官（東埔寨・安南・老撾駐在）會計員、會計書記長及書記若干名。會計總監及交趾支那會計官は本國財務事務及出納事務に直接關與し又は之を統督す。この外會計總監は印度支那一般豫算、東京地方豫算に關する財務部の出納事務一切を實施又は統督す。會計官及特別會計官は自己の責任の下に所管地方の出納事務を管掌す。

第二章　印度支那各州統治機關

第一節　一般豫算支辨の州統治機關

一般豫算支辨に依る州統治機關としては稅關稅務局・遞信局・登錄局・鑛山局・陸地測量部・文庫記錄局・海員編籍部・極東佛蘭西學校・印度支那パストゥール研究所・中央氣象臺・理化學研究所・漁業海洋課・在本國印度支那經濟事務局等がある。以下順序之れを說明する。

(一)　印度支那稅關稅務局

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那稅關稅務局長は植民大臣の申請に依り大統領令を以て任命し總督に直屬せしむ。局長の任務を補佐するため次長を置く。稅關稅務局は本部を河内に設置し秘書課・庶務課・人事課の外五課を置き稅關・稅務・商業統計・會計・物品・行政訴訟の事務を分掌せしむ。

稅關稅務局は職制上・東京、北安南支部・交趾支那支部・安南支部・東埔寨支部及老撾監督部の四支部一監督部に區分して各その管轄地域に於ける所管事務を分擔せしむ。

元來稅關稅務局の任務は財務部局全般の基礎を爲すもので、地方豫算及自治都市竝に港灣及商業會議所の豫算歲入となるべき諸稅の徵收に當る以外、主務として一般豫算の歲入に繰入るべき各種の間接稅（登錄局所管の課稅を除く）を徵收するにあり。かくして稅關稅務局が一九二四年度に徵收した間接稅の總額は五千五百萬ピアストルで印度支那通常歲入六千三百萬ピアストルに對し八割七步餘に當つてゐる。

稅關稅務局の管掌する諸間接稅に就てその一般を列記すれば次ぎの如くである。

關稅・關稅附加稅（統計稅・通過稅・艀船稅・礦油入庫稅・米糀輸出稅・鑛物輸出稅・保管稅・時間外監視手數料）消費稅・阿片稅・鹽稅・酒精稅・煙草稅・礦油稅・燐寸稅・火藥稅・骨牌稅等。

(二) 印度支那遞信局

印度支那遞信事務は從來各州の自治に一任したのであるが一九〇一年十一月十四日總督令に依つて之れを統一するに至つた。

遞信局（河內）に遞信局長を置く。局長は總督に直屬して印度支那に於ける郵便電信事務を總轄す。

遞信局は秘書課・人事課・豫算課・會計課・郵便課・電信、電話課・小包郵便課の七課に區分し、別に中央技術

局を附屬せしめて電信電話郵便その他遞信關係の事業企劃の實施に關與せしむ。

無線電信事務は從來は陸軍部の所管であつたが、一九〇九年四月三十日總督令に依つて遞信局に移管せられ無線電信部長を置きて部務を統轄することになつた。

(三) 印度支那登錄局

印度支那登錄局は財務部長の監督下に局長を置き事務を總轄せしむ、局長は總督之れを任命す。本部を河內に置き印度支那を二部に區分して各部に支署を、支署に派出所を設置し檢閲官をして監理せしむ。

登錄局長は部內登錄局の財務關係事項、收納金會計事務の統一を確保しその成績を毎月末財務部長に報告す。

以上の外登錄局の所管事項左の如し。

一、裁判の判決に依る罰金・科料・訴訟費用及行政處分に基く徵收金の收納事務
二、抵當物權の保管、動產の公賣豫納金收納、同上の登記、相續及無主財產の管理、證劵印紙類の販賣事務
三、不動產又は國債を以てする保證金の保管事務
四、印紙稅及不動產稅の設定

(四) 印度支那鑛山局

從來印度支那鑛山局は工務檢閲總監の監理下にあつたが、一九二一年六月二十日總督令に依つて總督に隷

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

屬する自治的の一局となつた。

鑛山局に局長を置く、總督令に依り任命し河内に駐在せしむ、鑛山局を鑛山課・地質課・鑛物分析實驗所に區分し課長及所長を置き各所管事項を管掌せしむ。

（五）印度支那陸地測量部

印度支那陸地測量部の官制は一八九九年七月五日總督令に依るもので陸軍の一部局として印度支那軍團司令官に直屬すれども測量部長の俸給を植民省豫算の支辨とする以外、人件費物件費を通じ總て印度支那一般豫算より支辨する規定である。

測量部は本部を河内に支部を西貢に置く。本部を四班に區分し各班は印度支那基本地圖の作製に要する天文及三角測量作業・製圖・假地圖の訂正、官廳關係の特定作圖調査、地圖の編纂及公刊等の事務を分擔す。

陸地測量部に於て從來刊行したる地圖は左記の如くである。

百萬分の一及三百萬分の一印度支那全圖（一九〇三年、一九〇七年刊行）、五十萬分の一印度支那旅行地圖（計三十一葉、一九二三年刊行）

十萬分の一印度支那地圖（計百十九葉中六十五葉既刊）

二萬五千分の一東京及タン、ホア三角洲地圖。安南及交趾支那三角洲地圖

（六）印度支那文庫記錄局

印度支那文庫記錄局は一九一七年十一月二十九日總督令に依つて設置せられたもので、その後一九二二年

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二月十六日同上令に依り行政の形式上印度支那教育局に附屬するに至つたが、實質上に於ては全然獨立した一局である。

文庫記錄局に局長、司書官及屬員を置き印度支那圖書館及記錄文庫の監理に當らしむ。印度支那に現在する圖書館及記錄文庫は左記の如くである。

圖書館　河内・西貢・プノン、ペン

文　庫　河内・西貢・順化・プノン、ペン・ウキユンチアン

(七)　印度支那海員編籍部

印度支那海員編籍事務は西貢・海防及トウランの三管區に區分し各管區に總督の指命する管區長を置く。管區長は海軍將校又は商船高等船員の前經歷ある者より採用す。

各海員編籍管區に於ては軍艦又は商船乘組志願者を名簿に登錄し必要に應じて海員の需要に應ず。年齡十八歲未滿の者を假編籍者とし、十八歲に達し十八箇月の航海を了へたる者を本籍編者とす。

(八)　極東佛蘭西學校

極東佛蘭西學校は一九〇一年二月二十六日大統領令を以て總督の統轄と、佛蘭西學士院の監督下に河内に設置せられたるもので學校の目的は左記の如くである。

一、印度支那に於ける古考學及言語學の研究指導

二、隣邦(印度・支那・日本　馬來等)の宗教及文明に關する研究指導

學校長は總督及學士院の推薦に依り大統領令を以て任命し、任期は六箇年で重任することを妨げず。

學生は一定の素養ある印度及極東諸國の研究を志望する青年及研究のため極東に在留する學者より成り自己研究の傍ら學校の特殊の目的に協力するを要す。

(九) 印度支那パストウール研究所

現在の印度支那パストウール研究所は、從來河內醫學校長の指導下にあつて牛痘及血精、熱帶病の細菌學的研究及農業化學研究機關であつたニヤ、トラン研究所及總督直屬の同種研究機關であつた西貢研究所を併合したもので現在に於ては在巴里パストウール研究所本部の監理に屬し、總督は年額七五、〇〇〇法の補助金を交付してゐる。なほ巴里本部からは毎年 一〇〇、〇〇〇法に相當する牛痘又は血精の現品補助を爲してゐる。

ニヤ、トラン及西貢研究所員は植民大臣及總督の承認を得て巴里本部員より任命し、所長は兩研究所同一人であつて退役植民軍々醫を補任することになつてゐる。

西貢研究所は人體細菌學研究室、動物細菌學研究室・生物化學・食料品檢閱室及護謨研究實驗室の四つの機關に分れてゐる。ニヤ、トラン研究所は牛痘及血精培養及植物生物學の研究に當つてゐる。

(一〇) 印度支那中央氣象臺

印度支那中央氣象臺(東京キエン・アン州)は一九〇二年十一月七日總督令に依つて設置されたもので、空中

現象、地球磁氣及地震等に關する科學的調査機關である。天候觀測に就ては印度支那全國及支那國境方面に於ける一等測候所十三箇所、二等測候所十箇所、信號所四箇所に依つて連絡を取つてゐる。

(二) 印度支那理化學研究所

印度支那理化學研究所は西貢に之れを設置し、その目的は印度支那天然資源の調査及資料の統一並に理論的開發方法の研究。農業及森林部局の技術的施設の實施上地方廳の立案したる計畫に對する意見の表明。官廳又は個人の經營を適當とする天然資源の開發に關する總督への進言。印度支那植物の採集。諸外國に於て實施する農業森林業及漁業に關する改良事項の調査。森林技術員の養成に關する件。本國及諸外國に於ける理化學關係の機關と植物・動物及資料の直接交換に關する件。印度支那に擴布するを必要と認むる種子、樹木・苗木の無料配布等である。

理化學研究所の職制は庶務課・圖書館・博物標本室・農事及實驗室に區分せられてゐる。實驗室は目下植物學・植物病理學・工藝及動物學の四つがある。以上は西貢本部の組織であるが、農業・森林及漁業問題研究のため全國必要の地域に研究支所を設置し得る規定で目下四箇所の支所がある。

(三) 印度支那漁業海洋課

印度支那漁業海洋課は一九二二年九月十一日總督令に依つて設置(位置ニヤ、トラン附近コーダ)せられたもので印度支那近海の漁業開發、漁獵工業の科學的調査、海底地圖の作製等がその主なる任務である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漁業海洋課に海軍々人の操縱する汽船一隻を附屬せしめて任務の遂行を助けしむ。

（一三）在本國印度支那經濟事務局

在本國印度支那經濟事務局は印度支那對本國の生產消費關係及各種の投資關係を相互に悉知せしむる仲介機關で、一九一八年五月十一日總督令に依つて巴里に設置せられたものである。職制は秘書課・庶務課（圖書、會計、見本陳列所）商事課・技術課・博覽會及市場課・工務及調査課の六課に分れてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

熱帶性有用樹種の造林に就て臺灣の使命を論ず

臺灣總督府囑託　矢田貝寛

近時我國に於ては南洋方面より戰艦材、その他建築用材として貴重材を輸入すること、其の數量に於て益々多きを加へ、殆んど停止する處を知らざるの狀況にあり。然れども其の貴重材の多くは、半熱帶に位する我が臺灣に於て生産する事を得るを以て、先づ輸入の對策を講ぜんと欲すれば、須らく本島に於て其の最も適種を選定し、造林を實行せざるべからず。今之れを論ずるに當り、我國及木材取引に關係を有する諸外國の森林狀況及蓄積の貧富に就て探究するの要あり。

一、我國森林の激減と外材輸入の概要

古來我が國は山岳地としての面積頗る多く、從て木材の生産も可なり多額に達したりと雖も、元々國としての面積は頗る狹少にして、而も人口の增加たるや最近に至り甚だ急にして加ふるに、國民の慣習として建築に燃料に甚だ多くの木材を消費す、殊に歐州大戰以來急激なる文化の發達を來たし、爲めに木材工業は云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふに及ばず、各種の事業興り木材の使用量著しく增大し、從來は木材の輸出國を以て任じたる我國は、最近に至り逆轉の徑路を取り、多大なる木材輸入國と化し、而も現狀を以てしては再び之を既往の狀態に復せしむること甚だ以て至難なるのみならず、反て益々其の輸入量を逐次增大せんとする傾向を有するに至れり。而して一方我が國の森林狀態に鑑み、此の趨勢に應じて現存以上急激にその生產の增加を計ることは困難なる事情にあり。殊に最も憂ふべきは年伐採量は生長量を超過し、古來天與の美林を誇りしものと雖も忽ちにして皆伐せられ、而も造林は之れに伴はず、森林にして原野と化し去る面積は年々益々增大せんとするの狀態にあり。

事情斯くの如くなるを以て、大正九年以來山林局に於ては各地方に造林署を設け、荒廢せる公有林野の造林を行ひつゝあれども、以來財界不況の爲め財政緊縮せられ最初計畫通りに之れを實行する事能はざるは勿論、例へ之れに造林をなすと雖も、元來荒廢地が大部分を占むるを以て、初めより價値ある所謂有價木を植栽すること能はざるのみならず、其の造林木が成林して伐採の時期に達する迄には、少なくとも十數年乃至數十年の歲月の經過を待たざるべからず。故に我が國は將來樹種により多少の消長あらんも、要するに多大の木材輸入を免るゝ事能はず。今最近に於ける我國木材輸入の數量及價額を示せば次の如し。

木材輸入量累年表

品目	單位	大正三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年
1. 花梨木鐵刀木、柴檀類											
(イ) 縞黑檀	數量(千斤)	—	—	一、八三三	二、三六七	四、一七六	四、四四六	四、二五九	五、一八〇	五、八〇五	五、一〇五
	價格(千圓)	—	—	八九	一二〇	三三三	四四一	四二一	三八一	四四六	三三六
(ロ) 其他	同	—	—	四、四七六	三、九三七	四、〇二五	五、九九三	八、三八八	七、三三八	八、二〇三	八、〇九四
	同	—	—	一九四	二三〇	三〇六	五五七	九一一	六五三	五八八	五三八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

木材輸出量累年表

品目	小計	小計	2. チーク	2. チーク	3. パインファー及シダー (イ)シダー	(イ)シダー	(ロ)其他 (甲)	(甲)	(乙)	(乙)	小計	小計	4. 桐	4. 桐	5. 白楊	5. 白楊	其他	其他	合計	合計
單位	同	同	數量(千立方米)	價格(千圓)	數量(千立方米)	價格(千圓)	數量(千立方米)	價格(千圓)	同	同	同	同	數量(千斤)	價格(千圓)	同	同	—	數量(千圓)	—	同
大正三年	五,九六六	二五三	四	三二一	一	九九	四	三一	二	四二一	二六	六五二	二,三八九	二三一	—	—	—	三四	—	一,四九一
四年	三,五六五	一二九	二	一九六	一	二〇	二	六九	二	四二七	二四	六〇六	五,四九二	二六八	—	—	—	一四九	—	一,三六八
五年	六,三〇八	二八三	二	一四一	三	二八九	四	一五〇	二五	八三四	三三	一,二七三	五,八一九	三三二	一五,五七一	一五五	—	一四五	—	二,二九七
六年	六,三〇四	三四〇	三	三一八	二	二六七	五	二四九	六六	二,八三〇	七三	三,三四六	七,〇五三	四一二	三四,九四八	三〇九	—	二一九	—	四,九四四
七年	八,二〇一	六二八	三	五二八	二	三三〇	四	三二一	一九	七,四〇三	二五	八,〇五四	八,七五一	七八二	一〇四,二六五	一,九六一	—	三一九	—	一二,二七二
八年	一〇,四三七	九九八	三	五〇三	三	五六〇	九	五七七	七〇	三,八〇二	八二	四,九三九	一三,三五九	一,七四五	八〇,五四七	二,三一七	—	三六八	—	一〇,八九〇
九年	一二,六四七	一,三三三	六	一,〇〇〇	二	五三六	二	九五〇	二三〇	一四,四三五	二三四	一五,九二一	一五,〇二六	三,三六七	三五,二〇六	一,四七四	—	三六六	—	二三,四六〇
十年	一二,五一八	一,〇三四	六	一,〇五九	一	一九九	二	九八三	九二一	三〇,二〇〇	九二三	三一,三八三	二七,七八八	五,七〇三	七六,八六〇	三,五五三	—	七四六	—	四三,四七七
十一年	一四,〇〇八	一,〇三四	七	一,一〇〇	一	一七九	九五	四,二七三	二,二〇四	七〇,一一五	二,三〇〇	七四,七〇七	二,七四九	四,二五八	七〇,六一〇	三,〇五〇	—	五〇九	—	八四,六五八
十二年	一三,一九九	八六四	八	一,一八三	一	九二	九一	四,五五五	二,〇五三	七三,〇九五	二,一四五	七七,七四二	二五,五〇三	三,七七六	三六,四三三	二,二〇九	—	八二五	—	八六,五九九

註 パイン(Pine) Pinus 松屬
ファー(Fir) Abies モミ屬
シダー(Cedar) Thujopsis 檜屬

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	單位	大正三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年
1. 鐵道枕木	數量(千石)	八七八	六一三	五三二	四一八	四五五	五三九	五三四	四九〇	一六五	一四八
	價格(千圓)	二,四六六	一,六六三	一,五三三	一,二二五	一,九五八	三,一一六	三,九九六	三,一七二	九七五	九一六
2. 箱板・櫓板	數量(千組)	三,〇四九	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	價格(千圓)	一,四二九	二,三三九	二,七六七	八,四三九	七,六七二	八,三三八	六,四四五	二,八三五	三,六七〇	三,五七九
3. 燐寸軸木	數量(千束)	三六	八一	七五	九六	一三	二一三	一六二	一八九	一八〇	一六九
	價格(千圓)	二七四	七九二	七七四	一,一六五	一,九〇三	二,八五九	三,二四八	八,一三一	二,八四七	二,五二三
4. 燐寸函用木地	數量(千斤)	四,八一二	六,四四一	五,三一二	五,四八〇	八,七二〇	六,七八九	一三,五二五	八,三六一	九,九〇八	一二,〇三七
	價格(千圓)	二〇七	二七三	二五三	二九七	六四六	六八五	一,二五五	八一三	九二一	一,〇七一
5. 其他	—										
	價格(千圓)	六,三三八	四,一五三	七,〇〇一	三,六五九	五,六二六	九,〇二四	一四,一八六	五,三八六	五,七四八	四,〇四七
合計	—										
	價格(千圓)	一〇,六七四	九,二二〇	一三,三二八	一四,七八五	一七,八〇五	二七,九九二	二九,一三〇	一五,三三七	一四,一六二	一三,一二五
輸出	價格(千圓)	一〇,六七四	九,二二〇	一三,三二八	一四,七八五	一七,八〇五	二七,九九二	二九,一三〇	一五,三三七	一四,一六二	一三,一二五
輸入	同	一,四九一	一,三六八	二,二九七	四,九四四	一二,二七二	一〇,八九〇	二三,四六〇	四三,四七七	八四,六五八	八六,五九九
(輸出入)差引増・減	同	九,一八三	七,八四二	一〇,〇三一	九,八四一	五,五三三	一七,一〇二	五,六七〇	•二八,一五〇	•七〇,四九六	•七四,四七四

而して今其の増減價額を示せば次の如し。

本表にて見るが如く大正七年度に於ては

輸出　一八、〇〇〇千円
輸入　一二、〇〇〇千円
差引輸出超過　六、〇〇〇千円

以上は單に木材のみの數字なれども、木材を原料とする「パルプ」としては約六百萬圓の輸入を見たるにより、差引輸出入零にして、此の年を輸出入の限界とし其れ以來多少の消長はありたらんも、要するに大正八年より輸入超過の徑路を取るに至れり。斯くの如くにして大正十年頃より七千萬圓以上の輸入國と化し、最

近に於ては次の如く輸入價額の第三位に到達するに至れり。

大正十二年

第一位	棉花	五一〇、〇〇〇千円
第二位	鐵類	一二〇、〇〇〇千円
第三位	油粕	―
第四位	機械	―
第五位	木材	八四、〇〇〇千円

大正十三年度自一月至八月

第一位	棉花	四二〇、〇〇〇千円
第二位	鐵類	一五〇、〇〇〇千円
第三位	木材	一〇〇、〇〇〇千円強

而して大正十三年九月以降の木材及木炭の輸入を合算するときは、恐らくは第二位を爭ふべし。而して我が國は國防の完備及國民の生活上多大なる國外物資の供給を仰がざる可らざるに、例へ必需品とは云へ木材の如きもの迄も、斯くの如く莫大の數量を外國に仰がざる可らざるが如きは、森林國として相當自信を有せし我が國民の甚だ遺憾とする處なり。

顧みるに鐵、石炭の如きは其の各に就て埋藏量に限りありて、所謂一定の命數を有するものなり。然れども擴大なる林野面積を有する我が國に於ては、日清戰役後森林に對する施業施設に最少し意を用ゐたりしならんには、今日の如く多額の木材を輸入せずとも、國內の需要を充分滿たして尙餘りありしものならんと思料せらる。然るに單に森林國と稱するのみにて、伐採を知れども造林を知らざりし有樣にありしを以て、換言すれば林業の根本政策は產業各方面の政策に比して一段輕視せる結果、今日の如き狀態に變化せるは甚だ遺憾とせざる可らず。

彼の獨逸の如きは現今多量の木材輸入國なれども、其の根本に於て我が國と大に其の趣きを異にせるものあり、即ち歐洲の大戰に際しては戰線悉く國領以外に存在したる關係上、戰禍による森林の荒廢及び森林の絕滅を免れ得たるは云ふ迄もなく、塹壕其の他軍需品として要したる莫大なる木材は、佛國の森林を伐採利

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

用したる爲め、今日と雖も獨逸の森林は依然として法正狀態を具備し、所謂合理的林業の經營をなしつゝありて、實際に於ては伐採すべき量は增加して差支なき大なる餘裕を有すと雖も、而も之れに對しては一定の制限を加へ、依て生ずる需要の不足額のみ國外より輸入しつゝありと云ふ。

之れに依て之れを見れば、獨逸の森林は餘程大なる餘裕を有するものと見ざるべからず。卽伐採量に於て多大の潜勢力を有するを以て、若し將來大なる事變ありとせば此の方面の持久力たるや蓋し恐るべきものあるを信ず。之れ大戰による物資缺乏の苦き經驗によりて計畫せられたる事は云ふ迄もなく、要するに世界に於ける木材消費の趨勢に鑑み、木材飢饉來の聲を聞くの秋に當り甚だ賢明の策と云はざる可らず。同じ輸入國たる我國は如何と云ふに、前述の如く世界國民中最も木材を消費する國民なるに拘らず、而も一方人口の增加は益々急にしてその增加の勢たるや計り知る能はざるものあり。然るにも拘らず年伐採量は年總生長量を超過し、而も造林之れに伴はざるのみならず、國內には森林荒廢して草生地化したるもの全國到る處に存在し、その面積も可なり大にして、最近迄之れが顧みられず放任の狀態にありしは、吾人林業家の甚だ遺憾とせざる可らざる處なり。

本邦の所謂林業經營なるものは、日清戰役前獨逸に其の範を取り施業の計畫を始めてより、茲に數十年を經過すと雖も、未だに所謂森林地を合理的に施業し、法正狀態に導き得ざるのみならず、却て公有林及民林の大部分は荒廢化の愈々增大せんとするが如きは、彼の獨逸の如き全森林をして法正の狀態に在らしめ、伐採量に於て前述の如く餘裕綽々たるものに比し、誠に寒心に堪へざるものあるを思はしむ。而して木材が世界を通じて漸次缺乏せんとするの事實は、何人も之れを拒む事能はざる處にして、一九一八年英國に於て開かれたる萬國博覽會に於て、アーメラール氏が、木材は今後三十箇年を出でずして世界に其の跡を絶つべし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と絶叫せしめたるが如きは、實に故なきにあらざるなり。然れども特に日本に於てはその傾向の顯著なるを知らざる可らず。故に我國に於ける林業問題の如きは、單に木材收穫のみに止らず、水力電氣の水源涵養に關する重要なる政策をも考へざる可らざるにより、只に林業家のみに限らず、宜敷政治家及經世家の共に大に考慮せざる可らざる我が國焦眉の急務たるを信じて疑はざる處なり。

今試に歐洲大戰前に於ける我が國の木材輸出を列國と對比すれば次の如し。

輸入國	數量
英吉利西	五七、六六九、七九〇石
白耳義	六、三三三、五九九
佛蘭西	一二、三七〇、六六六
獨逸	四三、二七六、〇〇八
伊太利	九、八二〇、九五三石
和蘭	一六、七七五、四八七
西班牙	二、四二四、二九七
合計	一四八、六七〇、八〇〇

前記數量の輸出國及數量は次の如し。

輸出國	數量
瑞典	二一、三一八、四八一石
加奈陀	五、〇三〇、一一九
亞米利加	一一、六五五、七一八
濠州	二〇四、三〇一
日本	三四三、一五三
緬甸	二五、〇四九、二〇九
フィンランド	二〇、五五九、六〇五石
獨逸	三、三〇四、〇四四
諾威	二、七二二、九五一
ルーマニア	四九二、〇三五
露國	五七、九九一、一八四
計	一四八、六七〇、八〇〇

本表に於て見るが如く、僅少ながら我國は木材の輸出國を以て任じたるものなり。然るに今や年々一億圓以上の輸入國と化したるは、森林國の我國としては甚だ殘念なる次第なり。

二、木材需給上重大なる關係を有する諸外國の森林狀況

其の一、合衆國

合衆國の森林蓄積は極めて巨額に達すと雖も、年々の伐採量も又頗る大にして加ふるに、彼の有名なる森林火災に依て燒失せらるゝ森林面積も頗る大なるものあり。故に同國に於ける正確なる森林面積及蓄積を知ることは甚だ困難なれども、合衆國商務省及富源保存協會の報告に依りて、其の樹種別蓄積を示せば大約次の如し。

樹種	材積
ドグラス・フアー	七一八、四〇〇百萬呎
サウザーン・エロー・パイン	三九二、七〇〇
ウエスターン・エロー・パイン	三三四、九〇〇
レッド・ウード	一〇一、九〇〇
ウエスターン・ヘムロック	九二、〇〇〇
ウエスターン・シダー	九一、二〇〇
サイプレス	四四、三〇〇
シユガー・パイン	五四、六〇〇
イースタン・ヘムロック	六五、〇〇〇百萬呎
スプルース	一一六、五〇〇
ウエスターン・ホワイト・パイン	二〇、八〇〇
ホワイ及ノルウエー・パイン	四四、一〇〇
其他・針葉樹	二〇〇、三〇〇
濶葉樹	五四八、七〇〇
合計	二、八二五、四〇〇 二三、九六二、五三〇千石

而して本邦に輸入せらるゝ主なる樹種を示せば次の如し。

一、ドグラス・フアー Psudotsuga toxfolia(Poir. Britt) メリケン松
二、ウエスターン・シッド・シダー Tsuja Plicata Don 米松
三、ローソン・サイプレス Chamaecy paris lawsoniana(murr) Paralatore 米桧
四、エロー・サイプレス 〃 noot Patensis Spach
五、ウエスターン・ヘムロック Tsugahetero Phglla Sargent
六、レッド・ウード Sequoia Sempervieus Endlicher

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七、シトカス・プールス　Piceasilchensis Trantvetter Finayer

八、レッド・シダー　Juniperus rus Virginiana L.

而して帝室林野管理局岡本技師の調査に依れば、亞米利加に於ては殖民開始當時推定森林面積三億三千萬町立木材積千六百億石なりしも、同國に於て消費する木材の數量は年々甚だ大なる數量に達し、又火災により て燒失する材積も頗る大なるものあり。依て現在に於ては森林面積一億八千萬町立木材積七百四十五億石にして、面積に於て五分の三、材積に於て五分の二の減少となり、森林消滅の速度は誠に恐る可き數量を示すものなり。歐洲大戰以來殊に其の伐採量甚だしく、生長量は推定六億石、伐採量は二十六億石差引二十億石の過伐となり。而も造林の如きは殆ど顧みられざるにより、此の勢を以て進む時は三四十年にして、亞米利加の森林は消滅するに至るべし。而してロッキー山地方の森林は、伐採搬出甚だ困難にして、實際に於ては之れ以上急速に消滅すべし。事情斯くの如くなるを以て、思慮深き亞米利加が森林の消滅を此のまゝ何時迄も放任すべきにあらざるは明かにして、最近に至りては森林保存の協會の如きもの各所に組織せられ、伐採に對しては嚴に制限を加ふるに至れりと云ふ。故に從來の如く無盡藏に我國に輸入せらるゝ事は最早期待する事能はざるに至るべし。

今大正元年以降北米材の輸入數量を示せば次の如し。

種別／年次	數量(石)	一石當平均價格	價格(圓)
大正　元年	一四九、三六二	円 六・六七	九九六、三七八
同　二年	一八二、〇四七	八・〇七	一、四六九、一二〇
同　三年	九二、六四四	七・〇〇	六四八、五一五
同　四年	八四、九三九	七・一三	六〇五、六一五
同　五年	一一二、四四二	円 一二・八二	一、四三六、〇六四
同　六年	二五六、七八七	一三・六三	三、二四三、二三〇
同　七年	四三七、五一五	一七・九一	七、八五三、八九四
同　八年	二四八、一五二	一六・八二	四、一七三、九一七

同　九年	七六七、九七四	一八・一九	一、三九六、九四五
同　十年	一、七三三、一六五	九・三四	一六、〇八五、〇二〇
同　十一年	六、一五〇、〇四二	九・〇二	五五、四七三・三八〇
同　十二年	六、二五七、五八八	一〇・〇七	六三、〇一三、九一〇
大正十三年自一月至六月	六、六八八、八〇二	一一・三三	七五七、八四一・三〇〇

尙ほ此の外多大の「パインファー」及「シダー」あり。

其の二、西伯利亞

西伯利の森林は緯度及經度を異にするに從ひ各其の林相を異にし、古來濫伐野火等の爲めに著しく荒廢化したりと雖も、未利用の森林は甚だ豐富なりと云ふ。卽ち沿海州薩哈嗹州はトドマツ・エゾマツを主とし蓄積甚だ豐富にして、森林面積も大約五千萬町内外に達し、其の蓄積は實に百億萬石以上に達すべしと云ふ。然れども最近合衆國が國內木材の激減を恐れ、利用に關しては嚴格なる制限を加ふるに至れるの例に鑑み、殊に西伯利の如く更新の稍もすれば困難なる事情の存する地に在りては、露國の林業政策たるや必らず吾人の期待するが如く無盡藏に我國に向て輸出の策を取らざるや明かなり。

今三州に於ける蓄積の大要を述ぶれば次の如し。

一、沿海州森林總蓄積二百四十億石　內｛針葉樹　百五十億石／濶葉樹　八十九億石｝

二、黑龍州森林總蓄積百八十億石　內｛針葉樹　百五十億石／濶葉樹　三十億石｝

三、後貝加爾州東半部森林總蓄積九十億石　內｛針葉樹　八十五億石／濶葉樹　六億石｝

右三州を通じて針葉樹の主なるものは次の如し。

（1）唐檜類＝テン　｛(a)　Picea Jjanensis Fischr／(b)　Picea Ababata Ledeb｝

（2）白檜類＝テン　｛(a)　Abies Nephrolepsis Maxim

（３）落葉松類ニテハ {(a) Laxix Daphrica Turcy / (b) 〃 Sibilica Ledeb}

（４）歐洲赤松類ニテハ{(a) Pinus Sylvestris L.

（５）テウセンゴエフ松{(a) Pinus Koriensis

又濶葉樹の主なるものは次の如し。

（１）楢類ニテハ {(a) Quercus Mongolica, Fischer

（２）白楊類 {(a) Populus tremula, L / (b) Populas Suareolens, F.}

（３）梣類ニテハ {(a) Fraxinus Mandshurica Rupr

（４）黃蘗類ニテハ {(a) Phellodendron Amurensis Rupr

（５）楡類ニテハ {(a) Nlmes Campestris Sm.

（６）胡桃類ニテハ {(a) Juglaus Mandshurica

此の濶葉樹中唐檜、白楊類は沿海州地方に多く、黑龍州より後貝加爾州に至るに從ひ、漸次歐州赤松及落葉松が其の多數を占むると云ふ。

而して我國に輸入せらるゝ樹種を擧ぐれば次の如し。

（１）Larix Duhurica Turer カラマツ一種

（２）Larix Sibirica Ledlb 同　上

（３）Rinus Koraiensis S. et Z. テウセンマツ

（４）Rinns Silvestirs L. 歐洲アカマツ

（５）Picia Ajanensis Fisch エゾマツ

（６）Ticia Abovata Ledeb タウヒノ一種

（７）Abies Holophylla. Max モミノ一種

（８）Acies Nephrolepis. Max 同　上

（９）Abics Sachalinensis. Max トドマツ

（10）Populus Tremula. L. ヤマナラシ

（11）Papulus Suaveolens. Fisch ドロノキ

（12）Juglrus Mandschurica. Max 滿洲グルミ

（13）Salix Caprea. L. バッコヤナギ

（14）Betua Latilfolia. Tausch シラカシバ

（15）Alnus Incana. W. ヤマハンノキ

（16）Quercus Mongolica. Fisch 蒙古ナラ

（17）Ulmrs Montama Sm. オヒョウニレ（ノ一種）

（18）Acer Mono. Max イタヤカヘデ

(19) Tilia Mandschurica. Rupr 満洲シナノキ

(20) Phellodendron. Rupr キハダ

(21) Fraxinus Mandschurica. Rupr ヤチダモ

以上の一、二、三、四、は建築、枕木、電柱、家具、包裝箱用材等一〇、一一、はマッチ用材等に用ひらる。而して西伯利に於けるパインファー及シダーは、大正九年より、又白楊は大正六、七年頃よりマッチの軸木として使用せらるゝに至り、從て漸次輸入の激增を見るに至れり。今最近數年間に於けるパインファー・シダー及白楊の輸入數量及價額を示せば次の如し。

樹種	國名	量價＼年次	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年上半期
パイン・ファー及シダー	露領亞細亞	數量(石)	四四、四〇三	一〇一、三五一	四六七、八三一	一、八六七、八四六	一、三六九、三〇九	三三〇、一六五
		價格(圓)	二九〇、〇〇〇	六六八、三七〇	二、八四八、〇〇〇	二、九九六、六九九	九七一、二六九	一、八六三、九六八
ハコヤナギ及ドロノキ(白楊)	露領亞細亞	數量(石)	一九六、四五五	八五、八六八	一八七、四六三	一七二、二一八	一三七、六四一	—
		價格(圓)	二、三一六、三〇三	一、四七三、八九七	三、五五二、六二〇	三、〇四九、六四九	二、二〇九	—
合計		數量(石)	二四〇、八五七	一八七、二一九	六五五、二九四	二、〇四〇、〇六四	一、四〇六、八五〇	三三〇、一六五
		價格(圓)	二、六〇六、三〇三	二、一〇二、二六七	六、四〇〇、六二〇	六、〇四六、三四八	九七三、四九八	一、八六三、九六八

其の三、支那

支那產木材で本邦に輸入せらるゝものは

一、自北部地方 ⎫ 桐材、白楊、鴨綠材、吉林材、圖們江材の內紅材、杉松、からまつ等なり
二、至中部地方 ⎭

三、南部地方より福州杉、福州松等なり

此の內特に多量の材積を有する吉林省の森林面積は千百萬町步總蓄積五十二億石

內　針葉樹十八億、濶葉樹三十四億

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

而して其の針葉樹の主なるものは次の如し。

（1） テウセンマツ Rinus Koriensis S. et Z.
（2） タウヒ Picea Ajaneusis Fischer
（3） テウセンハリモミ Picea Shreukiana Rupr
（4） テウセンシラベ Abis Nephroledis Maxim
（5） テウセンモミ Abies Holohhylla Maxim
（6） テウセンカラマツ Larix Davurica Turay

此の内パインフアー及シダーの輸入量は次の如し

年度別	數量	價額
大正十年度	一六八、〇〇〇石	一、六一〇、〇〇〇・〇〇〇円
同 十一年度	二五八、〇〇〇	二、四一〇、〇〇〇・〇〇〇
同 十二年度	一六〇、〇〇〇	一、四一〇、〇〇〇・〇〇〇

北滿地方の木材中最も多量に輸入せらるゝは鴨綠江材にして、吉林材圖們江材之に次ぐ。

今支那より輸入する最近に於ける材積及價格を示せば次の如し。

イ、パインフアー及シダーの輸入總量及價額

樹種	地位	量價＼年次	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年上半季
パインフアー及シダー	支那	數量（石）	九九〇	三、五三九	一六八、三〇〇	一八五、一〇五	一一六、六三八	七五、九二一
		價格（圓）	一三、〇〇〇	五七、四〇三	一、六一一、〇〇〇	一、四三九、九二六	一、〇〇一、五二五	六七五、一六一
	關東州	數量（石）				七三、七一四	四二、八九七	一八、四七九
		價格（圓）				六九七、五八六	四一三、五三九	二四九、九八六
合計		數量（石）	九九〇	三、五三九	一六八、三〇〇	二五八、八一九	一五九、五三四	九四、三九〇
		價格（圓）	一三、〇〇〇	五七、四〇三	一、六一一、〇〇〇	二、一三九、五一二	一、四一五、〇六四	九二五、一四七

ロ、桐の地方別輸入總量及價額

年次＼地方	支那（斤）	支那（円）	關東州（斤）	關東州（円）	其ノ他（斤）	其ノ他（円）	計（斤）	計（円）
大正元年	九六七、九六一	五四、三一四	一五四、九〇八	七、六九五	—	—	一、一二二、八六九	六二、〇〇九
同二年	一、五一七、九三〇	七九、七四四	九二八、九六五	四八、八六四	—	—	二、四四六、八九五	一二八、六〇八
同三年	一、六二八、三九二	八三、四六二	七六一、〇一九	三八、一五〇	—	—	二、三八九、四一一	一二一、六一二
同四年	三、八〇五、三七三	一九七、三三一	一、六八七、〇八三	九〇、七八二	—	—	五、四九二、四五六	二八八、一一三
同五年	四、五二一、四三二	二五一、三七〇	一、三〇七、一五五	六九、〇九一	五五一	三三	五、八二九、一三八	三二〇、四九四
同六年	六、七四四、八三七	三六七、八三二	五七八、五二七	五四、一六三	—	—	七、三二三、三六四	四二一、九九五
同七年	七、九七三、一四二	七二一、四一七	七七〇、九四〇	六九、七七六	六、七六二	七〇〇	八、七五〇、八四四	七九一、八九三
同八年	一一、三〇〇、六九三	一、五九一、五七三	一、一五七、八五一	一五三、五四二	—	—	一二、四五八、五四四	一、七四五、一一五
同九年	一四、一〇三、八三七	三、一七四、七八四	九二四、四一三	二一二、二六九	—	—	一五、〇二八、二五〇	三、三八七、〇五三
同十年	二六九、二九二	五、五一七、六六八	八、五八二	一八三、九一一	九	一九〇	二七七、八八三	五、七〇一、七六九

桐材の如きは大正十年に價額五百七十萬圓に達し、其の後輸入減少して大正十二年に於ては三百七十七萬圓に減じたりと雖も、其の輸入數量は誠に大なりと云はざる可からず。

其の四、南洋

南洋輸入材を其の數量に係らず悉く列擧すれば次の如し。

一、紫　　壇　Pterocaipus Santalinus L. Fil
二、白紫壇　Pterocarpus Santalinus
三、花梨木　Lealbergia Sp ?
四、鐵刀木　Cassia Siamea, Lam.
五、本黒壇　Mababuxifolia, Rers
六、縞黒壇　(1) Diapyros Quaesita Thw. (2) D. Appositifolia Thw (3) D. Pilosanmera Thw (4) D.Discoeor Willd
七、紅　　木　Adenanthera Pavonina L.
八、黄楊木　Buxus Sp

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九、リグナムヴアイタ　Guaia Cumofficinale L.
一〇、マホガニー　Swietena MahogoniL.
一一、チーク　Tectinia Glandis L.
一二、ホワイトスウアン　Shorea Sp ?
一三、レッドラウアン　Shorea Sp
一四、ミラボウ　Jutsia Bakeri Grain
一五、メンギール　Shorea Sp.
一六、ヤカール　Hopea Sp.
一七、アピトン　Leip Terocurpus Sp.
一八、カポール　Leryobalanops Sp.
一九、タムブリアン　Eusideroxylon Gwageri T. et B.

今重なるもの丶樹種別輸入數量及價格を示せば次の如し。

樹種別輸入總量及價格

樹種		大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年
花梨木、鐵刀木、紅木、黄楊木、紫檀、黒檀	數量(斤)	五,九九三,〇五四	八,三八七,六六一	七,三三八,〇七八	八,二〇三,一〇六	八,一八八,五二四
	價額(圓)	五五七,〇三二	九一〇,九〇八	六五二,九三二	五八七,六六九	五三八,五〇七
縞黒檀	數量(斤)	四,四四五,五七七	四,二五九,四五一	五,一七九,五六二	五,八〇五,一九三	五,一〇五,三五九
	價額(圓)	四四一,二〇九	四一〇,五五八	三八一,三六二	四四六,〇六七	三二五,五八〇
計	數量(斤)	一〇,四三八,六三一	一二,六四七,一一二	一二,五一七,六四〇	一四,〇〇八,二九九	一三,二九三,八八三
	價額(圓)	九九八,二四一	一,三二一,四六六	一,〇五九,四二九	一,〇三三,七三六	八六四,〇六七
チーク	數量(斤)	三,二九五	五,七三一	六,四六八	六,六一五	七,五九九
	價額(圓)	五〇三,〇八九	九九九,六三九	一,〇三四,二九四	一,〇九六,七六九	一,一八三,一六三
其ノ他	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(圓)	三八八,二七六	三六六,六一三	七四五,八七四	五〇九,七八〇	八二五,一七〇
合計	數量(斤)	—	—	—	—	—
	價額(圓)	一,八八九,六〇六	二,六八七,七一八	二,八三九,五九七	二,六四〇,二八五	二,八七二,四〇〇

備考　其の他の内にはリグナムヴアイタ、マホガニー、オーク及比律賓、ボルネオ等より近來輸入せらるゝラウアン、ミラボウ等を含むこれを輸入國別に示せば次の如し

(イ) 花梨木、鐵刀木、紅木、黃楊木、紫檀、黑檀

國別	單位	大正元年	同 二年	同 三年	同 四年	同 五年	同 六年	同 七年	同 八年	同 九年	同 十年
支那	斤	三六、五三三	二、六八五、一四三	二、四五三、三五六	一、五二一、三七一	一、八三八、九一三	一、五九六、〇六一	一、六八四、三〇〇	四、四三〇、〇一八	二、三二一、四二〇	三、二〇五、一八六
	圓	九、二五九	九三、三六八	一〇〇、九六一	五三、二五三	八〇、二五一	八二、八七〇	一二五、七八六	四二〇、七九七	三三一、一六八	三九一、五〇三
英領印度	斤	七、八三三	三五、一三三	一八〇、三六四	九八、一六〇	一三九、〇五一	七五一、九六六	―	一二九、五一三	四六、八四〇	五、〇九二
	圓	四、二三三	二、三六四	七、五七八	四、八八九	七、三八一	三六、一五六	―	一一、四九五	二、九六四	三〇九
海峽植民地	斤	一九、七五〇	三九、一五五	五六、七五〇	一、七九二	二三三、四七〇	四六、九〇二	二四、〇四〇	一六三、四〇四	一〇八、六九六	一四七、一七六
	圓	一、三四〇	九六八	三、三八六	六〇	二、九六九	三、四三五	一、四三九	九、七六一	五、六三一	一四、六四一
蘭領印度	斤	一、二五九、二六六	六〇五、四七九	一、八六〇、四八七	三〇二、六六五	三六五、四三一	一八八、〇七四	九六	二七九、九二六	二、二六八、二八二	二、〇〇六、三〇〇
	圓	四七、三七六	二六、五三三	八二、一三九	一三、五一〇	二〇、六七八	八、五二〇	五	二六、〇〇四	二二三、六五七	一四五、八五三
佛領印度	斤	七四、三三一	五九七、三五四	一五〇、八九八	五一二、三九九	五九九、四四七	四三、一五四	―	七三、八〇三	六三、三五七	―
	圓	一九、九一三	一四、九八一	三、三三〇	一三、五二六	一七、一一五	二、一五八	―	四、三六八	八、二〇〇	―
暹羅	斤	一、〇三五、八三八	五七八、〇一八	二五六、八七四	六二四、三八五	六八五、〇六六	一、一七九、〇五八	二、一五一、四二五	三三四、〇二〇	二、二四八、五〇七	九九七、九三四
	圓	三一、五一〇	一五、二八〇	九、八五九	二一、四〇四	二五、二七七	七八、三三一	一七〇、五八九	三〇、三七八	二〇九、二八七	八九、三三四
獨逸	斤	七〇、七八六	八二、一三六	九二、三六七	―	―	―	―	―	―	―
	圓	四、一五三	四、三〇八	四、九九九	―	―	―	―	―	―	―
其ノ他	斤	五〇五、三三六	四五三、八七三	九一五、七九六	五一三、八二〇	五八四、一七四	一三一、五二六	一六五、三四九	六〇三、三六八	一、四三八、六五九	九七八、三九〇
	圓	一七、一七四	一九、一一〇	四〇、八二〇	二三、四九〇	三一、二四〇	八、八九一	一八、四四七	五四、三三九	一三八、九九一	一一二、三〇三
計	斤	四、〇六九、四七二	五、〇七五、二九五	五、九六五、五九二	三、五六四、四九二	四、四七五、五六二	三、九三六、七四一	四、〇三五、三二二	五、九九三、〇五四	八、三六七、六六一	七、三三八、〇七八
	圓	一三四、九四九	一七六、八七一	二五二、九七二	一二九、一三三	一九三、九一一	二二〇、三六一	三〇六、二六六	五五七、〇三一	九一〇、九〇八	六五二、九三一

備考　大正元年乃至四年中には縞黑檀の數量價格を含む。

(ロ) 縞黑檀

國別 年次 單位	大正元年	同 二年	同 三年	同 四年	同 五年	同 六年	同 七年	同 八年	同 九年	同 十年
斤	—	—	—	—	一、八三二、二六四	二、三六六、八六八	四、一七五、六六二	四、四四五、五七七	四、二五九、四五一	五、一七九、五六二
圓	—	—	—	—	八九、一三九	一三〇、一五七	三二一、三六八	四四一、二〇九	四一〇、五五八	三八一、三六二

(ハ) チーク

國別	年次 單位	大正元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年
支那	立方米	二	—	—	—	—	一六七	二八五	五	二六	一三
	圓	四三	—	—	—	—	二八、〇二〇	五九、五六八	八九六	六、三三八	二、六六七
關東州	立方米	—	一〇	—	—	—	—	—	—	—	—
	圓	—	一二〇	—	—	—	—	—	—	—	—
英領印度	立方米	一、八二七	五六六	一、四二三	一、一一〇	一四九	—	五〇	二九七	七九	三一七
	圓	一六〇、八六三	五四、〇三一	一四六、三六九	一〇六、七三八	一六、〇二九	—	七、一四九	三八、二一九	九、九〇七	五一、九〇五
佛領印度	立方米	—	八五	—	—	一	—	二	六六	—	—
	圓	—	八、三七三	—	—	五〇	—	一、六一七	一〇、七六八	—	—
暹羅	立方米	五、八〇五	五、七七六	二、〇九八	九六八	一、三二四	二、六六一	二、九五六	二、一四一	五、二六七	五、七六〇
	圓	五一七、九六五	四六五、四七八	一八四、九八二	八八、一七六	一三三、八二九	二九九、一二六	四四〇、一六八	三五〇、五三八	九二八、八一五	九四八、五三九
其他	立方米	—	—	一	九	三	六	一四五	七八六	三三七	三六八
	圓	—	—	六一	七九三	一、〇一九	六九三	一九、一四六	一〇二、六七八	五四、五七九	五六、三四八
計	立方米	七、六四四	六、四二七	三、五三三	二、〇四七	一、四七九	二、八三四	三、四四七	三、二九五	五、七三一	六、四六八
	圓	六七八、八七一	五二七、九〇二	三三一、三四八	一九五、七〇七	一四〇、九二七	三二七、八二九	五一七、六四八	五〇三、〇八九	九九九、六三九	一、〇五九、四二九

尚此の外パインファー、及シダーのみにつき最近の輸入數量を示せば次の如し。

	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年自一月至六月
材積石	四四九、五九〇	二九三、五八四	八七四、一九六	三、三五九、三六五	八、二七九、四四二	七七〇、一六八	七、〇三四、九六八

價額圓	八、〇三三、七一〇	四、九三八、九一七	一五、九二一、三〇六	三一、三八二、五四三	七四、七〇六、九六六	七七、七四一、八三二	七九、七三五、七〇五

我が國と木材取引をなす重なる諸外國の狀況は右の如くなるが、更に翻つて我が國内の狀況に就て少しく述べる處あるべし。

(三) 我國に於ける森林狀況及需給力

大正十年末の農商務省の統計により其の見込面積を示せば次表の如し。

所有別	立木地	無立木地	計
御料有	四二二、三四二町	一五八、四三八町	五八〇、七八〇町
國有	四、一〇八、六〇九	一一四、五七一	四、二二三、一八〇
公有	二、三〇五、四三六	一、二〇四、八〇七	三、五一〇、二四三
社寺有	一一五、〇四四	一四、三六八	一二九、四一二
私有	六、九一一、三二八	一、二五〇、三九四	八、一六一、七二二
計	一三、八六二、七五九	二、七四二、五七八	一六、六〇五、三三七

而して此の立木地と雖も原生林にして老齢の森林もあり、又最近の造林にして尚幼齢林をなすものありて一律に論ずることは能はざるも、要するに造林は明治四十一年以降大正六年迄の過去十箇年間に百三十萬町の造林を實行せり。而して森林狀況に應じて其の蓄積と生長量を定め、以て國内全森林の總蓄積と總生長量を推定して輪伐令を定め、以て標準年伐量を推算するときは、立木材積として年々一億一千萬石の伐採量を有すと云ふ。

而して前記の新植地より生ずる間伐材は、今後十年間には平均年伐八百萬石、次の二期十年間には二千三

百五十萬石、次の三期十年間には六千七百十六萬石の生産を得ること丶なり、前記在來の森林より生ずる年伐一億一千萬石と合算するときは

將來の一期十年間には　一億一千八百萬石
同　二期十年間には　一億四千萬石
同　三期十年間には　一億七千七百萬石

の生産を得べし。

而して今伐採量を見るに、明治四十年より大正五年迄過去十箇年間に於ける森林の年平均伐採額は一億四千四百萬石に達せるを以て、當時既に三千四百萬石の過伐をなしたり。而して大正六、七年の候に於ては、平均一億七千萬石の伐採をなしたるを以て、結局六千萬石の過伐を敢てしたること丶なる。

今重複を顧みず之を一覽表にすれば

年代	年生長量	實際伐採量	過伐量	摘要
自明治四十年至大正五年	一億一千萬石	一億四千四百萬石	三千四百萬石	
大正六、七年	一億一千萬石	一億七千萬石	六千萬石	
今後一期十年間	一億一千八百萬石	推定 一億五千萬石	毎年 三千二百萬石	明治四十年以降造林せるもの、間伐材を見込む
同　二期十年間	一億四千萬石	同 一億五千萬石	同 一千萬石	同
同　三期十年間	一億七千七百萬石	同 一億五千萬石	生產過剩 二千七百萬石	同

本表に依りて之を見るときは、近年の伐採量を假に大正五、六年と同様と見て一億五千萬石と假定すれば、今後第三期に該當する年に達して、初めて二千萬餘石の生長量超過すること丶なる。然れども斯は前述の如く大正五、六年の伐採量を基準とすることに依て初めて斯くの如き數字を示すものなれども、實際に於ては尙

之より漸増せるは疑なかるべく、而も明治四十年より第三期に達する迄約四十年間は毎年過伐となるを免るゝ能はず。即ち

年代	一箇年過伐量	過伐總量
自明治四十年 至大正五年	三千四百萬石	三億四千萬石
自大正六年 至大正十五年	四千萬石	四億萬石
今後一期十年間	三千二百萬石	三億二千萬石
同 二期十年間	一千萬石	一億萬石
計		十一億六千萬石

之れに依て之れを見れば、今後二期十年末迄には十一億萬石の過伐となるに依り實際の生長量は破碎せられ、今後第三期十年間に於ける生長過剩二千七百萬石の如きは明かに消滅し、更に進んで文化の進展に伴ひ大不足を來すに至るべし。然れども今後二十年間に十億萬石の過伐をなさば、事實我國の森林は根本を破碎せらるゝを以て、今後は更に益々造林を奬勵して其の過伐を防止することに務めざるべからず。今試に內地及北海道に於ける木材消費概況を示せば次の如し。

總量　三六八、四〇八千石（大正八年調査）

內譯

樹種／用途	針葉樹	濶葉樹	計
用材	五三、四九九千石	一六、二四一千石	六九、七四〇千石
薪材	六五、八九七	一二九、五一五	一九五、四一二
炭材	一、八五九	一〇一、三九七	一〇三、二五六
合計	一二一、二五五	二四七、一五三	三六八、四〇八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當時の需要量は歐洲戰亂の影響に依ること甚大なるものありと雖も、人口の增加及文化の進展に伴ふ木材の消費は逐年急激なる增加の形勢に在ることは疑ふ餘地なきことにして、今其當時の木材の需要に就て略述すれば

一、鑛山用材、五百萬石

鑛山の狀況に依て木材需要量を異にするならんも、石炭四噸採掘につき木材一石を要すと云ふを以て年々約二千萬噸の採掘に當りては上記の材積を必要とす。尙此の外銅・鐵・マンガン其の他の採掘に當りても相當大量の木材を要するは明かなり。

一、鐵道枕木、三百萬石

我國の鐵道延長は現在約一萬哩にして（勿論年々新設延長されつゝあり）今假に一哩につき取替所用材積二百石とすれば、立木材積に於て三百萬石を要する次第なり。

一、建築用材、

千四百五十萬石
- 五百萬石　從來のもの丶補修
- 七百五十萬石　人口增加に伴ふ新築
- 二百萬石　火災等に依る再築

一、橋梁用材、二千七百六十萬石

全國を通じて木橋甚だ多く、大正五年の調査に依れば、其の數二十七萬、此の所要材積二千二百萬石、尙此外破損・水害流出による復舊のもの立木材積五百六十萬石、而して板材は四年、他は十年乃至十二年間使用に堪へ得べし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、電柱用材、八十萬石
　立木材積百三十萬石（一本一、五石餘）
一、パルプ、六百萬石（大正八年調査）
而して年々増加の趨勢。
其の他紡績用・木板用材・鉛筆・マッチ・ベニア材・曲木・椅子用材等優良なる木材を消費する工業甚だ多かりき。

（續く）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣貿易統計（大正十五年七月）

臺灣總督府稅關

□貿易額比較

外國貿易	十五年七月	十四年七月	十五年累計	十四年累計	增減（●）
輸出	三、七五三、四〇九円	三、七四八、五一九円	二六、九五一、〇七五円	二二、八八九、八五〇円	四、〇六一、二二五円
輸入	四、四三四、四九六	二、五四七、三三六	三八、七九八、三四三	二八、三二六、七九二	一〇、四七一、五五一
計	八、一八七、九〇五	六、二九五、八五五	六五、七四九、四一八	五一、二一六、六四二	一四、六三二、七七六
輸出（入）超過	六八一、一四二	一、二〇一、一八三	（入）一一、八四七、二六八	（入）五、四三六、九四二	—

內地貿易	十五年七月	十四年七月	十五年累計	十四年累計	增減（●）
移出	一三、一三四、〇三二円	一七、八七六、三八〇円	一四七、二二七、五五九円	一五一、六三八、二九五円	●四、四一〇、六九六円
移入	八、六九五、四三六	九、五八七、五〇三	六七、六五六、四九五	六八、一〇八、三二〇	●四五一、八六五
計	二一、八二九、四六八	二七、四六三、八八三	二一四、八八四、〇五四	二一九、七四六、六一五	●四、八六二、五六一
移出（入）超過	四、四三八、五九六	八、二八八、八七七	七九、五七一、一〇四	八三、五二九、九七五	—

□輸出

	七月		十五年累計		十四年累計		增減（●）	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
石炭 噸	四八、八二九	五四二、七八六円	四五九、二九三	五、一九〇、三三九円	三八〇、六八九	三、九五二、四五五円	七八、六〇四	一、二三七、七七四円
包種茶 斤	八二八、一八〇	六一四、八一五	四、七八七、七五六	三、六九二、八九五	三、九六九、〇四六	三、一三四、一七三	八一八、七一〇	五五八、七二二
砂糖 同	一、〇五〇、六四七	一三九、六五四	一七、三〇〇、七一五	二、四一六、〇〇七	二五、六三六、四六七	三、五九一、九六八	●八、三三五、七五二	●一、一七五、九六一

品名	單位	七月 數量	七月 價額(円)	十五年累計 數量	十五年累計 價額(円)	十四年累計 數量	十四年累計 價額(円)	增減(●) 數量	增減(●) 價額(円)
烏龍茶	同	966,124	760,091	1,539,589	1,116,841	2,547,900	1,666,213	●1,008,311	●549,372
綿織物	碼	1,348,428	288,880	11,041,889	2,832,376	4,346,580	1,161,824	6,695,309	1,670,552
樟腦	斤	75,000	128,501	711,632	1,230,188	1,312,019	2,302,762	●600,387	●1,072,574
鍋	同	189,634	61,102	4,810,358	1,441,185	661,380	288,771	4,148,978	1,152,414
酒精	升	423,800	157,036	3,290,980	1,107,626	3,629,200	1,107,049	●338,220	577
鹹魚及乾魚	斤	516,703	109,673	3,981,533	843,997	6,296,664	989,993	●2,315,131	●145,996
セメント	同	5,924,802	133,148	55,478,698	1,180,635	25,567,480	528,693	29,911,218	651,942
紙	同	347,823	24,290	3,551,821	302,244	3,757,577	279,976	●205,756	22,268
燐寸	哥	23,660	14,927	191,648	136,976	232,282	180,562	●40,634	●43,586
苧麻	斤	207,669	78,532	803,892	307,063	875,986	345,777	●72,094	●38,714
貝柱	同	30,703	57,791	293,768	279,103	148,373	189,094	145,395	90,009
硝子罎	個	657,326	18,175	5,096,591	133,878	6,610,136	170,551	●1,513,545	●36,673
其他諸品		—	684,019	—	4,647,832	—	3,000,019	—	1,647,813
計		—	3,753,409	—	26,951,075	—	22,889,850	—	4,061,225

輸入

品名	單位	七月 數量	七月 價額(円)	十五年累計 數量	十五年累計 價額(円)	十四年累計 數量	十四年累計 價額(円)	增減(●) 數量	增減(●) 價額(円)
大豆油糟	斤	19,688,000	1,029,542	164,691,982	8,657,764	147,042,542	8,053,762	17,649,440	604,002
硫酸アンモニウム	同	4,021,682	369,578	29,333,476	2,931,827	13,953,575	1,169,077	15,379,901	1,762,750
砂糖	同	—	—	25,335,319	3,152,300	13,805,252	1,865,910	11,530,067	1,286,390
大豆	同	5,339,672	365,876	29,824,910	2,069,240	24,225,572	1,910,215	5,599,338	159,025
阿片	同	—	—	33,223	876,295	28,934	713,326	4,289	●162,969
ガンニー嚢	個	353,200	191,448	2,382,999	1,671,306	2,294,000	1,740,065	88,999	●68,759
木材		—	169,357	—	1,164,104	—	1,068,088	—	96,016

米（籾共）	斤	一〇,七七四,三六九	一,〇四六,五五四	一八,〇一五,八二二	七,三八七,三四二	一三,九四三,五七五	一,一六九,〇七七	六四,〇七二,二四六	六,二二八,二六五
石油	ガロン	四〇二,四〇六	一九四,三三三	一,五三九,五六〇	八一六,七三八	一,一五二,六五六	七七三,〇八八	三八六,九〇四	四五二,六四〇
包蓆	枚	三〇〇,一〇〇	五三,一七三	二,八四九,四二〇	五四二,八一六	二,〇五三,六六六	四六〇,三九四	七九五,七五四 •	八二,四三三
小麥	斤	一,〇八七,三七三	九〇,五二四	七,六九一,一七〇	六八三,三〇八	九,四四〇,三一〇	八八九,八四八 •	一,七四九,一四〇 •	二〇六,六四〇
葉煙草	同	二六,七八七	三九,六九九	一,一五四,六四九	三九一,七七〇	一,一〇五,八三〇	六二四,六一六	二八,七九九 •	三三,八四六
毛織物	方碼	一,三七二	二,三三四	一六七,七五〇	一三五,九一七	二九三,五三八	四二五,一六六 •	一三五,七八八 •	一八九,二四九
鹹魚	斤	一八七	三〇	一〇,八五七,一八七	七五八,九一〇	五,二七〇,五八六	四八一,四八二	五,五八六,六〇一	二七七,四二六
黄麻	同	三〇,九七七	三,六八三	二,四三六,八四九	四三二,九三三	一,五〇二,三三七	二六〇,四八四	九二四,五三三	一四二,四四八
苧麻布	方碼	一〇〇,八六四	二一,三五六	一,一三三,四〇九	二八六,四七六 •	一,二四四,八七三	三七〇,三六五 •	二二一,四六四 •	八三,八八九
禮拜紙	斤	一六,九四八	二〇,五二四	九六二,三六五	二七三,二三三	七七六,七〇九	二四七,一四五	一八五,六七六	三六,〇七八
綿	同	三五,五〇一	一六,五〇八	四〇五,九六六	二〇六,六一三	八六,三七八	五六,三六一	三二九,五五八	一五〇,二五一
綿絲	同	七〇一,三三〇	七一,六五〇	四,八五六,三三五	四七四,一三五	三,五五四,九〇三	二三〇,四八〇	一,三〇一,六三三	二四三,六五五
コンデンスドミルク	打	—	—	一〇,〇五六	五五,七六八	二四,四五九	一一五,四九二 •	一四,四〇三 •	六一,七六四
陶磁器		—	二四,三二六	—	一九二,四六八	—	一七六,三四九	—	一六,一一九
唐紙	斤	一九〇,四二四	一七,一三七	一,六九一,九六六	一六七,五九〇	一,四一七,六五九	一六六,〇五七	二七四,三三七	一,五三三
綿織物	方碼	一〇,七一六	九,〇六六	三五一,五九二	二七六,九二六	二八一,五四三	二三一,四五三	七〇,〇四九	四五,四七三
パラフインワックス	斤	三二,四三八	六,九六六	二四四,六一〇	六二,八三六	三三四,八八八	九五,三三一 •	九〇,二七八 •	三三,三九五
錫	同	七,七二七	一三,四四八	七二,六四九	一三〇,四三八	六九,七二一	一三一,一四一	二,九三八 •	七〇三
豆素麵	同	三二,六三五	九,九九〇	三一九,二六七	一〇〇,七六四	二四四,二三三	九六,六一四	七五,〇四四	四,一五〇
石炭	噸	〇,三三	二	四,五〇〇	五二,五六一	九,四五六	一三三,七九五 •	四,九五六 •	七一,二三四
苧麻綿布	方碼	五,〇五九	二,〇四六	二〇五,三三六	八七,八六〇	二八二,五〇二	一三七,三〇五 •	七,一六六 •	四九,四四五
機械用油	斤	二九,七五四	一〇,一三五	三六〇,七九〇	六五,七二九	三七〇,三五六	六〇,九八六	一〇,五三四	四,七四三
輕油	ガロン	—	—	五九,九九五	六三,三三三	三三,〇六〇	四三,五八九	二六,九三五	一九,七三四
其他諸品		—	六五四,八三三	—	四,三四一,二二五	—	四,三一九,八三一	—	二,三八四
計		—	四,四三四,四九六	—	三八,七九八,三四三	—	二八,二二六,七九二	—	一〇,五七一,五五一

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

移出

品名	單位	七月 數量	七月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
砂糖	斤	一五,一九九,一五〇	一,九六八,五七三円	七三一,三五八,七五三	九五,九四七,五六二円	六五六,一四八,三八一	九七,三三二,四四八円	七五,二一〇,三七二	•一,三八四,八八六円
米	同	五三,八〇七,五九四	六,八九六,五四二	二三〇,四七八,一七四	二六,五六一,三六四	二四三,〇五〇,二三〇	三〇,四五八,七五〇	•一二,五七二,〇五六	•三,八九七,三八六
芭蕉實	同	二三,五六〇,七二三	一,六〇〇,一三〇	一一〇,一二七,六二三	六,九八五,九三四	八七,四〇二,七四二	六,五二三,二九四	二二,七二四,八八一	四六二,六四〇
酒精	升	四七九,三六〇	二六七,三六一	五,一四二,八八〇	二七四,二四六	四,五一五,二四〇	二四一,九三一	六二七,六四〇	三二,三一五
木材		—	七七,五一六	—	一,八二六,三九一	—	一,五三五,七四七	—	二九〇,六四四
樟腦油	斤	五四五,〇三五	三〇〇,六七二	三,七〇七,〇〇二	一,九一七,九五二	二,九一九,四六六	一,四四〇,四六〇	七八七,五三六	四七七,四九二
切乾薯	同	五,二四四,五八〇	二三六,九五三	六,二六八,一六〇	二六九,六六〇	三五,一六〇,八八〇	一,三六六,二三六	•二八,八九二,七二〇	•一,〇九六,五七六
鳳梨罐詰	打	一〇一,〇九五	三三八,三〇四	三一〇,六三七	一,一二八,八八一	二九四,七二六	一,一一四,八二一	一五,九一一	一四,〇六〇
石炭	噸	七,六〇〇	六九,一〇〇	八二,六〇三	七八二,八三一	一二二,三九八	一,二五四,一〇八	•三九,七九五	•四七一,二七七
模造パナマ帽子	箇	三三三,六〇〇	一四二,六一〇	二,二五一,四〇〇	八九三,六三五	一,八八九,六四〇	六三九,二二三	三六一,七六〇	二五四,四一二
鰹節	斤	二三五,〇三四	二三七,七一二	八八九,七〇三	九一七,〇六七	六六三,七二五	六五三,二五四	二二五,九七八	二六三,八一三
食鹽	同	一四,三二五,五四〇	一一四,一二一	七〇,五二五,八四〇	五五五,三〇九	九八,〇五六,七〇四	八六九,二五七	•二七,五三〇,八六四	•三一三,九四八
樟腦	同	七七,五六〇	一〇七,四七一	六五六,六六二	一,二四八,〇一九	五二四,九六一	九一一,三七四	一三一,七〇一	三三六,六四五
鑛	同	四,九五四,八四四	九六,一八七	三四,四七八,五五八	七一六,四一七	二二,〇九九,〇〇七	五〇九,六一三	一二,三七九,五五一	二〇六,八〇四
麻織物	碼	三二一,六七〇	四一,六一五	一,三六九,九〇〇	四〇三,〇五五	一,六八九,三六二	四〇二,九四六	•三一九,四六二	一〇九
其他諸品		—	七六,一四六	—	四,二九九,二七六	—	四,一九七,八三二	—	一〇一,四四四
計		—	一三,一三四,〇三三	—	一四七,二二七,五九九	—	一五一,六三八,二九五	—	•四,四一〇,六九六

移入

品名	單位	七月 數量	七月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
米	石	一,一〇三	四九,三六五円	一六,六一九	六一三,〇九〇円	四四九,二七六	一一,二七九,三二六円	•四三二,六五七	•一〇,六六六,二三六円

綿及綿織物		—	一,二四六,五八九	—	一〇,六八〇,三七七	—	七,二三六,六七七	—	三,四四三,六八〇
肥料	斤	五六,八四九,三〇六	二四二,六八二	四五,六二二,七〇七	二,二四六,二四八	五九,八〇四,六〇五	三,六九九,六九三	•一四,一九一,八九八	•一,四五八,四四五
鐵	同	五,二〇七,一八二	五四六,九九二	三五,五一五,〇一九	四,〇二五,九三三	二七,八九三,二七五	三,五九九,三三一	七,六三二,七四四	四二六,五九二
鹹乾魚	同	二,四〇四,三三七	四五二,二四三	一三,六六二,九四三	二,七五一,一三九	二一,七二四,七六三	三,三五二,六八一	•八,〇六一,八二〇	•六〇一,五四二
小參粉	同	一,九四〇,四八九	二三六,八九二	一八,五三五,五六一	二,二七四,六九八	一五,三九三,三三五	二,〇五六,七九九	三,一三三,二三六	二一七,八九九
鹽	同	三二六,四九四	一〇四,五九二	六,一三二,一五九	一,七八四,五六五	一,三四三,七一五	六七九,二九五	四,七八八,四四四	一,一〇五,二七〇
紙		—	一九七,二九二	—	一,八一七,二七四	—	一,八五五,四三八	—	•三八,一六四
ガンニー袋	箇	一,〇九六,九〇〇	六四九,九二〇	二,四八九,一三〇	一,四九九,〇〇四	二,三一九,六九〇	一,三九七,七六五	一六九,四六〇	一〇一,二三九
鐵製品		—	二〇〇,六一〇	—	一,四七五,二二八	—	一,三三四,六〇一	—	二五〇,六二七
木材		—	二六二,八七二	—	一,九三三,〇〇九	—	九六五,五九七	—	九六七,四一三
絲類		—	一三四,二九五	—	一,二四五,九五三	—	一,〇〇四,七四二	—	二四一,二二一
清酒	打	六,八〇四	六三,〇一九	六三,二八四	五七四,九九一	七一,九一五	六九八,三五〇	•八,六三一	•一三三,三五九
麥酒	同	四一,〇四三	一九八,五七〇	三三二,三〇一	一,五三七,一七〇	二八一,九三三	一,三三二,八〇一	四〇,三六九	一九四,三六九
紙巻煙草	千箇	五六,七八〇	一三〇,六九三	五〇七,九八〇	一,一九三,八四五	四六〇,一四〇	九五三,四六四	四七,八四〇	二四〇,三六一
メリヤス肌衣		—	八〇,九三五	—	三七二,四五八	—	二八,〇七九	—	一五四,三七九
燐寸	哥	一四二,一三八	一〇五,一六八	八八四,九三五	六七九,三一九	九九〇,五二七	七九八,二七〇	•一〇五,五九二	•一一八,九五一
罐詰食物		—	一二九,七〇三	—	一,〇八九,三七一	—	七六八,三〇七	—	三三一,三六四
自轉車同部分品及附屬品		—	九二,〇五八	—	八八八,二七〇	—	六二〇,〇四三	—	二六八,二三七
石油	ガロン	三四,八四〇	六八,四四四	九九〇,六一〇	五三三,〇四二	一,〇二一,三七五	六九八,九七一	•三〇,七六五	•一七五,九二九
毛織物		—	一九,一三九	—	三七二,一九一	—	二三三,二二八	—	一三六,九七三
鐵道建設用材料	斤	三六〇,八一八	二七,七九五	四,九三五,四六六	三九五,六九六	五,九一五,二九四	五一七,五四七	•九七九,八二六	•一二一,八五一
菓子類		—	三八,二二二	—	三七四,〇一八	—	四七三,二四六	—	一〇〇,七七二
切組板		—	三七,九九九	—	五〇〇,四四四	—	四七五,八七五	—	二四,五六九
醤油	石	一,〇五六	六一,一三七	六,五九一	四〇五,〇八八	五,九七三	四一五,七〇六	六一八	•一〇,六一八
石鹸		—	七五,六九六	—	四八二,四〇二	—	四二七,三四五	—	五五,〇五七

農業用品	—	五三、六二二	—	二九五、九二八	—	五五六、〇七九	—	・六〇、一五一
陶磁器	—	五九、一三八	—	四八六、七一六	—	三五八、一八六	—	一二八、五三〇
砂糖　斤	三四五、五六八	八七、三三〇	一、四五三、八一〇	三四九、六七三	一、一〇七、七八三	二八五、三四四	三四五、〇二七	六四、三二九
セメント　同	八七六、三七八	一八、一七二	一七、六六七、二二六	三七八、六六四	一七、五七〇、五九二	・三九〇、七六二	九六、六二四	・二、〇九八
其他諸品	—	三、〇三三、八七五	—	二四、三二〇、四八〇	—	一九、七四四、八九四	—	四、四七五、五八九
計	—	八、六九五、四三六	—	六七、六五六、四五五	—	六八、一〇八、三三〇	—	・四五一、八六五

□港別貿易額

港名	輸出	輸入	計	十五年累計	十四年累計	増減(・)	移出	移入	計	十五年累計	十四年累計	増減(・)
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
基隆	一、六六八、四六〇	二、六九〇、九一九	四、三五九、三七九	三五、七一六、九五五	二四、〇〇九、三五五	一一、七〇七、六〇〇	九、〇四三、八六七	六、五六六、六九〇	一五、六〇九、五五九	一〇一、三六七、五五五	一〇三、三二七、五九九	・九六〇、七八八
臺北	一、三八九、六四一	八八、八三三	一、四七八、四七四	六、三一五、七六一	六、九三七、〇九二	・六二一、三三一	—	—	—	—	—	—
淡水	六七、九六七	三四〇、一四八	四〇八、一一五	二、〇五八、五三九	一、八九七、七六〇	一六〇、七七九	—	—	—	六、〇〇〇	一三、五五〇	・七、五五〇
安平	二、九六九	七一、一三二	七四、一〇一	一、〇〇七、八二四	一、一三五、二五〇	・一二七、四二六	二九、九九二	六五九、六〇七	六八九、五九九	七、六六九、一六八	六、二三九、七九〇	一、四二九、三七八
高雄	五四四、四九七	一、一七七、三七一	一、七二一、八六八	一九、六六六、五一八	一六、〇六八、〇六八	三、五九八、四五〇	三、九九六、五六一	一、四四四、六八〇	五、四四一、二四一	一〇四、六六八、六八七	一〇九、六八七、六三三	・五、〇一八、九四六
其他諸港	九九、五五五	六四、九四四	一六四、四九九	九〇五、八二五	九五九、一五九	・五三、三三四	六四、六六〇	五四、三四九	一一九、〇〇九	一、〇五三、四五六	一、四〇〇、八四四	・三四七、三八八
計	三、七七三、〇八九	四、四三三、三四七	八、二〇六、四三六	六五、六七一、四二二	五一、〇〇八、六四六	一四、六六二、七七六	一三、一四九、〇五三	八、六六九、四三六	二一、八一七、五六八	二一四、八〇六、〇五四	二一九、七八六、六一五	・四、九八〇、五六一

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

詩壇

任臺灣總督書感　上山蔗庵

遙拜恩綸荷顯榮。樓船破浪向南瀛。摩天阿里山容秀。扼海澎湖島影横。已以微躬膺重寄。只當一念竭精誠。糠糟內子今無在。欲整衣冠暗涙生。

社友上山蔗庵詞兄赴任臺灣有作
卽次韻得十首　國分青厓

治臺蒙命是臣榮。直駕樓船向大瀛。靜夜月明蛟欲舞。長天秋霽鶚孤横。伊川當世先三務。涑水終身守一誠。聞說炎荒霖雨少。雲霓勞望有群生。

祖道高臺夏木榮。雙旌南指古蓬瀛。時非亂世劍何說。坐有知音琴可横。皥皥群黎謳德化。昭昭眞宰鑒精誠。明春同立玉山頂。手拂紫雲看日生。

甲第群賢盡顯榮。頭銜學士本登瀛。筆翻珠玉座間迸。氣吐虹霓天外横。勢利久知隍鹿夢。艱危誰獻野芹誠。于今鎖鑰南門重。恐聽風濤半夜生。

草木終年鬱更榮。黑潮日夜匝蒼瀛。毒驅瘴癘蠻鄉淨。險削厓巖鐵路横。美麗山川名表實。延平祠廟祭修誠。如今不見烽烟影。開物應須務厚生。

炎荒當政足爲榮。誰使堯仁洽四瀛。二范功勳根道義。三蘇學術挾縱横。山川丕寶堪興利。父老聞仁早效誠。試倚南天望呂宋。狂風倒海怒潮生。

獨立東方且足榮。殺氛殺氣尙寰瀛。南山猛虎咆哮罷。
北海驕鯨跋扈横。漢楚爭雄果誰勝。孫劉携手竟無誠。
臥牀忍使鼾聲逼。放眼西天感慨生。
人同草木有凋榮。時似百川流注瀛。風起雲烟隨處變。
日沈星斗滿天横。潛心萬象應初悟。布政三臺恐不誠。
綏遠懷柔宸慮切。只遵王道濟蒼生。
恨無中饋可分榮。獨荷優恩遠泛瀛。寶瑟紀音絃柱折。
繡衣遺影鏡奩横。志存社稷言期信。吟及糟糠情見誠。
私事忘公君豈敢。虛堂燭冷黯愁生。
芝山置酒賀新榮。持節去將南鎮瀛。玉立雲端蓮岳聳。
鼇蹲波上礮臺横。詩追風雅情歸正。交主金蘭意尙誠。
自是文章千古事。憑君蓬島間長生。

遺卻名場辱與榮。逃塵何處不仙瀛。林間尋藥長鑱帶。
石上茶煎一榻横。問月有人飛逸興。停雲此夕寄微誠。
逍遙鵬鷃各相適。欲對青山了我生。

奉次蕉庵總督瑤韻謹賦

小松天籟　吉久

天顏咫尺拜殊榮。巇艦衝波涉大瀛。舷外奇峰爭起伏。
酒邊健筆自縱横。行瞻布政宣三德。夙聽持躬守一誠。
但願明公長不去。甘霖瑞露澤蒼生。

同題

山口東軒　透

解纜當年謝寵榮。聖明重起鎮南瀛。雲開裨海黑潮穩。
島近蛟洋白鳥横。鈴閣新開接多士。劍祠先謁展精誠。
武文雖異恢前烈。益使恩光被萬生。
適義爲根忘辱榮。一朝大命向蓬瀛。橋頭來往蛟鯨伏。
天末送迎島嶼横。腹富經綸阜民產。眼空牛李致吾誠。
行看皇澤沾遐邇。窮谷雕題各遂生。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳壇

孕江選

水打つや海日まともに燃え落つる　静雪
熱の子のうなされ勝ちや灯取蟲　同
夜の秋や申譯なる渡舟の灯　同
夜の秋や榕樹の上を流るゝ灯　同
林投(たこ)叢のとぎれつゞきや秋の風　同
秋風や池に押し合ふ布袋草　同
夾竹桃の花を抽きたる瑞枝かな　三梧樓
實重りに裂けし高枝や龍眼樹　同
蔦にゐて高鳴く蟲や夜の秋　同
護謨の葉のへりに月照る夜の秋　同
相思樹の花散り溜り泉尻　同
秋風の二期田掠めて立ちそめぬ　素山
星一つ出て秋風の二期田かな　同
ぷす〳〵と檜葉の蚊遣や山宿り　同
たち騒ぐ蒲葵の風や夜の秋　同
夜の秋の城廓に沿ひ歩きけり　南山
讃美歌や蔦の青葉の教會堂　同
青蔦の洋館もるゝピアノの音　同
蚊やり香の燃え殼曲り〳〵落つ　同
とぎれ風がばと日覆を渡りけり　鍵峰
腦丁の仕事じまひや蚊喰鳥　同
沼の面の泡浮きつるゝ雲の峰　同
板の間の拭み込み艶や夜の秋　同
水打つや門の小流れ堰き置きて　兆田
葭切や眞菰に殘る暮れ明り　同
水郷や水鷄鳴き立つ向ふ岸　同
松原のどこまでつゞく秋の風　松女
移り來て未だ住み慣れず蟲の聲　同
打水や夕蟬なほも鳴きのこり　同
打水や陽のあたりゐる庭榎　戀雨
水打つて宮楠高く仰ぎけり　同
打水や榕樹垂れ根に滴して　同
むつつりと晝寢起なるこの兒かな　孕江
夜の秋や次の一間の小くらがり　同
秋風や藪をそびらに百姓家　同

◎募集　四季雜詠（十句）締切毎月二十五日、句稿は時報俳壇と明記の事、臺北市東門町九七ゆうかり社宛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自七月十八日
至八月十八日

七月

▼十八日

・體育協會水泳講習會を開く

▼二十日

・臺灣軍部隊長會議を司令部に開く

▼二十一日

・臺中公園に夏期野外圖書館設置

▼二十二日

・新竹及臺北州下蕃人銃器九百六十押收

・彰化郡教育會新高登山を行ふ

▼二十三日

・木下內務局長南部視察

▼二十四日

・臺南州社會事業巡迴施療をなす

・愛國婦人會支部慰安會を催す

・故乃木大將忌臨濟寺に執行

▼[illegible]

・[illegible]議臺南市に開催

・[illegible]

・全國中等學校野球大會臺灣豫選終る臺北商業優勝

・樺山少年團全國ボーイスカウト大會參加出發

▼二十七日

・基隆製茶大量品評會を開く

▼二十八日

・片山殖産局長中部造林事業視察

・大甲郡製帽品評會を催す

▼三十日

・鹽專賣規則並施行規則改定

・臺北市民講座登山講演會を開く

・角板山夏期兒童休養所開設

▼三十一日

・臺北商工會電力問題陳情を決議す

・臺中市內臺親善音樂會發會式

八月

▼一日

・上京中の後藤總務長官歸府

・菅野軍事參議官上京赴任

・木下內務局長總督出迎の爲め內地へ出發

・青果同業聯合幹部會を催す

▼二日

・高雄漁業組合臨時總會

・臺灣米不合格米輸移出許可規定發表

▼三日

・教員體育講習會開催

・嘉南大圳輪作問題協議會を開く

▼四日

・故佐久間大將忌淨土宗別院に於て執行

▼六日

・體育會主催女子體育講習會開催

▼七日

・上山總督着任す

・大阪ロータリークラブ視察團來臺

・臺北市臨海教授終了

▼八日

・全島官民總督歡迎會ホテルに開催

・臺南青果同業組合評議會を開く

▼九日

・上山總督登廳府職員に訓示をなす

・總督披露晩餐會を官邸に催す

・臺北州教育思潮批判講習會を開く

▼十日

・總督官邸に茶話會を催す

▼十一日

・總督市內官衙學校を巡視す

▼十二日

・田中臺灣軍司令官着任

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

・總督市内官衙學校の巡視を終る
・男子體育講習競技會を開く
▼十三日
・官民合同田中軍司令官歡迎會開催
▼十四日
・臺南青果同業組合臨時總會を開く
・低氣壓襲來、北部一帶暴風雨
▼十五日
・新竹米穀搬出商組合創立總會擧行
・臺北工材信用組合臨時總會を開く
▼十六日
・臺南高商官制發布さる
▼十八日
・高雄青果同業組合總會開催
・臺北州蕃地產業調査隊出發す

人事消息

▼伊勢臺南醫院長　七月二十五日内地へ
▼大島高農校長　七月二十七日歸臺
▼貝島健次氏(炭坑家)　同上來臺
▼高木臺灣電力社長(本誌評議員)　七月二十八日内地へ
▼後藤總務長官　八月一日歸臺
▼菅野大將　八月一日内地へ
▼赤井中將　同上
▼木下内務局長　同上
▼辜顯榮氏(本誌評議員)　同上
▼大賀東洋製糖重役　同上歸臺
▼森平兵衛氏(貴族院議員)　同上來臺
▼吉武海軍大佐　八月六日上京
▼阿部帝大教授　同上内地へ
▼古山編修官同日南支ヨリ歸臺
▼平山寅次郎氏(本誌評議員)　八月七日歸臺
▼妻木栗造氏(同上)　同上
▼上山總督　八月七日來臺
▼春山文學博士(帝大教授)　同上
▼林熊徵氏(本誌評議員)　同上歸臺
▼藤浪醫學博士　八月九日來臺
▼平山府事務官　八月十一日上京
▼安澤要氏(醫學博士)　同上
▼三澤高等學校長　八月十二日南支ヨリ歸臺
▼切田高商教授　同日歸臺
▼志保田臺北師範學校長　同上
▼田中軍司令官　八月十二日來臺
▼該府事務官　同上歸臺
▼松方正熊氏　同上來臺
▼高田元二郎氏　同上
▼岡田遥氏　八月十六日内地へ歸還

任命

自七月十六日
至八月二十一日

▼七月十六日
臺灣公立高等女學校教諭　松下範治
臺北第一高等女學校長清水儀六不在中代理ヲ命ス
▼七月二十二日
任臺灣總督秘書官　竹屋春光
臺灣總督府師範學校教諭　小形留吉
上京ヲ命ス
臺灣公立中學校教諭　森貞作
東京府下及千葉縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方技師　宮上龜七
兵庫縣外五縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ東京府下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府交通局技師　長尾正元
大阪府外二縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ北海道廳下ヘ出張ヲ命ス
▼七月二十三日
官幣大社臺灣神社主典兼官幣中社臺南神社禰宜　鈴村讓
官幣中社臺南神社宮司被仰付

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

官幣大社臺灣神社宮司兼
官幣中社臺南神社宮司　山口透
官幣中社臺南神社宮司兼務被免

臺灣公立實業學校教諭　瀧波愍之進
福井縣下ヨリ東京、大阪ノ兩府下ヘ出張ヲ命ス

▼七月二十四日

臺灣總督府屬　中野洋
任臺灣總督府地方理事官
納富耕介
任臺灣總督府地方技師

臺灣總督府地方理事官　中野洋
臺中州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方技師　納富耕介
高雄州勤務ヲ命ス

▼七月二十三日

臺灣總督秘書官　竹屋春光
總督官房勤務ヲ命ス

臺灣總督秘書官　一戶二郎
總督官房秘書課長ヲ命ス

臺灣總督秘書官　下村充郎
總督官房秘書課長ヲ免ス

臺灣總督秘書官　下村充郎
總督官房秘書課長一戶二郎不在中代理ヲ命ス

▼七月二十六日

臺灣總督府技師　森部令次
（各通）臺灣總督府地方理事官　中野洋
依願免本官

臺灣總督府地方技師　白倉好夫
東京、大阪、福岡、長崎ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣土木技師　白倉好夫
東京、大阪、福岡、長崎ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

▼七月二十五日

臺灣總督府醫院醫官　原庸藏
花蓮港醫院長大井司不在中代理ヲ命ス

▼七月二十九日

臺灣總督府交通局書記　坪田多治郎
任臺灣總督府交通局副參事

臺灣總督府專賣局書記　黑木重德
任臺灣總督府專賣局副參事

臺灣總督府高等學校教授兼臺灣總督府高等學校教諭　吉川貞次郎
任臺灣總督府高等學校教諭兼臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府高等學校教諭兼臺灣總督府高等學校教授　志賀孝平
任臺灣總督府高等學校教授兼臺灣總督府高等學校教諭

▼七月三十一日

臺灣總督府內務局長　木下信
福岡、大分、山口ノ三縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　安澤要
依願免本官竝兼官

臺灣總督府交通局副參事　坪田多治郎
臺灣總督府專賣局副參事　黑木重德
依願免本官

▼八月五日

臺灣總督府地方技師　穴澤顯治
臺北州勤務ヲ命ス

臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
臺灣總督府鐵道職員共濟組合規則第五十一條ニ依リ審査會審査委員ニ指定ス

▼八月九日

臺灣總督府技手　小野三郎
任臺灣總督府技師
篠原國憲
任臺灣總督府交通局技師

臺灣總督府技手　永田年
任臺灣總督府交通局技師
神谷辰三郎
任臺灣總督府高等學校教授
森長整
任臺灣總督府高等學校教授

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府技師　小野三郎
營林所羅東出張所長ヲ命ス

▼八月十日

臺灣總督府事務官　平山泰
上京ヲ命ス

臺灣公立實業學校教諭　淺間要愼
新潟縣下ヨリ東京、大阪、宮城ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス

▼八月十二日

臺灣總督府事務官　水越幸一
英、米、獨、佛竝佛領アルゼリア及英領埃及ヘ出張ノ序ヲ以テ伊太利ヘ出張ヲ命ス

▼八月十三日

臺灣總督府事務官　鼓包美
總督官房文書課長兼務ヲ命ス

臺灣總督府事務官　鼓包美
總督官房調査課長兼務ヲ命ス

臺灣總督府事務官　一戸二郎
總督官房法務課長兼務ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長　上田温良
臺中醫院長ヲ命ス

▼八月十六日

臺灣總督府地方理事官　河野博通
東京、岡山、富山、愛知ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス

高雄州屬　高橋俊平
任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府技手　梶原通好
任臺灣總督府技師

臺灣總督府交通局書記　小布施齊
任臺灣總督府交通局副參事

臺灣總督府臺北高等商業學校助教授　江幡義雄
任臺灣總督府臺北高等商業學校教授

臺灣總督府商業專門學校長　加藤正生
任臺灣總督府臺南高等商業學校長兼臺灣總督府商業專門學校長

臺灣總督府商業專門學校教授　延田芳太郎
兼任臺灣總督府臺南高等商業學校教授

臺灣總督府商業專門學校教授　松田都太郎
同　高野貫
兼任臺灣總督府臺南高等商業學校教授

▼八月三日

臺灣公立高等女學校教諭　井上重八
臺北第三高等女學校長小野正雄不在中代理ヲ命ス

▼八月十六日

臺灣總督府地方理事官　高橋俊平
高雄州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　中村秀穗
臺北州勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　時枝俊四郎
臺中州勤務ヲ命ス

臺灣總督府技師　梶原通好
殖産局農務課勤務ヲ命ス

▼八月五日

臺灣總督府事務官　鼓包美
官報報告主任ヲ命ス

▼八月十六日

臺灣總督府商業專門學校教授　川田長兵衛
任臺灣總督府臺南高等商業學校教授
兼臺灣總督府商業專門學校教授

臺灣總督府商業專門學校教授　林茂生
任臺灣總督府臺南高等商業學校教授
兼臺灣總督府商業專門學校教授

▼八月十八日

臺灣總督府技師　岩澤潔
東京、千葉、長野ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス

▼八月二十一日

臺灣總督府事務官　辰野龜男
(各通)同　中瀨拙夫
臺灣總督府技師　土井季太郎
上京ヲ命ス

臺灣總督府交通局技師　永田年
(各通)臺灣總督府交通局副參事　小布施齊
東京、大阪、神奈川、兵庫ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

張作霖南口陷落の通電と其後の戰況……一
南口戰跡の實況……四
南北大戰前の湖南局勢……五
黨聯兩軍總攻擊の湖南戰況……八
援湘北方聯軍の五路總攻擊計畫……九
湖南戰局の近狀……一〇
吳佩孚の南下と平江岳州の警急……一一
東南時局と海軍……一二
孫傳芳の湖南戰に對する態度……一三
薩省長閩廈要塞警備總司令たらんか……一四
三點會匪近く廈門より南洋へ亡命……一四
福建軍の江西援助趨勢……一五
廣東民政廳の各屬行政監督の增設計劃……一七
蔣介石の北伐新戰略……一七
廣東北伐軍出征と其後の情況……一八
中國各省の銅鑛調査……二〇
中國潮州に於ける糖業の衰退……二四

比律賓

比島と護謨事業……二七

佛領印度支那

印度支那月報(一九二六年八月中)……二八

馬來半島

馬來半島に於ける鐵道、道路及海運(下)……三〇
一九二五年英領馬來の紙類取引狀況……三四

蘭領東印度

蘭領東印度に於けるガンビル……三六
一九二五年度スマトラ東海岸の栽培企業
各國投資關係……四〇
蘭領東印度に於ける勞働問題……四三
蘭領東印度に於ける石油工業……四七

英領印度

蘭貢市場と日本商品……五二

其他

英帝國領土內に於けるカポツクの生產狀況(一)……六一

情報

支那

□張作霖南口陷落の通電と其後の戰況

八月十五日張作霖の通電　南口地方は長城著名の要隘にして重巒疊嶂山勢忽ちに峻削せる。馮逆（馮玉祥を指す）其の所部を率ゐて天險に憑恃し嵎を負ひ死を以て抗戰せんとし、去年九・十月間よりして構築工事に着手し、純セメント石を用ひ、濠を深くし壘を高くして抵禦を圖れり。我が鎭威軍（奉天軍）第三第四方面の軍、竝に直隸・山東の聯軍は十餘萬人の衆を以て炎暑を冒して苦戰し肉薄して堅壘を攻め、本月一日（八月）より總攻擊を施行せし後、各軍一致して奮鬪猛進し、前後に各要隘を占奪し、竝に間道より直ちに居庸關を取り其の側背を攻む。該逆（敵軍）始めは頑強抵抗せしも、繼ひでは糧盡き彈丸なきも、猶ほ敢て死に至るまでも固守しつゝありしに、我が軍鋭兵をもて相接し力を奮ひて驅除を爲し、連日に亙り俘虜極めて多し。現に電報に據るに、我が軍第十軍は本月十四日午後十時完全に南口を占領し、數千人を俘獲し銃・砲・鐵甲車・軍用品を奪獲すること其の數を計らず。現に正に延慶・永寧・懷來に向つて追擊中なり。夫れ赤逆の惡を種うること一年餘・險に據りて固守せるは實に民國前途腹心の患なりき。今や既に其の藩籬を抉去し窟穴を犂き掃ふこと立ところに待つべし。（八月十六日―奉天電）

南口激戰の進展　南口右翼の奉天軍は連日猛烈なる砲擊をつゞけ、八月八日以後暫らく進攻を停止し、後方補充隊伍の續々來援し新鋭軍力の加はるに及び、九日夜より復た猛進をつゞけ、十一日まで右翼受持の隊伍は、實に步兵四箇旅團及び砲四團の多きあり。現在最前線は已に得勝口以北の鐵廬溝、及び東に偏せる錐石山・西に偏せる毛司台に達し、此の中間なる燕子口・馬連灘・落馬坡等の高地も亦已に完全に占領せり。故に十日以來南口車站以南の龍虎台より起り、老公莊・太平莊・小紅門を經て得勝口に至るまで一道の縱線戰溝を築造し、別に臨時軍用の無線電臺四箇所を設け、得勝口より馬連溝に至るまでに一道の防線を築き、老公莊・得勝口間の者と直角三角形を成し、互に相掩護し、同時に南口正面及び左翼の友軍と共に南口附近及び居庸關西北軍陣地を夾攻するの效を收るを得たり。かくて十一日夜より十二日夜まで猛攻を停止せず。奉天軍第四十五旅隊

部よりも亦一支隊を派遣し、昭陵堡より石門山東方の小道に沿ひ、進んで得勝口右方の敵陣を攻めて水峪口の正面を攻擊するに備へ、同時に又奉天軍は錦州山海關一帶より二箇旅以上の兵力を召し寄せ南口に出動して攻勢を助けしむ。故に軍事專門家の觀察によれば、遲くとも南口の陷落は此の旬日內を出でざるべしといふ。

（八月十三日—北京特信）

予珍の南口捷報　十四日午後五時發予珍の電によるに、同日拂曉より予珍の所部は南口の敵陣地に向ひ總攻擊を施し、第十二旅は山麓より攀登りて挺進したるに、敵彈雨の如く下り我が軍は前に仆れたるを踏み越えて進み、午前十時太平莊西方の高地を占領したれば、敵は氣を喪ひ遂に虎峪谷に向ひて退却せり。追擊部隊は同十二時の後虎峪莊を占領しつゝ仍ほ追擊中なり。第四旅は側背より繞りて攻めければ、後路の絕たれたるに驚きて敵は遂に潰散せり。關公嶺の占領は午前九時にて其の所の敵は馬家窩に向ひて潰退しつゝあるを追擊中なり。又第三十七旅は正面の攻擊に任ぜしが、防禦工事七八層の多きに及べるを遂に破壞し、機關銃の猛射を事ともせずして前進し、遂に午後一時敵の陣地を衝き破りて完全に南口鎭を占領したり、敵の俘虜共に三千餘人なり。（八月十四日—南口予珍電）

南口攻略の奉天軍戰略　八月十四日南口の正面を攻むる奉天軍は鄒作華部の砲兵を主要隊伍と爲す。奉天軍八關の中今回南口の作戰に加入せしものは約四關あり。鄒部砲兵に南口要塞中の洞口を直射砲擊し、砲彈洞中に入れば直ちに爆發す。故に其の中に潛伏せる敵は殆ど皆擊殺を免かれず。平時は步兵前に在り砲兵後方より之を掩護前進せしむる例なるが、今回の進擊は砲兵前に在り步兵隊は反つて其の後方に在り。奉天軍が直隸山東の聯軍と南口を協攻するに從來京綏鐵路を分界線とし、其の東は奉天軍、西は聯軍の受持としたり。最初奉天軍は民國十三年九門口を攻擊せる戰略により南口側面の得勝口より進攻せんと欲す。去月三十一日已に鼓嶺を占領したるが、軍事上にては得勝口と九門口とははるかに異れり。九門口攻克の後は坦途下に在り、長驅直に進むを得しが、得勝口以下は層巒疊嶂のみにて進展し易からず。故に奉天軍は戰略を變更し南口の正面より猛烈に進攻することゝしたり。十四日正午より攻擊を開始し、先づ虎峪村附近の鳳凰山を攻めたり。鳳凰山は同方面群山中に在りて突出せる一部なるが、其の面積は約北京の中央公園の如くなるも軍事上極めて重要なるものなれば、鄒作華は砲兵步兵を指揮して猛攻の結果終に此の山を占領し、又直ちに虎峪村を克復したり。虎峪村は南口鎭の東北に在りて山道の西北に向ひ進展すべきあり。然るに南口と通ずるには只一條の路あるのみ。國民軍は曾て南口の上に百五十萬元を用ひて一の野壘を築きたるが、其の緊密なるは旅順口に過ぐるも其の堅固なるは之に及ばず。かの山海關の險要も尙ほ未だ比するに足らざるに似たり。防禦工事の凡そ鹿柴・電雷・電網・鐵絲網・陷井（深廣各四五丈）・拒馬等の如き皆具備せざるなし。然るに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

虎哈村既に下れば國民軍は遂に南口を放棄せざるを得ず、しかのみならず正面の砲擊は又極めて猛烈なりければさしも難攻不落の南口**要塞も遂に奉天軍の得る所となれり。（八月十八日—新聞報）**

南口攻略の酬賞　奉天及聯軍は協議の上張學良を特別區巡閲使に于珍を察哈爾都統に韓麟春を綏遠都統に陞任することを決し、田維勤の位置のみは尙ほ協商の上を待つこと〻したり。（八月十九日—北京電）

杜内閣の論功四令　（一）張宗昌・張學良に上將を、褚玉璞に中將を授く。（二）張宗昌を義威將軍。（三）張學良を良威將軍。（四）褚玉璞を璞威將軍と爲す。（八月十九日—漢口電）

晩報の一説　褚玉璞を察哈爾都統に任じ、張學良を直隸督辦とすと傳ふ。

内閣員の南口犒師　八月十八日杜錫珪は内閣員と共に南口に到り、閣議に決定したる犒軍費四萬元を携帶し奉直聯軍に分配したり。（八月十九日—北京電）

張家口攻落説　譚慶林・王爲蔚・于珍の奉直聯軍は師を會して三路より進んで張家口を攻めけるが、十八日夜八時、譚慶林部は之に克ちたり。西北軍は張之江の總退却令に依り、十七日已に張家口を離れ平地泉に向ひ退けりといふ。（八月十九日　北京・天津電）

國民軍の總退却は馮の意　譚慶林より吳佩孚へ十八日張家口に入りし事を報じ來れるを觀れば、國民軍は矢張り馮玉祥の計畫通り退いて平地泉方面に至り、西比利亞と連絡して戈壁沙漠の西方に在りて**其の勢力を發展せんとするものと思はる。傳聞に依れば張之江は庫倫へ逃れ去れりといふ。（八月十九日—東方社北京電）**

聯軍各部の進攻　十八日張宗昌は鐵甲車隊を前進せしめ綏遠に至り一先づ停止すべく命じたり。又西北軍が包頭を固守し山西を猛攻せんと欲するに對し、吳佩孚は五原騎兵司令部に電令し、至急に騎兵三團を以て包頭を攻め、別働隊を以て歸化城を擾亂せしむ。又田維勤軍の司令部は十八日午後三家店より進んで懷來に移れり。蓋し懷來は田軍の張旅先鋒三團により十六日正午に占領せられ、土木堡及び土木滞は同じく左翼の紀旅に依りて十六日朝占領せらる。故に西北軍は懷來以北の長安嶺方面に逃れなりたるを以て、田軍は沙城堡・長安嶺方面に向ひ追擊中なり。（八月十九日—北京・天津電）

南口攻略後の内閣動搖　奉直聯軍の南口攻略後内閣組織政變の聲大に起る。今迄杜錫珪が總理を代理せるが、南口一段落を告ぐるに及び退職の決心を通じたれば、孫寶琦の内閣組織を主張するものあり。吳佩孚は張其鍠をして潘復に面晤し内・財・交の三部に就き局部の組織換を相談せしめたりと傳へらる〻も、談判の程度如何は未だ明了ならず。之を要するに張國淦・顧維鈞・張志潭の三人先づ告退せん歟。杜錫珪代理内閣の運命は吳佩孚が奉天張作霖と協商の上決定すべきにて頗る時間を費すべく、孫寶琦の總理たることは山東軍の提議に係るも、奉天・長辛店・南京の各方面の同意を經ざるべから

す。杜の背後には尙ほ一の江蘇孫傳芳あり、吳佩孚と同樣之を推し居れば、更に若干の時間を經ざれば全くの改造は出來ざるべし。

（八月二十二日—新聞報）

續論功行賞　二十一日の命令を以て于珍に珍威將軍・韓麟春に麟威將軍・田維勤に勤威將軍・王爲蔚に蔚威將軍・王椋に椋威將軍の名を加へ、又韓麟春・譚慶林に上將銜を加へ、王椋等に中將を授けたるが、魏益三の益威將軍令と田維勤の上將銜令とは臨時に撤囘されたり。（八月二十一日—北京電）

□南口戰跡の實況

外國某戰跡視察者の實見談によるに云く、南口の險要は實に支那京師北門の鎖鑰として、內側には居庸外鎭の四字を刻し、外側には北門鎖鑰の四字あり。該地はもと北來の敵に對する最後の一關なれば、從前只北方に對する設備あるのみにて內に向ふの防備なし。然るに今次の西北軍より始め、專ら天然の山勢を恃みて大略布置を加へたるのみなれば、二道關得勝口は遂に奉天軍砲火の屈する所と爲りて占領せらる。但し其の正面は始終奉天軍の前進すること一步するだも許るさゞりき。南口車站前より起り東北五六支里なる虎峪村までの布置の稍且密なる、支那軍隊中に在りては今囘始めて之を見るを得たるを覺ゆ。戰況を論ぜんには虎峪村と南口車站との二に分ちて說くべし。

虎峪村は南口鎭の山谷を平行して鎭の正東約六支里に在り。其の入口を虎峪口といひ、谷の入口は二三百メーターに過ぎずと雖も、僅に一小道ありて西の方居庸關に通ずべく、東は馬家窰を經て得勝口に通ず。該村の地質は全く岩石に係り、其の上側に薄黄土一層を掩へるのみ。西北軍の陣地は赤只地層に掘入すること少許、上には土囊砂袋を以て之を築成せり。故に遠方より觀れば其の目標はたゞに其の高く出でたるを見るのみならず、しかも附近に掘出されたる土は青草の上を覆ひ黄赤色を呈して明了なれば、奉天軍砲隊に極好の目標を與へたり。此れ今囘西北軍の失計たりしなり。奉天軍砲擊の痕跡は隨處に見るべきも、虎峪村陣地の狀況を以て之を判斷するに、十四日には戰爭なかりしもの丶如し。何となれば附近には絕えて步騎兵及び機關銃・迫擊砲の彈痕を見ざればなり。韓麟春が所謂十四日拂曉猛烈に砲擊の後、步兵兩團を以て正面を攻め、一團は右側を攻め、正午に至り始めて該村を攻陷すといふもの眞相に非るに似たり。

南口車站附近には深さ三メーター寬さ五メーターの長き戰壕あり、前面には狼柴・鹿砦等の障碍物あり、並に鐵網數條を布き、網中には三條の電線ありて電流を通じ、設備頗る周密とす。該處の戰事は于珍の言に據るに、十四日朝第三十七旅を派し枚を銜みて密進せしめ銃一發をも放たしめず、直ちに防禦線に迫り近づき、其の外壕

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に達するや始めて襲撃したれば、西北軍如何ともする能はず、或は捕へられ或は殺され、午後二時に至りて完全に克復したりといふ。然るに附近を見るに血戰の跡を見ず死屍だも少く血痕も罕に見るのみ。

更に南口車站を見るに、前には所有房屋皆奉天軍の砲火に轟毀せられて粉末微塵となれりと傳へられたるも、反りて一の損害もなく、砲彈の跡もなし。各室の窗戸の玻璃は多く已に破壞されたるも、此れ殆ど兵士が私に毀ちし所にして銃砲の擊つ所たりしに非ず。只車站附近の汽車倉庫は目標稍大なるを以て砲彈の落下せるもの五六箇處あり、承塵の破損せるものあり、牆壁にも毀たれたるところあるのみ。其の餘龍虎台・太平莊も亦同樣にて、砲擊の痕跡あるが、銃丸は尙ほ此の處へば到達せざりしものに似たり。故に全部の戰況を綜合して觀るに、南口の西北軍は未だ嘗て奉天軍より重大なる壓迫を受けたる事あらず。其の防地には固より破壞されたるところなければなり。又軍隊の損失といふも限りあることにて、軍實軍需及び傷病馬匹等に至るまで更に遺留されたるものなく、殆ど全數を運び去りし樣子なり。されば俘虜二千人といふも信ずるに足らず。之を某軍官に詢へば只五六百人なりといふ。而して鄉民の言によれば其の五六百人も皆病兵及び負傷兵にて同じく退走する能はざりし兵なるのみ。聞く今次退去の兵は南口・懷來の兩線にて戰鬪力の完全無缺なるもの六萬人、多倫方面の路にも五萬人以上あり。其の餘蔚縣・宣化・涿鹿・大同の各地なる國民軍第二・三・五軍を合計すれば亦八萬の數あり。然れば則ち西北軍の兵力は實に十八九萬を殘存し其の實力は尙ほ輕視すべからざれば、今後の事は逆め覩易からざるものありと謂ふべし。(八月二十三日—新聞報北京特信)

□南北大戰前の湖南局勢

湖西最近の情勢　湖南の南北兩軍は七月十一日より双方とも岳州平江湘陰の間に相對持し、小接觸ありしのみにて未だ總攻擊に至らず。三日前の情況を見るに、東路・中路の南軍は俱に少しも進展なし。東路第七軍官指揮は已に金井を衝き破りて浯口を占め、北軍は退いて双江口を守り、現に仍ほ相持せり。中路卽ち正面にては仍ほ汨羅江を以て界と爲して各原防地を保てり。南軍方面は未だ總攻擊を命ぜられざる以前は仍ほ守勢を取りつゝあり。此の外江西入を準備せる第三軍朱培德は三個師團を統率して醴陵老關に駐屯し、第二軍の各師團は南雄・茶山・攸縣の一帶に駐屯して、俱に前進の命を待つのみにて更に接觸の狀なし。第六軍程潛の所部は今正に陸續として湘西に向ひ出動しつゝあり。蔣介石は八月七日衡州到着の筈なりしが、天氣炎蒸堪ふべからざるが爲め、途中少しく憩送し一日を遲

れて八日衡州に安着せり。蔣の豫定計畫は衡州到着後命を下して總攻擊に出でしむる筈なりしが、湘西方面に變化を生ぜし結果、先づ湘西を肅清し、而して後總攻擊に移らんと決定したり。湘西の變化は謠言多くして、或は賀龍・彭漢章が賀耀祖と協同合作して北方に加入し、袁祖銘等の態度亦明瞭ならずといふものあり。又沈鴻英・韓彩鳳・鄧瑞徵等が賀耀祖の警備司令陳漢章と合作して新化・安化を占領し了り。蔣に又寶慶湘鄉に攻入らんとすといふものあり。政府方面にては前說を否認し、且つ湘西紳士が政府に向ひ湘西なる貴州軍の眞相を問へるに、袁祖銘は現に絕對に國民政府と合作しつゝありて決して態度の曖昧なるなし、其の特派せる駐湘代表張其煦も現に省省城に在り。最近第七軍長李宗仁が接手せる黃紹雄より轉送せる電文中に袁總司令已に決心して我が北伐軍と一致し居り、其の湘西なる部隊は常德澧州に向ひて前進し、現に貴州省城なる部隊も亦續々入湘すべし云々とあるに徵すれば明了となり。彭漢章賀龍等に至りては過日已に常德を占領したれば周燗は退いて德山に走れり。此れ一種の軍略にして、先づ賀耀祖と合作すと稱して賀の部隊を誘致し一鼓に之を解決することゝしたるものにて、賀耀祖已に其術中に陷ゐりしなり。されば賀軍は桃源より石門臨澧に向ひて潰竄したれば賀龍は已に周燗に請ひて常德城に駐らしめ、同時に省政府が曾濟を常德釐金局長とし、袁永中を常德權運局長とし、自身は湘西鎭守使の仰信を賜はらんことを請ひ就職に便を圖れり。されば賀耀祖が北軍に加入せしなどいへるは全く虛說なりといふ。又別說によるに、袁祖銘・王天培・彭漢章・賀龍等は專ら地盤を占據して軍を移し食に就くの主義なれば、南北双方へ代表を派遣し、若し南方がそれに北伐を請へば彼卽ち應じて曰く、卽日に兵を武漢に會せんといひながら、其の兵は實に未だ出動の準備を爲さず。若し地方がそれに南征を請へば亦答へん、卽日兵を衡州寶慶に會せんといひながら其の兵は未だ曾て出動せず。蓋し貴州省は地瘠せ民貧くして此の如き多數の軍隊を養ふ能はず。故に機に乘じて湘省に入り食に就かざるを得ず。將來南北の勝負判定の後は彼決して何れの方へも弓を挽かず、且つ双方に對し俱に嘗て戰を助けたりし效を以て仍ほ生存を圖るを得べしといふ。近日袁等の行動を見るに此の說亦頗る情に近し。又沈鴻英・韓彩鳳等の新化を占領し、陳漢章の安化を占領するは掩ふべからざる事實に屬し、沈・陳二軍は已に一氣を聯成し、一二萬人を以て左は寶慶を攻むべく、右は益陽を取るべく、中は直に湘鄉に到るべし。現に沈軍の先頭部隊は已に藍田よりして湘鄉縣城に入れり。しかも自ら力の薄きを知り暫く險に據りて守り、前方北軍總攻擊の時を待ち三路を分ちて進み、寶慶・湘鄉・益陽を取りて南軍の背後を斷たんと謀り居れり。沈鴻英は新化に在りて兵糧金銀を勒索し、城市は六萬元・錫礦山は三萬元等と定めて取立てつゝあり。陳漢章の安化に在るも亦然り。故に之を討平するの必要を見たる南軍は第六軍程潛所部の入湘せるものを擧げて寶慶より湘西に出でしめ、別に第八軍劉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

克家・周武彝・袁輔等の團を以て之を勦し、先づ沈・陳等の反革命軍を驅除して後、再び湘西より貴州・四川各軍を督同して北伐せしめんと決定したり。

唐生智の兵力擴充　北伐第八軍長唐生智は極めて兵力の擴充を計り、從來の所部を四師團とし何健を第一師長・李品仙を第三師長・龍與を第四師長・周爛を教導師長と爲すの外、現に新に編成せる一師六補充團あり。葉琪を第一師々長とし、新編成の蔣春湖・晏成鉞等の五團は已に一昨日正式に成立し、其の補充團は晉楊開を第一團長・周武彝を第二團長・胡達を第三團長・徐楨を第四團長・劉業裕を第五團長・劉楚材を第六團長として軍長下に直轄せしむ。此の外師團毎に副師長一人を加へ、吳尙を第一師副師長・劉建緒を第二師副師長・張國威を第三師副師長・廖磊を第四師副師長・唐哲明を教導師團副師長としたり。かくて唐生智の部隊は已に擴充して五師團六補充團約五萬人となれり。（八月九日—長沙通信—八月十五日—申報）

聯軍作戰計畫　元來東方面を重視し、贛西より兵を出して醴陵を攻め株州を襲ひ、長沙の背路を切り止め、長沙・湘潭と長沙・岳州間め黨軍を自動的に撤退せしむるの策に在りたる通り、唐福山部が已に老關より出でゝ醴陵を攻むるを除く外、別に王普・孟眼目を派し浙江・安徽軍三個旅を率ゐて道を贛西に取り唐福山部と合作せしむ。此の外吳佩孚より增派せる援湘軍即ち閻日仁・徐[illegible]榕の二個師及び王獻臣・張席珍・白[illegible]の三個旅は道を平江に取り瀏陽を經て江西・安徽浙江の諸軍と共に株州醴陵を會攻することゝす。將來各軍の調齊後共計三箇師六混成旅の來あり。黨軍方面は專ら陳銘樞・張發奎・朱培德・李濟琛及び桂軍李宗仁等の部も亦株州醴陵を重視し居れば、將來株州醴陵間には一場の惡戰あるを妨げず。

（以上八月十三日—漢口通信—八月十六日—新聞報）

革命北伐軍の最近形勢　最近革命北伐軍は前方の大戰目睫に迫るを以て右翼は贛西に入り、左翼は鄂西に入り、後方豫備隊も漸次進發しつゝあり。聞く國民革命軍の計畫は中路守勢を取り、先づ右翼に注意し、江西省の南昌省城を下し、然る後長江下游より武漢を會攻し、左翼は常德醴州より鄂西の公安に入り、進んで沙市荊州を窺ひ、一方四川援鄂の敵を防ぎ一方武漢敵人の右路を牽制せんと策し、迅速進兵の計を立て、廣東より出發せる三路の大軍は已に續々として前進し、革命軍第三軍全部約二萬人は已に衡州に集中し、該軍々長朱培德は七月三十日長沙に到着、前敵各將領と機宜を面商し、革命軍總司令蔣中正は八月四日已に郴州に來り、更に來陽に向ひて出發し、十日頃來陽著、其の後直ちに衡州に向ひ前進すべし。

革命北伐軍右翼の三路入贛　革命北伐軍の右翼は江西省に入るには三路を分てり。第一路は第四軍陳銘樞・張發奎の二箇師團にして、已に醴陵より株萍鐵路に沿ひ進んで江西省萍贛を占め、第二路は第二軍譚延闓部にして副軍長魯滌平より該軍二箇師團を統率し、茶陵に向ひて前進し其第六師團戴岳部は已に七月二十一日茶陵に到着、

第四師團張輝瓚部も同月二十三日に出發到着、第二軍々司令部及び軍長魯滌平は同二十六日に茶陵に宿營せり。同路の北伐軍は或は茶陵より江西の蓮花縣に赴き吉安の一帶を控制し、同時に江西省南北の聯絡線を截斷せんとす。贛南方面に至りては第六軍程潛部より大庾嶺に出で、贛南なる楊九軒等の部を牽制せんとす。此れを最近北伐軍右翼の江西入計畫とす。

江西の對應計畫　江西軍は之に對し手を分ちて抵禦することゝし、江西軍蔣鎮臣の一箇旅は已に袁州まで出動して唐福山を援助し、贛南の二楊の部隊は(楊如軒・楊池生部)亦某方面に向ひ出發せり。

北伐軍左翼　第九軍貴州軍の彭漢章部及び第八軍賀龍部を以て常德の師に會同し澧州より鄂西沙市に入りて武漢を側擊すべし。聞く此の路に向へる左翼北伐軍は已に辰州桃源より路を分ちて前進し、彭漢章賀龍の兩部が已に移動せる外、袁祖銘復た四川貴州軍を召して續々湘西に入れ、辰州・沅江・麻陽の一帶に到れり。聞く袁部は銃器四萬餘挺ありて實力頗る充足し、其の第九師團伍植の部の如き湖北製の步兵銃四千挺あり、第四師何厚光部四千五百挺の銃あり。許克祥・張義卿の二箇獨立旅は共に步銃三千挺あり。第一師團李小炎部にて四千挺の銃あり。貴州清鄉軍彭仲文部・所轄楊其昌・馬瓊の二箇旅は銃器所有者四千餘人に上る。國民軍第十一師團及び貴州軍第三師團周西成部は共計八千餘人あり。四川貴州邊防軍第三路司令楊應奎部は八百餘人にして國民軍第三十四師團(袁祖銘自ら師長を兼ぬ)此の第三十四師下の朱沛然・杜濃の二箇旅は約四千五百人にて別に警衛隊林自賢部約千人なり。總計袁部直轄兵力四萬人を下らず。

北伐軍中路方面　第八軍唐生智より重兵を派して前線に集中し、汨羅江を以て長沙の屏障と爲し、一方隊を分ちて葉開鑫・蔣鋤歐・賀耀祖等の殘部を剿清しつゝあり。中路・長沙以上の戰事は目前暫く停止せるも、蔣中正が長沙到着後再び進行を議すべし。

北伐軍後方の布置と聯軍　革命軍の後援預備隊集中地は衡州にして、軍實糧餉は韶州總兵站部より運送して湖南に入り、郴州・耒陽・衡州等の分站よりして前線各地に送達するの方法を取る。聯軍の之に對する計畫は三路反攻の法にして、中路は李倬章より指揮し蕭政圖等の部之に屬す。又葉開鑫を左路指揮とし、唐福山・謝文炳等の部之に屬す。次に又賀耀祖を右路指揮とし、王都慶等の部之に屬す。武漢附近に至りては陳嘉謨・盧金山等の軍ありて夫れ〴〵防禦布置に就き居れり。(八月六日―木電―八月十六日―申報)

□黨聯兩軍總攻擊の湖南戰況

十九日漢口通信によるに、去る十五日湖南中における黨軍及び聯軍が同時に總攻擊令を下してより十九日に至る迄は正式の戰報として

になく、只十八日岳州より來れるもの、話によるに、中路汨羅と右翼瀏陽とは何等の激戰もなく、兩軍尙は對持の狀を取れり。しかし岳州城方面には隱々たる砲聲の聞ゆるあり。岳州城の居民は頻りに他に遷徙しつゝありて最重の形勢を示すに似たり。尤も汨羅沿岸と洞庭湖入口には聯軍方が嚴密に防備を設け、海軍より之を掩護して鞏固なれば、當に意外の事あるには至らざるべし。されど左翼なる平江の方面は形勢稍緊急を告げ居れり。蓋し粤軍の作戰計畫は東路を重視し廣東軍全力を以て株州醴陵に傾け、醴陵攸縣よりして贛西に入らんとす。然るに聯軍側が若し平江よりして瀏陽を取り兵を二路に分ち、一は長沙の背後を拊ち、一は醴陵の畔を襲はゞ株・醴なる大軍をして其の牽制を受けしむるに足る。故に粤軍は別に李宗仁部(桂軍)の胡宗鐸・鍾祖培の二旅を平江瀏陽間の金井一帶に集中せしめ、同時に平江に向ひ進展せしむ。勝たば平江よりして湖北屬の通城に入りて岳州の背後を遮斷すべく、若し勝たざれば瀏陽を死守して聯軍の前進を喰ひ止めて株・醴の粤軍を牽制することなからしむ。故に十五日以後湖南・江西間の老關方面の戰鬪甚だ烈し。同時に瀏陽なる桂軍は赤金井より平江に向ひて進攻し、十五日晩より十六日晩まで、聯軍蘆政國部には混亂二晝夜、粤軍には猛烈なる砲火を以て迎り擊つ。桂軍死傷多しと雖も驍勇にして善く戰ひ十分に金井を保ち居れり。湖南北間の軍事地形を觀察するに、平江は實に兩軍必爭の地にして、聯軍が此の防地を保持するに非れば岳州の後路を固むることなし。平江一たび失はゞ汨羅・岳州以下は勢破竹の如くに下らん。故に聯軍は全力を以て平江を保持しつゝあり。卽ち蘆政國部の李樂濱・王夢弼の二旅及び第二十五師の陸澐一旅は汨羅江上游に沿ひて一々に布防し、現に吳佩孚より增派せる援湘軍卽ち討賊聯軍第四軍第二路隊文劍部一箇師團、該路游擊隊王献臣部四團は續々南下して漢口より平江に向ひ出發したり。此の外彭祖祐部の軍官團共に約三千人は全數出發し、迫擊砲・機關銃・爆彈隊一隊づゝを暫く城陵磯に駐め、其の餘の山砲・迫擊砲・手銃・機關銃・大刀の六大隊を雲溪に駐めて平江後路の策應を爲さしむ。現在平江一路に在る聯軍の兵力は共計約三萬人に上るといふ。(八月二十二日—新聞報)

□援湖北方聯軍の五路總攻計畫

蔣介石が十二日長沙に到着し十五日各路總攻擊令を下したりと聞き、聯軍方面も同日に五路總攻擊令を下せり。趙恒惕・李倬章は同日に親しく汨羅の前線に赴きて指揮に任ぜるが、其の計畫を見るに左の如し。

(一)中路汨羅線　宋大霈・鄒鵬振の兩部を用ひ、汨羅江の北岸より大砲及び海軍々艦を以て掩護し南岸に向ひ進擊す。

（二）左翼平江線　葉政國部の李樂濱・王夢弼の二箇旅及び陸澐部一箇旅を以て、平江より瀏陽に向ひ進攻す。

（三）右翼湘陰線　余蔭森・孫建業の兩旅を以て陸路よりし、海軍江貞・拱辰・建中・永安・辰字・宿字・湖鵬・湖鷹・湖隼・楚有・楚同の各軍艦は水路よりして湘陰に向ひ進攻す。

（四）東路攸醴線　江西軍唐福山・蔣鎮臣・廣東軍謝文炳等の部を以て、老關黄土嶺より醴陵攸縣に向ひて進攻す。

（五）西路常澧線　湖南軍賀耀祖・趙恆惕（劉鉶部湖南軍第二師・現に湘西の南縣石門一帶に分駐し居れり。其の縱隊司令周磐・蔡鉅・何培基等より趙恆惕を推薦して師長を兼任せしめたり）の兩部及び湖北軍王都慶部・關得勝旅を以て、澧州・臨澧・南縣・慈利より分れて常德・桃源に進攻せしむ。（八月十七日—漢口通信）

□湖南戰局の近狀

兩軍の對持　國民黨軍と北方聯軍とは五路に分れ皆正に接觸を保ちつゝあり。聯軍左翼葉國政部は長樂街より金井河を攻め、前鋒進んで高田市に至り黨軍と激戰すること一回、中路は尙ほ汨羅の南北岸に在りて相對持せり。（八月十八日—漢口電）

醴陵方面の戰は甚だ猛烈なりしものゝ如く、趙恆惕は已に岳州よりして澧州に赴き、賀耀祖と浙西の軍事を面商せり。十七・十八日には平江汨羅の黨軍は聯軍と激戰し漸次進展を見る。湖北・江西軍が兵を合して平江を攻め斜に西南に出て湘陰の背面を擊つや、黨軍李宗仁は楢桐嶺を扼守しけるが、蔣介石は豫備隊を派して之に加入せしめ、又朱培德部を召して萍鄉線を擔任せしめ、又張發奎軍を瀏陽に召し葉琪軍を助けて挺戰せしむ。（八月十九日—香港電）

岳州配備　護湘軍第二師周磐・蔡鉅・何培基等の各縱隊は唐生智軍葉琪部と南縣草尾市にて激戰し、唐軍敗れ其の營長梁炳焱俘虜となる。第二師々長劉鉶は拘囚せられて未だ釋放されず。故に周磐より趙恆惕を推して該師團長としたり。又陳文釗部及び該軍游擊司令王獻臣部四團到着し、其内三團だけは已に出發して岳州に赴き、參謀長潘守燕に依り岳州に至り布置を了せり。但し餘の一團は漢陽兵工廠にて銃彈を受取るや、卽時王獻臣に率ゐられ岳州に赴く筈なり。

（八月十九日—北京・香港電）

北伐軍の總攻擊令　十八日北伐軍は總攻擊令を下し、通城を攻めつゝあり。かくて唐軍は已に廣東軍の援助を得たれば汨羅全陣線に在りて總攻擊を開始し、唐生智・蔣介石之が指揮に當れり。

（八月十九日—ルーター—漢口電）

平江敗れ北伐軍岳州に向ふ　衡州行營の捷報には十八日に第七第八の兩軍は遂に平江を占領し岳州に向ひて進發したりとあり。

（八月二十日—香港電）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蔣親しく戰を督して進攻急　蔣介石平江に到りて戰を督し、十八・十九の二日に、中路東路共に北軍と大に戰ふ。中路は斜に平江を攻め、第三第四軍は瀏陽醴陵線を攻む。北軍支ゆる能はず、北伐軍の先鋒は已に平江を通過したり。蔣介石は同時に兵を分ちて中路を助け岳州を攻めしめんとす。（八月二十一日―香港電）

□呉佩孚の南下と平江岳州の警急

呉佩孚は南口陷落を期とし長辛店より保定に返り、更に南下の途に就かんとし、齊燮元に囑するに下の如き三事を以てせり。「（一）今後北方軍事の進退は當方より意見を發表せざること。（二）杜内閣の根本改造或は局部の組織換に關しては當方より意見を發表せざること。（三）北京駐在の毅軍は王懷慶に告げて之を撤去することなからしむること。」以上の外呉氏は表面西北軍に對し積極方針を取り、完全に之を掃除せざれば中止することなきを發表し居れり。

（八月二十二日―天津電）

かくて呉佩孚は二十一日正午張其鍠・白堅武以下の幕僚衞隊を滿載せる總司令部列車に搭乘し長辛店發南下の途につき、途中さきに涿州に集中を了せし豫備隊中、二箇師二箇旅約三萬の精鋭を率ゐ、保定に一兩日滯在の上直ちに漢口に赴き、湖南奪回の總指揮に就任し約一箇月申後更に北上の豫定にて、呉は將來保定に返り永久駐在するの決意あるに似たり。

平江の奪取と岳州方面の驚慌　北伐軍總司部參謀處より發せる十九日附電報には、（一）我が第七軍は十九日朝金井より打電して曰く、我が軍は十九日朝涪口より河を渡りたるに、敵は岳州方面に向ひて潰退し、兵器を押收さるゝこと甚だ多し。（二）我が第四軍は十九日夕進んで平江城を克復すべしとあり。（八月二十二日―香港電）

平江戰況　涪口なる北伐第七軍李軍長の電話によるに、我が軍第一第四の二團は涪口の正面に向ひて攻擊を加へたるが。敵は孫建業及び陸澐の二箇旅團にして、陸旅は全部俘虜となり、兵器三十餘を押收されたり。我が軍の死傷は百數十人のみ。第四軍第十二師は十九日平江に克ち第七軍は已に汨羅江を渡りて各要地を占領せりといふ。（八月二十三日―香港電）

岳州を陷れた北伐軍　廣東北伐軍及び湖南軍は八月二十日より總攻擊を開始し、二十一日に平江を取り、二十二日岳州を陷れて之を占領し、更に通城に肉薄しつゝあり。（八月二十四日―漢口電）

袁軍の常德占領說　奉天に達したる情報によれば、袁祖銘・彭建章・賀龍の軍は唐生智軍を驅逐し常德を占領したりといふ。

（八月二十五日―奉天電）

湖南軍の郵船狙擊と陳謝　日清汽船會社所屬汽船湖江丸は長

向ひ溯行中、二十日午前十一時、簪田下流一哩の對岸より南軍哨兵のため約二十發の小銃射擊を蒙り、內二發は船體に命中せるも被害はなかりき。但し二十一日溯航の武陵丸は射擊を受けず。目下長沙領事より唐生智軍に對して右の抗議中なり。又唐生智軍が長沙在泊中の軍艦嵯峨隅田に向ひ發砲したる事件につき、同地碇泊中の軍艦嵯峨艦長より、二十一日唐軍長留守指揮官張總參謀長に對し、嚴重抗議したるに對し同參謀長より卽座に陳謝するところありしが、二十三日唐軍前敵總指揮參謀總長龔長鯉及び湖南交涉員羅珝は隅田に來艦し、國民革命軍の名を以て陳謝し、張總參謀長も餘暇を得次第隅田を訪艦したき旨を傳へたり。（以上八月二十六日―海軍省着電）

呉の南下參戰　呉佩孚は二十五日午後五時幕僚と共に漢口に到着、直ちに總司令部に入り、直ちに討南戰線に赴く答なるが、將領不統一の爲め現在不利の地位にある討南軍を幾何の程度まで盛返し得るかは一般に興味を以て見られつゝあり。

□東南時局と海軍

東南時局と海軍方面　海軍司令楊樹莊氏參謀長吳誠卿は新聞報記者の問に答へて曰く、今回廣東蔣介石の突然兵を出しゝに對し世自ら定評あり。只我が海軍方面にては從來保境安民を職志と爲し居れば、凡そ我が海軍軍艦の駐れる地に他人の來りて侵すことなくば、我が海軍決して之と衝突せず。然るに他人若し果して其の野心を逞

（八月二十五・六日―漢口電）

武漢危きに迫る　岳州陷落と共に武漢の形勢危急に迫り、呉佩孚は漢口に入りたるも、同地に在る防備は僅かに五師團に過ぎざれば、勝ち誇れる北伐軍を支ふるに足らずと看做され、武昌の危險は刻々に迫れり。武漢若し北伐軍の手に落ちなば孫傳芳は寢返りを打つべしとの觀測多く、長江一帶赤化し、上海は昨年以上のゼネラルストライキ行はれ、非常なる混亂に陷るべしとの說あり。

（八月二十六日―上海電）

上海の戒嚴　流言百出、人心不安なるに乘じ、共產黨の活動盛にして北伐軍の北進と相呼應し、廣東との往來繁きより、淞滬警察は一層取締を嚴重にし、汽車汽船旅館の旅客を檢査する外、廣東との往復文書の檢閱を始め、九月一日より戒嚴令を宣布さるべしといふ。

（八月二十七日―上海電）

くし、海軍の駐れる地を侵略するものあらんには、當然相當の對應あるべし。然るに我が海軍は總べて大局の十分和平ならんを希望し居れば、地方上戰事の影響を受けず、人民居に安じ業を樂むを得んことは、此れ我が海軍方面抱く所の眞正なる態度なりと。又曰く海軍には絕えて廣東を打つの意なし。されど福建の邊境は廣東軍の侵

島々を防守せざる能はざれば各軍艦を福建省に集中したるなりと。又記者が上海に兵艦若干隻停まれやの問に答へて、上海の兵艦は不時に出入することあり。目下各兵艦は皆散じて厦門・南京・九江等の處に泊し、當港には只方安・靖安の兩運送艦と建康・靖威の二兵艦あるのみ。又湖南には十餘隻の兵艦を派し地方保護の責を擔任しつゝありといへり。

五省聯軍總司令部の東南時局觀　聯軍總司令部秘書長陳閣の說によるに、廣東側の兵を出し江西を伺ふや已に久し。故に聯軍亦戒備を怠らざるは固より其處なり。廣東側にして能く和平に遵はんには、余は敢て大膽に說かん。曰く五省の軍隊は決して境外に出づることを一歩だもせずと。若し此れを考へず反對に出でなば、五省は自衛の計の爲め當に奮ず之と周旋すべし。聯軍目下調動すべきの軍隊は、江蘇には陳公侠の一箇師團、鄭俊彥の一箇師團、孟昭月の一箇旅あり。浙江には盧香亭の團あり。福建には張毅の一箇師、孔昭同・蘇埏の一箇旅づゝあり。安徽には陳調元の一團・王普の一旅・馮紹閔の一箇師あり。江西には鄧如琢の一箇師・楊如軒の一箇師・楊池生の一旅・唐福山の一箇旅あり。共計六師五團の衆あり。必要あるの時は尙ほ二箇師と四個旅を召集するを得べし。之を要するに今間の變動は不幸にして事實とならば首として其の衝に當るものは亦江西省の一部分に至り。江蘇・浙江・福建・安徽の諸省も決して渦中に引入れられずと云々といふ。（以上八月十九日—新聞報）

□孫傳芳の湖南戰に對する態度

時局に對する拔目なき態度　湖南戰は現に長沙なる北伐軍が續々戰線に向ひて出動し、唐生智は十九日第一線に向ひて出發し、蔣介石も長沙に入りし後平江方面に於て攻勢を主持せしに、北軍も亦守勢を取るを不利とし長沙の攻擊を開始せんと吳佩孚に電請したるに對し、吳は精銳なる全軍を擧げて五隊に編成し近く總攻擊に移らんとするものに似たり。右に對し東南五省の首領孫傳芳は吳佩孚の此の擧に極力援助を吝まざる意を宣傳しつゝあり。世評によれば拔け目なき彼は此の機を巧に利用して着々自己の立場を確立しつゝありといふ。（八月二十一日—外務省著電）

江西出兵と孫の聲明　孫傳芳は八月十九日附を以て「東南五省保境安民の爲め、吾が軍は今同隨時に出動の準備をなしつゝあり。此れ北伐軍の侵入を防止するの外何種の目的をも有せざる」旨の聲明書を發表せり。（八月二十二日—上海電）

孫の對蔣警告　八月廿二日孫傳芳は北伐軍に反對し下の如き警告を蔣介石に贈れり。「湖南出發目的が湖南統治に在るならば湖南人の自治に一任すべく、帝國主義者の討伐に在るならば先づ廣東に暴威

を揮へる赤露を伐つべし。貴下は孫中山の三民主義を奉じて之を徹底せしめんと努力しながら何故に共産主義を謳歌し赤露の指導を仰ぎ、赤化過激の擧に出づるや。余は貴下を崇拜する一人なり。敢て過激派を加へず、外國人を加へず、專ら救國の目的を以て擧兵とならば、余又東道の主たらん。然れども今回の如く國を擧げて犧牲に供するが如き妄動を看過する能はず。共産主義は全國民の恐るゝところ、保境安民の爲め糺さゞる可からず。余若し敗亡すとも國人は起ちて赤化を撲滅するに努めん。若し貴下にして敗れんか。三民主義は茲に挫折して孫中山在天の靈傷つきなん。若し勝ちたりとするも過激派外人をして徒らに威を張らしむるのみ。何の效か之れあらん」と。(八月二十三日—新聞報)

孫の戰鬪準備　かくて孫傳芳は江西出兵を繼續し殊に三兩日前より多數の軍隊彈藥を浙江より南京へ輸送しつゝあり。又招商局の汽船三隻を徴發して輸送用に充て、江南機器局に彈藥製造を急がしめつゝあり。(以上八月二十三日—上海電)

出兵に關する孫の意向　孫傳芳が北伐軍に對し續々兵を江西省に出せるは積極的攻勢に出づるを欲せず、只萬一の場合を慮り吳佩孚及び鄧如琢より懇望されたるに對する義理上の意味と、又一は他日江西に於ける政治的關係の意味とよりせるものにて、吳・鄧が憂慮は又北伐軍の侵入よりは江西軍内部の變化に懸れり。元來江西軍隊の種類は複雜にして總司令部の命令に完全に服從するものは、其の直屬の中央第一師と唐福山の江西第一師とに過ぎず。故に吳・鄧は尤も之を憂慮せるなりといふ。(八月廿四日—支那事情)

□薩省長閩廈要塞警備總司令たらんか

現在廣東軍の北伐已に着々進行せり。閩贛當局は早くより已に聯防の計劃あり。卽海軍方面には亦た已に相當の設備あり。聞く杜錫珪總理及吳子玉將軍・孫馨遠總司令は、共に閩省の海防要切なるを以て、應さに大員より海軍を統率し一切を指揮すべきを要すと爲す。從前設置せし海疆防禦使は既に栽撤せられたれば、今閩廈要塞警備總司令の一席を設け、現任の福建省長海軍上將薩鎭冰氏を請うて就任せしめむと、已に電報を以て同氏の同意を求めつゝありといふ。

(七月卅日—全國新日報)

□三點會匪近く廈門より南洋へ亡命

泉州三點會の各方面の首領は近く泉州孔昭同の爲めに極力攻擊されて後、早くより已に支離滅裂となりて四方に逃走せり。過日其の殘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

徒の仍ほ內地に潜歸せるもの擔土重來の擧あるを知り、與せずして一たび南門外に至り、頻りに偵察を力めつゝあり。鄉に到りて資察し竝に各重要の三點會首領を紙上に掲載して各街衢に告知せしめ、且同時に懸賞をかゝげたり。凡そ有力者一人を生擒して本部へ送り來れるものに對しては懸賞金二百元までを與うる例なり。就中王直の如きは亦該會の一有力者なり。聞くその懸賞高は多きものは八百元に至るものあり。其他二・三十元等大小多寡均一ならざれども、氏名を列記されたるものに、合計約六七百人もあり。中に就き三點會の頭目派甚だ多きを占む。近く中堅と目せる各首領に仍し[illegible]厦門に來り鼓浪嶼に蝟集し、夫々失敗せる民軍と共に聲氣を通じて後、遂に船切符を購買し海外に亡命せり。內南洋新嘉坡に赴くもの最も多數を占めり。又臺灣に渡れるものもあり。彼等は自ら泉州に在りては巳に足を駐め難きを知るに及び、遂に相率ゐて其の巢穴を離れ、故鄉に戀々として去るに忍びざるときは必らずや身首處を異にするの危險あり。故に難を避くるを尤も上策なりとするものに似たり。

（七月廿九日—全閩新日報）

□福建軍の江西援助趨勢

援贛（江西）閩（福建）軍の部隊　廣東軍の北伐するや江西省は其の衝に當り居る關係上、福建省は同盟の故を以て、南京軍事會議の決定に依り六個混成旅を選び六大支隊とし江西福建の邊界に出發し、機を見て進前援助することゝなり、軍令には只土匪猖盛なる爲め出發を命ずるとのみ記しあり。其の已に出發したる隊別・長官・指定地點は左の如し。

隊別	長官	指定地點
陸軍第三十混成旅	蘇 延	光澤・邵武
陸軍第十一混成旅第二團	沈 珂	將樂
暫編福建陸軍第一團	陳榮標	將樂
福建督辦軍務衞隊第一旅	王 炎	延平・水口・尤溪口
近畿第十二師第二十三旅	李天雲	建寧・泰寧
福建陸軍第四混成旅	孫雲峰	寧化・長汀
福建陸軍第三混成旅	蔣啓鳳	晉江・安溪
近畿陸軍第十二師第二十四旅	劉 俊	龍岩
陸軍第二十九混成旅第五十八團	王成芳	福州（もと晋江に駐れり）
福建陸軍第二旅	黃勝標	莆田・仙遊・南安
福建陸軍第五旅第十團	殷秉義	永安
福建陸軍第三師	李鳳翔	上杭・武平・永定
福建陸軍第一師	張 毅	雲霄・詔安
福建陸軍第一師補充團	李成芳	平和
福建陸軍保安隊	未 詳	古田・屏南

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右の内省城より閩江を泝りて上るもの一萬餘人なるも、近來は旱天つゞきにて雨なき爲め閩江の水淺ければ舟を行る能はず、且つ暑熱甚だ大なるより舟夫力を致すに易からず。故に軍隊の行進も遲々として進まず大に困難しつゝありといふ。但し周督辦は福州西關外洪山橋水口に臨時兵站を設け又各軍に令して途上人夫を强ひて取ることを能はざりしむ。故に所有運輸は皆新兵を以て之に充當しつゝあり。此れ民間の頗る感戴せる所なり。周督辦は各軍が指定されたる地點に到着せる後、始めて省城より出發し先づ延平に赴き次に福建江西の邊界に沿ひて直ちに長汀に至る筈なり。又此次の出兵費は督辦軍署軍需課より支給する外、同時に財政廳が支拂不足の爲め軍署に送るべき經費七十萬元より支出し、別に北京杜錫珪内閣より四十萬元の支出を請ひ、銃砲彈丸は福建省に從來保存せるものゝ外、吳佩孚が漢陽兵工廠より速射銃五千挺・迫擊砲四十臺・子彈五十萬發を支給せしめ、又福建より某國に托し步兵銃・過山砲を注文し續々受け入れ、各軍隊に交附して實用に供せしむ。其の佛國に注文したる飛行機八臺も近日内に到着すべく、飛行機操縦者は北京より技師を招聘したれば不日に福州に到着すべし。

閩粵間の新風雲　曩に汕頭革命第一軍長何應欽は福建軍務督理周蔭人と閩粵和約を訂結して後、双方戒嚴を解除し各々撤兵を行ひ、詔安を劃定して閩粵兩軍の緩衝地帶と爲し、同時に張毅の部隊も雲霄より漳浦に返り、建國民軍張貞の所部吳寶興の軍も亦詔安より退いて分水關に返り、革命軍補充團も黃岡より樟林に引きかへせり。故に滿天の風雲は已に消除されたるに似たり。然るに何ぞ料らん、入湘の廣東北伐軍が長沙を下しゝより後、岳州方面は久しく手を著け得ざるより遂に戰略を變更して萍株鐵路より萍鄉に進攻し以て九江を窺ひ、而して後武漢に及ばんと欲せり。江西軍務督辦鄧如琢は之を知悉するや、孫傳芳氏に援助を求む。孫氏は革命軍が江西を侵すは五省の和平を破壞するものなりとて、即時周蔭人に電令して至急に潮汕に進攻し北伐の軍勢を牽制せしめ、同時に兵力を厚うし延平邵武方面に發展せしめて江西軍の聲援たらしめよと命じたり。周は廣東と新に和約を立てたる程なれば之と釁を啓くを欲せざるも利害關係上布置を怠るべからざるを悟り、遂に密に張毅・李鳳翔に機を見て辦理せしむることゝせり。周氏が新に招募せる軍隊は約一萬八千餘人あり。已に孫雲峰衛隊旅を改めて第一混成旅とし、黃勝標の暫編第二旅を第二混成旅とし、蔣啓鳳第一補充旅を第三混成旅としたり。其の廣東攻略の策は、張毅を左翼に任じ、雲霄詔安より兵を進めて廣東の黃岡を攻め、孔昭同を中路指揮に任じ、漳浦より兵を進めて廣東の大埔を攻め、李鳳翔を右翼に任じ岩前より兵を進めて廣東の鎭平を攻め、並に第三十混成旅蘇埏をして江西に入らしむ。現在兩軍の最相近づけるものは鎭平の譚曙卿の部と岩前なる李鳳翔部にして、其の距離二十支里に過ぎず。江西境上なる賴世璜部が兩楊との開戰は久しきものなるが、廣東側は興寧の第九團徐思宗所部

江西に出發せ[illegible]め軍を助け[illegible]あり　要するに[illegible]はいつかに相結びて戰を出現するに至るを免れざるべし。

（八月十九日　新聞報　廣州・汕頭通信）

□廣東民政廳の各屬行政監督の增設計劃

廣東の區域遼濶なり。故に省政府の下に各路行政委員を設けて統轄を責くべし。現に民政廳は各屬の行政を整理統一する趣旨よりして、更に各屬の區域を劃分して一區域ごとに行政監督一人を設けて各屬政治の責任を負はしむることゝす。すでに組織法案を具して國民政府に呈請しその許可の裏請中なり。

（八月十日—廣州共和報）

□蔣介石の北伐新戰略

全力を以て江西を攻む　唐生智が長沙を奪回せしより後廣州の消息はすべて勝利ならざるはなく、前二週間に唐軍が岳州に克ちし報すらありし程なり。然るに現在廣東の援軍は已に一律に前線に出動し、蔣介石も已に衡州に到着したるに、其の戰報却りて靜寂に歸したり。記者は革命總司令部某職員に湘中軍事の形勢を問ひ將來の戰略を以てしたるに、該職員は云ふ　北伐軍が長沙に占據せし後、正面は進んで汨羅江に至り、東面は進んで平江黄谷等の處に至りたるも、實に再進し易からず。北軍は艦隊の掩護あり、洞庭湖の君山等の處に沿ひて陣せり。故に兵艦なくんば輕々しく之を越ゆる能はず。隨ひて兩軍は汨羅平江の間に相持し、たとひ接觸すとも小戰に過ぎず。此れ正面の形勢なり。東路方面に至りては江西省に連接し、陳銘樞・張發奎の二師團が醴陵より萍鄉境上に進せしより後、江西省辦鄧如琢は直ちに戒嚴を宣布し、袁州・吉安・贛州等のところには一に防備を布き、福建・江蘇の援軍は頻りに江西入を爲し、直ちに攸縣を攻むる準備を爲し北伐軍の背路を截斷せんとす。故に蔣總司令は以爲へらく、武漢に進せんと欲せば江西を奪ふに非ざれば功を奏せず、若し僅に湖南より進取せばたゞに岳州を越え難きのみならず後方は非常に危險なりと。故に現在の戰略は全力を以て江西を攻むることに決定したり。敵は岳州に重兵を集中し居れば勢を見て夾攻に出づるやも知れ難し。故に蔣總司令は已に劃定せる兵力を以て双方兼顧せしむることゝせり。中路は唐生智軍を以て主力と爲し、李宗仁の桂軍を以て之に副たらしめ、東路は第四・第六・第十・第十一の四個師を以て主力と爲し第七・第八師を以て之に副たらしめ、西路は彭漢章・王天培の兩軍をして責任を負はしめ、總豫備隊は第一軍の第一師第二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

師、各路補充隊は第十七師、斥候隊は第五師とし、其の進攻の陣線は東路は萍鄉より袁州を攻め、臨江を去りて南昌に迫り、進んで九江を窺ひ長江の下游を扼し、西路は澧州に進攻して湖北の荊州に逼り、長江の上游を扼し、中路は或る時機に至るを待ちて再進せんとす。故に今後の戰線は湖南に在らずして江西に在らんと云々。

（八月二十日—新聞報—香港通信）

□廣東北伐軍出征と其後の情況

蔣總司令の北伐出發　蔣介石は七月二十七日朝九時汽車に乘じ同二十分出發、北上專ら先大元帥孫氏の遺志を繼承し該黨及全國人民の付托を受け、毅然として吳佩孚を討伐するを以て任と爲す。出發の時頭等の特別車四輛を總司令用に充て、別に普通列車二十餘輛を備へ、衛士隊・警衛團・隨行輜重人夫馬匹等の用と爲す。

蔣の隨員　加倫將軍・各顧問・副參謀長白崇禧・參謀處長張定璠・副官處長張治中・唐軍長代表雷鑄寰・袁祖銘代表呂超・四川貴州軍代表吳厚光・楊德純等二十四人

扈從の衛隊　警衛團一營・機關銃一連・砲兵一營・衛士隊數十人・共計約數百人。

出發の行程　先づ韶關に向ひて出發し、豫定の行程によれば同日午後七時韶關の行營に安着、一泊。夫れより衡州に向ひて前進し、沿途樂昌・坪石を經て湖南に入り、八月十一・二日に目的地衡州に達すべし。

蔣總司令前敵士官兵卒を誡む　蔣總司令は革命軍を出して吳佩孚を討つに臨み左の誡告を發し竝に七言の軍令十箇條を分てり。

（一）**前敵士兵に誡告する書**　革命軍人は紀律最も嚴明なるを貴び、三民主義を實行し、國の爲め黨の爲め犧牲たれ。今次師を出して北伐するに、遠近早に義聲を樹てん。軍隊と人民とは本と同一體にして尤も感情を聯絡するを要す。凡そ我が各軍兵士は切に人民を騷擾すること勿れ。到る所の城郭市鎮は秩序安寧を維持するを要す。若し不法の情事あらば、定めて軍法に依りて嚴懲せん。

（二）**七言軍令十箇條**　一、命令に違抗する者は銃殺す。二、姦淫焚掠する者は銃殺す。三、陣に臨みて退き逃るゝ者は銃殺す。四、詐りて命令を傳ふる者は銃殺す。五、敵人を接濟する者は銃殺す。六、敵人に私通する者は銃殺す。七、不軌を圖謀する者は銃殺す。八、長官を脅迫する者は銃殺す。九、機密を洩漏する者は銃殺す。十、謠を造り衆を惑す者は銃殺す。（七月二十八日—廣州民國日報）

北伐總豫備隊の長沙岳州集中　蔣總司令は第一軍第一師長王柏齡を北伐總豫備隊の指揮に任じたれば、第一師部隊と第二師劉峙の部隊を統率して出發入湘す。已に衡州に集中せるが、今又蔣總司令が湖南北部に於ける捷電を受け、唐生智軍長・張師長發奎・陳師長銘樞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等の大隊は岳州より湖北に入り進んで武漢を取らんと欲し、特に王指揮に至急北伐建議備隊を率ゐて長沙岳州に進み駐り前敵部隊の聲援接應を爲さん事を電請し、且つ湖南後方部隊の湖南江西邊境及衡州柳州等の處に分防し、北伐大軍の後方防務を鞏固にせんことを求めたれば、王指揮は己に返電を發し、正に所部を率ゐ長沙岳州に赴くべきを答へたり。聞く朱培德部も己に衡州に駐り、第二軍第二師は現に湖南一帶に到着せりといふ。（七月二十九日—同報）

廣東大學の文化侵略反抗講演會　廣東大學なる反文化侵略同志會は七月二十九日一般學生に文化侵略の意を徹底的に明白ならしめん爲め、禮堂に在りて講演大會を開き、譚延闓・吳稚暉・顧孟餘・丁惟汾・甘乃光・何香凝・陳啓修・黎樹庭・惲代英・袁振英・鍾榮光十一氏の講演ありき。（同日—同上報）

北伐軍出征後廣東の强威者　（一）北洋軍艦某方面の請を容れ廣東に向ひて示威行動を取らんとするの報あり。故に廣東政府海軍處長林振雄は各砲臺及び兵艦に命じ警備せしむ。（二）唐繼堯代表何子房が南寧より梧州に赴くべしとの報告あり、駐梧第六旅は廣東省政府の十日附電報に接し電艦を派し三角咀にて何子房を截獲し、南寧に打電し指示を請はしむ。（三）東江の土匪熾に興れるが、多くは陳炯明軍の舊部の集合せるものにて、政治的意味あり、惠州駐在の第十八師長胡謙より省政府に打電し援兵を請へるに對し、省政府は福軍を東江に向けて出發せしめ、同時に黃埔入伍生一營を出發せしめて惠州の應援としたり。（八月十七日—香港電）（四）烏石・乳源等には土匪多く出動して廣東鐵路を騷擾しつゝあり。譚延闓は陳嘉佑をして之を剿滅せしめんと謀り居れり。（五）東江なる各土匪の巨魁は陳炯明黨の援助を得て紫金・五華・惠來に集り、將に惠州屬の各縣を攻めんとす。而して翁輝騰は惠陽南嶺等の處にて兵を募りつゝあり。惠州屬地方は危險に瀕せり。されば譚延闓・李濟琛は何應欽・胡謙に連名電報を發し速に兵を派して協剿せしめつゝあり。（六）廣東市内にも亂黨の潛伏するものあり、後方を擾亂せんと謀り居れば學生軍一團を召集し白雲燕塘に駐紮せしめ、武裝汽車隊を組織して市中を巡視し舟車往來の旅客を嚴重に檢查せしめつゝあり。

（以上八月十九日—香港電）

陳炯明の軍令　陳炯明は某處に在りて機關を設け赤賊討伐を以て號召し、劉志陸を第一軍長・楊坤如を第二軍長・熊略を第三軍長・申葆藩を第四軍長とし、各東江に在りて舊部を集合しつゝあり。

陳家軍の蜂起　陳炯明の舊殘兵は老隆・連平・和平・新豐・紫金等の處に分布して博羅より石龍に至るまでの水上稅を取立て居り、賊手忠と綽號せる土匪は東江に據り、爲めに交通は斷絕されたり。又楊坤如部は攻めて何源を占領して紫金と聯絡を持てり。是に於て胡謙は廣州に打電して急を告げたれば、李濟琛は第五十一團を召集して同地に赴き之を剿滅せしむることゝしたり。

汕頭虎門の戒嚴海防　汕頭の何應欽は廣州に打電して、汕頭に軍

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事放毀を宣布し、竝に郵便電信の檢閲を爲すことを報告せり。而して虎門には露西亞顧問官ありて電網水雷を敷設し海防を鞏固にしつつあり。（以上八月二十三日—香港電）

□中國各省の銅鑛調査

我が國（中國）に於ける銅の產出區域は各省に散在し、太古時代の未だ幣制發達せざりし時代より、已に銅幣は實用に供せられたり。降りて漢朝時代に至り、河南・浙江の銅鑛は共に前後して採掘せられ、唐朝時代には又福建・江西の邊界に於て銅鑛を發見せり。四川・雲南一帶は銅の產出最も多きも、明朝に至り始めて採掘せられしものにして、然かも職工を得るに難く、採掘も亦容易ならざりしに拘らず、雲南の東川府・四川の會裏府の如きは、乾隆時代に於いて已に每年約六千噸の產出を見たりといふも、而かも今日の年產額僅かに八百噸なりといふは、之れ採掘法の幼稚なる關係上、其鑛脈を窺ふ事能はざる結果なるべし。苟しくも充分機械を利用しなば、即ち鑛坑の開掘に當り、開採不能なるが如き事無かるべく、現在米國は銅の消費極めて多額に上れども、然かも每年の產出量增加の傾向を示せるは、之れ亦機械を用ふる結果なり。

遜清の世銅鐵の採掘權は政府の專賣事業なりしが、共和の布告成るや、東川銅鑛の採堀權の如き、即ち私人の手に移り、今日迄で每年の產出量七八百噸あり、之れ即ち我が國（中國）最大の銅鑛なり。

我が國（中國）の銅產出區域は既に記述せるが如く、頗る富饒なれども、惜しむらくは採掘せるもの少く、從ひて銅の產出も亦多からざるなり。然れども各省の銅の採掘會社の設立は已に年と共に增加し、產出量も激增の趨勢にあれば、將來有望なるべし。唯余の國人に願ふ所は、即ち至急に奮起し、我が國（中國）の此豐富なる銅鑛をして、外國の覬覦に供するが如き事勿らん事なり。現在に於ける各省の銅鑛及び其採掘會社を左に列記し、以て國人の參考に資せん。

（一）湖南省

湖南省に於いて採掘せらるゝ銅鑛は他省に比較して甚だ多く、民國十三年末の調査に據れば、其銅鑛及び採掘會社は左表に示すが如し。

銅鑛の所在地	採銅會社
綏寧銅場界	湖南官鑛局
辰谿銅冲門	同上
辰谿羅公塘	同上
辰谿四都平	同上
沅陵石馬坡	同上
沅陵陳宋山	湖南官鑛局
沅陵船溪驛	同上
麻陽汀郡嶺	豐厚公司
麻陽龍長堅	同上
麻陽牛谷嶺	同上

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所在地	經營者
湘鄉大清山	開泰公司
新寧唐金嶺	同上
桂陽綠紫坳	同上
桂開大開	同上
桂陽萬發窿	同上
桂陽鳳凰山	同上
會同紅岩溪	中興公司
會同龍溪頭	同上
會同大鳳坳	同上
桃源灰溪河	保湘城
桑直九斗山	同上
石門山羊溪	同上
永定保子界	同上
永興塘沖	同上
永興梅花井	同上
永興下馬塘	同上
桃源窖灣	裕湘公司
歷溪冷水溪	達利公司
祁陽象飛山	同上
祁陽毛鐮塘	同上
永興東邊窿	保湘城
永興新坑嶺	玉鑫公司
會同南沖尾	寶和公司
會同天臺嶺	同上
會同龔家灣	同上
會同獅子腦	同上
常寧楊家洲	同上
常寧樟山塘	同上
常寧麻石嶺	同上
常寧銅坑	裕華公司
湘潭鳳凰坡	同上
寶興烏竹山	同上
永興梅花井	宏大公司
永興銅塘沖	同上
瀏陽馬鞍坡	同上
石門山羊溪	厚生公司
祁陽銅坑里	寶善公司
瀏陽隱真觀	同上
瀏陽獅子腰	同上
瀏陽銅盆嶺	同上
瀏陽六尾沖	寶興公司
石門銅廠坳	同上

(二) 河南省

濟源は黄河の北岸四十支里の處に位し、清化鎭を距る東百十支里、洛陽を距る事百二十支里にして、濟源縣城の西北七十支里の處に銅鑛あり。鑛床の延長は五十餘支里にして、其地面に附着せるものは一種の帶銅色の結晶體をなし、孫眞人墳・黄土窰・芝蔴窰・銀魚溝・宮河・水格澗及び馬頭山の各區に散在し、形色共に各異なれり。附近は凹池甚だ多きも、其深度は甚だしからず、之れ相傳ふる處に據れば、漢文帝時代(紀元前百七十九年乃至百五十七年)に已に發見採掘せる跡なりと、然れども銅鑛は純粹にはあらざるなり、玆にまた各地に於ける銅鑛の情態を列記すれば、卽ち左表に示すが如し。

銅鑛の所在地	鑛質	含銅百分率	含金百分率
銀魚溝西部	硫化礦及び礦硫銅	一一・五〇	一噸に付き一・二五オンス
銀魚溝西部	混土硫化礦	一・六六	極少の含金
銀魚溝西部	石灰硫化礦	極少の含銅	無し
銀魚溝東部	石英硫化礦	一・二四	極少の含金
孫眞人墳	硫礦銅及び班銅	一五・一一	極少の含金
黄土窰	硫礦銅及び班銅	一八・〇六	無し
馬頭山	赤銅礦	二八・八五	無し
宮河	硫礦銅及び含銅鑛	一八・〇六	無し

(三) 江西省

張八嶺銅鑛の位置は贛南の張八嶺にして、政府の直接經營に係り、初め工夫のみを使用せしが、其後機械を應用するに至り、其産出著しく激增せり。一九〇八年技師の試驗せる處に據れば、含銅甚だ多

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く、最も多きものは百分の四十二に達すといふ。

（四） 直 隷 省

潤盛銅鑛有限公司　北京正陽門以西に設けられ、一九一四年十一月の成立に係り、其翌年登錄せしが、資本は十萬元なり。

（五） 四 川 省

四川の銅鑛は寧遠の埋藏最も豐富にして、西昌・鹽源の兩縣最も多く、現在四川に於いて用ひらるゝ銅は大半是より取りて供給せるものなり。寧遠一帶よりは紅銅・白銅を生產し、而して白銅は卽ち礦石中より溶解して得たるものなり。西部雅州府よりの銅の產出も亦多く、其中天川・眉山・樂山・榮經等の諸縣も均しく銅鑛を產し、而して成都北部の彭縣も亦產銅地として著名なる區域なり。附近の銅鑛は大寶山鑛務局の採掘する所にして、最近復た泉河に冶銅工場一所を設立せしが、其標本は成都公共圖書館に保存す。

（六） 湖 北 省

湖北の銅鑛は最初利川の圓寶寺に於いて開採せしが、洪水の氾濫により銅鑛の湮沒せる爲め、遂に中止せり。然れども現在は銅鑛の開採せる處巳に多處に及び、且つ其多くは新式の機械を應用せり。今其最も著名なるもの三處を示さん。

銅鑛の所在地	採銅會社
湖北陽新縣洪李田山	寶源公司
湖北竹山縣豐石洞	華興公司
湖北竹山縣陳開山	五盈公司

（七） 吉 林 省

銅鑛の所在地	面積	備考
盤石青石咀	四〇〇畝	其初め官商の合辦なりしが、今は省政府に歸せり
樺甸皮州稍	二,七〇〇畝	一九一五年寶藏銅鑛公司より開採
延吉天寶山	三,四〇〇畝	一九一六年劉紹文より繼承經營
依蘭溝	一,七五五畝	一九一九年提亞階より繼承經營
吉林歡喜嶺	三,九八五畝	一九一八年范震より繼承經營
盤石亮寶臺	—	一九一八年蘇炎憤より繼承經營せしが、今尙組織中なり
椅子山屯	—	尙登錄中なり
延吉淡牛磂子	—	巳に開採す
二道溝	—	巳に開採す
石咀子盤石縣	—	上海商人唐鑑章氏の創立經營せるものにして、其名を盤石鑛務有限公司と稱し、資本五十萬元なり

（八） 山 東 省

山東に於ける銅鑛の採掘は歷山の桃科銅鑛最も古く、現在濟南商人の繼承經營する所にして、每年の銅產出量は不明なれども、銅鑛の含有銅は百分の十六、含有ニッケルは百分の二十四なり。尙此外福山・沂山も亦均しく銅を產出す。

（九） 貴 州 省

貴州に於ける銅の埋藏量は頗る多きも、惜むべきは均しく未だ採掘せられざる事にして、威寧一帶に於いては採取せらるゝと雖、而も規模大ならざるを以て、産出量極めて少し。尙雲南の貢山は貴州に接近せるを以て、産出せる銅は大半貴州に搬出消費せられり。

（十）甘肅省

數年以前政府は甘肅津原方面に在りて銅鑛を發見し、卽ち甘肅礦務局を組織し採掘に從事し、又夏閉（譯音）に治銅所を設立せしも、其後運輸不便なりしにより、甚だしき發達を見るに至らざるなり。其治銅の逓力は二十四時間內に於いて、銅の含有百分の七・五の礦石より、純銅四噸を得るものなり。

（十一）雲南省

雲南は我が國（支那）の銅産出地中最も著名なる區域にして、往時我が國（支那）及び緬甸に於ける貨幣製造の原料は全部雲南に其供給を仰ぎしものなり。故に今日迄で雲南の銅鑛は全國に其名を馳せるものにして、其重要なるものは卽ち左の如し。

銅鑛の所在地	所有者
羅次縣大滿橋	張晉臣
羅次縣李官場	張晉臣
易門縣馬鹿村	褚德章
雲南東川縣	東川鑛業公司

此外大理・普洱・思帶等の各地も亦銅の産出多く、大理産の白銅は全國に消費せられ、其採掘されたる礦石は銅の含有頗る多く、卽ち下表に示すが如し。

銅礦石の含有金屬		含有金屬の百分率
銅		九五・七八〇
銀	一噸に付き	三二・七八〇オンス
金	一噸に付き	〇・五一四オンス
安知毋尼		一・一一〇
鐵		〇・八七〇

白龍銅鑛の採掘を開始せしは康熙四十四年なれども、乾隆に至りて中止せり。光緒二十年に至り舒之翹なる者奏請して復た白龍銅鑛の採掘に從事せしが、其後銅の産出僅少なりしを以て、終に破産するに至れり。思茅銅鑛は乾溝山及び猛薩山の兩種の名稱あり、康熙四十四年始めて採掘せられしが、乾隆に至り閉止せり。

（十二）安徽省

安徽の銅鑛は重に西部に散在し、己に採掘せられしものは銅陵縣銅官山にして、採掘に從事せる公司の名は銅官山鐵銅鑛と稱し、英國の中英公司の專業に屬せり。

（十三）廣西省

廣西に於ける銅鑛の己に採掘せられしものは、唯廣西贛州長白嶺の一處にして、採掘者は長白嶺銅鑛公司なり。

（十四）福建省

福建に於ける銅の産出區域は閩江流域にして、南平の一區は已に採掘せられ、傳ふる所に依れば、明時代にも曾て開鑿せられしと、而して其遺跡は今尚存在せり。最近米國専門家の視察せる報告に據れば、其礦石の銅含有量は左表に示すが如し。

標本第一種

銅	古鑛石	一〇〇分の一八・二七
銀	一噸に付き	一九オンス
金	四十噸に付き	一オンス

標本第二種

銅	古鑛石	一〇〇分の一四
銀	一噸に付き	二〇オンス
金	四十噸に付き	一オンス

（十五）新疆省

新疆の伊犂銅鑛は一七七六年初めて採掘せられしものなれども、然かも産額日に減少せり。現在採掘せらる銅鑛は拜城最も著名にして、此外溫宿・烏什等の地も亦均しく銅を産出すれども、唯採掘は今尚發達せざるなり。（上海總商會月報民國十五年五月）

□中國潮州に於ける糖業の衰退

砂糖は日用品の一種なれば、絶對に之れを排斥し、用ひずといふ能はざるなり。鹽の如く重要なるものにあらずと雖、而も其消費量は僅少ならざる商品なり。我が中國の砂糖産出額は頗る少きを以て、每年外國よりの輸入數量は合計一千萬擔以上超過せり。海關の報告に據れば、十三年の輸入は十二年度に比較して九十萬擔の増加を示し、香港より計四、六四一、八五〇擔、日本より計二、二九六、七五七擔、爪哇より計一、二八九、二三三擔の輸入なり。故に每年國外に流出する金錢は眞に僅少なるものにあらざるなり。但し是れは外國人を妬忌すべきものにあらず、又自然界を怨むべきにもあらずして、只國人（支那人）自己の經營法を責むべきなり。臺灣を見るに、日本の手に入りて未だ十年を出でずして、福建の把持せる茶業を奪ひ、現在中國市場に在る臺灣糖は漸次爪哇糖を壓迫し、我が國（支那）産の砂糖の如きは更らに言を用ふるに足らざるなり。此趨勢に就きて推測すれば、將來日本は終に中國の砂糖市場を操縱するに至るものと云ひ得べく、諸君は此怕るべきを知らざるや。

中國糖の産地は自ら熱帶に近き福建と廣東なり。甘蔗は熱帶の植物なるにより、溫帶に於ける生長は比較的困難なれば、他省に於ける栽培も自ら大量の栽植無く、從ひて諸産地中潮州は確實に重要なる地位を占む。從前は每年の輸出幾んど百萬擔の多量に達し、當然之れに比較せらるもの無く、大概は上海と天津に仕向けられり。而し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て其種類は白糖と赤糖の二種にして、氷糖は現在恐らく製造せられざるべし。

潮州輸出の商品は從來砂糖其第一位を占め、歐洲戰以前外國糖は多少輸入ありしと雖、而も大したる影響を受くる事無く、歐洲大戰の時は完全に競爭者無く、平々安々裏に經過せしが、戰亂の結末を告ぐるや、各國の生產力逐次恢復せるを以て、潮州の糖業も亦光陰に從ひて衰退せり。左表は卽其衰敗の概況を吾人（支那人）に知らしむるものなり。

赤糖の輸出

年次	擔數	合計額（海關兩）
民國十年	六九二、八三五	五、五四二、六八一
同十一年	八三三、二四六	三、三三二、九八四
同十二年	六五五、九九三	二、九五一、九六八
同十三年	五三三、六〇六	二、五〇七、九四八

白糖の輸出

年次	擔數	合計額（海關兩）
民國十年	一二〇、八三一	一、二〇八、三一三
同十一年	一二五、〇九九	八五〇、六七三
同十二年	七七、〇六九	五七〇、三一〇
同十三年	三九、四一一	二九五、五八四

每年の二種輸出合計額（海關兩）

民國十年	六、七五〇、九九四
同十一年	四、一八三、六五七
同十二年	三、五二二、二七八
同十三年	二、八〇三、五三二

赤糖の輸入

年次	擔數	合計額（海關兩）
民國十二年	一、四一八	八、六九二
同十三年	一〇一	七〇七

白糖の輸入

年次	擔數	合計額（海關兩）
民國十一年	一一八、〇三五	一、四七五、四三八
同十二年	七六、七六二	八〇六、〇〇一
同十三年	一五七、〇〇二	一、五七〇、〇二〇

車白糖の輸入

年次	擔數	合計額（海關兩）
民國十一年	一〇、六一一	一三二、六三八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同	十二年	五三、〇三六	五五六、八七八
同	十三年	七九、九六〇	八三九、五八〇

氷糖の輸入

年次	擔數	合計額(海關兩)
民國十一年	三、一二三	三四、三五三
同　十二年	一、七七三	二一、一〇三
同　十三年	一、三〇一	一四、三一一

毎年の四種輸入合計額（海關兩）

民國十一年	一、六四二、四二九
同　十二年	一、三九二、六七四
同　十三年	二、四二四、六一八

此輸出入の價額を比較しなば、即ち外國糖の進步の頗る速かにして、國產糖の衰敗甚だしく、人の意表外に出でし事を知るべし。十一年度の輸出超過は二、五四一、二二八兩、十二年度の出超は二、一二九、五九四兩、十三年度は只三七八、九一四兩なり。斯くの如き狀態にて進みなば、潮州は最早や短時期内に輸入超過を見るに至るべし。中國第一の砂糖產地地方に於いて、尙且つ此の如き狀況なれば、其他の地方に就きては言を待つの必要無かるべし。若し此事情にして實現を見るの時期に到りなば、潮州の輸出も亦死を宣布せられたると同樣にして、深く埋り、再び商品として取引せらるべくも無し。斯く考へ來りなば、即ち潮州に取りては實に替え難き痛事なるべし。

砂糖の品質に就きて論ずれば、國內產砂糖は甚だ良好なるを以て、顧客に對し充分なる誘惑力を有すれども、價格上國內產砂糖は、外國糖の如く低廉ならざるなり。民間の經濟上困難なる時期に當りては、性質好しからずと雖、適宜なる價格の商品は自然容易に賣却せらるべく、包裝上の關係に至りては返りて甚だしく重要ならざるなり。即ち之れ此點に注意する人甚だ少きが爲めにして、且つ全市零細なる取引なる關係に依るものにして、之れ衰落せる原因に過ぎず。本身上にも亦根本的衰落の原因あるを以て、少しく略述すべし。

栽培額の減少　人口は增加すれども、土地は此れに比例して增加する事能はざるなり、但し潮州に於いては南洋群島に出稼する者多きを以て、此點に就きては大影響を受けざるものと云ひ得べし。耕地の面積に就きて論ずれば、耕地は確實に逐年減少せり、之れ外國より歸國せる者は殆んど一律に大厦高樓を故鄉に建築するを以て、田畝は住宅地と變じ、再び耕地と變ずる事無きが爲めなり。潮州人は甚だしき迷信家にして、墓地と後繼者とは密接なる關係を有し、中等階級の人家にありては、一個の死人を葬むるに一大塊の土地を占めしめ、植物の栽培地としては絕對に提供せず、他の一面に於いては米價著しく騰貴し、肥料亦高値を唱へ居るを以て、農夫は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

即ち需要の比較的少く、肥料を要する事多き甘蔗の栽培を捨て、一意專心稻の耕作に從事せり。尙糖價は一定する事無く、常に變動すれども、之れに反して米價は比較的一定の價格を把握せるを以て、此原料は少量となり、產出量も自然減少せるなり。

製法の不良　潮州に於ける製糖の方法は即ち數百年前以來一律にして變化無く、牛を用ひ石臼を廻轉磨展すれども、其餘の手續は全部職工の手に依るものなれば、其產出額は多くも限りあり、加ふるに交通不便なるを以て、運搬も亦全部人力に依り、一擔當て擔ふものなれば、即ち大工場を設立し、機械を用ひて製造に從事せんと欲するも、原料の集中亦容易ならざるを以て、殆んど不可能といふべし。

商人の道德心缺乏　多數の砂糖商は殆んど數錢の安値を謀る爲め常に砂糖内に石灰・沙土等を混入するを以て、輸入地に於ける顧客より信用を失墜せり。

最後に一言補救の話を說き、以て始末を告げん。根本上には先づ該迷信の觀念を除き、大なる荒山を擇びて大規模の栽培地を作り、大工場を設立して製造に從事し、而して必ずしも甘蔗のみの栽培に拘泥せず、大根糖も亦相當に種植すべし。尙若し巨額の投資あらば、一定の完全にして良好なる成績を擧げ得るものと確信するものなり。只此責任の完成さるゝや否やは即ち實に南洋の華僑と上海商人の身上に關するものなり。只同人等の肯て故鄕の體面を支持せんと欲するや否やは知る處にあらざるなり。

（上海總商會月報）民國十五年五月號「方宜孫」

比律賓

□比島と護謨事業

該事業は多年の宿題として論議研究せらるゝ所で、比島到る處護謨樹の生育せざるなく、特にミンダナオ島は、其氣候に於て風土に於て、最好適地であると一般に認承せられてゐる。其土地の豐沃なることは、之を馬來半島或は北ボルネオに比較して遙に其右に出づると云ふ事も、一般視察者の歎美する處である。自然の天惠地澤は充分に具備してゐるが、資本と勞力との缺乏が其栽培を容易に進捗せしめないのである。從來と雖も、ミンダナオ島或はスルー海中のバシラン島等に於て、一千町步の範圍內で之が栽培を行つてゐるものはあるが、勞力の不足には何れも苦痛を訴へてゐる。

今新たに森林を開拓して、之が栽培をなさんとすれば、勞力の不足は當面の難問題であらねばならぬ。馬來半島北ボルネオの如きは支那苦力を招致することも出來るが、比島に於ては支那の苦力は絕對に禁止されてゐるので、從つて勞賃は不廉である。資本家の該事業を決行し兼ねる點は確かに勞力の不足にも起因してゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

且比島の土地法では、一箇の會社に拂下げ若しくは租借を許可する範圍は一千二十四町歩に限られてゐる。何程大資本を有するものが出ても、其以上購入することも租借することも出來ないのである。法律の精神は土地の兼併を防止するにあるのであらうが、然し比島人にして栽培事業等に興味を有つて之に投資せんとするが如きは寥々たるもので、勢之を外國人に見出さればならない。而して外國人中米國人にしても日本人にしても、是等永久的投資に對して、其間に何となく氣がゝりな或ものが介在するかに見える。其は比島獨立問題に付いてであるが、此比島の獨立は尙將來の問題と思はれる。然し其將來の問題が直接間接に現在投資家の胸算に影響することが少くないのである。

輓近護謨の値段の昇騰し、需要は駸々として發達したゝ護謨の栽培地を其屬邦に求めんとする米國資本家の、比島に囑目せるは事實である。前述せるが如く比律賓の土地法は一千二十四町歩以上を一箇の會社に拂下げ又は租借を許可しないので、大資本家に取つては比島の土地法は不便である。それかあらぬか、米國議會に於てミンダナオ島の米國直屬管理の問題が論議せらるゝに至つた。此に於てか大戰以來吾人の屢々耳朶に挾んで來たミンダナオ島割讓の噂も、穴勝齊東野人の語とのみ聞流す譯には行かないと見做されてゐる。現下の處護謨の問題は卽ち比島の問題である。

護謨栽培について比島の當局としては寧ろ之を獎勵し、農務局は種苗の供給をなしてゐる。然し比島の農民は、未だ護謨について左迄興味を以てゐない。若しセブの如き、イロコス•ノルテの如き人口過剩の地方からミンダナオ島の人口稀薄の地方に移住民を送り、土地を分割供給して、二十四町歩のホームステッドの中十二町歩は護謨を栽培せしめ、殘る十二町歩は米穀•甘藷等を栽培せしめ、各戸より出づる樹液は政府で購入する制を取れば、比島をして護謨の生產地たらしむることは敢て困難事ではあるまい。固より比島先覺者中にかゝる議論を唱へる人はあるやうであるが、實現は目下の處早急に行はるべくもない。因に護謨の問題は比島對米國の問題であらう。

（南洋協會マニラ支部報告、一五、八、一二）

佛領印度支那

□印度支那月報（一九二六年八月中）

印度支那豫算と割當率

印度支那豫算は既往七個年間に於て増加一方で、一九二三年の歳出七七、五八五、六三九弗を最高とし整理緊縮の結果一九二四年には七四、八〇五、〇〇〇弗に減じ一九二五年には更に七六、四六六、四九

〇弗に増加した。而して一九一九年度以降一九二四年度までの歳出割當の百分率を示すと左記の如くである。

	一九一九年	二〇年	二一年	二二年	二三年	二四年
徴税及公債整理費	三・四七	七・八七	七・六五	七・六四	六・四五	六・三五
政治及一般行政費	一六・一八	二三・六七	二九・七六	二五・〇三	二六・三六	二五・四九
財務費	三三・七五	二九・六七	三〇・九六	二八・三三	二九・七二	三〇・四五
經濟施設費	三三・〇五	二七・八〇	二八・一九	二〇・九六	一九・八七	二〇・二九
社會事業費	一・二四	一・四八	一・六二	一・四六	一・四七	一・九七
臨時費	一三・三一	九・五一	一・八二	一六・九八	一六・一三	一五・五五

佛暹條約と印度支那總督の暹羅行

印度支那總督は昨年二月十四日締結の佛暹新通商條約第二十六條及附屬議定書に規定する印度支那暹羅間の協約に對し本國大統領を代表して調印の任務を帶び東埔寨・安南・老撾理事長官・總督府官房長・政務局長・海軍司令官・軍事課長等を隨行し八月二十三日盤谷に向け西貢を出發した。月末歸貢の豫定。

昨年度に於ける印度支那の米の輸出額

一九二五年自一月一日至十二月三十一日印度支那の米の輸出額は合計百五十一萬九千六百四十八噸九一六で、之れに對する輸出稅收入は四百六十六萬九千九百九十三弗八四に達した。而してこの輸出稅收入の十二分の一卽ち三十八萬九千百六十六弗一六は成規に基て一般豫算より地方豫算に繰入れらるゝことになつた。

安南・東埔寨の籾生産高

安南に於ける本年第一期米産額(籾)は五二五、〇〇〇噸で、之れを昨年同期の三二〇、〇〇〇噸に比すると二〇五、〇〇〇噸の増收である。本年下半期に於ける米作地の面積は六〇一、〇〇〇エクタールで昨年同期の五四三、〇〇〇エクタールに比すると是又五八、〇〇〇エクタールの増加を示してゐる。東埔寨に於ける本年乾季の籾收納高は一五、七〇〇噸見當で昨年の實收高九、五〇〇噸に比すると約六、二〇〇噸の増收である。

日本商工省派遣鑛山技師一行消息

日本商工省技師四名、三井三菱技術員各一名の一行は日本のため鐵鑛買收の可能性を調査するため目下東京太原州に滞在、同地方の鐵鑛脈踏査中なり。(八月十二日西貢新報)

本年度に於ける佛本國對植民地貿易の豫想

一九二六年一、二、三月の三個月間に於ける佛本國對植民地の貿易總額は三十三億三千三百萬法で、全年を通じ優に百億法を突破する豫想である。

本國に對する各植民地の貿易中輸出は輸入に比しなほ下位にある。卽ち輸出十四億五千萬法輸入十八億八千三百萬法の比である。右に對し主なる植民地を內譯すれば左表の如くである。

(單位千法)

	北亞弗利加	印度支那	西部亞弗利加	其他
貿易總額	二,〇五六,〇〇〇	五三三,〇〇〇	三九八,〇〇〇	三九六,〇〇〇
輸出	八〇三,五〇〇	二二七,〇〇〇	一八六,〇〇〇	一七三,五〇〇
輸入	一,二五二,五〇〇	三〇六,〇〇〇	二二二,〇〇〇	二二二,五〇〇

馬來半島

□馬來半島に於ける鐵道、道路及海運（下）

三、海運

英領馬來は海上交通と言ふ點から見て非常に好都合な位置を占めて居り、且年々其の港灣に出入する多數の客船、貨物船の大搭載力は、以て所要の運輸を辨じ得るに足り、實に格段の便宜を有してゐる。今主なる商港を其の重要程度の順に列記すれば左の通りである。

（イ）新嘉坡　半島南端の新嘉坡島にあり、

（ロ）ペナン　ウエルスレー領沖プリンス・オブ・ウエールス島にあり、

（ハ）ポート・スエツテンハム

クラン河口にあり。當港より首都コーランポへは汽車又は道路孰れによるも手近の距離である。

歐羅巴、阿弗利加、印度及びセイロン島より極東に至る航路並びに亞米利加（太平洋海岸線）、日本、支那、濠州、爪哇、印度支那、ボルネオ、暹羅等より印度、セイロン島、亞弗利加及び歐羅巴に至る航路は、何れも世界有數の商港の一たる新嘉坡に集中されて居る。

（一）馬來諸港行船便

（イ）歐洲線

歐羅巴から馬來諸港行定期船として次の如き船會社の便船がある。

(1) Blue Funnel
(2) Ben
(3) Chargeurs Reunis
(4) Compania Transatlantica（西班牙郵船）
(5) Ellerman & Bucknall
(6) Glen
(7) Lloyd Triestino
(8) Messageries Maritimes
(9) 日本郵船會社
(10) Nederland Royal Mail

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(11) North German Lloyd

(12) 大阪商船會社

(13) Peninsular & Oriental Steam Navigation Co.

(14) Prince Line

(15) Rotterdam Lloyd Lines

右船會社の中 Nederland Royal Mail と Rotterdam Lloyd Lines に屬する便船は、爪哇に其の終末港を有し、他の諸船は新嘉坡より更に東航して支那及び日本に至る。

（ロ） 印度線

（A） 孟買より

(1) P. & O. S. N. Co.

(2) 日本郵船會社

(3) 大阪商船會社

（B） カルカッタより

(1) British India Line（ラングーン經由馬來行及馬來直行）

(2) Indo-China Line

（C） マドラスより

(1) British India Line

（ハ） 濠洲及ニュー・ジーランド線

（A） メルボルン、シドニー其の他より

(1) Burns Phillip Line

(2) Koninklyke Paketvaart Maatschappij (Dutch Packet Co.)

（B） フレーマントル及濠洲北西海岸諸港より

(1) Western Australia Steam Navigation Co.

(2) Ocean Steamship Co.

(3) State Shipping Service

（ニ） 支那及び日本線

（A） 前記歐洲線の項に於て記載した便船

（B） 日本より

(1) British India Line

(2) Indo-China Line

（C） 香港、新嘉坡、ベラワン・デリ及彼南間航路線

(1) Koninklyke Paketvaart Maatschappij

（ホ） 南阿弗利加線

（A） ケープ・タウン及ダーバンより

(1) 日本郵船會社

(2) 大阪商船會社

（ヘ） 加奈陀及北米合衆國線

貨物船航路は馬來直行のもの數線あるも客船航路は、太西洋經由のものは歐洲で、太平洋經由のものは、日本又は支那—普通香港—で乘換へを要する。

（ト） 南米線

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(A) リオ・デ・ジャネイロ及びモンテ・ヴヰデオ發南阿弗利加經由新嘉坡行

(1) 日本郵船會社

(2) 大阪商船會社

(二) 馬來近海船便

海外よりの來観者は彼南か又は新嘉坡か孰れかで乘換へを要する。兩港共特に熱帶地向に設計された乘心地よき設備を有する近海航路船が頻繁に出入して居る。

下記諸會社所屬の汽船は、彼南、新嘉坡等より馬來全島の重要諸港及び暹羅、印度支那、ボルネオ、比律賓行便船として就航して居る。

(A) Straits Steamship Company

(1) 自新嘉坡至ミリ、ラブアン、ゼエッセルトン、クダット、サンダカン、ザーロー、サンボアンガ諸港

(2) 新嘉坡、盤谷間

(3) 自新嘉坡至ポート・スエッテンハム及び彼南

(4) 彼南、ペラロン・デリ間

本航路の外、數線の沿岸航路がある。

(B) Koninklijke Paketvaart Mastschappij

本會社所屬沿岸航路船は、スマトラ、爪哇、蘭領ボルネオ、セレベス及び蘭領東印度の各港に寄港して居る。

(C) Blue Funnel Line

本會社に屬する汽船は、新嘉坡、ベラワン・デリ(スマトラ)間隔週一回便である。

(D) Peninsular & Oriental Company

新嘉坡、ポート・スエッテンハム及びテルク・アンソン諸港より、ベラワン・デリに向け十日目毎に出帆する。

(三) 馬來半島主要港

新 嘉 坡

同港々口は、リオ・デ・ジャネイロ、シドニー或は香港々口に亞いで頗る美觀を有してゐる。

水深き埠頭には、潮時の如何に拘らず、よく、二萬噸級の大汽船が近接することが出來る。普通大潮時に於ける干滿の差は九呎である。

一九二二年中の當港出入船舶は四二、一五四隻、其の噸數二〇、〇〇〇、〇〇〇噸以上(軍艦、商船及び土人の船舶を含む)に達した。

ホイッテーカー(一九二二年)の示す所に依れば、當港に出入せる商船の總噸數はリヴアプールの次位にある。

大洋航路船は大部分新嘉坡港務局埠頭に碇泊するが、一部は内港又は外港に碇泊して荷役をする。此場合船と陸岸との間に多數の運貨船を雇用しなければならぬ。

埠頭は新嘉坡港務局により所有管理せられ、其の全長一〇、〇〇〇呎を超え、其中干潮時(普通高潮時に於ける)三三呎以上の水深を有

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する埠頭四、四一二呎を包含して居る。

埠頭上及び之に近接して設けられた同局埠頭倉庫は、貨物二六〇、〇〇〇噸、石炭二〇〇、〇〇〇噸を貯藏するに足る。

ペニンシユラー・アンド・オリエンタル・ナビゲーション・コンパニーは專用埠頭を有つてゐる。

當港は自由港であつて關税を要しないが、アルコール飲料、阿片、煙草及び石油に對しては消費税を課して居る。

シンガポール港は馬來半島、暹羅、印度支那、英領ボルネオ及び蘭領東印度の大部に對し主要なる船積港であり且つ積換港である許りでなく、亦印度、支那、日本及び西部濠洲との貿易額も莫大なる額に上つて居るのである。

彼南

ペナン港は山多きペナン島即ちプリンス・オヴ・ウエールス島の東側にありて、山嶽は自然に絶好な避泊地を形成して居る。

吃水一八呎を有する大型の大洋航路船は、北方入口のみより入港し得べく、其の二六呎を超ゆるものは潮待をして入港しなければならぬ。

スエツテンハム棧橋は長さ一、二〇〇呎を有し干潮時（普通高潮時に於ける）最少水深三〇呎であつて、主として郵便船及び大型定期船の使用に供して居る。從つて其の他の各船舶は港内に錨泊して、船客はランチで、貨物は運貨船で運搬せられる。

ペナン港務局の有する運貨船は約八〇隻で、貨物は是により歐洲人監督の下に直接同局所屬倉庫に運ばれる。

一九二二年中に於ける出入船舶は一七、四三四隻 八、〇〇〇、〇〇〇噸以上（軍艦、商船、土人舟艇等を含む）である。

本土プライに面する側に新設された埠頭は、長さ二、四〇〇呎を有し、運貨船から直接貨車に荷揚げをすることが出來る。

プライと馬來各州及び暹羅とは直接鐵道輸送をなし得る便がある。

ポート・スエツテンハム

當港はクラン河口にありて、四圍陸地に包まれた安全なる避泊地である。港の南方入口にある沙洲の最少水深は二二呎にして、高潮時に於ける平均潮高一五呎（右水深上）、低潮時九呎（同上）である、錨地の最少水深は三二呎を有する。

港内には、長さ一、〇〇〇呎にして周圍の最少水深三三呎の埠頭一箇所と、長さ一〇〇呎、最少水深一五呎のT型埠頭三箇所及び長さ二〇〇呎最少水深一六呎の艀船附埠頭一箇所を設備して居る。

此處には船客用棧橋があつて、之に上陸すれば其處は直に停車場のプラツトホームになつて居る。貨物は馬來鐵道所屬の運貨船で荷揚げをすることが出來るが、埠頭に繫留する船舶にありては直接貨車に荷卸しをすることが出來る。

尙該鐵道に屬する生子鐵板作りの倉庫があつて、大なる貯藏設備

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を整へて居る。

當港とクラン、コーランポ等とは鐵道及び道路により相連絡する。

一九二二年中出入せし太洋航路船の數三四〇隻一、三一七、七二一噸に達した。（完）

□一九二五年英領馬來の紙類取引狀況

英領馬來一九二五年度製紙及紙製品の輸入額は、前年一、九五九、二八二弗から二、五一三、一二二弗卽ち二八パセント增加、就中北米合衆國からは五三、六九一弗より一躍九一、九〇四弗垄弃增した。さり乍ら英本國は依然當市場を左右し、一九二四年には全輸入額の四八パセント、又二五年度には四四パセントを供給してゐる。又一九二五年輸入額中歐大陸一八パセント、英屬地及保護領一三パセント、日本九パセント及北米合衆國からは四パセントを占めてゐる。

次に仕向地別各國輸入額を表示すれば次の如くである。

一九二四、二五年英領馬來紙及紙製品輸入表

（價額單位弗）

仕向國	一九二四年	一九二五年
英合衆王國	九四二、〇〇七	一、一二四、六六五
英屬地及保護領	三九三、九五九	三三三、八六八
歐大陸	二七一、〇三八	四六五、七四八
北米合衆國	五三、六九一	九一、九〇四
日本	一四〇、四三九	二二一、三七五
其他	一五八、一四八	二七五、五六二
計	一、九五九、二八二	二、五一三、一二二

茲に英領馬來とは、新嘉坡・彼南及マラッカ・馬來聯邦州及馬來非聯邦州（ジョホール・ケダ・パーリス・ケランタン・トレンガノウ）を包括したものを云ふ。輸入紙類の凡そ九〇パセント餘は新嘉坡及彼南兩港に積卸した後、半島各地に散在する小商人竝に消費者に分布される。中若干は英領ボルネオ・佛領印度支那・暹羅・蘭領東印度及他の隣接諸國に再輸出されてゐる。

一九二五年輸入製紙類中、數量では包裝用紙、價額では手帖及帳簿を含む文房具が各々首位を占めてゐる。印刷用紙は數量第二位・價額同四位を占め、紙製品・筆記用紙・吸取紙等之れに次いでゐる。

今用紙竝に仕向國別に一九二五年中英領馬來に輸入された紙の輸入額を示せば卽ち次の樣である。

一九二五年英領馬來紙及紙製品輸入表

用紙及仕向地別	數量（封度）	價額（弗）
印刷用紙		
英合衆王國	一、六七四、八四八	一五八、八六八
英屬地及保護領	一三、七三一	一、六三九

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歐大陸	二、七八七、〇七五	一六一、九七六
北米合衆國	五六、九一八	八、六九三
日本	六三五、七一二	四三、五九四
其他	二〇、五四二	一、七六一
計	五、一八八、八二六	三七六、五〇一
包裝用紙		
英合衆王國	一五、九九二、二三四	三九六、一四二
英屬地及保護領	一、二四一、八五六	一一八、四四八
歐大陸	五一一、三四七	三一、四二〇
北米合衆國	一、六四〇、七五五	三五、五一五
日本	四五、四五〇	三、八二五
其他	四四七、七三一	三三、五九三
計	一九、八七九、三七三	六一八、九四三
吸取用紙		
英合衆王國	三九、五三六	八、一八一
英屬地及保護領	—	一二
歐大陸	三三六	二三〇
北米合衆國	一、七九二	二七〇
日本	四四八	七三
其他	—	—
計	四二、一一二	八、七六六

文房具(手帖及帳簿を含む)		
英合衆王國	一、一九七、九五二	三九五、〇七八
英屬地及保護領	二四八、五二八	六五、〇六七
歐大陸	二二八、九二八	四六、九〇一
北米合衆國	八四、八九六	二七、一三二
日本	一三六、七五二	五一、一六一
其他	五七四、一一二	一五九、一八八
計	二、四七一、一六八	七四四、五二七
筆記用紙		
英合衆王國	四七五、四四〇	五六、三八四
英屬地及保護領	二八五、六〇〇	四七、三二五
歐大陸	三八七、五二〇	三〇、三八四
北米合衆國	一四、二二四	二、八二四
日本	三二、八一六	四、三二五
其他	二〇〇、七〇四	三〇、四二三
計	一、三九六、三〇四	一七一、六六五
紙製品		
英合衆王國	五五五、八七八	一一〇、〇一二
英屬地及保護領	八〇三、六〇〇	一〇一、三七七
歐大陸	六九九、六一九	一九四、八三七
北米合衆國	一五三、三五〇	一七、五〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本。	一、八〇五、〇五九	一一八、三九七
其他	六五四、〇一四	五〇、五九七
計	四、六七一、五二〇	五九二、七二〇

前述したる如く、一九二五年度英領馬來紙類の輸入貿易は前年に比し増加し、品中最も多量なるは包裝用紙（五十パセントの増加）である。次は三四パセントを増加せる筆記用紙・印刷用紙の三〇パセント・文房具二三パセント・吸取紙一二パセント及紙製品の六パセントの順位である。(Commerce Reports, July 19, 1926.)

蘭領東印度

□蘭領東印度に於けるガンビル

一、ガンビルの需要

近來單寧原料の需要は世界的に増大したり。然も温帶地方は單寧原料の生産に適せざるを以て、熱帶地方のみが此の世界的需要を充足せしめざる可らざるものなり。

廿年前、今少しく嚴密に言へば殆んど十年の以前にありては、西歐諸國に於て常に其捌け口に困じたる單寧原料は、今や世界的に多大の需要を喚起するに至りたる有樣なり。馬來半島に於ては一般に Yellow Catechu 又は Gambir と稱せらる。此の單寧原料は十九世紀の初期に於ては殆んど世界市場に知らるゝこと無かりしものなるが、今日に至りては最も貴重なる單寧原料として合衆國及び歐洲諸國に知らるゝに至りたるものにして、事實上單寧原料として他の何れの單寧原料種よりも優り、隨つて其の使用も遍く行き亘り、殊に鞣皮製造上に缺く可らざるものとなりたり。

二、ガンビルの特質

纏繞性を有する灌木 Uncaria Gambir の葉より生ずる滴取物を、蒸發せしめて得たる固形物たる Gambir 單寧劑の特徴と云ふ可き要素は、Catechine 又は Catechutannic Acid たるにあり。其の外に少量の染料劑及び Quercitin を含む。此等諸要素の含有率は、調整工程方法の如何によりて多少の差を生ず。

從來蘭領東印度の土人は Gambir を嚼し用として嗜好したるものにして、東洋に於ける此の習癖は西洋に於ける喫煙癖と何等異ならざるものなり。蘭印土人が之を嗜好する所以は、ガムビル中には Catechine が含有せらるゝを以てなり。其の外皮革鞣し用にも使用せられ、又極めて少量なりと雖も綱・魚網及び帆布の Tanning 用としても使用せられたり。

現在ガンビルの栽培は、スマトラ・馬來半島・ボルネオ及び其附近の小島に行はれ、リアウ・リンガ諸島（Riouw Lingga）に於ては胡椒と混植せらる。而して現在に於ては、西ボルネオ州及びスマトラ島に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於て二三の歐人經營ガンピル園あるを除きては、殆んど支那人と土人とにより栽培せられつゝあり。スマトラのアサハン地方に於けるグヌン・マラユ園（Goenoeng Malajoe Plantage）は歐人ガンピル園中最大のものにして、瑞西人の投資に係り、本社はチユーリツヒ(Zurich)にありて、一九二一年末に於ては其の栽培面積一、七〇〇ヘクタール（四、二〇〇エーカー）に及び、是に使用する爪哇人苦力は一、七〇〇人を數ふ。

三、ガンビル栽培に適應すべき條件

ガンビル栽培に適應すべき條件として數ふべき點を掲ぐれば次の如し。ガンビルは一年中平均せる光線を要し、雨量は平均して一年三、〇〇〇ミリ内外にて足り、氣候は濕潤なるを要す。斯る條件に適應する地は赤道地帶に近き地方たらざるべからず。而して是が爲めには、スマトラの中部、西ボルネオ州はガンピル栽培に最適の地と稱せらる。又栽培地點の高度に關して云へば、一、二〇〇呎乃至一、五〇〇呎を以て最も理想的となす。一、五〇〇呎以上の高度に於ては産額を減ずる虞あり。

如斯條件に適應したる地點にては、ガンビルの生育は極めて迅速にして、栽培業者にして注意と手入れを怠らずば、苗樹生育して植代へ後一箇年にして第一回の收穫を得べし。其の後の收穫は半箇年毎に來り、栽培の行き屆けるガンピル園に於ては十五年乃至二十箇年收穫を續け得るものなりと雖も、土人栽培によるものは斯る長期に亘る收穫は之を望まれざる處なり。土人栽培によるものは五年又は六年の―成績良好なるものにしても十二年以上の―收穫に望まれずと云ふ。

四、ガンビルの收穫方法

收穫期に達したるガンビルは每半箇年每に收穫を行ふ事は前述せる處なり。其際主脈たる枝よりなるだけ遠ざかりて二呎内外の長さに小枝を伐り取るものにして、歐人經營によるガンピル園にありては、其經營法は組織的に且入念に行はれ、其刈込みに關しても愼重に處置せらるゝを以て、其收穫を繼續し得るものなり。然るに土人經營によるガンビルは其小枝の四分の三の長さに迄も伐り込むを以て、葉の搔き集めに手數を要するのみならず、早燥せる葉は單寧の含有分子殆んど無く、凋落せし葉より單寧を製することは困難なり。ガンビル葉よりガンビルを摘出する方法は種々あれども、土人消費向に使用するものと歐洲諸國向となるものとの二用途によりて、其製法決定せらる。以下輸出向の普通ガンビル、骰子狀塊ガンビル及び長方形ガンビルの調整法に就て述べん。

ガンビル葉が摘取せらるれば直に之を工場に運搬しカツチ(Cutch)製造の原料に充つ。

ガンビル工場は普通森林に近く設置せらる。而して小河を近くに控ふるを宜しとす。是れ燃料材を容易に收むるを得ればなり。

ガンビル工場は木造の二階建の甚だ原始的のものにして、階床

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

堅き粘土を以て作り、此の上に鐵叉は眞鍮製の大釜を置く。底を有せざる樽を其大釜中に置き、以て流動液體が外側に零れざる樣に防ぐ。尙此外に大き傾斜樋附屬して洗滌水蒐集のための第二樽に連絡せしむ。

五、煮沸と洗滌

　ガンビル葉を大釜に入れて二回煎煮をなし、淸水を以てよくこれを洗滌す。此の水は多少單寧を含有するを以て上記の樽中に集めらる。斯くして再び新たにガンビル葉と混じて沸騰を繰返し、出來得る限り不經濟にならざらんことを努む。上記の樽は一般に一八〇立乃至二〇〇立の容量あるものにして、一度ガンビル葉が煮沸せらるれば加熱して再び釜中に入れられて沸騰せしむ。斯くして得る液體は之を濾過し、殘れるガンビル葉に對しては之に最後の洗滌を行ふ。斯て釜より離脫せる葉は、更に之に新しきガンビル葉を混じて（八〇基乃至二〇〇基位ノ）沸騰せるエキス中に入れ、堅き木棒を以て攪拌せらる。

　斯して半時間後に於て新らしき葉は煮沸せられ、再度煮沸せられたるガンビル葉は上記の目的を以て再び洗滌せらる。斯くて最後に殘りたる殘滓は之を棄て、胡椒とガンビルとを混植する所にありては之を胡椒の施肥に充つ。殘滓が取り棄てらるゝ時は直ちに次の工程に移り、葉が取り出されて洗滌せらるゝ傍、大釜中に殘されたるエキスは全く水分の蒸發し去る迄沸騰せしめらる。一〇〇立乃至一二〇〇立のエキスは、或程度迄の濃度に達する迄には三時間乃至四時間を要す。斯て燃えつゝある燃材を消火し、エキスは柄杓を以て掬ひ取られ篩管を通じて小樽の中に注がる。この小樽の中に於ては溫度が攝氏三五度に低下するや直ちに凝固す。如斯結晶し初むるや、軟かき糊（Soft Paste）を木型に入れ約十二時間放置し、この木型より移して任意の型に切らるゝなり。

六、骰子狀塊及長方形ガンビル

　此の方法によりて調整せられたるガンビルは骰子狀塊ガンビルと通稱せられ、ガンビル葉の純エキスより成る。

　外面及び斷口は共に暗色にして、含有單寧酸とエキス量の多少に準じて明暗の度に差あり。

　長方型ガンビルは淸純にして且よく乾燥せられたるものなれども含有單寧量少なし。其調整法にして當を得たる時は、帶淡赤褐色にして内部は淡黃色を呈す。長方型ガンビルは廣く歐洲及び合衆國に於ても使用せらるゝと雖も、支那人は東洋市場向として之を作る。長方型ガンビルは骰子狀塊ガンビルより價高し。此調整によりたるガンビルは、支那人の製造せしガンビルより比較的 Catechine の含有量多し。然して何れも其の Catechine 及び單寧の可溶性に特徵を有す。

　Catechine は冷水には溶解し難く沸湯には殆んど全量溶解すれども單寧は冷水に於ても容易に溶解す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七、長方形ガンビルの生産

長方形ガンビルを生産するには、ガンビルのエキスを特別製の形に入れざる可らず。斯の如き型は、ジュート布の如き粗き面を有する布を以て覆はれたる平板にして、垂直に離し得る側板を有す。滴に落下する單寧酸の一部は上記の布を透み通りて、殘れる糊狀物質中には Catechine の含有量は比較的高度を示す。斯て殘りたる糊狀物質は、垂直に離脱し得る側板を取り去り線を以て此粘液物質を切り、更にこれを長方型に伐り、直ちに日光に曝らすか又は乾燥室に運ぶ直前に上方室に靜置し、二週間位充分に乾燥せしむ。乾燥するに當り原形を崩さざらんが爲め（東洋市場に於ては形が崩れたるものは重量を以て賣ること能はずして個々に小賣せざるべからざるなり。）未だ柔かき時に良質にしてよく精査せられたる米糠を普通焙じて之をエキスに混ぜざる可からず。如斯すれば元形は保たれ、其組織は更に多孔性となると云はる。如何に少量なりとも、焙じたる米糠は二〇〇瓦を以てガンビルエキスの一〇立乃至一五立に混ずべし。米糠を多く入れたるものは噛み用の長方型ガンビルに多し。

ボルネオ産のガンビルは時々黄土を多量に混入するを以て聲名を傷ふこと大なり。

八、ガンビルの生産と輸出

蘭領東印度に於けるガンビルの生産は甚だ多し。元より輸出統計額を遙かに凌駕しなるものなり。新嘉坡は主要なるガンビルの積換港にして、スマトラ、リオウ・リンガ諸島より大量に集まり、此處より世界の各市場に輸送せらる。

以下の統計は Yellow Catechu の直接輸出高を示すものなり。

年次	全輸出量（基）	歐洲（基）	合衆國（基）	海峽植民地（基）（主として積換のため）
一九一五	六,八九五,000	一,七二八,000	一〇九,000	三,二一八,000
一九一六	七,一九九,000	二,〇九三,000	一七九,000	四,九一三,000
一九一七	六,二六九,000	七八五,000	一,一〇〇,000	三,七二六,000
一九一八	五,九一八,000	—	一九一,000	五,六七二,000
一九一九	八,〇三五,000	一,七三〇,000	四七三,000	五,一〇三,000
一九二〇	四,九四三,000	一,〇一二,000	二六四,000	三,六四五,000
一九二一	五,九〇二,000	二,八六〇,000	八一三,000	二,一七八,000
一九二二	六,五三二,000	三,二八五,000	一,九四六,000	一,二六七,000
一九二三	五,一〇三,000	二,一〇六,000	九六〇,000	二,〇一〇,000
一九二四	六,五九六,000	一,八四〇,000	一,四三五,000	三,三〇四,000

九、一九二五年に於けるガンビルの輸出

(1) 爪哇よりの輸出

合衆國	五〇基
不明	一、四二五基
計	一、四七五基

(2) 外領（爪哇及マヅラを除ける）よりの輸出

新嘉坡	一、一八八、〇〇〇基

合衆國	一、三八三、〇〇〇基
英國	一、〇八九、〇〇〇基
白國	三四五、〇〇〇基
日本	四五、〇〇〇基
佛國	一四六、〇〇〇基
獨逸	七九、〇〇〇基
安南	一〇三、〇〇〇基
伊國	一一五、〇〇〇基
其他	三七、〇〇〇基
計	四、五三〇、〇〇〇基

以上の如く主要消費地は合衆國及び英國にして、主要の輸出港はスマトラ東海岸のタンジョン・バレ（Tandjoeng Balai）リオ島のタンジョン・ピナン（Tandjoeng Pinang）等なり。

十、ガンビルの用途

ガンビルは主として皮革の鞣しに使用せらる。即ち準備皮鞣しの工程及び仕上げ皮鞣しの何れにも適應せらるゝ所なり。殊に馬具及び靴上脚絆の調整及其の種の皮革の調整に當りては、何れも仕上げ用として推奬せらるゝものなり。此仕上げ用に最適なる點は、清潔にして同一色を漸次に呈し來るを以て色合濃淡の度を調節し得るを以てなり。

然れども純（Catechu）は價格高きを以て皮革の鞣し用としては一般的に使用するを得ず。

されば優良品質の皮革の調整にのみ使用せらるゝものに限定せらる。生産費低減の方法實現せらるれば或は此使用洽れかる可し。ガンビルは以上の外に各種の用途に充つ。殊に絹絲工業に大いに用ひらるゝ所なり。佛國のリヨン市に於ては其他の染料と拮抗して染料劑に用ひらる。

此染料劑使用によりて生ぜる色合は曖昧と柔味とを與ふ。又ホップの代用品として飲料を清澄せしめ、又蛋白質を沈澱せしむる等釀造用としての價値あり。

尙醫療上に於ては收斂劑としても使用せられ其他用途多し。

（南洋協會スラバヤ日本商品陳列所報告、一五、七、一五）

□一九二五年度スマトラ東海岸の栽培企業各國投資關係

メダン商業會議所は一九二五年度に於けるスマトラ東海岸栽培企業に關する統計を發表すること次の如し。

護謨

東海岸に於ける各國の關係を見るに

投資國別	一九二五年度植付面積(ヘクタール)	一九二五年度生産面積(ヘクタール)	一九二五年生産高(瓩)	ヘクトエーカー當り生産高(瓩)
英國	六一、一二一	五〇、三三八	一五、九二三、一八八	三一六
和蘭	六〇、八九九	四六、一五一	一五、九七三、一二四	三四六
佛及白	三一、八六六	一七、二〇一	六、五〇二、三三五	三八〇
米國	五〇、一七〇	二五、三〇七	一〇、三三八、五四六	四〇四
瑞西	二、一一七	一、二七五	五六七、五〇七	四四五
日本	四、五〇三	一、六七五	四六九、一七八	二九六
獨逸	二、二五八	一、八四六	一、〇六〇、三四七	五七四
諾威	一七七	一八六	一五、五〇〇	八四
合計	一八四、六九一	一四四、〇四九	五〇、八四六、九一五	二、八四五

之を一九二四年度の統計と對照する時は、先づ第一に植付面積は確實に増加し來れることを知るべく、一九二五年度は前年より一〇、〇〇〇H・Aの増加植付面積を示せり。又生産面積に就ても一四、〇〇〇H・Aの擴張あるものにして、栽培園護謨の生産増加七、〇〇〇噸なりき。東海岸及びアチエ(Atjeh)の一九二五年度輸出護謨數量は六六、五五九噸にして、其中土人護謨は一七、〇〇〇噸と見積らるゝを以て、全輸出數量の四分の一を占むる勢なり。

此資本投下國別に區別する時は

資本投下國別	植付面積割合	生産面積割合	生産割合
英國	三三%	三五%	三一%
和蘭	三三%	三二%	三一%
米國	一六・五%	一七・五%	二〇%
佛及白	一二・五%	一二%	五%
其他	五%	三・五%	—

和蘭及び蘭領東印度資本による護謨栽培につきては、一九二四年度に於ては英國資本放下による栽培面積より二五%大の優位を保持しゐたるものなりき。然るに一九二五年に及びては既に同位となり、今後益々追越されんとする趨勢なり。

茶

投資國別	一九二五年度植付面積(ヘクタール)	一九二五年度生産面積(ヘクタール)	一九二五年度生産高(瓩)	ヘクトエーカー當り生産高(瓩)
英國	五、六三二	四、九〇五	三、六二四、九二七	七三八
和蘭	五、五一六	五、二六一	三、七二九、四六二	七〇九
獨逸	八二二	六六九	六〇〇、一八七	八九七
合計	一一、九五〇	一〇、八三五	七、九五四、五七六	二、三四四

茶の栽培面積は一九二四年と比較せば減小を示し、隨つて其の生産量も減退せり。又茶園投資國に就きても多少の變更を見るに至り、和蘭資本によるものは大いに増大せしも、一方英國資本によるものは衰退せり。

油椰子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

投資國別	一九二五年度末植付面積（ヘクタール）	一九二五年度末生産面積（ヘクタール）	一九二五年度生産高（椰子油）（瓩）	一九二五年度椰子核肉（瓩）
佛及白	一三、九五八	三、五八六	二、七五一、四七六	三八六、五六〇
和蘭	六、〇七三	一、七七二	二、六七九、〇六七	五九三、四二五
英國	一、一一七	一六六	二九六、三八七	八六、一〇〇
獨逸	二、二三六	―	―	―
日本	六三六	二〇〇	二六、四二〇	―
其他	一三〇	一三〇	―	―
合計	二四、一〇〇	五、八五四	五、七五三、三五〇	一、〇六六、〇八五

上記統計中には Handelsvereeniging Amsterdam（アムステルダム商事會社）の油椰子栽培面積を包有せず。一九二四年度末に於ける油椰子栽培面積は一九、三六四H・Aなりしを以て、一九二五年度に於ては約五、〇〇〇H・Aの増大なり。

H・A當り生産量は一九二五年度に於ては一、一五四瓩となす。猶瑞典資本によりし油椰子園は英國資本に合併せられたり。

ココナット

投資國別	一九二五年度植付面積（ヘクタール）	一九二五年度生産面積（ヘクタール）	一九二五年度生産高（瓩）	ヘクトエーカー當り生産高（瓩）
英國	四、八二四	四、四五四	二、七七七、九七四	六二一
和蘭	三、八二五	一、四四八	一、〇六一、〇八三	七三三
其他	一八一	一五三	一三一、五〇二	八六〇
合計	八、八三〇	六、〇五五	三、九七〇、五五九	二、二〇四

ココナット栽培につきても英國はこれに興味を有するに至り、其の栽培面積増大を示せるに反し和蘭資本によるものは減退せり。歐人經營によるココナット栽培園の生産量は三、九七一噸、土人生産によるコプラ輸出量は一一、九一六噸にして、一九二四年度の九、五〇八噸と比較せば該栽培に於ける土人企業發展を察知するを得べし。

一九二六年度スマトラ東海岸アチエ東海岸の各種栽培業の豫想をなすに

栽培植物名	見積高
栽培園産護謨	五六、〇〇〇噸
椰子油	八、〇〇〇噸
椰子仁	二、〇〇〇噸
茶	九、〇〇〇噸
コプラ	四、二〇〇噸

以上記せるが如くスマトラ東海岸及びアチエの東海岸一帶の栽培企業の發展目覺ましきはこれを首肯し得たるなるべし。斯る廣大なる農園に於て勞働する勞働者數に就て、勞働者管理部の發表せる統計を見るも亦意義なしとせず。スマトラ東海岸及びアチエ東海岸に於ける農園の契約勞働者數は、一九二四年度末に於ては十七萬五千四百八十一人なりしが、一九二五年度に及び約二萬人の増大を見るに至り、其の數十九萬六千六百六十九人に達せり。猶この外に自由勞働者たるもの二萬五千二百五十九人あり。總計農園勞働者數は二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十三萬五千二百人に及ぶとなすものなり。以下契約勞働者につきこれが詳細なる統計を掲ぐるに

人種	人數
爪哇人（男）	一二二、九〇九
爪哇人（女）	四五、四三四
支那人	二六、七九一
クリン人"Clings"	一、五一八
Bandjereezins人	一七
合計	一九六、六六九

斯る多數農園勞働者と農園經營者と相俟ちて生産せられたる栽培物産は、海外輸出の目覺ましき進展を促し以てスマトラ東海岸の隆盛を助長せり。之に就きメダンの商業會議所總會に於て同會頭は一九二五年に於けるスマトラ東海岸の經濟的地位に對する意見を表示して曰く、スマトラ東海岸の目覺ましき繁榮は合衆國との交易による所にして、同國に輸出せられたる護謨の輸出數量は巨大に上り、而も一方護謨の價格空前の高値を維持したるを以て、其の利得せし所大なるものありしなり。此處に於て護謨栽培者は盛に護謨の前賣を行ひ、護謨栽培界の將來又大いに樂觀せられ、以て東海岸の進展を誘導せること著大なるものありたるなりき。隨つてこの方面に對する今後の興味は啻に蘭人のみに留まらず外人に於ても常に注意を怠らざる所にして、其現存投資額蘭人外人相半し、各々二億二千五百萬盾の巨額に上りをれり。一九二五年度に於ける全輸出數量は二十萬噸に達し、一九一六年次に於ける夫れの倍量となす。更に一九一二年度の夫れと對照せば五倍を示し、斯て其の著しき輸出進展を如實に物語る一端たるべし。次に輸出界に於ける地位を見るに、其の開展の度著しきものありと雖も甚だ滿足すべきものには非ず。この方面に於ては織物數は漸次確實なる輸入增大を示しつゝあり。

茲に東海岸貿易の進展を阻害するものとしては、先づ統計税を擧げざるべからず。統計税の高率なるは東海岸の開發を脅かすものとも謂ひ得べく、其他不利益なる税法及び電信郵便料金の高率なるも齊しく吾人の遺憾とする所なり。總じて東海岸の商業的地位は其の改善著しく、一九二六年も亦之以上の好成績を擧ぐ可しと期待せらる。

メダン商業會議所は常に東海岸の開進に努力を惜まざるものにして、政府當局に對して商業上の利益擁護の爲めメダン商業會議所を財政的に補助後援あらんことを切望すと述べたり。

（南洋協會スラバヤ日本商品陳列所報告）

□蘭領東印度に於ける勞働問題

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領東印度に於ける移民問題と題して S. Cohen 博士が Gazette de Hollande 誌に論説せる所次の如し。

約二十五年前スマラン州に食糧不足を來せし時、爪哇の土人は貢大なる經濟危機に臨めるものと信ぜられたるものとなす。茲に於て土人に對する蘭印政府の道徳的責任は、遂に政府をして土人衰頽の原因並びに土人の財力を恢復せしめんとするに必要なる手段につき詳細なる調査を行はしめたるものなり。然れども此の調査の結果巷間信ぜらるゝが如き我逼迫せる危機の事態にあるものに非ざることを知らるゝに至りしものにして、爪哇の經濟的發展を増進せしめ得べき手段は即ち土人の教育普及、土地の灌漑及び移民の三體にありとせられたるものなり。

土人の教育問題に關しては愼重なる態度を以て取扱はれ、一九〇五年に於て嘗て植民大臣たりし現蘭領東印度總督 Fock 氏は特にこれを力説し、一方土地灌漑事業に關しても其の實を擧げたるもの相當にありたるものとなす。

一、移民に關する二方法

移民に關する方法として

イ、農業植民地の構成

農業植民地の構成とは移民に米田を與へて、この收穫物により生計す可きものを言ふ。

ロ、勞働植民地の構成

勞働植民地の構成とは、大規模農業栽培園或は鑛山企業地又はその近くに於て、移民はたゞ裏庭附きの家屋を與へらるゝのみにして、農園勞働によりて生計を營まざる可からざるものを云ふ。

一九〇二年政府は爪哇の稠密なる人口を緩和せんと企て、第一の方法を執りこれが奬勵に努めたり。此が爲め、爪哇に出來得る限り接近せる地にして而も土地は灌漑をなし得可く、從來の住居地に於ける家屋と略々同一型の家屋を求めて、始めて南部スマトラ Lampong 地方に移民せしむる事を得たり。次いで一九〇五年に至り遂に其の家族をも移民せしむるに至れるものにして、この費用は國家の經費を以てし、家を與へ、加ふるに一バウの米作地と二箇年間の生計を保證し、而も此等の諸經費一切返濟するの義務無しとの好條件を附與せしかば、隨つて其の移民も數を増加し、部落を作り、爪哇に於けるが如きと同一方法に統制せられたるものなりき。

然れども政府が斯くの如き優遇條件を以て極力爪哇人の外領移住を企劃せるも、豫期せるが如き好き結果を得ること能はざりしは、これ爪哇人は必要差迫りたる場合は止むを得ず其の故里を去り外領に移住すとも、頓て幾分なりとも生活の餘裕を見るに至りたりとせば自由意志を以て再び故里に歸るを常とする爪哇人先天的氣質の存在するによるものとなす。斯て其後六年を經過したる一九一一年に於ける移民實數は四千百人に過ぎずして、之に投ぜる政府の出費は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

實に一百萬盾を超過したり。斯の如く政府は其の期待に相反せることと甚だしきものありしを覺ゆるに至りしを以て、其後移民の財政的保護の擴張をなさゞることに決定し、却て Lampong 地方の主都たる Telok Betong に農民信用銀行を設立せしめたるものなり。

該信用銀行は、九十盾を越えざる額に於て貸出し補助するに至りしものにして、此貸出し金額は一部政府をして保證せしめたるものなり。此金額は家屋の建造竝に開墾開拓に絶對に必要なる諸般の設備の敷施及び第一回收穫期迄の維持費とせられたるものなり。

二、其の成績

斯て漸次植民は擴大せり。二、三年は移民年々相集りこの中自費にて渡航移住するものあり。植民者も漸次良質となり行き、一九二三年各村落の人口合して二萬四十人を算するに至れり。其後年々移住せるものを加算せば優に三萬人と見積るを得べし。斯て同地方は非常なる繁榮を招來せしが、後に至りて茶の栽培をも試みらるゝに至り餘裕ある生活を營みたりと雖も、この移民形式は最初の期待に添はざりしものにして、又爪哇の過剩人口を救濟せんとする經濟地位の改善方法としての價値は、全く沒却せられたるものと謂ふを得可きなり。

此の Lampong に於ける植民制度の擴張に對し、蘭領東印度政府は一九二六年度政府豫算に於て爪哇の人口稠密なる地より拔きて爪哇土民農夫の新植民地中心地を建設せんため臨時費を融通したり。

斯て若し既に現存せる植民地に最寄りの地に於て、而も農業は地質學上の研究の結果大量の米穀生産可能を證明せられて、少くとも八千バウの地を灌漑し得るものとせば大規模なる灌漑事業を行ふべき意圖ありと言ふ。此の灌漑事業の經營費百二十萬盾とせられ、一九二七年に初まり其の完成に六年を要すべしとせらる。斯て一家族毎に二百盾を九歩の利率を以て政府の保證を得て貸出す可く、一九二七年に於ては千家族の移住を企劃せんとするものなり。これが爲め南部スマトラ鐵道を同地方迄延長せんとする計劃あるものなり。

三、勞働植民地

勞働植民地の構成は農業植民地の構成と全く其の趣きを異にするものなり。勞働植民地とは大農業・企業或は鑛業企業地又は其の近くの地に於て勞働植民地を構成せんとするものなり。

最近十年の間此の政策は多くの會社によりて外領土に行はれたるものにして、殊にスマトラ東海岸に於て著しきものなり。從來爪哇より勞力の供給を受けをりしものが、萬一其の供給を受くることを能はざる場合の危險を慮りて實施せる方法にして、斯る地方は概して人口稀薄にして會社は他より勞力を受くること能はず、又土人もこれを厭ふ傾向あり。若し厭はずとするとも其の勞力提供は極めて貧弱なるものなり。例へばスマトラ東海岸に於ては爪哇よりの輸入勞力は其の全使用勞力の半ばを占むるものにして、爪哇苦力は二十萬人を下らざるものなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此等の者は爪哇より補充せられたるものにして、以前此の補給は非常なる非難を蒙りしも、諸栽培會社自ら協力して之が補給に當ることによりこの非難を消滅せしめ得たるものにして、此の制度は政府の監督の許にありて現に施行せられつゝある一九一四年度の所謂勞働者補給法令（Recruiting Ordinance）に記載せられたる細則に遵ふべきものなり。勞働契約は苦力法令に遵ひ其場に於ての補給を以て締結せらる。此等の契約は三年間有效のものにして、然る後更生せらる可し。上記の法令は雇主及び被雇者間に於て更に規則を細別せらる可きものにして、或種の義務不履行に際しては所謂刑罰認可なる事項に照してこれを處罰するを得べきものとす。此の刑罰を認可するの所以は、契約事業に關しては雇主に對し責任を以て履行を保證なす可しとの趣旨より出づるものなり。

外領に於ける會社に對し斯る契約勞働者に要する失費は比較的多額を要すとなすも、一定期間其の勞力提供を保證せらるゝを以て、人口稠密なりと雖も刑罰認可の苦力法令の實施を許可せられずして屢々苦力不足に煩はさるゝが如き栽培會社と比し、この點に於て便益を享くるものたるなり。

四、刑罰認可撤廢の提案

最近迄栽培會社は刑罰認可の撤回せらるゝことに對し脅威を感じたるものなり。是は換言すれば栽培會社は最早存在の餘地無く、又契約勞働による費用は大いに增大すべきことを意味す可きものたるなり。此の問題はさて措き、兎も角も多年の間に亘り果して補充が滯り無く行はれ得可きか、將來必ずや障害を伴ふに至る可しと懸念せられたるものなり。斯る事項は常に會社をして之が對抗策を講ぜしむるに至らしめ、延いて政府を鼓舞して爪哇人の植民を助長促進せしむ可き様最善を竭くさしめたるなり。

農業植民地は栽培會社の農園に定期勞力提供の事なきを以て、會社に對しては何等の有效價値あることなく、よしありとしても數ふるに足らず。此の理由により會社が勞働苦力を求むるものにして、農園上に家屋を與へ普通賃銀にて一月中一定日數を農園にて勞働せんとする條件にて殘留せんとする契約苦力保護の途を講ずるものなり。斯することにより、各栽培會社共に優秀なる成績を收め得たるものにして、事實勞働者の補給は頗る圓滑に行はれ、一九二五年外領に向け爪哇より補給せられたる苦力は六萬人に達し、其の中半數以上はスマトラ東海岸にて勞働せしものなり。

故に勞力不足の外領に新たに農業或は鑛業企業を建設するに躊躇す可き何等の理由無きなり。其の人口三千五百萬を有し而も年々五十萬（一八九五年―一九二〇年間に於て人口二千五百萬より三千百萬に增加せり。これは最近に於ける國勢調査にして、一九二〇年に於ては一平方粁當り人口密度二六六人なり）を增加する爪哇は此等の企業に對し重大なる勞働力の貯源地とも稱するを得べし。

（南洋協會スラバヤ日本商品陳列所報告）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□蘭領東印度に於ける石油工業

蘭領東印度に於ける石油會社は Royal Dutch Petroleum Co. Nederlandsch Koloniale Petroleum Mij. Batafiaasch Petroleum Mij. N. I. Aard-Olie Mij. Madoera Petroleum Company. Madoera Oil Company. Algemeene Petroleum Mij, Orient Petroleum Mij. 等なり。最近數箇年の間に於て N. I. Koloniale Mij. は大いに其の生產高を增加せりと雖も、一九二四年の生產量を以てしても猶 Royal Dutch 會社（合併せるものを含む）の全生產量の一%に過ぎざる有樣なり。Royal Dutch Co. 會社の今日の生產量は原油約三百萬噸に近く、內爪哇よりは十分の一、スマトラよりは五分の一、ボルネオ及び Jarakan よりは三分の二以上、殘部は Ceram より產す。Koloniale 會社の生產量中スマトラよりは五分の三、爪哇よりは五分の二とす。此の二會社が Djambi に於ける新油田獲得に關し大なる論爭を爲せるは有名なる事實なり。蘭領東印度の石油生產量は次表の如し。

原油生產高

爪哇及マヅラ

年次	單位	スマラン	レンバン	スラバヤ	マヅラ
一九二四	1000基	二四六	二四一、八五三	六〇、八三二	二
一九二三	1000基	一、九九三	二四二、一三五	五八、四四四	三
一九二二	1000基	三一九	一九四、五三〇	六〇、三二二	五

スマトラ

年次	單位	パレンバン	ジャンビ	東海岸	アチェ
一九二四	1000基	四〇二、七二六	五、七七三	八二、三二八	八六、九二四
一九二三	1000基	二六九、八八一	一七四	二二九、七三二	一〇四、一三一
一九二二	1000基	三五三、二一四	—	八八、〇四四	一九六、九六七

其他の外領

年次	單位	東•南•ボルネオ州	アンボン及セラム
一九二四	1000基	一、九九七、一五三	四七、七三三
一九二三	1000基	一、八七九、五四五	四六、九〇〇
一九二二	1000基	一、五二二、〇八一	四五、一九六

以上合計

一九二四	1000基	二、九五五、七六八
一九二三	1000基	二、八五三、〇四八
一九二二	1000基	二、三六八、三九八

ローヤルダッチ及合併會社の生產高

爪哇及マヅラ

年次	單位	スマラン	レンバン	スラバヤ	マヅラ
一九二四	1000基	一五	二三二、〇〇八	六〇、七八二	—
一九二三	1000基	一、七〇三	二三四、八五三	五八、三九九	—

一九二二	1000基	—	一九〇、七五一	六〇、三三〇	—

スマトラ

年次	單位	パレンバン	ジヤンビ	東海岸	アチエ
一九二四	1000基	三八九、〇二七	—	八二、五二八	八六、九二四
一九二三	1000基	三六三、九二九	—	一二九、七三三	一〇四、三三三
一九二二	1000基	三五〇、六八二	—	八八、〇四四	一一九、六九四

其他の外領

年次	單位	東・南・ボルネオ州	アンボン及セラム
一九二四	1000基	一、九九七、一五三	四七、七三三
一九二三	1000基	一、八七九、五四五	四九、九〇〇
一九二二	1000基	一、五三二、〇八一	四五、一九六

合計

一九二四	1000基	二、八九七、一五九
一九二三	1000基	二、八一九、二九三
一九二二	1000基	二、三七五、六七一

ネーデルランシユ・コロニアル・ペトロリウム株式會社の生産高
(Nederlandsch Koloniale Petroleum Mij.)

爪哇及マヅラ

年次	單位	スマラン	レンバン	スラバヤ	マヅラ
一九二四	1000基	—	八、八四五	—	—
一九二三	1000基	—	七、六八二	—	—
一九二二	1000基	—	三、七七九	—	—

スマトラ

年次	單位	パレンバン	ジヤンビ	東海岸	アチエ
一九二四	1000基	—	—	—	—
一九二三	1000基	—	—	—	—
一九二二	1000基	—	—	—	—

其他の外領

年次	單位	東部及南部ボルネオ	アンボン及セラム
一九二四	1000基	—	—
一九二三	1000基	—	—
一九二二	1000基	—	—

合計

年次	單位	生産量
一九二四	1000基	二三、五四四
一九二三	1000基	一三、三三四
一九二二	1000基	六、三二一

上表によりマヅラよりの生産は Madoera Oil Company のみにして、Djambi は N. I. A. M. のみの生産なり。又 Orient Petroleum Co. はスラベヤに於てのみ生産し、一九二二年より一九二四年の間に於ては、夫々九二、〇〇〇基瓦、四五、〇〇〇基瓦、五〇、〇〇〇基瓦の原油を生産し、スマランに於ては Algemeene Petroleum Mij. のみ三一九、〇〇〇基瓦、二九〇、〇〇〇基瓦及二三一、〇〇〇基瓦を生

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産せり。次に Earth Oil の生産を示すに

年次	單位	合計	"Royal"	"Koloniale"
一九二四	一〇〇〇基	二八三、五〇五	二七八、九三五	四、〇三三
一九二三	一〇〇〇基	三三、〇六三	二九、三六〇	三、五七三
一九二二	一〇〇〇基	一〇三、〇五三	一〇二、五八二	五四〇

蘭領東印度石油工業の從業員數は、一九二一年より一九二三年間に於て經濟上の理由により激減せるが、一方石油生産高は激増の成績を示せり。蘭領東印度に於ては製油所は爪哇に四つ、スマトラに四つあり其の中一者は"Koloniale"會社に屬し、日々六、〇〇〇樽の製油能力を有するものにして、今後一年の内に作業開始の筈なり。ボルネオに在る一者は Ceram の小"Tapping Plant"にして小量のベンヂン油を製油するものなり。

四箇所のベンヂン製油所の中"Bataafsasch Petroleum Mij"に屬するものは Tjepoe 及び Wonokoromo (Soer Abaja) にあり、Koloniale 會社に屬するものは Rembang 州 Kapoen に在り。スマトラ島に在る四製油所は悉くB. P. M.會社に屬するものにして、其の中一は Perlak に在りて各種の石油を製油し得べき樣に設備せられ居るものなり。

スマトラ島の Pangkalon Brandan に在る製油所はスマトラ島に於ける最大のものにして各種の油を生産す。其の製油能力は一日一〇、〇〇〇樽とせられ、Pladjoe 竝びに Bagoeskoening に製油所の二倍製油力あるものなり。同 B. P. M. 社の製油所中最大なるものは、ボルネオにある Balikpapan 製油所なり。これは蘭領東印度製油所中最大のものにして日々一五、〇〇〇樽以上の製油能力を有す。これを世界生産石油量に就て見る時は、全世界産石油量の二分の一パーセントを占むるものなり。

外領より爪哇に移出せられたる石油は可成りの量に達し、一九二三年は七〇八、三三〇ヘクト立の輕油及び五九七、五二〇ヘクト立の Residue を爪哇に仕向けたり、又蘭領東印度の一九二四年度に於ける石油類輸入金額は七、二〇〇、〇〇〇盾に達し、其の中爪哇は五、六〇〇、〇〇〇盾の輕油及び機械油を輸入せり。

蘭領東印度よりの石油輸出は、一九二四年に於ては一六〇、〇〇〇、〇〇〇盾に達し、爪哇糖生産高の半ばに達す。一九二三年に於ては一八〇、〇〇〇、〇〇〇盾なりき。斯くの如く輸出價格の減小を見たるは生産量の減少に非ずして價格の低落に在り、即ち一九二三年度に於て原油は價格單位一立につき三仙なりしも一九二四年は二・六仙に下落せり、一九二三年に於て輕油は一〇仙、一九二四年に至りて六・九仙なり、ベンヂンは一四・五仙なりしも一九二四年に至りて一二・八仙となり、Solar Oil は三〇仙より四・九仙に、機械油は基瓦につき三〇仙より二六仙に下落したる結果なり。

即ち價額變動を表示せば左の如し。

品名	單位	一九二三年度價格	一九二四年度價格
原油	一立	三仙	二・六仙

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輕油	一立	一〇仙	六・九仙
ベンジン	一立	一四・五仙	一二・八仙
Solar油	一立	三〇仙	四・九仙
機械油	一基	三〇仙	二六仙

爪哇よりの石油輸出は其の數量に於て蘭印全體の二%に及ばずと雖も、一方其の國內消費量の巨大に上るを覺らざるべからず。外領の石油生產量は一部は爪哇に送られ、一部は國內に消費せらるゝも、大部はこれを海外に輸出するものなり。以下正確にして最も信憑を置くに足るべき一九二四年度の石油並に石油製產物の輸出入表を揭げんに、

A、輸入　數量單位一〇〇〇立(又は基)價格單位一〇〇〇盾

品名	單位	爪哇・マドウラ(數量)	外領(數量)	爪哇・マッラ(價格)	外領(價格)
粗石油	立	—	一,一三四	—	一三
燈油	立	二九,六九八	九,三六九	二,二二七	六九三
粗燈油	立	—	二,〇六二	—	六二
ベンジン	立	五四九	二,八二七	七七	三九六
Batching油	Kilo	—	二二三	—	六
滑潤油	立	七,六二九	八七〇	三六五	二七〇
ワセリン	基	八	五	七	四
合成脂肪	基	二二	三八	八二	一四
パラフィン	基	八八六	八	二三六	二
蠟燭	基	一三	三	一〇	三
土瀝青	基	六,三二四	一,一八四	二六九	一〇七
瀝青	基	—	一六	—	六
其他	基	二三二	—	三二	六
合計	—	—	—	五,六一八	一,五八九

B、輸出　數量單位一〇〇〇立(又は基)價格單位一〇〇〇盾

品名	單位	爪哇・マッラ(數量)	外領(數量)	爪哇・マッラ(價格)	外領(價格)
燃料石油	立	二,四〇一	一,二九七,一〇〇	六二	三,二七三
燈油	立	—	三八,三三六	—	一五,〇五七
ベンジン	立	八,一〇一	六九〇,四九五	一,〇三七	八三,三六三
Solar Oil & Diesel Oil	立	—	一八,〇六四	—	五,七八五
Batching Oil	立	—	二〇,六〇六	—	五二六
滑潤油	基	七〇九	三三,八九五	一八四	五,九九三
合成脂肪	基	一〇七	三四八	三五	一七三
パラフィン	基	三,九二三	三一,〇九八	一,二〇〇	九,五一六
テレピン	基	—	五,八六六	—	六七五
土瀝青	基	九九	一,八五二	九	一七〇
Vaolite	基	—	二,九二一	—	八九五
合計	—	—	—	二,五四六	一五五,七四六

此等の販賣方法は "Batafiaasch Petroleum Maatschappij" の販賣部並びに Dordsche Petroleum Mij. の手を通じて賣し、Vacuum Oil

Company 及び Standard Oil Co. は Standard Oil Company の代表にして、Rulnak 商會は Texas 石油會社の販賣代理を爲す。小賣制度は一切支那商人の手中に在るものなり。

Royal Dutch 石油及び Shell 派の取扱石油中蘭領東印度の部分は目下約五分の一以上にして同社が財政上蘭領東印度を利益せしむること甚大なるものあり。

以下參考の爲め最近三箇年に於ける石油生產高の比較を試みるに

國名	單位	一九二三年	一九二四年	一九二五年
合衆國	1000樽	七三二,四〇七	七一三,九四〇	七五五,〇〇〇
墨國	1000樽	一四九,五八五	一三九,四九七	一一三,〇〇〇
勞農露國	1000樽	三九,一五六	四五,三一二	五五,〇〇〇
波斯	1000樽	二八,七九三	三二,三七三	三五,〇〇〇
蘭印	1000樽	一九,八六八	二〇,四七三	二二,〇〇〇
ベネゼラ	1000樽	四,〇五九	八,七五四	一九,〇〇〇
羅馬尼亞	1000樽	一〇,八六七	一三,三〇三	一五,〇〇〇
秘露	1000樽	五,六九九	七,八二二	一一,〇〇〇
英領印度	1000樽	八,三三〇	八,一五〇	八,〇〇〇
波蘭	1000樽	五,三七三	五,六五七	五,八〇〇
サラワク	1000樽	三,九四〇	四,一六三	五,〇〇〇
アルゼンチン	1000樽	三,四〇〇	四,六六九	五,〇〇〇
トリニダッド	1000樽	三,〇五一	四,〇五七	四,八〇〇
日本	1000樽	一,七八九	一,九五九	二,〇〇〇
埃及	1000樽	一,〇五四	一,一三一	一,二〇〇
コロムビヤ	1000樽	四二四	四四五	五〇〇
佛國	1000樽	四〇三	四二六	五〇〇
獨逸	1000樽	三二一	四〇六	四六〇
加奈陀	1000樽	一七〇	一六四	一六五
チエコ・スロバキヤ	1000樽	七四	七五	七六
伊太利	1000樽	三四	四五	五〇
アルゼリス	1000樽	九	一二	一四
玖瑪	1000樽	四	四	四
其他	1000樽	一〇九	一〇九	一一〇
全產額	1000樽	一,〇一八,九〇〇	一,〇一三,九七七	一,〇五八,六七九

既往三箇年間に於ける世界總產高の比較對照を爲す時、其の數量に差したる變化なきは奇異の感を與ふるものなり。米國と墨國との合計生產額は實に全世界の八割二步を占む。

茲に世界に於ける主要石油產出國に就て述べんに次の如し。

一、合衆國

合衆國は全世界石油生產高の七割一分四厘なる驚異すべき割合を保有す。最近三箇月間に於ける石油產額は一九二五年初期に於けるよりも稍々生產增加を示し、近き將來この調子を繼續すべく差し當り大變化のあるべきことなかるべしと豫想せらる。

二、墨國

墨國の生産額が世界生産高の一割九分の地位より一割六歩に低下せしは、石油の流出と油泉の竭盡と新油泉の鑿孔によるものとす、平均一日生産額は三九〇、〇〇〇樽とす。

三、露國

露國の一日平均生産高は一五〇、〇〇〇樽にして、世界生産高の五歩を占む。

四、波斯

波斯の石油生産高は激増し、一日九六、〇〇〇樽を出し、斯くて世界産高の三歩三厘を占むるに至りしは組織的採業方法を採用せるによる。

五、蘭領東印度

蘭印は一日六〇、〇〇〇樽即ち世界生産高の二歩に當る。

六、ベネゼラ

ベネゼラの最近生産高を増加したるは、一九二四年の大噴出以来のことなり。斯くて十割の割合を以て其の生産高を増加し来り、遂に羅馬尼亞に代りて世界石油産國の番附の第六位を奪ふに至り日に五二、〇〇〇樽を産し、世界生産高の一歩八厘を占むるに至れり。

七、羅馬尼亞

ルーマニヤは一日四一、〇〇〇樽にして、世界生産高の一歩四厘を占む。

八、秘露

ペルーは一日三〇、〇〇〇樽にして、世界生産高の一歩四厘を占むるものなり。

（南洋協會スラバヤ日本商品陳列所報告）

英領印度

□蘭貢市場と日本商品

緬甸の首都蘭貢市は、新嘉坡を去る一千百六十四海浬、カルカッタより七百七十五海浬の地點にある一大主要都市にして、緬甸全州の物資集散場たり。

埠頭は市の南端に位し、河口を去る本二十一哩、港内優に六・七千噸級の大船を自由に碇泊せしむ。最近の貿易額は一箇年五億萬を超え、英領印度中第二位と稱せられ四時百貨輻輳す。殊に米輸出期に於ける蘭貢港は船舶の出入織るが如く甚だ盛況を極む。人口凡そ五十萬人、市街は蘭貢港に並行し街頭恰も碁盤の目を見るが如く、アチャント街ストランド街等の大路東西に走り一號街より三十餘號街に亘る。道路は南北に之と交叉

し歩道、車道、整然たり、鬱蒼たる並木樹は歩行者のために烈日を遮る。建築物は堂々たる歐風のもの多く其の最も宏壯なるを緬甸州政廳、高等法院、警察本署とす。

商業區域は市の中心地點たるマアチャント街を中心として展開し大小歐洲品のデパートメント・ストア其他の小賣店軒を竝べ、就中有名なるはホアイト・アウェイ商會及びロー・コンパニーとす。銀行會社は埠頭に近きストランド街を中心に、香港上海銀行、印度商業銀行、印度國立銀行、横濱正金銀行、華南銀行等の支店或は出張所、其の他汽船會社又は貿易商等此處に散在す。

貿易額は年々著しく増加し一九二〇、二一年度に於ける蘭貢港の輸出入額は四億九千萬なりしが越へて一九二二、二三年度には一躍五億四千萬の數字を示し、更に一九二四、二五年度には五億六千萬留比の巨額に達し、過去四箇年間に於ける同國の輸出入貿易の増加率は實に七千萬留比を超ゆ。その主なる原因は輸出品の激増にあり。

今試みに最近二箇年間に亘る同港輸出入額を年別に擧げ、以て聊か參考に資すれば

蘭貢港に於ける輸出入貿易額（單位留比）

	一九二三、四年	一九二四、五年
輸入		
商品	一八〇、九八〇、六四三	二〇七、六八八、六五五
輸出		
印度商品	三二八、九九二、三三五	三四六、九六三、五四二
外國商品	一、七七三、七三六	九七五、七四六

（以上は同國輸出入の財貨を除く）

次に緬甸全州の輸出入貿易額を示せば左の如し。

	一九二三、四年	一九二四、五年
輸入額		
商品	一八二、五三九、六二八	二〇九、四三〇、九二三
輸出		
印度商品	三九三、六八六、九一五	四三〇、六三七、一八八
外國商品	一三九、〇〇八	九八八、五五六

以上統計表の示すが如く蘭貢市の輸出超過額は實に一億四千萬の巨額に達せり。その主なる輸出品は米にして輸出品の大宗を占む。而して同國との貿易額は英本國第一位にありて輸出入共に約過半を占む。卽ち一九二四、二五年度蘭貢港より英國及び屬領地への輸出額一億七千萬、輸入額は英本國より一億五千留比にして輸出にありては總輸出額の三分の一を占め、輸入にありてはその過半に達せり。

我が邦は輸入に於て第二位にありて、年額二千五百萬を算し、次は海峽殖民地の一千二百萬、北米合衆國の一千百萬、獨逸の約一千萬和蘭の約七百萬、伊太利の約三百萬留比なりとす。輸出に於ても亦我が邦は英國に次ぎ第二位にありて年々五千四・五百萬留比を算す。之に次ぐはスマトラ及エヂプト、玖瑪等の一千三百萬、支那の一千萬、爪哇の七百萬、蘭領印度の五百萬、ベルジウム及びオーストリの約五百萬、其の他獨逸及伊太利、亞弗利加等何れも二、三百萬を算す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輕油	一立	一〇仙	六・九仙
ベンジン	一立	一四・五仙	一二・八仙
Solar油	一立	三〇仙	四・九仙
機械油	一基	三〇仙	二六仙

爪哇よりの石油輸出は其の數量に於て蘭印全體の二%に及ばずさ雖も、一方其の國內消費量の巨大に上るを覺らざるべからず。外領の石油生產量は一部は爪哇に送られ、一部は國內に消費せらるゝも、大部はこれを海外に輸出するものなり。以下正確にして最も信憑な置くに足るべき一九二四年度の石油竝に石油製產物の輸出入表を掲げんに、

A、輸入　數量單位一〇〇〇立(又は基)價格單位一〇〇〇盾

品名	單位	爪哇・マドウラ(數量)	外領(數量)	爪哇・マドウラ(價格)	外領(價格)
粗石油	立	—	一,一五四	—	三三
燈油	立	二九,六九八	九,三三九	二,三二七	六九三
粗燈油	立	—	二〇六二	—	六二
ベンジン	立	五四九	二八二七	七七	三八六
Batching油	Kilo	—	二一三	—	六
潤滑油	立	七,六二九	八七〇	三六五	二七〇
ワセリン	基	八	五	七	四
蠟燭	基	三	三	一〇	三
土瀝青	基	六,三三四	一,一八四	二六九	一〇七
瀝青	基	—	一六	—	六
其他	基	一五二	—	三二	六
合計	—	—	—	五,六六八	一,五八九

B、輸出　數量單位一〇〇〇立(又は基)價格單位一〇〇〇盾

品名	單位	爪哇・マヅラ(數量)	外領(數量)	爪哇・マヅラ(價格)	外領(價格)
燃料石油	立	二,四〇一	一,二九七,一三〇	六二	三二,七二五
燈油	立	—	二八,三三六	—	一五,〇五七
ベンジン	立	八,一〇一	六六〇,四九五	一,〇五七	八三,一六三
Solar Oil & Diesel Oil	立	—	一一八,〇六四	—	五,七八五
Batching Oil	立	—	二〇,六〇六	—	五三六
潤滑油	基	七〇九	三,八九五	一八四	五,九五三
合成脂肪	基	一〇七	三四八	五三	一七三
パラフィン	基	三,九三三	三一,〇五八	一,一〇〇	九,五一六
テレピン	基	—	五,八六六	—	六七五
土瀝青	基	九九	一,八五二	九	一七〇
Vaolite	基	—	二,九三二	—	八九五
合計	—	—	—	二,五四六	一五五,七四六

此等の販賣方法は "Bataafsche Petroleum Maatschappij" の販賣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

薬品及薬品材料	八七,七六〇	一四,四〇六	七,五八四	
漆器	五七,三四一	一四,四五六	一七,六六三	
時計	四五,七五四	八,三一〇	二四,〇五四	
時計附属品及部分品	六三	四〇	四八	
石炭	二七九,四五四	一三九,六五〇	二三一,六八〇	一四〇,五四〇
鋼具	一八,〇七八	一八,八二六	一五,七七一	一

上述の如く同國との對日貿易は英國を除けば我が邦は他國に優越し、輸出入共に年々增加の傾向を辿りつゝありて、一九二一、二二年中の我が邦よりの輸入額一千七百萬と最近の輸入額とを比較する時は僅か四、五年間に於て優に八百萬留比の輸入增加を示し、卽ち一九二四、二五年には二千五百萬留比に進展せるを見る。その主なるものは綿布及び綿製品にして、本邦輸入貿易の大半を占め年額凡そ一千三百萬留比に達す。次はマッチ、絹布及毛織物、陶磁器、硝子器等なり。その年額マッチに於て一百萬、絹布及毛織物は何れも七、八十萬見當と謂ひ、陶磁器は約百五十萬、鐵器七十五萬、硝子器三十五萬等を主なる輸入品とす。

輸出品中には米を第一位とし、次に織物原料、銑鉛、豆類、パラフィン等にして、就中米はその大部分を占め年額三千六百三十萬留比を算す。織物原料之れに次ぎ一千萬餘、銑鉛六百三十萬、豆類三百五十萬、パラフィン百六、七十萬留比とす。

次に過去數年間の同國との對日貿易の趨勢を擧げ、以て本邦輸入品及び同國輸出狀況の一般を示さんに左の如し。

對日輸出額（單位留比）

	一九二〇—二一年	一九二一—二二年	一九二二—二三年	一九二三—二四年	一九二四—二五年
衣類	四六八、一七一	一六七、二六八	三一六、四九九	一三二、七四九	二五一、九八六
帽子類	二六〇、九六九	一一一、二七四	二六二、六八六	一四九、八三二	一〇二、一一九
古衣	一〇	—	—	五〇	—
防水布	一、七七三	—	—	—	—
美術品（繪を含まず）	一〇、一四七	二、一七九	七五四	一、二六一	二、九一四
絲卷	一五、三〇七	一三、八八二	一五、六六三	七、六三三	一〇、四八二
靴（皮製品）	七、八二三	三二九	四、一七五	三、〇三二	五、〇七二
同（皮製に非ず）	七、六六三	一、四九三	三七、七一六	二一四、五九四	一四五、八四五
一、顏毛					
ペンキ及ワニス用	九六九	—	—	—	—
化粧用	一五、四四三	二二七	四〇五	六〇	八九五

其　　他	五,六五二	九	九六一	一一三	五〇一
合　　計	一五四	五二	二〇二	九六	一五五
煉　瓦					
耐火煉瓦に非ざる煉瓦	—	—	—	一二〇	—
耐　火　煉　瓦	—	九〇	一七四	三六	六一二
セメント					
人造セメント	四,一一四	一八,三四八	一四	—	一五,一三四
其　　他	—	一	一三	—	—
白墨及び石灰	—	—	—	—	七八五
粘　　土	—	二八〇	—	—	—
タ　イ　ル	八	一六	一五	—	—
ボタン類					
金属製ボタン	二,二八〇	二,三三二	一,二九八	七七一	三,二〇六
其　　他	六一,四八三	四六,七六〇	一〇,九六九	一八,六七八	三五,三九七
薬品及薬品材料	八七,七六〇	一五,四六五	七,五八四	五三,一五五	六三,八七八
漆　　器	五七,四一四	一四,三五六	一七,七六三	一一,二三三	一〇,三四六
時　　計	四五,七三四	八,三一〇	二四,〇五三	九,四三八	一〇,四〇三
時計附属品及部分品	六三	四〇	四八	九四	五
石　　炭	二,七九,四五五	一三,七九,六五〇	二三一,九八〇	一五,〇五〇	二,八八〇
玩　　具	一八,〇七八	一八,八一六	一五,七七一	—	—

織物	七七、八七五	一八、〇五〇	三〇、六六二	二二、〇五〇	五、五九六
自轉車	六四五	九三	—	—	—
自轉車部分品	一二、四〇〇	—	—	—	—
樟腦	五七、四四九	三三、五九七	一、九〇六	三三、九三三	一八、五四九
特許藥品	一二、六五五	六、七九七	一、四一八	七、四一五	三、八一九
規那鹽外	一、五〇、三二七	九八、三四八	一、一八、〇三九	一、三六、〇五一	一、一四、七三七
磁器	二、九五、五七三	四、二六、二七〇	七、八九、八六八	五、七四、五〇〇	九、三五、八四〇
陶器	一、〇一、〇五九	一、四〇、一八三	一、六七、三一八	三、三三、九〇三	三、六〇、四七三
乾魚	四六、〇九二	四〇、五七八	五九、六六一	三八、三七八	四四、五二一
鹽魚	三〇二	二〇九	一八一	八二	一
其他	—	—	—	—	三二一
木製家具	八、七五〇	二、七五〇	二、三〇二	一、四四六	四四六
其の他の家具	三三、九六一	二〇、七八七	三五、七九二	二〇、八〇〇	二四、一四一
鑄型	二〇、一九四	六、〇二五	—	二、一五〇	九五〇
ガラス及ガラス製品	六五三、三五二	五三三、〇一四	四、四九、三一八	三、三二、八六六	三、四五、八九六
琺瑯器	一三、六五、九二〇	五、五三、四九四	二、五三、五三四	七、五三、三一八	七、二四、五二三
電氣器具類	二五、九八三	一七、一七〇	五、七九九	三、〇六九	三、三四三
樂器具類	八七、五六六	三五、六五九	五七、四二三	三三、二二四	三〇、二八四
革	一、九三、二八二	六、五九五	一九、四一五	二、六六八	三、七二三
酒類	一、六四、五四六	一、四〇、五〇二	四三、七四〇	四二、七九三	四三、三九九
機械類	八、六五、五六一	一、二九、八二九	一三、七七二	八二、九四二	二、八七二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錻力及錻力箱類	一八、三三二、三五二	三三〇、〇三六	二一、三九、三五九	一三、二六、四六二	一二、二二一、七六八
マット	三八、四九八	一二、三五〇	一三、五四五	五、〇五八	三、六八〇
アルミニューム製作品	二七、二九七	四五、六五四	七二、六三三	一〇、三一〇	二六、八〇一
眞鍮・青銅・アマルガム及其製作品	七五、六一〇	三三、三三三	三二、四一二	四二	五、三二一
銅及其製作品	三三、八八二	一一、九〇三	一三、五〇一	—	—
鐵及製品鐵板等	二一、四九二	九、〇三〇	二一、一六五	—	—
錫	二七四〇	—	二六八	四七	四、〇〇四
油	一七、三七三	八、六三四	一〇、八八三	一六、九四六	一五、七七八
ペンキ及其材料	二七〇	一、六二七	一、五〇五	七三〇	二、九三九
紙及壁紙	三、四〇、四三八	四五、二〇四	六七、五六五	八〇、三九六	二三、六五二
香水	二一、八〇六	二、八六二	七、一八八	六八九	三、〇八三
ハム及ベーコン	一一〇	—	一七〇	—	—
ビスケット及菓子	八三〇	三〇	二一七	六三	六二
野菜罐詰及瓶詰	—	一、一四二	三三	六八	二〇六
魚罐詰	四六、八五七	二九、九三四	三九、八五七	八、五五〇	一一、二七九
其他罐入食糧品	三〇、五五八	三、〇七九	一三、三六六	三、六五一	三、七六七
其他の食料品	八、五〇〇	二八、四五七	四六、四四八	二七、〇三四	五九、四一五
自動車タイヤ用中部	二三〇	—	—	—	—
護謨製品	三一、九三一	三三、七〇三	三二、四〇〇	三三、七五四	二三、九六一
煙草其他	五八、三九三	八〇、〇〇三	六四、九三一	二六、一七九	三六、三二一
石鹸	七、五六三	一、六九一	一、二二七	七九七	五五七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

澱粉	一〇,一〇四	一〇,六五〇	六,一五三	二,九〇五	五,四二八
文房具(紙類を除く)	七四,一七二	六九,〇〇九	六五,二七〇	二三,四四九	三〇,一三三
砂糖	一,三〇一,二四三	二五,三〇四	三三,六七九	四一,二三五	三〇,〇三五
獸脂及脂肪素	一,五三二,六四四	—	—	—	—
綿花原料	—	—	五	—	—
木綿屑	—	—	—	—	五,六一七
綿絲及び綿綫	三,九二一,七七二	七四六,九六八	五三四,〇七四	九九六,〇七五	一,六三八,三〇五
綿製品	二,五七八,五九四	二八五,五九三	二,八〇一,〇四五	二,〇七〇,六九二	三,二六一,六六八
ボーダード・グレイ	—	—	—	—	—
晒木綿	二,四六八,八四五	六二,四〇九	一三八,五六二	八一,九八四	二七六,〇七五
縞布	五〇一,一二〇	二五,三八八	六三,四六〇	一二五,一五九	一,〇六八,四八四
捺染布	一,八八四,三三五	三一三,四二八	三〇〇,〇五一	二八四,三二三	二,三四〇,八五〇
縞更紗木綿	—	—	—	—	一〇,一〇八
色織物	五八六,一三六	八八〇,九〇三	一,六五四,一二六	二,〇〇七,一九六	三,一七三,五三三
綢	二,九一九	六〇六	一,六五五	—	—
其他の綢	七七,八七四	五三,三九七	八六,二六〇	五七,五四〇	九四,〇〇四
亞麻絲外	一,七三三	一,三八五	二,四〇〇	—	三,三八七
レース・タオル外	六四一,六六四	一,五三二,六三三	二二九,〇三五	二一四,一六二	五二〇,四四九
麻製品	—	四三六	九,九九四	一三,九四一	一四,〇〇九
黄麻製品	九九七	七九九	八五一	一四九	五一
絹布及絹製品	五〇六,五四五	三,三一七,九〇三	三,四七五,六二八	二,五七六,五五七	三,三七七,四三三

毛織物類	七、一八、二二五	一八、〇二二	五、三六、二八七	六、二六、一〇〇	八、八四五、三五四
絹及人造絹絲の既物類	―	二、四三五	三、一八七	七、三五五	二、六〇五
化粧用品	一、九七、七四〇	三〇、三〇七	八三、九三七	四五、〇〇七	四六、〇〇一
玩具	一、〇七、七八二	六〇、九六七	一、一六、九八一	四九、六五四	一、三三、九四一
ブレインカード	三、九四〇	二、四九六	三四四	五三	七二
其他運動用品	三二、四九五	一、一九一	四六一	一、一九一	一、三四〇
傘	九八、八五九	一一、二三五	五九、三四三	三、七三二	一八、五三三
傘附屬品	九六、三二四	一、二八、六六八	一、五六、一六九	一、九九、七五四	一、四七、三五七
馬車及び車外	二、六六、三〇七	四、九七、八五八	二、八七、八五三	二、一九、一六八	三四、四二六
自轉車及附屬品	―	―	一、四九一	二、二九五	三、三三四
木材	一、六四、一四五	三〇	一〇五	八九、四八五	四八、三八八
木製品	一九、四八、四九五	一四〇、八六二	九九四四	二、〇八、九九一	一八、九一六
岡郵送せるもの	二四、九九一	三四、一三一	一七、一一五	一八、三五四	二四、三一五
其他の商品					
未製品	八七、八三	一〇、三一七	六八、九四	四、六七二	一五、九二〇
精製品	一、三三、三九四	三五、六八六	三四、一二二	二五、六九八	三九、六二四
總計	二、六四、九二、〇一七	一、八四、四三、〇六四	一、九八、九六、四九一	一、七〇、〇二、二〇二	二、四九、六一、一四六

對日貿易輸出（外國製品）

品名	一九二〇—二一年	一九二一—二二年	一九二二—二三年	一九二三—二四年	一九二四—二五年
鐵材鐵板（再製品）					
メリヤス製品	九、〇八三	―	二〇一〇	―	―

綿織物					
グレイ(漂白せざる)	—	四六、七〇一	—	—	—
色布、縞布、染色布	—	—	四三五	—	—
小間物	—	—	四、〇三三	—	一、八七
絹製品	—	一〇四	—	—	—
毛織物	—	一〇、四〇〇	—	—	—
其他の未製品	五〇	—	一五〇	—	—
同既製品	一五、九六七	三、九六八	六、九一五	一、七八八	三、二六二
總計	二五、一〇〇	八〇、一三三	一九、五三三	一、七八八	一六、〇二四
輸出(印度商品)					
カッチ及ガンビヤー	三〇、七二六	一、〇三、〇一三	五五	五、二四七	三三、六九七
其の他の染料	一五	—	二	一三	—
米糠	—	—	—	四、八四五	四四、一五一
豆	二、三六、七八五	二三、四二、九四一	五、三六、五四三	二四、六二、七三三	三一、八三、三五二
やはすみんごう	—	—	—	五、七二四	二〇、九三三
其の他の豆類	七九	一五	三九	一、八三、三七四	三〇、八〇五
米	一五、一一、三〇六	七〇、一七、三三八	一、二六、三五、三八二	三、一三、二三、二四五	三、六二、九六、四八七
獸皮	二三五	一、一九〇	—	—	—
肥料	九一、八五五	一、七七、四七〇	一八、〇〇七	四〇、二五〇	—
鐵及鐵板	—	—	—	—	二八、三五九
鉄・鉛	二五、四七、一四八	三七、八二、三二八	四三、一九、〇九〇	三六、一四、八七八	六二、四六、七〇七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名	一九二〇—二一年	一九二一—二二年	一九二二—二三年	一九二三—二四年	一九二四—二五年
シトロネラ油	一〇、八五五	四、〇〇四	—	一四、一五〇	一、二〇〇
其他の油	—	二八〇	二七	—	—
油菓子パン	四、一七一、八二二	三一	三〇	一、一一五、九二	一七
パラフイン蠟	二五、八二一、五五五	二六、四六、〇二五	三四、七三、三六〇	二〇、八一、四五〇	一六、一九、四五五
織物原料	三四、一八、〇三〇	一、三八〇、七四五	三九、一三、一二五	六六、三三、九四二	一、〇七、七三、二五五
タバコ(未製品)	一、三六、六一七	一、〇六、三九九	九四、一七五	—	五〇、九三
卷煙草	七、八〇〇	七、七〇〇	—	—	—
パラフイン以外の蠟	—	—	一、一三、七五〇	五、一五、四五四	二、二二、八二
其他の未製品	四、六五九	六、八〇〇	一三、〇四六	二、九四七	六七六
同既製品	五、三三七	一〇、五三五	八、五七三	八、三三五	二、七九七
總計	一、一一〇、〇〇、一五四	三、〇一、一一、三三七	二七一、九九七、二四	二七一、三七、五七四	五八五、九〇、四八七

朝鮮輸出　銀額(單位朝)

品名	一九二〇—二一年	一九二一—二二年	一九二二—二三年	一九二三—二四年	一九二四—二五年
精米	—	—	—	三七〇、〇〇〇	五、四〇、八六五
其他の米	—	一、六〇〇	—	—	一三、五〇六
綿種子	—	一、八六、一四五	—	—	—
合計	—	一、八七、七四五	—	三七〇、〇〇〇	五、五四、三九一

(南洋協會新嘉坡商品陳列館報所載)

其他

□英帝國領土內に於けるカポックの生産狀況

カポックとして知られてゐる美くしい綿花樣の纖維は、家具充塡用に供せられてゐる爲めに何人にも親しまれてゐる。

カポックを生産する木は英帝國の熱帶圏内に於て發見せらる丶所であるが、實際世界全産額の大部分は蘭領爪哇から供給せられる。英領各地に於ても屢々カポックを輸出する迄に生産しやうと云ふ試があつたが、現在に於て知り得る範圍では錫蘭に於て少規模の生産を見たのみであつた。馬來の農務部は最近カポックの生産に意を注ぎ、結局、同國より商業的供給を豫期し得ざる理由なしといふ結論に達したのである。印度ではカポックといふ名で綿毛の少量を輸出してゐるが、後段に於て説明する樣に所謂爪哇カポックとは異なつた木から主として生産され且其の品質も劣つてゐるのである。爪哇以外の諸外國中では、比律賓及印度支那からカポックの少量が輸出されてゐて、此等の地方及暹羅に於ては此の木の栽培擴張が唱道されてゐる。カポックとは異なつてゐるが之に近い種々の物から生産される綿毛の少量が南米からも船積されてゐる。

現在カポックに拂はれてゐる興味の深大なる點より見て、帝國領内に於けるカポック生産を主とする本論文を公にするは時機を得たるものと愚考し、一方本纖維生産のため樹木の栽培をせんとする人々の利益の爲めに栽培生産の方法を掲げる。英領土内に於て生産されるカポックの各種は、英帝國資源調査會(Imperial Institute)に於て興味を有する人が自由に審査し得るのである。

現在に於けるカポック需要を知るには、一九二四年に於て爪哇及マヅラは數量一五、〇〇〇噸、價格百五十萬磅の輸出をした事を示めせば足ると思ふ。一五、〇〇〇噸の輸出の中、合衆國に輸出せられた物は八、〇〇〇噸であつて和蘭及濠洲には各々三千噸ニウ・ジーランド及英本國は五〇〇及四〇〇噸であつた。又其の年に於ては外領から一、〇〇〇噸の輸出があつて其大部分は和蘭に送られたのである。

最近三年間に亙る英本國に輸入せられたるカポックの量は次の表の通りである。(數量單位噸、價格單位磅)

仕出國	一九二二年		一九二三年		一九二四年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
印度	三五五	二四、五七八	五六六	五二、四八六	三三三	三一、七八三
其他の英領	一〇三	七、五四四	九五	一〇、五三二	一〇八	九、一七四
和蘭	七八	七、九一二	三〇	三、四三二	五三	七、一七三
爪哇	三六二	三六、八二六	五五八	六九、九〇八	三五八	四四、二三五
印度支那	—	三一	—	—	一一三	一二、六一六
其他	五	四七〇	九〇	四、六九七	三六	二、六一七
輸入合計	九〇三	七七、三六一	一、三三九	一四〇、七三三	一、〇〇一	一〇七、五九八
英本國に保留せられたる數額	七一二	五八、九五四	一、一一五	一二五、八三九	六九〇	七四、五〇五

二二、三、四の三年に英本國に保有された印度カポックの量は二五六、四四九及二五〇噸であり、又爪哇カポックの保有された量は三〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、四七三及二八八噸である。

英領土内のカポック增産問題を考へる際に心得ふべき事は、供給が價格に及ぼす影響である。之の事實に關聯して本調査會はカポック取扱大商館に諮問せる所、カポックの生産は現在次第に增加し特に米國及英領の或る地に於て特に顯著に之を認めるのであり、又將來も依然として此趨勢を辿るであらふといふ答申を得たのである。彼等大商館は帝國領土内に於てカポックの生産を增加するは望ましい事だと考へて居り、又カポック取次商人も同樣な意見を有してゐるのである。米國については、カポックの供給を得る事が困難であるため、蒲團製作に之を大いに使用する事が出來ないと傳へられてゐる。故に大體に於て若し質に於て爪哇產の物と等しい或は之に近い物を生産し得るなれば、相當の價格で市場を發見する事は敢て困難ではないのである、

戰前倫敦に於ける爪哇カポックの値段は一封度當七片乃至九片であつたが、大戰終る前後に於ては一志九片に上昇したが現在では若干低下し、爪哇カポック最上な物は封度當一志三片乞を告げてゐる。

カポック生産樹及其用途

各科に屬する植物の大多數の成果は微細な毛の集團を有し、其の中或る物は例を棉花に見る樣に種子に附着し或はカポックに見る樣に種莢の壁から茂生してゐる。自然は此の毛を種子の分布を助けるために作つたのであるが、人間は人間自身の用に用ふるに至つたのである。此等の中に最も注目すべき物として、棉花は雜種、選種及氣候に順應せしむる事によつて、色及其他の性質に大進步が加へられたのである。カポックの屬する纖維の種類は、總括的に絨毛或は絹棉として知られて居り棉花より微細であつて光澤を有してゐるが、棉花の如く強からず又紡ぐ際に必要なる撚狀を缺くのである。撚狀を缺くがため、其用途は非常に局限せられ、カポックとしての栽培法及生産行程は別として、其品質の向上は凡ごされてゐなかつたのである。

「カポック」なる言葉は數多の木の產出物に用ひられてゐるが、學術的には爪哇カポックの原樹である Eriodendron anbractuogum (E. orientale, Ceiba pentendra) の絨毛に限るのが必要である。キワタ科に屬する木は自然では大きな型になる物であるが、栽培せられる時は普通五〇呎を起へないよなよした木である。之は特殊な外觀を有し、數段にも別かれて枝を水平に出す。乾燥期に於て落葉し、花は新芽の現はるゝと同時に或は其直前に出る、果實は多少楕圓形の蒴或は莢であつて、長さ約六吋、最も大きな所で直接二吋位である。既に前述せる如く毛は蒴の內壁より茂生し、棉花の樣に種子に固着してゐるのではない。此の事實は絨毛を商業的に處理する場合に主要な物であつて、カポックの場合は容易に種子から分離せしめる事を得るのであるが、一方棉花は繰綿行程を必要とせられる程種子に密着してゐるのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

カポック類の棉毛はキワタ科（Bombaceae）の其他の木より産出され其重なる物はBombax種である。印度から輸出される棉毛は重にB. malabaricumから採取されて、適當に處理された時は、良質の物となるが、良質爪哇カポックの樣に回復性はないのである。此の屬の各種は西阿弗利加で發見せられ其纖維は地方的に使用せられる。其の主たる物は大方B. buonopozenseであらうと思はれる。此科の中綿毛を産出する物で、南亞米利加ではB. ceiba及chorisia spp.があり、伯剌西爾ではEriodendron samauma熱帶亞米利加及西印度諸島にはOchroma sagopusがある。絹棉を産出する其他の物の中蘿藦科ではAsclepias, Calotropis gigantea, C. procera及Gomphoearpus brasiliensisがあり、他にCochlespermum Gossypium（梣科）及西阿弗利加護謨樹Funtumia Elastica（夾竹桃科）がある。然し斯の如く名を擧げてきたが、何れもカポックよりも劣り歐洲市場でカポックと競爭するのは望ましくないのである。

カポックの毛は圓筒狀をなし長さ〇・六乃至一・二吋であつて、頗る薄い細胞壁を有してゐる。此の細胞の內部は空氣に充され、頗る輕く、又濕氣に對し不滲透狀を有して居るので非常なる浮泛狀を有して居るのである。之の特狀を有してゐるためにカポックは全世界を通じて浮標、救命帶及救命衣の製造に專ら用ひられる。

カポックの主要な用途は蒲團・枕・褥其他の物の填充にある。之はカポックが輕く、反撥狀を有してゐるために吸水及濕度を吸收せざるため非常に好適なのである。カポッが非滲透狀を有してゐるは實に填充用として他の物の追從を許さゞる點である。

又カポックを織物材料に使用せんとする試は從來屢々あつたのであるが、カポック纖維が滑めらか且する／＼してゐて附着狀がないため多大の困難に遭遇したのである。加之、カポックは非常に弱く、之から作つた布は強くないのである。然し化學的に處理し表面を粗雜にし棉花と混合し、或は單獨で紡ぐ樣になつたのである。斯の如くして出來上つた布はフラシ天、レイス其他の物に使用される。一體にカポック織物は綿織物の樣に良い着物としての性質を有して居らないが、熱の不良導體であるため暖い着物の下衣として用ふれば適當である。（未完）

（Bulletin of Imperial Institute Vol. XXIV. No. I.）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地租稅規定の改正
De Wijzigingen van de Bepalingen van de Verponding-belasting. (H. N. v. d. D. Aug. 13, '26.)

煙草卷紙の輸入稅引上に就て
Het Sigarettenpapier. (H. N. v. d. D. Aug. 14, '26.)

スマトラ東海岸輸出貿易の將來
De Toekomst den Export van S. O. K. (H. N. v. d. D. Aug. 14, '26.)

濠　　　洲

向上せる濠洲事業界
Australian Business on Upgrade. (Com. R. No. 31, Aug. 2, '26. P. 313.)

經濟的價値を有する地方としての西部濠洲
West-australië als Economische Gewest. (L. N. e. H. Aug. 13, '26.)

歐　羅　巴

一　　　般

歐羅巴を威嚇する一人者ムッソリニ
Europe's Most Dangerous Man. By Sir Phillip Gibbs. (S. F. P. July 17, '26.)

米國の統一と進步とを歐洲の混沌に對照する英國記者
English Editor Contrasts U. S. Unity and Progress to Europe's Chaos. By Mr. J. L. Garvin. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 12, Aug. 21, '26. P. 296.)

英　　　國

英帝國航空路に關するコブハム氏の意見
Empire air Routes. : Mr. Cobham's Views. (S. F. P. July 17, '26.)

移民問題
The Emigration Problem. (N. C. D. N. Aug. 4, '26.)

和　　　蘭

和蘭の財政狀態
Finacial Conditions in Holand. (N. C. D. N. Aug. 11, '26.)

露　西　亞

結婚廢止に至る露國の努力
The Russian Effort to Abolish Marriage. (By A Woman Resident in Russia in the July Atlantic Monthly). (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 11, Aug. 14, '26. P. 268.)

北　　米

米國にて提供せらるゝ外國有價證券
Foreign Securities Offered in the United States. (Com. R. No. 29, June 19, '26. P. 143.)

米國綿織物の現況と將來
The Situation and Outlook of the American Cotton Textile Industry. (A. July 30, '26. P. 139.)

一九二六年上半期の米國外國貿易
Foreign Trade in the Second Quarter of 1926. (Com. R. No. 31, Aug. 2, '26. P. 272.)

原料品の政府管理
Regeeringscontrole over Grondstoffen. (L. N. e. H. No. 33, Aug. 13, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

De Koloniale Bank. (S. Hb. July 23, '26.)

セレベスに於ける鐵道敷設事業は失敗に歸す
Celebes-Spoor. (S. Hb. July 23, '26.)

蘭印當局の繁榮政策
Welvaart Politiek. (S. Hb. July 24, '26.)

オンビリン炭礦の事業成績
De Ombilinmijnen. (S. Hb. July 26, '26.)

蘭印最近の繁榮は新貿易地を開拓しつゝあり
Recent Prosperity Developing New Trade Areas In Netherlands India. (Com. R. No. 30, July 26, '26.)

工業地としての爪哇(鑛山業の部)
Industrial Java. (F. E. R. No. 7, July, '26.)

工業島爪哇
Industrial Java. By "Djembatan". (I. O. No. 7, July, '26. P. 384.)

スマトラ島の開發
Openlegging van Sumatra. (S. Hb. July 27, '26.)

ヒンヅー教徒及ムハメツト教徒間の宗教爭議
De Godsdiensttwisten Tusschen Hindoes en Mohammedanen. (S. Hb. July 27, '26.)

阿片の密輸
Het Smokkelen van Opium. (S. Hb. July 27, '26.)

スラバヤに於ける勞働狀態
Arbeidtoestanden te Soerabaja. (S. Hb. July 24, 27, 28, '26.)

スールー島の眞珠貝採集
De Paarlvisscherij in de Soeloe-eilanden. (H. N. v. d. D. July 28, '16.)

國民參議院に於ける石油の探查並に採掘に關する討議
Opsporing en Ontginning van Aardolie. (S. Hb. July 29, '26.)

國民參議院に於ける石油の探查及採掘に關する討議
Opsporing en Ontginning van Aardolie. (S. Hb. July 31, '26.)

一九二五年度のバンカ島錫鑛山營業成績
De Bankatinwinning in 1925. H. N. v. d. D. July 30, '26.)

土人栽培業に關する指數
Cijvers over de Ind-Cultures. (H. N. v. d. July 30, '26.)

極東に於ける日本の地位
De Positie van Japan in het Verre Oosten. (S. Hb. Aug. 7, '26.)

外領の發展狀況
De Ontwikkeling der Buitengewesten. (S. Hb. Aug. 7, '26.)

爪哇の物價指數
Het Prijsverloop op Java. (H. N. v. d. D. Aug. 2, '26.)

米國と蘭印との利害關係
Indische Belangen in de Vereenigde Staten. (H. N. v. d. D. Aug. 4, 5, '26.)

一九二五年の蘭領東印度事情
The Netherlands East Indies. (N. C. D. N. Aug. 7, '26.)

スマトラ東海岸に於ける蘭國並に外國資本
Het Nederlandsche en het Buitenlandsche Kapitaal ter S. O. K. (H. N. v. d. D. Aug. 9, '26.)

スラバヤ近海に於ける日本漁夫
Japansche Visscherij. (H. N. v. d. D. Aug. 10 '26.)

外領の發達(2)
De Ontwikkeling der Buitengewesten. (2) (S. Hb. Aug. 10, '26.)

蘭印石油工業界に於ける傭人組合の紛爭
Betreurenswaardig Conflict. (S. Hb. Aug. 12, '26.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

比島の發展は比律賓人に歸屬す
P. I. Development up to Philipinos. (P. H. July 25, '26.)

クーリッヂは太平洋各帝國の事實を極めんとす
Coolidge Seeks Facts About Pacific Empire. (P. H. July 25, '26.)

ウッド辭職說を否定す
Resignation of Wood Denied. (P. H. July 25, '26.)

トムソンはパラワンの地誌を學ぶ
Thompson Studies Map of Palawan. (P. H. July 25, '26.)

比島六月外國貿易大なりき
P. I. Foreign Trade for June Large. (P. H. July 28, '26.)

比律賓群島に於ける八萬の支那人
Eighty Thousand Chinese in Philippine Islands (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 9, July 31, '26. P. 208.)

アラスは委員會を辭職す
Alas Resigns From Comittee. (P. H. July 31, '26.)

ベイコンは其の提出せる法案の目的を明にす
Bacon Set Forth Aimes of His Bill. (P. H. Aug. 1, '26.)

オスメニヤはヘラルド紙を通じてメッセイジを發表す
Senator Osmenia Sends Message Through Herald. (P. H. Aug. 1, '26.)

比島の人口は急速に增加する
P. I. Population Increasing Fast. (P. H. Aug. 5, '26.)

ベイコン案は比島の平和を亂すとゲバラは云ふ
Bacon Bill Will Disturb P. I. Peace, Say Guevara. (P. H. Aug. 5, '26.)

ファイヤー・ストーンは土地法の變更を希求す
Firestone Wants Land Law Changed. (P. H. Aug. 6, '26.)

比島は灌漑制度を必要とす
Irrigation System is Need of P. I. (P. H. Aug. 8, '26.)

教養なき比島人は進步を妨ぐるや
The Uneducated Fillipino; an Obstacle To Progress. By N. Layons. (C. H. Aug. 26, '26. P. 724.)

蘭　領　東　印　度

蘭領東印の紙類貿易
Paper Trade of the Netherlands East Indies. (Com. R. No. 28, July 12, '26. P. 88.)

スマトラの反物貿易の增加
Sumatra's Increased Piece-Goods Trade. (Com. R. No. 28, July 12, '26. P. 94.)

西貢、英領印度及暹羅に於ける米產狀況
De Rijstsituatie in Siam. Br-Indië en Saigon. (L. N. e. H. No. 29, July 16, '26.)

ランポン地方移民に關する疑獄
Kolonisatie-Lessen. (S. Hb. July 19, 20, '26.)

蘭印に於ける新栽培地域
Een Nieuw Cultuurgebied. (S. Hb. July 19, '26.)

土人農業生產物狀況
Inlandsche Landbouwgewassen. (S. Hb. July 19, '26.)

一九二五年に於ける輸出農產物狀況
De Exportgewassen in 1925. (L. N. e. H. No. 30, July 23, '26.)

一九二五年のシトロネラ油狀況
Citronella-Olie in 1925. (L. N. e. H. No. 30, July 23, '26.)

一九二五年度に於ける阿片專賣成績
De Opiumregie in 1925. (S. Hb. July 23, '26.)

コロニアル、バンクの一九二五年度營業成績

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二五—七＝一九二六—六の米穀統計
The Rice Figuers. (B. T. July 22, '26.)

暹羅の豫算報告
The Budget Report. (B. T. July 28, 29, 30, '26.)

暹羅の交通
Communications in Siam. (B. T. July 31, '26.)

本年七箇月間の輸入市場
The Import Market. (B. T. Aug. 9, '26.)

盤谷市場
The Bangkok Market. (B. T. July 16, '26.)

其かみの盤谷
Other Days in Bangkok. (B. T. July 17, 26, 31, Aug. 7, 14, '26. P. 3.)

南部暹羅(パタニの商況)
Southern Siam. (B. T. Aug. 19, '26.)

英　領　印　度

印度は資本過多
India Has A Plethora of Funds. (Com. R. No. 27, July 5, '26. P. 43.)

印度に於ける農業の進歩
Agricultural Progress in India. (Com. R. No. 28, July 12, '26. P. 123.)

ベンゴール州に於ける共同組合運動
The Cooperative Movement in Bengal. (Com. R. No. 28, July 13, '26. P. 123.)

印度產業界の進步
The Progress of Indian Industry. (Com. R. No. 29, July 19, '26. P. 187.)

チタゴン港の發展
The Developement of Chittagong. (N. C. D. N. Aug. 14, '26. P. 18.)

印度海軍の創設
Creating the Indian Navy. (N. C. D. N. Aug. 16, '26. P. 7.)

■南　洋　諸　島■

比　律　賓

ネグロス地方の砂糖は比島國立銀行理事トリニダッドの手に渡る
Sugar Crops Turned over to Trinidad. (P. H. July 13, '26.)

本日より比律賓議會開かる
Important Legislation Awaiting Solons Action. (P. H. July 16, '26.)

トムソンは比島開發を援助するに熱心である
Thompson Eager to Help Develop P. I. (P. H. July 16, '26.)

ウッドは豫算を最低限に切下げん
Wood Will Trim Budget to Minimum. (P. H. July 16, '26.)

比島の酒精工業
De Alcohol-industrie op de Philippijnen. (L. N. e. H. No. 29, July 16, '26.)

上院議員ハジ・バツはベイコン案に同意する
Hadji Butu in Favour of Retention. (P. H. July 16, '26.)

一九二七年歲入豫算は本年度よりも減少せん
Estimated Income for 1927 Small. (P. H. July 16, '26.)

比律賓に於ける油田探查の失敗
Failure to Find Oil Here Disappoints Oil. Magnate. (P. H. July 24, '26.)

ベイコン案に反對するモーロー人の聲はサルタン・サ・ラメンによつて發せられる
Moro Opposition to Bacon Bill Voiced By Sultan Sa Ramain. (P. H. July 24, '26.)

一九二七年比島歲入豫算
Big Drop in Government Income for 1927 Expected. (P. H. July 24, '26.)

トムソンはミンドロ人に共富を把持せよと說く
Thompson Urged People In Mindoro to Guard Their Wealth Closely. (P. H. July 24, '26.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 476, July 25, '26. P. 15.)

一九二六年度交趾支那人口調査の結果
Les Résultats du Recensement de 1926. (l. C. S. July 26, '26. P. 1.)

總督府の財政方針
Les Projets Financiers du Gouvernement. (le C. S. July 29, '26. P. 1.)

印度支那に於ける外國人の勢力と土地制度
L'élément étranger en Indochine et le Régime Foncier. (F. I. July 31, '26. P. 1.)

中部安南に於ける灌漑計畫
Les Projets d'irrigation pour le Centre-Annam. (E. E. I. No. 477, Aug., '26. P. 7.)

交趾支那の衛生狀態
L'état Sanitaire de la Cochinchine. (le C. S. Aug. 2, '26. P. 1.)

東京に於ける水道問題
Le Problème de L'Hydraulique au Tonkin. (F. I. Aug. 2, 3, '26. P. 1.)

一九二六年中に於ける佛本國と佛植民地間の通商關係
Les Relations Commerciales de la France ovec ses Colonies en 1926. (F. I. Aug. 4, '26. P. 1.)

交趾支那論
La Cochinchine. (F. I. Aug. 6, '26. P. 1.)

土人農業資金庫
Le Crédit et l'agriculture Indigène. (F. I. Aug. 7, '26. P. 1.)

東京人の漁業
Pêches Tonkinoises. (A. T. Aug. 7, '26. P. 1.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 478, Aug. 8, '26. P. 15.)

東京は金產地である
Le Tonkin est un Pays de Mines d'or. (A. T. Aug. 8, '26. P. 1.)

交趾支那植民地評議員會の開會
La Seance d'ouverture du Conseil Colonial de Cochinchine. (le C. S. Aug. 10, '26. P. 1.)

一九二六年度印度支那總督會議
Conseil de Gouvernement de l'Indochine de 1926. (le C. S. Aug. 10, '26. P. 1.)

老撾に於ける河川運送に就て
Les Transports Fluviaux ou Laos. (E. E. I. No. 479, Aug. 15, '26. P. 6.)

印度支那總督府の財政々策行詰り
Une Critique de la Politique Financière du Gouvernement Général de l'Indochine. (F. I. Aug. 19, '26. P. 1.)

法貨の安定と印度支那
Le Franc Stabilisé et l'Indochine. (A. T. Aug. 19, '26. P. 1.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 480, Aug. 22, '26. P. 15.)

馬來半島

一九二五年英領馬來紙取引
Paper Trade of British Malaya in 1925. J. W. Vander Loan. (Com. R. July 19, '26. P. 173.)

マラッカの古往と現代
Malacca—Ancient and Modern. By F. F. Cooray. (I. O. No. 7, July, '26.)

英領馬來七月護謨輸出量
British Malaya Rubber July Exports. (S. F. P. Aug. 5, '26.)

新嘉坡に於ける最近犯罪統計
Crime Figures. (S. F. P. Aug. 11, '26.)

新嘉坡の懷古
Glimpses of the Past.—Part I. II. Ever Changing Singapore. (S. F. P. Aug. 11, 18, '26.)

暹羅

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

China's Exports to U. S. for May, 1926. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 10, Aug. 7, '26. P. 240.)

米支關係に於ける新聞種子
The News Element in China American Relations. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 10, Aug. 10, '26. P. 260.)

廣東の罷工
The Canton Boycott. (B. T. Aug. 10, '26.)

トムソンは支那の調査をもせん
Thompson to Make Suwey in China Too. (P. H. Aug. 11, '26.)

一九二六年七月間上海より米國への輸出
Shanghai's Exports to U. S. for July 1926. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 12, Aug. 21, '26. P. 300.)

上海の生活費
Cost of Living in Shanghai. (N. C. D. N. Aug. 13, '26.)

支那學生の海外教育可否
Educating Chinese Students Abroad. By Julean Arnold. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 11, Aug. 14, '26. P. 266.)

上海に於ける罷業
The Strike in Shanghai. By George Sokolsky. (N. C. D. N. Aug. 16, 17, 19, 20, 23, '26.)

上海に於ける自動車
Motor Cars in Shanghai. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 12, Aug. 21, '26. P. 302.)

八月十四日に終る週間の政治上發展
Political Developments for Week Ending August 14. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 12, Aug. 21, '26. P. 308.)

關稅會議は失敗せしが日支の關係は增進せり
Tariff Conference Failed But Sino-Japanese Relations Improved ? (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 12, Aug. 21, '26. P. 287.)

支那の保全を復興する米國の努力
U. S. Effort to Re-establish the Integrity of China. By. Henry Kittredge Norton. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 12, Aug. 21, '26. P. 291.)

五箇國民によりて支配せらるゝ上海
Shanghai : A City Ruled by Five Nations. By J. P. Davis. (C. H. Aug. 26, '26. P. 747.)

各國協同對支政策は失敗せしか
Has A "Cooperative" China Policy Failed ? (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 316.)

南支に於ける反米事實
Facts Regarding Anti-Americanism in South China. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 317.)

虎列剌さ支那人の感受し易き性質
Cholera and China's Susceptibilities. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 318.)

南支には更に反米主義者なし
There is no Anti-Americanism in South China ! By Hin Wong. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 319.)

現在支那は其銀の三分の二を米國より購入す
China Now Purchasing Two-Thirds of Her Silver From U. S. By E. Kann. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 320.)

支那竹の種々の用途
The Many Uses of Chinese Bamboo. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 324.)

八月二十五日に終る週間の政治上發展
Political Developments for Week Ending August. 25. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 334.)

蔣介石(字中正)小傳
Gen. Chang Kai-shek. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 13, Aug. 28, '26. P. 337.)

廣東會議一英支の陳述
Canton Conference : Chinese and British Statements. (N. C. D. N. Aug. 29, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日　　本

日本に於ける南洋經濟會議
De Economische Conferentie voor de Nanyo. (S. Hb. July 23, '26.)

支　那　及　香　港

一九二五年の支那貿易
China's Trade Virility. (Com. R. No. 27, July 5, '26. P. 17.)

支那に在る外國人
The Foreigner in China. (C. E. T. No. 3282, July 15, '26. P. 498.)

廣東の港灣保存作業
Conservancy Works of Kwangtung. (E. E. No. 7, July 15, '26. P. 215.)

支那に於ける電話の發達
The Progress of the Teleghone in China. (E. E. No. 7, July 15, '26. P. 209.)

支那と其條約
China and the Treaties. (C. E. T. No. 3283, July 22, '26. P. 517.)

支那組合の責任
Chinese Partnership Liability. (N. C. D. N. July 20, '26.)

寧波は貴婦人帽子の流行型を出す
Ningpo Sets tne Style in Miladi's Hats! (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 9, July 31, '26. P. 205.)

支那に對する米國の態度
What is the American Attitude Toward China? (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 9, July 31, '26. P. 206.)

支那日本に於ける米國兒童の學校
Schools for American Children in China and Japan. By Juleum Arnold. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 9, July 31, '26. P. 27.)

支那は今回天下分目の戰を爲すか
Is China to Have A Decisive Fight This Time? (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 9, July 31, '26. P. 203.)

最古國民の傍證
Sidelights on the Oldest Nation. By Mr. George W. Missemer. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 9, July 31, '26. P. 209.)

支那絨氈と毛布工業
The Chinese Carpet and Rug Industry. (Commerce Reports) (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 31, '26. P. 214.)

奇妙なる西藏の風俗
Strange Tibetan Customs. By Augustus Somerville. (I. O. No. 7, July, '26. P. 397.)

南滿洲に於ける石油頁岩
Oil-shale in South Manchuria. (F. E. R. No. 7, July, '26.)

大連は支那外國貿易に第二位を占む
Dairen Holds Second Place in Chinese Foreign Trade. (Com. R. No. 31, Aug. 2, '26. P. 312.)

上半期に於ける米國向支那輸出
China's Exports to the United States. (N. C. D. N. Aug. 3, '26.)

內部より見たる支那
China Seen From the Interior. (N. C. D. N. July 28, Aug. 4, 7, '26.)

支那征服の唯一の手段
The Only Way to Conquer China. (N. C. D. N. Aug. 4, 5, '26.)

南支に於ける英支衝突
The British-Chinese Conflict in South China. By F. K. Wu. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 10, Aug. 7, '26. P. 235.)

我が支那僕役
My Chinese Servants. By Ani Pfister. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 10, Aug. 7, '26. P. 236.)

釐金(支那內地貿易稅)
Likin—China's Inland Trade Tax. By Charles K. Moser. (C. W. R. Vol. XXXVII. No. 10, Aug. 7, '26. P. 237.)

一九二六年五月間支那の米國向輸出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋記事
海外重要記事索引

臺灣總督官房調查課

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A. Annalist. (July 9—30, '26.)

A. T. L'avenir du Tonkin. (July 21—Aug. 24, '26.)

B. T. Bangkok Times. (July 15—Aug. 20, '26.)

C. E. T. China Express and Telegraph. (July 15, 22, '26.)

C. H. Current History. (Aug. '26.)

Com. R. Conmerce Reports. (July 5—Aug. 2, '26.)

C. W. R. China Weekly Review. (July 31—Aug. 28, '26.)

E. E. Eastern Engineering. (July 15, '26.)

E. E. I. L'éveil économique de l' Indo-chine. (July 14—Aug. 22,'26.)

F. E. R. Far Eastern Review. (No. 7, July, '26.)

F. I. France-Indochine. (July 19—Aug. 20, '26.)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag. (July 14—Aug. 17, '26.)

I. O. Inter Ocean. (No. 7, July, '26.)

le C. S. Le Courrier d' Saigonais. (July 17—Aug. 20, '26.)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel. (July 10—Aug. 13, '26.)

N. C. D. N. North China Daily News. (July 28—Aug. 25, '26.)

P. H. Philippine Herald. (July 13—Aug. 11, '26.)

S. Statist. (July 3—24, '26.)

S. F. P. Singapore Free Press. (July 16—Aug. 18, '26.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad. (July 11—Aug. 14, '26.)

* * *

■ 世　界 ■

一　般

理論及實際より見たる金本位制度
The Gold Standard in Theory and Practice—XXIV.—XXVII. (S. July 3, 10, 17, 24, '26.)

電力世界的生產の進步
Progress in the World Production of Electric Energy. (Com. R. No. 28, July 12, '26. P. 83.)

一九二五年に於ける國際貿易
International Trade in 1925. (Com. R. No. 29, June 19, '26. P. 146.)

工業、商業及個人資本
Industrie Handel en het Particuliere Kapitaal. (H. N. v. d. D. Aug. 8, '26.)

■ 亞　細　亞 ■

一　般

東洋各地に於ける人種の爭鬪
The Clash of Colour. By G. G. van der Kop. (I. O. No. 7, July, '26. P. 375.)

太平洋上に於ける和蘭の航業
Dutch Shipping on the Pacific. (N. C. D. N. Aug. 2, '26.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN